(一)

| | あ縦行 | か縦行 | が縦行 | さ縦行 | ざ縦行 | た縦行 | だ縦行 | な縦行 | は縦行 | ば縦行 | ぱ縦行 | ま縦行 | や縦行 | ら縦行 | わ縦行 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ横行 | あ | か | が | さ | ざ | た | だ | な | は | ば | ぱ | ま | や | ら | わ |
| い横行 | い | き | ぎ | し | じ | ち | ぢ | に | ひ | び | ぴ | み | い | り | ゐ |
| う横行 | う | く | ぐ | す | ず | つ | づ | ぬ | ふ | ぶ | ぷ | む | ゆ | る | う |
| え横行 | え | け | げ | せ | ぜ | て | で | ね | へ | べ | ぺ | め | え | れ | ゑ |
| お横行 | お | こ | ご | そ | ぞ | と | ど | の | ほ | ぼ | ぽ | も | よ | ろ | を |

| | ア縦行 | カ縦行 | ガ縦行 | サ縦行 | ザ縦行 | タ縦行 | ダ縦行 | ナ縦行 | ハ縦行 | バ縦行 | パ縦行 | マ縦行 | ヤ縦行 | ラ縦行 | ワ縦行 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア横行 | ア | カ | ガ | サ | ザ | タ | ダ | ナ | ハ | バ | パ | マ | ヤ | ラ | ワ |
| イ横行 | イ | キ | ギ | シ | ジ | チ | ヂ | ニ | ヒ | ビ | ピ | ミ | イ | リ | ヰ |
| ウ横行 | ウ | ク | グ | ス | ズ | ツ | ヅ | ヌ | フ | ブ | プ | ム | ユ | ル | ウ |
| エ横行 | エ | ケ | ゲ | セ | ゼ | テ | デ |子 | ヘ | ベ | ペ | メ | エ | レ | ヱ |
| オ横行 | オ | コ | ゴ | ソ | ゾ | ト | ド | ノ | ホ | ボ | ポ | モ | ヨ | ロ | ヲ |

813.1
Y157n

国立国会図書館

国立国会
27. 3. 4
図書館

261006

# 緒言

## 日本辭書編纂法私見

(一) 其國ノ語法(文法)ニ據ツテ其語ヲ用井、少ナクモ其鑑識ヲ有ツダケノ人ニ意味ノ理解ノ出來ルベキ語ヲ其國ノ語トイフ。ソレ故ニ日本語トハ日本國ノ語法ニ據ツテソレヲ用井、少ナクモ其鑑識ヲ有ツダケノ人ニ意味ガ理解サレ得ルモノニ限ル。此日本大辭書ニハ此種類ノ日本語ニ限ツテ採ル。

ヨシヤらんぷトイフ語ガ英國語ニシロ、之ヲ日本ノ語法ニ據ツテ用井テ、前言フダケノ人ニ理解ノ出來ルカラニハ充分コレヲ日本語ト看做セル。モシモ日本ノ語法ニヨラズ、却ツテ他ノ國ノ語法ニ據ツタガ最期、日本ノ語法ノ鑑識ヲ有ツ人ニ其意味ノ理解ハ出來ヌ、斯ウナレバ最早ソノ語ハ日本語ト言ヘヌ。同ジク、漢、梵、其他ノ外國語トテモ其トホリ。日本固有ノ語バカリガ必ズシモ日本語ノ名ヲ占メル譯デナイ。

(二) 日本語デ日本語ヲ解釋シタノヲ日本辭書トイフ。此日本大辭書デハ日本語ニ日本語ヲ當テテ解ク。

日本語ヲ用井ズニ解ケバ對照ノ體裁トナツテ、純粹ノ日本辭書トハ爲ラヌ。日本語ヲ英語デ解ケバ則チ和英辭書トナル。同ジク漢語デ解ケバ和漢辭書トナル。日本從來ノ辭書ラシイ物ノ多數ハ和名抄トイヒ、下學集トイヒ、多クハ皆和漢對照ノ——寧ロ——字書デ、純粹ノ辭書デハ無イ。後世ニナリ、或ハ和訓栞、或ハ吳竹集ナドヤヤ辭書ラシイ形チヲ備ヘ出シタモノノ、是トテモ偏スル所ガ有ツテ猶ワルシ、明治ノ初年、文部省デ學者ヲ集メテ語彙ヲ編ミ、スコブル體裁ヲ備ヘタモノノ猶マダワルシ。イヨイヨト云フ終リト爲ツテ大槻文彥氏ノ言海ガ歐洲ノ辭書ヲ摸型



トシテココニ始メテ完全ナ形チガ出來カケタモノノ、猶マダ物足ラヌ所ガ多イ。

(三) 日本辭書タルベキ日本辭書ニハ大別シテ二ツノ種類、即チ普通辭書ト專門辭書ト。ソノ普通辭書トハ所謂普通語ヲ擧ゲタモノ、マタ專門辭書トハアル一科目ノ專門語ノミヲ擧ゲタモノデアル。此日本大辭書ハ普通辭書ノ體裁ヲ取ル。

強ヒテ言ヘバ、普通語ト專門語トノ間ニ殆ンド是ゾトイフ區別モ無クナルモノノ、姑ク便宜カラ區別ノ有ルモノト看做ス。ソレ故ニ此大辭書ニ於テモ事情ノ許スカギリ迄ハ專門語ヲ採リ、マタ想像ノ神ノ名(不動明王、摩利支天ノ類)モ想像ノ地理ノ名(蓬萊山、龍宮ノ類)モ同ジク假リニ普通語ト看做シテ採ル。

(四) 日本辭書ニ擧ゲタ語ニハ發音、音調、語類、語原、解釋、書典例證ノ六種ヲ備ヘサセルニ限ル。此日本大辭書ハ悉ク皆コレヲ備ヘル。

(五) 發音。かは(河)ハ其實かわト讀ミ、あふひ(葵)ハ又あおいト讀ム、是等讀ミ方ヲ示スノガ辭書ニ必用ノ第一デアル。

(六) 音調。はな(花)ハはニ於テ上聲トナリ、はな(端=冒頭)ハはニ於テ上聲トナリ、はな(鼻)ハは、な、共ニ平聲トナル、是等音調ノ上下ヲ示スノガ辭書ニ必用ノ第二デアル。

大槻氏ノ言海ハ此六種ノ內、音調ヲ看落シテ一言モ言葉ヲソコニ及ボサズ、遺憾ニモ一大欠典ヲ作リ出シタ。畢竟發音ト音調トハ似テ非ナルモノ、燕石其類ヲ誤リ易イノモ至當デハアル。サリナガラ、此音調ガ辭書ニ於テハ非常ニ大切デアル事ハ今改メテ言フ迄モナシ、之ガタメニ例ノうゑぶすたるガ非常ナ苦心ヲシタノヲ見テモ其容易デナイノハ知レルモノヲ。

日本デ從來辭書ニコレヲ調ベタ例ガ無イ。珍ラシク和漢三才圖會ノ中ニ唯一ケ處四聲ヲ說イ

タ處ハ有ル、ガ、ソレトテモ殆ンド杜撰デ充分ノ例トハ見ラレモセヌ。コレガ研究サレズニアツタタメ今迄ニ音律ノ取リ調ベ、マタハ歴史ノ考證ニイカホドノ不自由ヲ感シタカ？

ト言ツテ封建ノ餘習ノ猶殘ル此國ノ言語、東西ニ音調ノ相違モ有ル、ソレヲ殘ラズ擧ゲル事ハ素ヨリ望メヌ。勿論歐洲ノ辭書トテモ多クハ此點カラ其國ノ首都ナドノ音、ソノ最モ普通ナノヲ擇ブ、コノ手段ハ日本ノ場合ニ應用シテモ好イ。今首都トイヘバ東京、ソレ故ニ今日ノ場合ヒデハ東京ノ音ノ、而モ其最モ普通ナノヲ拔クノニ限ル。ソノ仕方ハ耳ナドノ脆弱ナ感覺ハ賴メズ、音樂ニイフ律ノ第一階ヲ「去」ニ配シ、其上ヲ「平」ニ配シ又其上ヲ「上」ニ配シ、カタガタソレニ據ツテ高下ヲ定メルニ限ル。

スベテ此規則ニ據ツテ此大辭書デモ一一ノ音調ヲ取リ扱フ。精密ニ言フトキニハ平上去コノ三聲ヲ示サナケレバ爲ラヌモノノ、今タダノ辭書ニ於テ其全體ヲ示スダケトスレバ、必ズシモ去ノ鑑識ヲ人人ニ有タセルニハ及バヌ。

畢竟上トイフノモ去トイフノモ何レ絶對ノモノデハ無シ、平ガ中心ニ位スレバ上ガ其上ニアツテ、去ガ其下ニ在ルダケノ事デ、ソレ故一ツノ語ノ中ノ一箇處ニ――モシ上聲ガ有ルナラ――ソコダケニ符號ヲ用ヰテ事ハ濟ム。其例ハ左ノ通リ、――

は ゐ(第二上)花　は ゐ(第一上)端　は ゐ(全平)鼻

か さ(第二上)量　か さ(第一上)笠　か さ(全平)梅毒

かへる(第一上)歸　みだる(第二上)亂　かたる(全平)語

(七) 語類。フデ(筆)ハ名詞、ナンヂ(汝)ハ代名詞、其他、動詞、副詞、形容詞等ソレゾレハ文法ニスデニ言フ、此語類ヲ示スノガ辭書ニ必用ノ第三デアル。





從來ノ日本辭書ガ示シタ語類ノ中、コトニ名詞ホド杜撰キハマル物ハ無イ。言海スラ既ニ此弊ニ陷ツタ、是ガ中中容易ニハ見ラレヌ。之ニ付イテハ頗ル私見ガ有リ、後ノ第十九項ニツブサニ記ス。

(八) 語原。あくたいもくたいノ語原ハ「あくた、もくづ」「芥藻屑」、阿修羅ノ語原ハ「さんすくりつと」「ああすら」ナド、此等語原ハ探レルダケ探ツテ載セルノガ辭書ニ必用ノ第四デアル。

(九) 解釋。論理學ニイフ法則ニヨリ、解釋ヲ受ケル語ヲ苟シクモ解釋ノ文ノ中ニ用ヰズ、原語ガ荷フダケノ意味ヲ說明スルノガ辭書ニ必用ノ第五デアル。

解釋ハソノ儘ヲ原語ニ代用シテ成ルベク適當スルヤウナノヲ尙ブ。言海ニ「氣にあたる」トイフ句ヲ「怒ル」ト解釋シタノハ正ニ此規則ニ外レタ。「氣ニアタル」ノ間接ノ意味コソ「怒ル」デモアラウ、「氣ニアタル」ソレガ直チニ「怒ル」デハ無イ。試ミニ「先方ノ言ヒグサガ氣ニアタル」ノ文ニ此「怒ル」ヲ代用シテ見テ、果シテウマクハマルデアラウカ？　「先方ノ言ヒグサガ怒ル」、コレデハ意味モ何モ通ゼヌ。「氣ニアタル」ノ解釋ハ「感情ヲソコナフ」デ無ケレバナラヌ。

(十) 出典例證。必要ニ應ジテソノ語ノ出所、又ハ用例ナドノ證據ヲ擧ゲル事ハ著者ノ責任ヲ重クスルタメノ事デ、苟シクモ信用スベキ辭書ニハコレヲ置クノガ必要ノ第六デアル。

(十一) 日本辭書ノ語ハ五十音デ配列スルニ限ル。

五十音ヲ執ル說ガ近頃ハ一般ニ多クナツテ、事事シク言フ必要モ無イ。和名抄、拾芥鈔、下學集、三才圖會ナドノ部門類別法ハ素ヨリワルシ、いろは順ノ配列ハ順序ノ暗記ニ困難ナリ、コノ場合ヒ、五十音ナラバあかさたなはまやらわノ十音ヲサヘ順序ヲ覺エレバソレデイイトイフ、此便利ニ勝ツモノハ全タ無イ。語彙、言海、日八名辭書ナド皆此例ニ據ル。

(十二) 濁音(だゞはゞの類)ハ清音(たゞはゞの類)ノ次ニ置ク。

コノ事ニハ從來カレ是ノ異論モ無イ。

(十三) 一種逼聲ノ「つ」、及ビ又「ん」、此二音ノ相當ナ位置ハ「つ」ヲあかさたなはまやらわノ「わ」ノ次、「ん」ヲ又ソノ次ニ置クニ限ル。

「ん」ヲあかさたなはまやらわノ最後ニ置クトノ說ハ一時高崎五六氏ナドノ關係シタ言語取調所ノ議決ニモ爲ッタト洩レテモ聞イタ。但シ「つ」ニ至ッテハ誰モたちつてとノ中ニ入レテ搆ハヌト思フ。カナラズシモ搆ハヌトハ思ハヌ。習慣ニ背クタメニ敢テ斷行ノ說ヲ出サヌ。但シ大改革ニハ今日ガ非常ノ好機會トモイフベキモノデ、既ニ「ん」ヲ最後ニ置ク事ニ決スル人モアルカラニハ「つ」モソノ邊ヘヤッテ承知スル人モ有ッテイイ譯デアル。

「ん」ト「む」ト混同スルハ解剖分析ノ細微ニ入ラナカッタ古代ノ說デ、不道理ナノハ論ヲ俟タヌニマタ況ンヤ「つ」トテモ同樣ナモノ、性質ハ正サニ「ん」ト同ジナモノヲ、故サラニソレダケヲ未練ラシクたちつてとノ中ヘ入レルニハ及ブマイ。

強ヒテ言ヘバ逼聲ノ「つ」ノ假名モ何カ換ヘタイ。タダ文字ノ改良ハヤガテマダ此後ノ事トアキラメル儘ニ是ダケハ捨テテモ置ク。

(十四) ソレソレノ語ノ性質ヲ以上六種ノ解デ明キラカニスルト同時ニ又ソノ語ガ古語(雅)デアルカ、普通語デアルカ、乃至癈語デアルカ、俚語、方言デアルカヲ示スノガ辭書ニ當然ノ事デアル。此日本大辭書ハ一一ノ語ニ此注意ヲ怠ラヌ。

(十五) スベテ今日ヨリ以前ニ出來、又行ハレタノヲ古言トイフ。ソノ終ニ後世ニ至リ、通用ノ力ヲ失ッタモノヲ癈語、マタハ死語トイフ。今日ノ普通文、マタ普通言ニ用ヰテ適當シ得ラレルモノヲ普



通語、即チ言文兩用ノ語トイフ。アル一地方、又ハ一部分ニ限ッテ(專門語以外)通用スル語ヲ方言トイフ。ソノ意味ニ眞面目デナイ心ヲ有ッ一種ノ方言ヲ俚語トイフ。

從來ノ語學家ガ多ク古言ヲ雅トシ、新言ヲ俗トシタコトノ不道理ナノハ言海デモ既ニ論シタ。モシモ時代ニ因ッテ雅俗ノ標準ガ附クモノナラバ今ノ——ソレヲ語學者ガ云フ——俗語ハコレカラ幾時代カノ後デハ雅語カ? 萬葉ハ古今ヨリ雅カ?

用ヰ方ニ因ッテコソ雅俗ノ意味ハアラハレル。決シテ其出生生存ノ時代ニ因ラヌ。古言カナラズシモ雅ソミデナシ、新言カナラズシモ俗デ無シ、ソモソモ俗雅ト分類ヲ立テルダケガ正シクナイ。デ、コノ日本大辭書ニハ皆ッテ新古ニ俗雅ノ字ヲ當テヌ。古ケレバ單ニ古言トノミ云フ。

古言デ後世ニ至リ、アマリ通用セヌヤウニ爲ッタ語ニアリアリト認メ得ラレル二種類ガ有ル。其第一種ハ後世ノ語ヲソノ語ニ代用シテ充分ニソレダケノ意ノ現ハレルモノ。及ビ、其第二種ハコノ代用ノ出來ヌ物。流行病ノ一種デ今日云フはしか、即チ痲疹ヲ上古ハあかがさ又ハあかもがさト言ッタ。コノ古言ノあかがさモシクハあかもがさニ今イフ處ノはしか或ハ痲疹ヲ代用シテ更ニ其意味ノ點ニ於テ不都合ノ無イ、是ガ今イフ第一種デアル。ガ、あがためし(縣召し)ナドノ語ニナレバ、コレヤ其義ヲ譯シタニシロ、後世ノ言語デ何ナリト代用シテモ其代用ノ効力ハ迚モ現レルモノデ無イ、即チあがためしハ只其語ニノミ特殊ノ義ヲ有ッ類ノモノデ、コレガ今云フ第二種デアル。即チ之ヲ約言スレバ第一種ノ語ハソノ語ヲ有ッ品又ハ有リ樣ガ昔カラ今日マデ變ハラズニ殘ッテ、唯ソノ名義ダケガ變ハッタモノ、マタ第二種ノ語ハソレガ昔カラ今日マデ必ズシモ殘ッテ居ヌモノ、タダコノ一點。スナハチ、第一種ノ古言ハ其目的トスル物事ノ有ル

ニ拘ハラズ、其語ソレダケガ遂ニ死ニ果テタモノ、廢滅ニ屬シタ物――ツマリ前言フ廢語デアツテ、同ジク、又第二種ノ古言ハ永久ノモノデ、ソレ故假リニ概シテ古言トコソハ言ヘル、廢語トハ決シテ言ヘヌ。

かは(川)、さと(里)ナドハ昔カラ有ル語デ今日ノ所謂普通文ニモ、普通言ニモ通ジテ用ヰラレル。併シナガラ語ニ因ツテハ是ニ用ヰラレテ彼ニ其事ノナラヌノガ有ル、コレラノ區別ハ辭書デ然ルベク簡易ニ示スノガ當然デアル。

東京デしろうり(白瓜)、京都デあさうり(淺瓜)、所謂「難波ノ葦ハ伊勢ノ濱荻」デ土地ナドノ相違カラ自然ニ言語ニモ相違ノ有ルノハ迚モ免カレ得ラレヌモノデ、コレラ一地方又ハ一部分ニ限ツテ通用シ得ルダケノ語ガ即チ誰モイフ方言デアル。

俚語ハ方言ノ一部分デアルニハ相違ナイ、ソノ何ノ點カラ方言ト違フカハ甚ダ說明ニモ苦シム。ワツカニ注目スベキ處ハ方言ハ眞面目ナ思想デ云ヒ、俚言ハ眞面目デナイ思想デイフ、只此ノ奇妙ナ點バカリ。ヨシヤ東京デあり(蟻)トイフノヲ越後デありん坊ト云フニシロ、其云ヒヤウニ眞面目ナ思想ガ有レバ充分ニ方言トハ見ラレル。處ヲ、モシモ東京デありん坊ト云ツタライカガ？ 東京ニアリノ語ガ無イナラ知ラズ、有ツテ殊更ニ他ノ方言ヲ用ヰルカラニハ其用ヰルトキノ思想ノ眞面目デ無イコトハ云フマデモ無イ。

(十六) 熟語タルベキ資格ノ有無ヲ定メルニハ其意味ト音調トノ變化トヲ檢ベルニ限ル。

意味ノ變化トハ語ガ熟語トナツテ後其原語ガ有ツダケノ意味ノ外更ニマタ特殊ノ意味ヲ出スノヲ云フ。例スレバ、やまどり(山鳥)トイフ語、ソノ原語ハやまトとりトノ唯二ツ。ソノ二ツガ相合シテ別ニ一ツノ語ヲ成シタ處デ、必ズシモ其新タニ成シタやまどりトイフ語ガ普通ニ「山ノ



鳥」トノ義ハ示サヌ。別ニ一種ノ鳥、尾ノ長イ一種ノ鳥トノ義ヲ成ストコロデ、コレガ即チ特殊ノ意味ヲ出ス類。純粹ノ熟語ト看做シ得ラレルモノデアル。

音調ノ變化トハ語ガ熟語トナツテ後多ク其原語トハ全ク違ツタ調子ニナルノヲ云フ。例スレバ、からしな(辛子菜)トイフ語、ソノ語原ハからし(全平聲)トな(上聲)トノ唯二ツ。但シ二ツガ合シタ所デ――合シテ原語トハマタ特殊ノ意味ヲ成シタトコロデ――即チ、其點カラ言ヘバ、タシカニ熟語ノ資格ヲ一ツ具ヘタトコロデ――サテ其調子ハドウカト云ヘバ、何ゾ料ラン、コレマタ原語トハ丸デ違ハウトハ！ 原語ソノママナラバからしな(平平平上)デアルベキ筈、但シ、苟シクモ結ビ付イタガ最期、一變シテからしな(平平平平)トナル。同ジク、はなぞの(花園)トイフ語、原語ハはな(平上)ニその(上平)デアル故、結ビ付イテモ平上上平カトイフニ、怪我ニモ自然ニサウハ爲ラズ、必ズ變シテはなぞの(平平平平)トナル。コレラ變化ハ自然ニ出ル。決シテ人造ノ手際デ無イ。

(十七) 資格ニ合フダケノ熟語ハ辭書ニ素ヨリ擧ゲテ可シ、ヨシ資格ニ合ハズトモ然ルベキ由緒カラ熟語ラシクナツタ語ハ是亦擧ゲルノガ當然デアル。

私見ニ因ツテハ前ノ第十六項ノ資格ニ照ラシテ一一ノ熟語ヲ採ル。但シ此資格ニ外レテモ猶由緒ノアルノハ採ル。

大槻氏ハはるかぜ(春風)ヲ熟語デ無イトイフ。ツマリハ氏ハ此音調ノ變化ヲ認メヌモノノ、前イフトホリノ筋カライヘバ、是非モ無クはるかぜ、コレマタ一ツノ熟語デアル。はるハ普通ガ上平、かぜハ平平、但シ合スレバ平上平平となる、上平平平トハナラヌ。

コレヲはるかぜノ類、原語以外ノ語ヲ出サヌ熟語ハ採ラヌトイフノガ大槻氏ノ說デアル。サ

リナガラ、音調ノ點カラ云ヘバ右ノトホリデアル ニ、ソレモ顧ミズ斷然打チ捨テテ搆ハヌカ？ 私見デハ不道理ト考ヘル。

タダシ、一方マタ別ニ一種ノ魔物ガ有ル。熟語ラシクナリナガラ原語以外ノ義ヲモ出サズ、マタ音調モ變化セズ、冷淡ニ殘ル類ノ語、即チできあき(出來秋)ノヤウナ、コレ。原語以外ノ義ヲ出サヌ以上ハ採ラヌトイフ論者ハ必ズコノ類ノ語ハ省キサウナモノ。處ガ比比ミナサウデ無イ。自家撞着デハ無カラウカ？ 私見デハコノ類ノ語、ヨシ第十六項ノ資格ニハ外レタニシロ、同シク亦平等ニ採リ上ゲル。ナゼトイヘバ、コレラ何レモ由緒ガ有ル。

できあきトハ云ヘル。できなつ、できはる、できぞし、できづきナドトハ夢ニモ云ヘヌ。シテ見レバできハ限リノアル語ニ添フダケノモノ、他ノオホ(大)ナドガ何レノ名詞ニモ搆ハズ續キ得ルノトハ類ガ違フ、即チ類ガ違フトイフダケノ由緒ガ有ル。凡ソ此タグヒノ語ハ頗ル多ク、或ハアル特殊ノ慣例カラ、或ハ音調ノ加減カラコレニ添ツテ、アレニ添ハヌナドノ規律ガ有ル、コノ規律ノ有無ヲ示ス事ガ辭書ニ欠ケヌ眼目デアル。

コレラノ規律ハ名詞以外ノモノニモ適フ。適ハヌノハ語ガ句ニ出來テ特殊ノ意味モ、特殊ノ音調モ出サヌ場合ヒバカリ、他ハ皆適フ。

(十八) 日本語ニハす、又ハするヲ添ヘテ動詞ノ體ヲ成スノト、又成サヌノトノ二種ガ有ル、コレヲ日本辭書デハ一一示スノガ當然デアル。

明ラカニ此點ニ於テ自分ハ大槻文彦氏ト意見ヲ異ヘル。大槻氏ハ斯ウイフ、――「アラユル名詞ニすヲ添ヘテ動詞ニ爲シ得ラレル」。ト、ヨシ明言ハ爲ヌニシロ、其「言海」ニ於テ是ダケノ意味ハホノメカサレタ。



スベテノ名詞ガモシモ眞實コトゴトクす又ハするヲ添ヘ得ルモノナラバ素ヨリ一モ二モ論ハ無イ。ガ、決シテサウデ無イ。自分ノ見ル所デ、ソノ添フノト添ハヌノト有ル以上ハ夢ニモ之ヲ一概ニハ言ヒ下セヌ。假リニ漢語デ例ヲ取レバ「奮擊」トイフ名詞(ト見做シテ)是ニハ無論すガ付イテ「奮擊す」ト充分爲ル。タダシ「未練」トイフ語ノ時ハイカガ？ 果タシテ「未練す」ト言ヘヤウカ？ 日本語デモ例ハ同ジ、あさい(朝寢)ハあさいすトモ言ヘル、但シ、あさ(朝)ハあさすト言ヘヌ。

卒然トシテ迷ヘバ此すヲハするノ屬クベキ語ハ動詞カラ生マレタ名詞ナドニ限ルカトモ見エル。おほとのごもりす、ともつびくひす、あさいす、ゆきかへりすナド何レモ皆此例ガ、決シテ又サウデ無イ。

ふみ(文)ハ言フマデモ無ク、獨立ノ名詞デアッテ、ソレデふみすト爲ラナクハ無シ、同シクかつら(鬘)モ名詞デアッテ、ソレデ猶かつらすト爲ル。ソレ故ニ、すヲハするノ屬クベキモノ、必ズシモ動詞カラノモノニ限ラヌ。

シテ見レバイヅレニシテモ一言デ此處ヲ推シ得ベキ天則ハ要スルニ此場合ヒ無ササウニ思ハレルトコロデ、ソモソモ案内ヲ知ラヌモノハ何ヲ標準トシテ宜カラウカ？ 辭書ニ此區別ヲ示ス必要ハ即チ此點。

ソレ故ニマタ言フマデモ無ク、此すヲハするノ附屬スル語ノ一種類トシテ、是ダケハ許シテ大槻氏モ言海ニ擧ゲタとうす(困)あんす(案)ナドノ語モ無論自分ハ辭書ノ中ニ採ル。

十九) 日本語ニ限ッテ、名詞、動詞、形容詞、助動詞、副詞、接續詞、感歎詞、天爾乎波、及ビ枕詞以外ニ種ノ詞ガ存在スル。

コノ事從來ノ諸學者ハイヅレモ冷ヤカニ觀過グシテ別段ノ注意ヲ加ヘナカツタ。 アルヒハ之ヲ名詞ト見、或ヒハ形容詞ト考ヘタバカリ、誰モ事事シクハ見ナカツタ。

即チ、マヅ純粹ノ日本語カラ、例スレバあか(赤)トイフ類ノ語、ソノ眞實ノ性質ハ果タシテ何カ？從來ノ學者タチハ何レモ之ヲ名詞トイヒ、デ無ケレバマタ形容詞トイフ。 ガ、是ガリルイ。

畢竟コレヲ名詞トイフノハ、酷ク評スレバ、ソノ實ヤリドコロノ無イタメノ苦肉ノ手段デ而モマタ形容詞トイフノハあかし(赤し)ニ最モ近イ形ヲ做シタバカリノ故デアル。

名詞、コレヲ文法カラ言ハズ、言語學ノ上カラ見タラバ何ト解イテ宜カラウカ？ モシモ此あかヲ名詞トスル事ガヒトリ語法カラノミデ無ク、他ノ言語學カラ見テモ正ニ適當シテ居ルナラバ論ハ無イ。 ガ、適當セヌ。

稍長クナルモノノ、斯ウナレバマヅ「名」トイフモノカラ、簡畧ニシロ、イフ必要ガ有ル。 是ニツイテハほいつとねいヤまくす、みゆらるノ諸先輩ガ既ニ大方ハ言ヒ盡クシテ、甚ダシクハ遺憾モ無イ。 即チ、ワレワレノ先祖ガマヅ物又ハ事ニ對シ、ソノ最モ此方ノ目ニ付イタ點ヲ捕ヘ、ソノママヲ付ケタモノガ、所謂ソノ物、又ハ事ノ「名」デ、之ヲ日本語デ例スレバうみ(海)しほ(鹽)ノ故ニうしほ(潮)トイヒ、いづ(出)みづ(水)ノ故ニいづみ(泉)トイヒ、ふみ(文)て(手)ノ故ニふで(筆)トイヒ、つち(土)もり(盛)ノ故ニつむれ(培壘)トイフ類、ソノ時ニ目ニツイタ點ハ人ニヨツテ違フニシロ、兎モ角モソノ對スル物事ノ特質(デ、無クトモ、特質ラシイトコロ)ヲ捕ヘ來テソノ名トシタ、コレカラシテ考ヘレバ日本デハ古事記、萬葉ノ昔カラ之ヲ「な」(名)トイヒ、英デハ之ヲ「ねえむ」(Name)トイヒ、さんすくりつとデハ之ヲ「にやまん」トイヒ、拉丁デハ之ヲ「のおめん」トイフヤウナ、イヅレモ是ダケハNノ音ヲ大方出スノモ或ヒハ又何カノ點ニ於テ相一致關係スル所ハ有ルカモ知レヌ。 ヨシサウデ無イ處ガ、兎モ角モ此命名法ハ何レノ國、何レノ人民ヲ問ハズコトゴトク皆一樣ノ法則ノ下ニ在ツテ行ハレル處デ、サテサウシテ出來タ、所謂「名」トイフモノハ實際ドウイフ性質ノ物カ？

スデニ其本來ガソレゾレノ固有ノ點ヲ出來ルダケ取ツテ「名」トハスル。 ガ、其固有ノ點ヲ取ツタバカリデハマダ「名」ノミニハ必ラズ限ラヌ。 動詞、形容詞ナドノ他ノ語デモ固有ノ點ハ何レモ取ル。

タダ取ツテノ後ニ於テ吾々ノ理解ニ持チ來ラス工合ヒガ違フ。 動詞ナラバ「はたらき」ヲノミ言ヒアラハス、即チすぺえす(空間)デ無クテたいむ(時間)ヲ示ス、形容詞ナラバ「性質」ヲノミ言ヒアラハス即チすぺえすデモたいむデモ無イトコロヲ示ス、副詞ナラバ「性質」ノホカニたいむヲ稍示ス、すぺえすハヤハリ言ハヌ、ソノ他ノ語イヅレモ皆一致シテすぺえすヲバ示サヌトコロデ、サテ此「名」バカリハドウカト云ウニ、正ニ只是バカリハ明キラカニすぺえすヲ言ヒアラハス。

正ニタダ「名」バカリハすぺえすヲ言ヒアラハス。 ヨシヤ「智慧」「こころ」ナドノ無形ノモノニシロ、「山」「さと」ナドノ有形ノモノニシロ、ソノ語ガ言ヒアラハシテ吾吾ノ理解ニ持チ來タストコロハ必ラズ皆ソノすぺえすデ、即チ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、ツマリソノ目的トスルモノヲ一物體トシテ理解サセル。

コノ、一物體トシテ理解サセル事ガ「名」ニカナラズ屬スル物質トスレバ、單ニソノ「名」ノ文法上名目、即チ「名詞」トイフモ同ジク此特質ヲ持ツト言ヘル。

ガ、實ニ此一點！ 今マデヲ序論トシタ子細モ亦コレ故。 從來ノ諸學者ガ或ハ名詞、又ハ形容詞ト見做シタとづか(靜)、あか(赤)、あきらか(明)ナドノ語ハ、自分ノ意見ニ於テハ、前言フダケノ特

質ヲ持タヌ、――すべえすヲ言ヒアラハサヌ。

ココニ至ルト多少彼ノ一種ノ詭辯哲學者、即チ堅白同異ノ辯者ノ言フ事ト稍似タラシクナルモノ、實ノトコロ自分ノ理解デ、コノしづか、あかナドニすべえすガ有ルトハ言ヘヌ。しづかナ物ハ有ル。タダシ、しづかト云フモノガすべえすヲ充タシテ居ルトノ理解ハ出來ヌ。あかい花ハ有ル。タダシ、あかトイフモノガ獨立ニ存在スルトノ理解ハ出來ヌ。

モシモすべえすヲ言ヒアラハスノガ名詞デアルトイフ前ノ論ガ誤マツテ居ルナラ是非モ無シ、ソレガ誤マツテ居ヌ以上ハ疑ヒモナクコレラすべえすヲ現サズ、ソノクセ名詞ニ最モ近イ形チヲ成シタ語ハ斷シテ名詞トハ言ヘヌ。

ソレユヱニ此辭書ニ於テハ是等ノ語ヲ名詞トハ見做サズ、ソノ性質ノ一部分ガ多ク、他ノ名詞、又ハ形容詞、又ハ動詞ナドノ基本トナル趣キヲ持ツトコロカラ假リニ名ヅケテ根詞トイヒ、タシカニ名詞ト區別ヲ立テタ。

ヒトリ純粹ノ日本語ノミデ無ク、支那カラ傳來シタ語ニ至ツテモ道理ハ同ジ、「鮮明」「胡亂」、コレラ何レモ此辭書デハ根詞ト見做ス。

根詞ノ特質ハ主ニあ又ハあるヲ添ヘテ形容詞トナリ、さヲ加ヘテ、程度ヲ示ス處ノ名詞ニナルナドノ事デ、ソレラノ委シクハ附錄ニ讓ル。

（二十）「一舉兩得」「一心不亂」「生者必滅」ナドハ其實ノトコロ語デハ無イモノノ、サテ又一ツノ成句トナツテ、歸スル處一語ト見做サレルダケノ價ヒノ有ルモノユヱ、此大辭書ニハ是等イヅレモ句トシテ採ル。

（二十一）やいゆえよノい及ビえ、わゐうゑをノう、此三ツノ字ハあいうえおノト分別スル必要モ無



イコトユヱ、他ノ辭書ト同ジク此辭書デモ之ヲあいうえおノ中ニ組入レル。

（二十二）假名ヅカヒノ不明ナ語ハイヅレモ假定シテ、ソノ理由ヲ添ヘテ載セル。

（二十三）スベテ兩樣又ハ兩樣以上ノ音デ言ヘルノハ成ルベク之ヲ兩樣ノ處ニ收メル。

（二十四）漢字ノ音ニ於テモ第二十一項ノ格ニ據ル。

（二十五）漢字ノ眞、軫、震、文、吻、問、元、吮、願、寒、旱、翰、刪、潸、諫、先、銑、霰等、此十八韻ニ屬スルモノハ何レモ舌ノサキヲ上齒ノスグノ後ロヘ付ケテ發スルん、即チNノ音ヲ出ス。ソレユヱ是カラ來タノハ昔カラ同シクに(NI)トモナリ、ぜに(錢)らに(蘭)ナドノ音ヲアラハス。又、侵、寢、沁、覃、感、勘、鹽、琰、豔、咸、豏、陷等、此十二韻ニ屬スルモノハ何レモ唇ヲ上下共ニ輕ク閉ヂテ發スルん、即チMノ音ヲ出スソレユヱ、是カラ來タノハ昔カラ同シクみ(MI)トモナリ、とうとみ(燈心)、かざみ(汗衫)ナドノ音ヲアラハス。但シ、後世ニ至ツテハ區別ガ無イユヱ、特別ノ先例ノ有ルノハ格別、一般ハ皆差別ヲ立テズモツパラ一樣ニんノ中ニ組ミ入レル。

# 語法摘要

此辭書ニ於テハ日本語ヲ第一、名詞、第二、代名詞、第三、數詞、第四、動詞、第五、形容詞、第六、助動詞、第七、副詞、第八、接續詞、第九、テニヲハ、第十、感歎詞、第十一、接頭語、第十二、接尾語、第十三、根詞ノ十三種ニ分類シテ取リアツカフ。

第一ノ名詞ハ有形無形ニ限ラズスベテノ物又ハ事ノ名ヲイフ。—山、川、月、日、文學、智慧、頓刺、蘇經、日本、支那、富士、千隈ナドノ類。

第二ノ代名詞ハ名詞ノ代用トナル語ヲイフ。—ソレ、コレ、アレ、カレ、アナタ、ソナタノ類。

第三ノ數詞ハ有形無形ニ限ラズ、又物ハ事ノ數ヲアラハス語ヲイフ。—ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツノ類。

第四ノ動詞ハ有形無形ニ限ラズ物又ハ事ノハタラキヲアラハス語ヲイフ。—行ク、カヘル、ススム、取ルノ類。

動詞ニハ下ニ記スニツノ性質ノウチノ一ツノ性ガ必ズ有ル、即チ、自動ト他動ト。自動トハ他ニハタラキノ及ブヤウモノデ、他動トハソノ反對、即チ「人ガ行ク」ノ「行ク」ハ自動デ、「馬ガ草ヲ好ム」ノ「好ム」ハ他動デアル。

動詞ハソノハタラキノ意味ニヨツテ語ノヨハリノ處ヲ變化スル性質ヲ持ツ。コノ變化ヲ語尾變化、又ハ活用トイフ。コノ活用ニ將然、連用、終止、連體、已然、希求ノ六種ガ有ル。(第一表參考)。

將然言(英語、インパーフエクト、サブジヨンクテイヴ)ハ「開カントス」ノ「キカ」、「起キントス」ノ「オキ」ノ類、ハタラキヲ未來ニ含ムモノヲイフ。

連用言(英語、パアヂシプル、プレセント、或ハコムパウンド、プヂーム)ハ「開キテ」ノ「キキ」、「起キテ」ノ「オキ」、或ハ「開キゴト」ノ「キキ」、「起キフシ」ノ「オキ」ノ類、ハタラキガ他ニツラナルモノヲイフ。

終止言(英語、インデカテイヴ、ムウド)ハ「開ク」ノ「キク」、「起ク」ノ「オク」ノ類、ハタラキガ完クナツタモノヲイフ。

連體言(英語、ツアパル、ナ、ツヂエクテイヴ)ハ「開ク時ハ」ノ「キク」、「起クトキハ」ノ「オク」ノ類、ハタラキガソノ關係スル詞ヲ形容スル力ヲ持ツモノヲイフ。

已然言(英語、パーフエクト、サブジヨンクテイヴ)ハ「開ケバ」ノ「キケ」、「起クレバ」ノ「オクレ」ノ類、ハタラキガ過去ニ屬シタモノヲイフ。

希求言(英語、インペラチヴ、ムード)ハ「ヨク開ク!」ノ「キケ」、「イザ起キヨ」ノ「オキヨ」ノ類、ハタラキガ命令ヲ受ケルモノヲイフ。

但シ、コノ語尾變化ノ樣子ガ往古現今互ニスコシ違フ。往古ノハ今モハヤ死ンデ日本人ノ口ニ上ラズ、ソヅカニ殘骸ヲ「文」ニ殘ス。現今ノハ大概ノ日本人ガ平常口ニシテ、全國ニホトンド普通トナル。將然、連用ソノ他四種ハ是ニモ在ル。



第五ノ形容詞ハ名詞ノ性質ヲアラハスモノヲイフ。—ウツクシキ山ノ「ウツクシ」、人多シノ「オホシ」ノ類。

コレニ二類ノ語尾變化ガ有ル。委細ハ第二表。

第六ノ助動詞ハ動詞ニ添ツテ動詞ノ意ヲ充分ニアラハサセルモノヲイフ。—動クベシノ「ベシ」ノ類。

第七ノ副詞ハ動詞、形容詞、又他ノ副詞ニモ添ツテ、ソノ添フ相手ノ語ノ意味ヲ充分ニアラハサセルモノヲイフ。—オホイニ來ルノ「オホイニ」、共ニ高シノ「トモニ」、スコブル近クアリノ「スコブル」ノ類。

第八ノ接續詞ハ語、句、又ハ文ノ間ニ挾マツテ雙方ヲ連續サセルモノヲイフ。—花オヨビ月ノ「オヨビ」、其他、アルヒハ、又、而シテノ類。

第九ノテニヲハ(又、テニハ)ハ語ト語トノ間ニ挾マツテソレラノ語ノ方向、關係ヲ示スモノヲイフ。—ガ、ノ、ニ、ヲ、ヅ、ノ、ヤ、ハ、モノ類。

第十ノ感歎詞ハ物又ハ事ニ感ジテ發スル聲ヲイフ。—オヤ、ヤツ、アア、イサナドノ類。

第十一ノ接頭語ハ他ノ語ノ頭ニツキ、ソノ意味ヲ附ケ加ヘルモノヲイフ。—ニヒヅキノ「ニヒ」、マコゴロノ「マ」ノ類。

第十二ノ接尾語ハ他ノ語ノ尾ニツキ、ソノ意味ヲ附ケ加ヘルモノヲイフ。—キヨゲノ「ゲ」、ウレシサウノ「サウ」ノ類。

第十三ノ枕詞ハ語路又ハ意味ノ緣カラ他ノ語ノ前ニマヅ出テ、ソノ語ヲ呼ビ出スモノヲイフ。—アシビキノ山ノ「アシビキ」、アラタマノトシノ「アラタマ」ノ類。

第十四ノ根詞(コレニ就イテハ緒言第十九項ニクハシク述ベテアルガユヱココニハ省ク)。

- 將然言……
  - 新
    - 不充分連續法……
  - 英
    - Subjunctive Imperfect.
- 連用言……
  - 現在分詞……Participiple Present.
  - 熟語法……Compound Form.
  - 名詞法……Gerund.
- 終止言……直說法……Indicative.
- 連體言……分詞法……Verbal Adjective.
- 已然言……充分連續法……Subjunctive Perfect.
- 希求言……命令法……Imperative.

# 第一表（動詞普通言語體）

| | 終止言（第一變化） | 連體言（第二變化） | 已然言（第三變化） | 將然言（第四變化） | 連用言（第五變化） | 希求言（第六變化） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (一) | | | | | | | |
| か行 | きく（聞） | きく | きけ<br>こせ<br>かて<br>はへ<br>すめ<br>きれ<br>（ば） | きく<br>とす<br>かつ<br>はふ<br>すむ<br>きる<br>（なら） | きき<br>とし<br>かち<br>はひ<br>すみ<br>きり | きけ<br>こせ<br>かて<br>はへ<br>すめ<br>きれ | 所謂四段活用 |
| さ行 | とす（越） | とす | | | | | |
| た行 | かつ（勝） | かつ | | | | | |
| は行 | はふ（這） | はふ | | | | | |
| ま行 | すむ（住） | すむ | | | | | |
| ら行 | きる（切） | きる | | | | | |
| な行 | しぬ（死） | しぬ | しぬ）ば | しぬ）なら | しに | しぬ | 所謂な行變格 |
| ら行 | ある（有） | ある | あれ）ば | ある）なら | あり | あれ | 所謂ら行變格 |
| あ行 | える（得） | える | えれ<br>うける<br>やせる<br>たてる<br>かねる<br>わきまへる<br>つとめる<br>きえる<br>（ば） | える<br>うける<br>やせる<br>たてる<br>かねる<br>わきまへる<br>つとめる<br>きえる<br>（なら） | え<br>うけ<br>やせ<br>たて<br>かね<br>わきまへ<br>つとめ<br>きえ | え<br>うけ<br>やせ<br>たて<br>かね<br>わきまへ<br>つとめ<br>きえ | 所謂下二段活 |
| か行 | うける（受） | うける | | | | | |
| さ行 | やせる（痩） | やせる | | | | | |
| た行 | たてる（立） | たてる | | | | | |
| な行 | かねる（兼） | かねる | | | | | |
| は行 | わきまへる（辨） | わきまへる | | | | | |
| ま行 | つとめる（勤） | つとめる | | | | | |
| や行 | きえる（消） | きえる | | | | | |



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (二) | | | | | | | |
| ら行 | かれる（枯） | かれる | かれれ<br>うける<br>やせる<br>たてる<br>かねる<br>わきまへる<br>つとめる<br>きえる<br>（ば） | かれる<br>うける<br>やせる<br>たてる<br>かねる<br>わきまへる<br>つとめる<br>きえる<br>（なら） | かれ<br>うけ<br>やせ<br>たて<br>かね<br>わきまへ<br>つとめ<br>きえ | かれろ<br>うけろ<br>やせろ<br>たてろ<br>かねろ<br>わきまへろ<br>つとめろ<br>きえろ | 所謂下二段活 |
| わ行 | うける（受） | うける | | | | | |
| か行 | おきる（起） | おきる | おきれ<br>おちる<br>こひる<br>うらみる<br>おいる<br>とりる<br>（ば） | おきる<br>おちる<br>こひる<br>うらみる<br>おいる<br>とりる<br>（なら） | おき<br>おち<br>こひ<br>うらみ<br>おい<br>とり | おきろ<br>おちろ<br>こひろ<br>うらみろ<br>おいろ<br>とりろ | 所謂中二段活 |
| た行 | おちる（落） | おちる | | | | | |
| は行 | こひる（戀） | こひる | | | | | |
| ま行 | うらみる（恨） | うらみる | | | | | |
| や行 | おいる（老） | おいる | | | | | |
| ら行 | とりる（戀） | とりる | | | | | |
| か行 | きる（着） | きる | きれ<br>にる<br>ひる<br>みる<br>いる<br>ぬる<br>（ば） | きる<br>にる<br>ひる<br>みる<br>いる<br>ぬる<br>（なら） | き<br>に<br>ひ<br>み<br>い<br>ぬ | きろ<br>にろ<br>ひろ<br>みろ<br>いろ<br>ぬろ | 所謂上一段活 |
| な行 | にる（似） | にる | | | | | |
| は行 | ひる（干） | ひる | | | | | |
| ま行 | みる（見） | みる | | | | | |
| や行 | いる（射） | いる | | | | | |
| わ行 | ぬる（居） | ぬる | | | | | |
| か行 | ける（蹴） | ける | けれ）ば | ける）なら | け | けろ | 所謂下一段活 |
| (三) | くる（來） | くる | くれ）ば | くる）なら | き | こい | 所謂カ行變格 |
| (四) | する（爲） | する | すれ）ば | する）なら | し | しろ | 所謂サ行變格 |
| (五) | ながぬす（長居） | ながぬする | ながぬすれ）ば | ながぬせば | ながぬ | ながぬせよ | …… |
| (六) | ながぬする（長居） | ながぬする | ながぬすれ）ば | ながぬする）なら | ながぬ | ながぬしろ | …… |
| さ行 | | | | | | | |

# 第二表（形容詞普通言語體）

| 終止言 | 連體言 | 已然言 | 將然言 | 連用言 |
|---|---|---|---|---|
| 變化第一 | 變化第二 | 變化第三 | 變化第四 | 變化第五 |
| うれしい | うれしい | うれしいけれ（うれしけれ）ば | うれしい（なら） | うれしく |

## 第一表及ビ第二表ノ說明

コノ委シクハ附錄ノ日本新文法ノ中デ云フツモリ、ソレユエココデハ概畧ダケヲ言フ。不思議ナコトニハ動詞ノ語尾變化ハ、コトニ普通言ノ方ニ於テ簡便デ、表ニ示ストホリ古文法ニ云フ四段其他ノモノ（即チ規則動詞）ハ引キクルメテ普通言デハ二種トナル。概言スレバ左ノトホリ。——

古文ノ四段、あ行變格、及ビら行變格ハ普通言ノ一。

古文ノ上一段、上又中二段、下二段、下一段ハ普通言ノ二。

古文ノか行變格ハ普通言ノ三。

古文ノさ行變格ハ普通言ノ四。

別ニ「五」ト「六」トヲ設ケタノハ一種（主ニ動詞狀ノ名詞、即チ分詞法）ス又ハスルヲ加ヘテ動詞トナルベキ語デ、其特質トシテ第四變化ノトキ全ク其附屬物、即チす又ハするヲ打チ棄テタモノヲ云フ。

普通言ノ形容詞ハ是亦古文ヨリ大キニ簡畧デ、く、しきナド二種類ノ變化ハ無ク、イヅレノ語デモ表ニ示ストホリ一律ヲ以テ貫キ得ラレル。



## 年號帝位表

| | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 康保(かうほう) | 甲子 | 六二四 六二七 | 四 | |
| 安和(あんな) | 戊辰 | 六二八 六二九 | 二 | 冷泉 |
| 天祿(てんろく) | 庚午 | 六三〇 六三二 | 三 | |
| 天延(てんえん) | 癸酉 | 六三三 六三五 | 三 | |
| 貞元(ていげん) | 丙子 | 六三六 六三七 | 二 | 圓融 |
| 天元(てんげん) | 戊寅 | 六三八 六四二 | 五 | |
| 永觀(えいくわん) | 癸未 | 六四三 六四四 | 二 | |
| 寛和(くわんな) | 乙酉 | 六四五 六四六 | 二 | 花山 |
| 永延(えいえん) | 丁亥 | 六四七 六四八 | 二 | |
| 永祚(えいそ) | 己丑 | 六四九 六四九 | 一 | |
| 正暦(しやうりやく) | 庚寅 | 六五〇 六五四 | 五 | |
| 長德(ちやうとく) | 乙未 | 六五五 六五八 | 四 | 一條 |
| 長保(ちやうほう) | 己亥 | 六五九 六六三 | 五 | |
| 寛弘(くわんこう) | 甲辰 | 六六四 六七一 | 八 | |
| 長和(ちやうわ) | 壬子 | 六七二 六七六 | 五 | 三條 |
| 寛仁(くわんにん) | 丁巳 | 六七七 六八〇 | 四 | |
| 治安(ちあん) | 辛酉 | 六八一 六八三 | 三 | |
| 萬壽(まんじゅ) | 甲子 | 六八四 六八七 | 四 | 後一條 |
| 長元(ちやうげん) | 戊辰 | 六八八 六九六 | 九 | |
| 長曆(ちやうりやく) | 丁丑 | 六九七 六九九 | 三 | |
| 長久(ちやうきう) | 庚辰 | 六九九 七〇三 | 四 | 後朱雀 |
| 寛德(くわんとく) | 甲申 | 七〇四 七〇五 | 二 | |
| 永承(えいしよう) | 丙戌 | 七〇六 七一二 | 七 | |
| 天喜(てんき) | 癸巳 | 七一三 七一七 | 五 | |
| 康平(かうへい) | 戊戌 | 七一八 七二四 | 七 | 後冷泉 |
| 治曆(ちりやく) | 乙巳 | 七二五 七二八 | 四 | |
| 延久(えんきう) | 己酉 | 七二九 七三三 | 五 | 後三條 |
| 承保(しようほう) | 甲寅 | 七三四 七三六 | 三 | |
| 承曆(しようりやく) | 丁巳 | 七三七 七四〇 | 四 | |
| 永保(えいほう) | 辛酉 | 七四一 七四三 | 三 | 白河 |
| 應德(おうとく) | 甲子 | 七四四 七四六 | 三 | |
| 寛治(くわんぢ) | 丁卯 | 七四七 七五三 | 七 | |
| 嘉保(かほう) | 甲戌 | 七五四 七五五 | 二 | |
| 永長(えいちやう) | 丙子 | 七五六 七五六 | 一 | |
| 承德(しようとく) | 丁丑 | 七五七 七五八 | 二 | 堀河 |
| 康和(かうわ) | 己卯 | 七五九 七六三 | 五 | |
| 長治(ちやうぢ) | 甲申 | 七六四 七六五 | 二 | |
| 嘉承(かしよう) | 丙戌 | 七六六 七六七 | 二 | |
| 天仁(てんにん) | 戊子 | 七六八 七六九 | 二 | |
| 天永(てんえい) | 庚寅 | 七七〇 七七二 | 三 | |
| 永久(えいきう) | 癸巳 | 七七三 七七七 | 五 | 鳥羽 |
| 元永(ぐわんえい) | 戊戌 | 七七八 七七九 | 二 | |



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 保安(ほうあん) | 庚子 | 七八〇 七八三 | 四 | |
| 天治(てんぢ) | 甲辰 | 七八四 七八五 | 二 | |
| 大治(たいぢ) | 丙午 | 七八六 七九〇 | 五 | |
| 天承(てんしよう) | 辛亥 | 七九一 七九一 | 一 | |
| 長承(ちやうしよう) | 壬子 | 七九二 七九四 | 三 | 崇德 |
| 保延(ほうえん) | 乙卯 | 七九五 八〇〇 | 六 | |
| 永治(えいぢ) | 辛酉 | 八〇一 八〇一 | 一 | |
| 康治(かうぢ) | 壬戌 | 八〇二 八〇三 | 二 | |
| 天養(てんやう) | 甲子 | 八〇四 八〇四 | 一 | |
| 久安(きうあん) | 乙丑 | 八〇五 八一〇 | 六 | 近衛 |
| 仁平(にんぴやう) | 辛未 | 八一一 八一三 | 三 | |
| 久壽(きうじゅ) | 甲戌 | 八一四 八一五 | 二 | |
| 保元(ほうげん) | 丙子 | 八一六 八一八 | 三 | 後白河 |
| 平治(へいぢ) | 己卯 | 八一九 八一九 | 一 | |
| 永曆(えいりやく) | 庚辰 | 八二〇 八二〇 | 一 | |
| 應保(おうほう) | 辛巳 | 八二一 八二二 | 二 | 二條 |
| 長寛(ちやうくわん) | 癸未 | 八二三 八二四 | 二 | |
| 永萬(えいまん) | 乙酉 | 八二五 八二五 | 一 | |
| 仁安(にんあん) | 丙戌 | 八二六 八二八 | 三 | 六條 |
| 嘉應(かおう) | 己丑 | 八二九 八三〇 | 二 | |
| 承安(しようあん) | 辛卯 | 八三一 八三四 | 四 | 高倉 |
| 安元(あんげん) | 乙未 | 八三五 八三六 | 二 | |
| 治承(ぢしよう) | 丁酉 | 八三七 八四〇 | 四 | |
| 養和(やうわ) | 辛丑 | 八四一 八四一 | 一 | |
| 壽永(じゅえい) | 壬寅 | 八四二 八四三 | 二 | 安德 |
| 元曆(ぐわんりやく) | 甲辰 | 八四四 八四四 | 一 | |
| 文治(ぶんぢ) | 乙巳 | 八四五 八四九 | 五 | |
| 建久(けんきう) | 庚戌 | 八五〇 八五八 | 九 | 後鳥羽 源頼朝 |
| 正治(しやうぢ) | 己未 | 八五九 八六〇 | 二 | |
| 建仁(けんにん) | 辛酉 | 八六一 八六三 | 三 | 源頼家 |
| 元久(げんきう) | 甲子 | 八六四 八六五 | 二 | |
| 建永(けんえい) | 丙寅 | 八六六 八六六 | 一 | 土御門 |
| 承元(しようげん) | 丁卯 | 八六七 八七〇 | 四 | |
| 建曆(けんりやく) | 辛未 | 八七一 八七二 | 二 | 源實朝 |
| 建保(けんぽう) | 癸酉 | 八七三 八七八 | 六 | 順德 |
| 承久(しようきう) | 乙卯 | 八七九 八八一 | 三 | |
| 貞應(ていおう) | 壬午 | 八八二 八八三 | 二 | |
| 元仁(げんにん) | 甲申 | 八八四 八八四 | 一 | 後堀河 |
| 嘉祿(かろく) | 乙酉 | 八八五 八八六 | 二 | |
| 安貞(あんてい) | 丁亥 | 八八七 八八八 | 二 | |
| 寛喜(くわんき) | 己丑 | 八八九 八九一 | 三 | |
| 貞永(ていえい) | 壬辰 | 八九二 八九二 | 一 | 藤頼經 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 天福（てんぷく） | 癸巳 | 一八九三 | 一 | 四條 | |
| 文暦（ぶんりやく） | 甲午 | 一八九四 | 一 | | |
| 嘉禎（かてい） | 乙未 | 一八九五 | 三 | | |
| 暦仁（りやくにん） | 戊戌 | 一八九七 | 一 | | |
| 延應（えんおう） | 己亥 | 一八九八 | 一 | | |
| 仁治（にんぢ） | 庚子 | 一八九九 | 三 | | |
| 寛元（くわんげん） | 癸卯 | 一九〇三 | 四 | 後嵯峨 | |
| 寶治（ほうぢ） | 丁未 | 一九〇七 | 二 | 藤頼嗣 | |
| 建長（けんちやう） | 己酉 | 一九〇九 | 七 | | |
| 康元（かうげん） | 丙辰 | 一九一六 | 一 | 後深草 | |
| 嘉元（しやうか） | 丁巳 | 一九一七 | 二 | | |
| 正元（しやうげん） | 己未 | 一九一九 | 一 | 宗尊親王 | |
| 文應（ぶんおう） | 庚申 | 一九二〇 | 一 | | |
| 弘長（とうちやう） | 辛酉 | 一九二一 | 三 | 龜山 | |
| 文永（ぶんえい） | 甲子 | 一九二四 | 一一 | | |
| 建治（けんぢ） | 乙亥 | 一九三五 | 三 | 後宇多 | 惟康親王 |
| 弘安（こうあん） | 戊寅 | 一九三八 | 一〇 | | |
| 正應（しやうおう） | 戊子 | 一九四八 | 五 | 伏見 | |
| 永仁（えいにん） | 癸巳 | 一九五三 | 六 | | |
| 正安（しやうあん） | 己亥 | 一九五九 | 三 | 後伏見 | 久明親王 |
| 乾元（けんげん） | 壬寅 | 一九六二 | 一 | | |
| 嘉元（かげん） | 癸卯 | 一九六三 | 三 | 後二條 | |
| 德治（とくぢ） | 丙午 | 一九六六 | 二 | | |
| 延慶（えんけい） | 戊申 | 一九六八 | 三 | 花園 | 守邦親王 |
| 應長（おうちやう） | 辛亥 | 一九七一 | 一 | | |
| 正和（しやうわ） | 壬子 | 一九七二 | 五 | | |
| 文保（ぶんぽう） | 丁巳 | 一九七七 | 二 | | |
| 應（げんおう） | 己未 | 一九七九 | 二 | | |
| 元亨（げんきやう） | 辛酉 | 一九八一 | 三 | | |
| 正中（しやうちゆう） | 甲子 | 一九八四 | 二 | 後醍醐 | |
| 嘉暦（かれき） | 丙寅 | 一九八六 | 三 | | |
| 元德（げんとく） | 己巳 | 一九八九 | 二 | | |
| 元弘（げんこう） | 辛未 | 一九九一 | 三 | 光厳 | |
| 建武（けんむ） | 甲戌 | 一九九四 | 二 | 後醍醐 | |
| 南朝 | | | | | |
| 延元（えんげん） | 丙子 | 一九九六 | 四 | 後醍醐 | |
| 興國（こうこく） | 庚辰 | 二〇〇〇 | 六 | | |
| 正平（しやうへい） | 丙戌 | 二〇〇六 | 二四 | 後村上 | |
| 德（げんとく） | 庚戌 | 二〇〇三 | 二 | | |
| 中（ぶんちゆう） | 壬子 | 二〇〇三 | 三 | | |
| 授（てんじゆ） | 乙卯 | 二〇〇三 | 六 | 後龜山 | |
| 弘和（こうわ） | 辛酉 | 二〇〇四 | 三 | | |



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 元中（げんちゆう） | 甲子 | 二〇〇四 | 九 | | |
| 北朝 | | | | | |
| 建武（けんむ） | 丙子 | 一九九六 | 二 | 光明 | 足利尊氏 |
| 暦應（りやくおう） | 戊寅 | 一九九八 | 四 | | |
| 康永（かうえい） | 壬午 | 二〇〇二 | 三 | | |
| 貞和（ていわ） | 乙酉 | 二〇〇五 | 五 | | |
| 觀應（くわんおう） | 庚寅 | 二〇一〇 | 二 | 崇光 | |
| 文和（ぶんな） | 壬辰 | 二〇一二 | 四 | | |
| 延文（えんぶん） | 丙申 | 二〇一六 | 五 | | |
| 應和（おうわ） | 辛丑 | 二〇二一 | 一 | 後光嚴 | 足利義詮 |
| 貞治（ぢやうぢ） | 壬寅 | 二〇二二 | 六 | | |
| 應安（おうあん） | 戊申 | 二〇二八 | 七 | | |
| 永和（えいわ） | 乙卯 | 二〇三五 | 四 | 後圓融 | 足利義滿 |
| 康暦（かうりやく） | 己未 | 二〇三九 | 二 | | |
| 永德（えいとく） | 辛酉 | 二〇四一 | 三 | | |
| 至德（しとく） | 甲子 | 二〇四四 | 三 | | |
| 嘉慶（かけい） | 丁卯 | 二〇四七 | 二 | 後小松 | |
| 康應（かうおう） | 己巳 | 二〇四九 | 一 | | |
| 明德（めいとく） | 庚午 | 二〇五〇 | 三 | | |
| 一統 | | | | | |
| 明德（…） | 癸酉 | 二〇五三 | 一 | 後小松 | 足利義滿 |
| 應永（おうえい） | 甲戌 | 二〇五四 | 三四 | 後花園 | 足利義持 |
| 正長（しやうちやう） | 戊申 | 二〇八八 | 一 | 稱光 | |
| 永享（えいきやう） | 己酉 | 二〇八九 | 一二 | | 足利義量 |
| 嘉吉（かきつ） | 辛酉 | 二〇一一 | 三 | | 足利義教 |
| 文安（ぶんあん） | 甲子 | 二〇四 | 五 | | 足利義勝 |
| 寶德（はうとく） | 己巳 | 二〇一一 | 三 | | 足利義政 |
| 德（きやうとく） | 壬申 | 二〇一二 | 三 | | |
| 康正（かうしやう） | 乙亥 | 二〇一五 | 二 | | |
| 長祿（ちやうろく） | 丁丑 | 二〇一七 | 三 | | |
| 正（くわんしやう） | 庚辰 | 二〇五〇 | 六 | | |
| 寛正（ぶんしやう） | 丙戌 | 二〇六 | 一 | | |
| 文仁（おうにん） | 丁亥 | 二〇七 | 二 | | |
| 應明（ぶんめい） | 己丑 | 二〇九 | 一八 | 御土御門 | 足利義尚 |
| 文長享（ちやうきやう） | 丁未 | 二〇四七 | 二 | | |
| 延德（えんとく） | 己酉 | 二〇四九 | 三 | | 足利義植 |
| 明應（めいおう） | 壬子 | 二〇五〇 | 九 | | |
| 文龜（ぶんき） | 辛酉 | 二〇六一 | 三 | | 足利義澄 |
| 永正（えいしやう） | 甲子 | 二〇六四 | 一七 | 後柏原 | 足利義植 |
| 大永（たいえい） | 辛巳 | 二〇八一 | 七 | | |
| 享祿（きやうろく） | 戊子 | 二〇八八 | 四 | | 足利義晴 |
| 天文（てんぶん） | 壬辰 | 二〇九二 | 二三 | 後奈良 | 足利義輝 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 弘治(とうぢ) | 乙卯 | 三 | | | |
| 永祿(えいろく) | 戊午 | 一二 | 足利義榮 | | |
| 元龜(げんき) | 庚午 | 三 | 足利義昭 | | |
| 天正(てんしやう) | 癸酉 | 一九 | 織田信長 | | |
| 文祿(ぶんろく) | 壬辰 | 四 | 豐臣秀吉 | | |
| 慶長(けいちやう) | 丙申 | 一九 | 後陽成 | | |
| 元和(げんな) | 乙卯 | 九 | 後水尾 | 德川家康 | 德川秀忠 |
| 寛永(くわんえい) | 甲子 | 二〇 | 明正 | | |
| 正保(しやうほう) | 甲申 | 四 | | 德川家光 | |
| 慶安(けいあん) | 戊子 | 四 | 後光明 | | |
| 承應(しようおう) | 壬辰 | 三 | | | |
| 明曆(めいれき) | 乙未 | 三 | | | |
| 萬治(まんぢ) | 戊戌 | 三 | 後西院 | 德川家綱 | |
| 寛文(くわんぶん) | 辛丑 | 一二 | | | |
| 延寶(えんぽう) | 癸丑 | 八 | 靈元 | | |
| 天和(てんな) | 辛酉 | 三 | | | |
| 貞享(ていきやう) | 甲子 | 四 | | 德川綱吉 | |
| 元祿(げんろく) | 戊辰 | 一六 | 東山 | | |
| 寶永(ほうえい) | 甲申 | 七 | | 德川家宣 | |
| 正德(しやうとく) | 辛卯 | 五 | 中御門 | | |
| 享保(きやうほう) | 丙申 | 二〇 | | 德川家繼 | |
| 元文(げんぶん) | 丙辰 | 五 | 櫻町 | 德川吉宗 | |
| 寛保(くわんぽう) | 辛酉 | 三 | | | |
| 延享(えんきやう) | 甲子 | 四 | | | |
| 寛延(くわんえん) | 戊辰 | 三 | 桃園 | 德川家重 | |
| 寶曆(ほうれき) | 辛未 | 一三 | | | |
| 明和(めいわ) | 甲申 | 八 | 後櫻町 | | |
| 安永(あんえい) | 壬辰 | 九 | 後桃園 | 德川家治 | |
| 天明(てんめい) | 辛丑 | 八 | | | |
| 寛政(くわんせい) | 己酉 | 一二 | 光格 | 德川家齊 | |
| 享和(きやうわ) | 辛酉 | 三 | | | |
| 文化(ぶんくわ) | 甲子 | 一四 | | | |
| 文政(ぶんせい) | 戊寅 | 一二 | | | |
| 天保(てんぽう) | 庚寅 | 一四 | 仁孝 | | |
| 弘化(こうくわ) | 甲辰 | 四 | | | |
| 嘉永(かえい) | 戊申 | 六 | | 德川家慶 | |
| 安政(あんせい) | 甲寅 | 六 | | 德川家定 | |
| 萬延(まんえん) | 庚申 | 一 | 孝明 | | |
| 文久(ぶんきう) | 辛酉 | 三 | | 德川家茂 | |
| 元治(ぐわんぢ) | 甲子 | 一 | | | |
| 慶應(けいおう) | 乙丑 | 三 | | 德川慶喜 | |
| 明治(めいぢ) | 戊辰 | 今上天皇 | | | |



| 無年號 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 同 | 辛酉 | 七六 | 神武 | | |
| 同 | 庚辰 | 七六 | | | |
| 同 | 癸丑 | 三三 | 綏靖 | | |
| 同 | 辛卯 | 三八 | 安寧 | | |
| 同 | 丙寅 | 三五 | 懿德 | | |
| 同 | 己丑 | 八三 | 孝昭 | | |
| 同 | 辛未 | 一〇二 | 孝安 | | |
| 同 | 丁亥 | 七六 | 孝靈 | | |
| 同 | 甲申 | 五七 | 孝元 | | |
| 同 | 甲申 | 六〇 | 開化 | | |
| 同 | 甲申 | 六八 | 崇神 | | |
| 同 | 壬辰 | 九九 | 垂仁 | | |
| 同 | 辛未 | 六〇 | 景行 | | |
| 同 | 辛未 | 六〇 | 成務 | | |
| 同 | 壬申 | 一〇九 | 仲哀 | | |
| 同 | 辛巳 | 六九 | 神功皇后 | | |
| 同 | 庚寅 | 四一 | 應神 | | |
| 同 | 癸酉 | 八七 | 仁德 | | |
| 同 | 庚子 | 六 | 履仲 | | |
| 同 | 丙午 | 六 | 反正 | | |
| 同 | 壬子 | 四二 | 允恭 | | |
| 同 | 甲午 | 三 | 安康 | | |
| 同 | 丁酉 | 二三 | 雄略 | | |
| 同 | 庚申 | 五 | 清寧 | | |
| 同 | 乙丑 | 三 | 顯宗 | | |
| 同 | 戊辰 | 一一 | 仁賢 | | |
| 同 | 己卯 | 八 | 武烈 | | |
| 同 | 丁亥 | 二五 | 繼體 | | |
| 同 | 甲寅 | 二 | 安閑 | | |
| 同 | 丙辰 | 四 | 宣化 | | |
| 同 | 庚申 | 三三 | 欽明 | | |
| 同 | 壬辰 | 一四 | 敏達 | | |
| 同 | 乙巳 | 二 | 用明 | | |
| 同 | 丁未 | 五 | 崇峻 | | |
| 同 | 壬子 | 三六 | 推古 | | |
| 同 | 戊子 | 一三 | 舒明 | | |
| 同 | 辛丑 | 三 | 皇極 | | |

表中紀元(從七七至七九)三年間(從九七一至一一九三)二年間は空位。又元弘を(從一九九一至一九九一)一年間、正慶を(從一九九二至一九九三)二年間とする說もあり、天平感寶が天平勝寶元年の始めに有つたといふ說もある。

# 言語配列順序摸範

あああ…あああい…あああう…あああえ…あああお…あああか…
あいあ…あいい…あいう…あいえ…あいお…あいか…
あうあ…あうい…あうう…あうえ…あうお…あうか…
あえあ…あえい…あえう…あええ…あえお…あえか…
あおあ…あおい…あおう…あおえ…あおお…あおか…
あかあ…あかい…あかう…あかえ…あかお…あかか…
あきあ…あきい…あきう…あきえ…あきお…あきか…
あくあ…あくい…あくう…あくえ…あくお…あくか…
あけあ…あけい…あけう…あけえ…あけお…あけか…
あこあ…あこい…あこう…あこえ…あこお…あこか…
あがあ…あがい…あがう…あがえ…あがお…あがか…
あぎあ…あぎい…あぎう…あぎえ…あぎお…あぎか…
あぐあ…あぐい…あぐう…あぐえ…あぐお…あぐか…
あげあ…あげい…あげう…あげえ…あげお…あげか…
あごあ…あごい…あごう…あごえ…あごお…あごか…
あさあ…あさい…あさう…あさえ…あさお…あさか…
あしあ…あしい…あしう…あしえ…あしお…あしか…
あすあ…あすい…あすう…あすえ…あすお…あすか…
あせあ…あせい…あせう…あせえ…あせお…あせか…
あそあ…あそい…あそう…あそえ…あそお…あそか…
あざあ…あざい…あざう…あざえ…あざお…あざか…
あじあ…あじい…あじう…あじえ…あじお…あじか…
あずあ…あずい…あずう…あずえ…あずお…あずか…
あせあ…あせい…あせう…あせえ…あせお…あせか…
あぞあ…あぞい…あぞう…あぞえ…あぞお…あぞか…
あたあ…あたい…あたう…あたえ…あたお…あたか…
あちあ…あちい…あちう…あちえ…あちお…あちか…
あつあ…あつい…あつう…あつえ…あつお…あつか…
あてあ…あてい…あてう…あてえ…あてお…あてか…
あとあ…あとい…あとう…あとえ…あとお…あとか…
あだあ…あだい…あだう…あだえ…あだお…あだか…
あぢあ…あぢい…あぢう…あぢえ…あぢお…あぢか…
あづあ…あづい…あづう…あづえ…あづお…あづか…
あであ…あでい…あでう…あでえ…あでお…あでか…
あどあ…あどい…あどう…あどえ…あどお…あどか…
あなあ…あない…あなう…あなえ…あなお…あなか…
あよあ…あよい…あよう…あよえ…あよお…あよか…
あぬあ…あぬい…あぬう…あぬえ…あぬお…あぬか…
あねあ…あねい…あねう…あねえ…あねお…あねか…
あのあ…あのい…あのう…あのえ…あのお…あのか…
あはあ…あはい…あはう…あはえ…あはお…あはか…
あひあ…あひい…あひう…あひえ…あひお…あひか…
あふあ…あふい…あふう…あふえ…あふお…あふか…
あへあ…あへい…あへう…あへえ…あへお…あへか…
あほあ…あほい…あほう…あほえ…あほお…あほか…
あばあ…あばい…あばう…あばえ…あばお…あばか…
あびあ…あびい…あびう…あびえ…あびお…あびか…
あぶあ…あぶい…あぶう…あぶえ…あぶお…あぶか…
あべあ…あべい…あべう…あべえ…あべお…あべか…
あぼあ…あぼい…あぼう…あぼえ…あぼお…あぼか…
あばあ…あばい…あばう…あばえ…あばお…あばか…
あびあ…あびい…あびう…あびえ…あびお…あびか…
あぶあ…あぶい…あぶう…あぶえ…あぶお…あぶか…
あぺあ…あぺい…あぺう…あぺえ…あぺお…あぺか…
あぱあ…あぱい…あぱう…あぱえ…あぱお…あぱか…
あまあ…あまい…あまう…あまえ…あまお…あまか…



あみあ…あみい…あみう…あみえ…あみお…あみか…
あむあ…あむい…あむう…あむえ…あむお…あむか…
あめあ…あめい…あめう…あめえ…あめお…あめか…
あもあ…あもい…あもう…あもえ…あもお…あもか…
あやあ…あやい…あやう…あやえ…あやお…あやか…
あゆあ…あゆい…あゆう…あゆえ…あゆお…あゆか…
あよあ…あよい…あよう…あよえ…あよお…あよか…
あらあ…あらい…あらう…あらえ…あらお…あらか…
ありあ…ありい…ありう…ありえ…ありお…ありか…
あるあ…あるい…あるう…あるえ…あるお…あるか…
あれあ…あれい…あれう…あれえ…あれお…あれか…
あろあ…あろい…あろう…あろえ…あろお…あろか…
あわあ…あわい…あわう…あわえ…あわお…あわか…
あゐあ…あゐい…あゐう…あゐえ…あゐお…あゐか…
あゑあ…あゑい…あゑう…あゑえ…あゑお…あゑか…
あをあ…あをい…あをう…あをえ…あをお…あをか…
あつあ…あつい…あつう…あつえ…あつお…あつか…
あんあ…あんい…あんう…あんえ…あんお…あんか…

右ノトホリ此大辭書デハオノオノノ語ハ頭字カラハジメテ第二字モ第三字モ、ソノ他モコトゴトク五十音ノ順次、あかさたなはまやらわニヨツテ揃ヘル。

が、ぱノヤウナ濁音ハか、はノヤウナ半濁音ハ濁音ノツギニ置ク。　但シ、ソノカタハラソレラノ語ノ字數ノ長短ヲモ斟酌シ、例スレバ、あた、あだ、あたりナドノヤウニ並ベル。コノヤウナ場合ヒニハ留ニ理ニノミ拘泥セヌ。

いつぽん(一本)、てつぱう(鉄砲)ナドノつ、即チツマルヒビキノ出ルタグヒハたつ(龍)、つま(妻)ナドノつト類モ逐フコトニコレハあかさたなはまやらわノツギニ置キ。ソレト同ジ例デ、ハネルヒビキノ出ルタグヒノん(あんず、ろんぱふナドノん)ハ又コノつノツタダシたつ(龍)つや(艶)ナドノ類、ツマラヌ音ヲ發スルつ、及ビむつ(六)むら(邑)ナドノ類、ハネヌ音ヲ發スルむハオノオノた行又ハま行ノナカニ置ク。

やいゆえよノい及ビえ、わゐうゑをノうノ三ツハヤハリ他ノ普通辭書トオナシクあいうえおノ中ニ置ク。

スベテあるてれるノ類、外國語ナドガ語原デアルモノデ、ソノ假名ノ定メカネタノハ皆其引ツバル音ノスグ前ノ假名ト同ジ横行ノ母音ヲ用ヰル。—あああすら、みいど、くうむ、めえとる、すとおぶノタグヒ。

スベテ變化スベキ語尾ハ片假名デ示シテアル。—あやしム、あざけルノ類。

しづか、あざやかノ類ノ根詞(編纂法第十九)カラ成ル形容詞ハ一一擧ゲズ(な又ハなるヲ加ヘテ出來ル故)。ソノカハリ副詞ダケハしづかに、あざやかにナドトシテ擧ゲル。　但シ外國語ヲ本トシタ根詞ハイヅレトモ勝手ニナルモノニ必ズシモ此例ニ據ラヌ。

あばれる、あたける、あくたれるナドノ異語同義ハ大抵ソレソレノ條ニ擧ゲタモノノ、ソノ比較ノ解義ニ至ツテハ一方ヘ片ヨセタトコロモ有ル。

動詞、形容詞ナドハ其本體スナハチ終止言トシテ通用スルモノヲ採リ、其他ハ語尾變化ノ表ニ讓ツテ別ニ取ラズ、即チ、あやしむトイフ終止言ノ本體ヲバ擧ゲル。　他ノあやします、あやしみてナドハ略セヌ。

動詞カラ來タ名詞ダケハ大抵別題ニシテ採ル。

(一)ノ中ニアルノハ讀ミ方、又(　)ノ中ニアルノハ調子デ、其第一、二、三ナドトイフノハ親文字ト照ラシ合ハスベキ符號トシタモノ。　あは(第二ワ)トアルノハはヲわト讀メトノシルシ。同ジクあさ(第一上)ハあヲ高調子即チ上聲ニシテ言ヘトノシルシデアル。

(一)ハ其親文字ニアテハマル漢字ヲ見セタノデ、ソノ中ニ括弧ノマタ有ルノハ支那デ主トシテ通用スルトノシルシニシタモノ。

注ノ中ニアル「略」ハハブイタモノ。「約」ハ短クツヅマツタモノ、「延」ハノビタモノ。「轉」ハウツリカハツタモノ、「轉訛」又ハ「訛リ」ハウツリカハツテ訛ツタモノ。

# 同聲異字表

ヨミコエハ同シクテ、假名ノ違フ語ガイクラモ有ル。ソレラノ場合ヒニハ此表ニ據リ、一方二方共ニ引イテコヽロミレバ遂ニ探リ得ラレル。

い、ゐ、ひ。　え、ゑ、へ。　お、を、ほ。　わ、は。　う、ふ。　え、ゑ。　ず、づ。
じや、ぢや。　じゆ、ぢゆ。　じよ、ぢよ。
か、くゎ。　かつ、くゎつ。　かく、くゎく。　かん、くゎん。　かい、くゎい。
が、ぐゎ。　がつ、ぐゎつ。　がく、ぐゎく。　がん、ぐゎん。　がい、ぐゎい。
ゆう、いう、いふ。　きゆう、きう、きふ。　しう、しゆう、しふ。　ちう、ちゆう、ちふ。
ぎゆう、ぎう、ぎふ。　じう、じゆう、じふ。　ぢう、ぢゆう、ぢふ。
し、しゆ。　しつ、しゆつ。　しく、しゆく。　しん、しゆん。
じ、じゆ。　じつ、ぢゆつ。　じく、じゆく。　じん、ぢゆん。
ち、ちゆ。　ちつ、ちゆつ。　ちく、ちゆく。　ちん、ちゆん。
ぢ、ぢゆ。　ぢつ、ぢゆつ。　ぢく、ぢゆく。　ぢん、ぢゆん。
うぬ。　すぬ。　つぬ。　ふぬ。　るぬ。　ずぬ。
おう、おふ、あう、あふ、をう、わう。　こう、こふ、かう、かふ、くわう。　ごう、ごふ、がう、がふ、ぐわう。
そう、そふ、さう、さふ。　そう、ぞふ、ざう、ざふ。　とう、とふ、たう、たふ。
どう、どふ、だう、だふ。　のう、のふ、なう、なふ。　はう、はふ、ばう、ばふ。
ぼう、ぼふ、ぞう、ぞふ。　ぽう、ぽふ、ぞう、ぞふ。　もう、もふ、まう、まふ。
ろう、ろふ、らう、らふ。
よう、やう、えう、えふ、ゑふ。　きよう、きやう、けう、けふ。　ぎよう、ぎやう、げう、げふ。
しよう、しやう、せう、せふ。　じよう、じやう、ぜう、ぜふ。　ちよう、ちやう、てう、てふ。
ぢよう、ぢやう、でう、でふ。　によう、にやう、ねう、ねふ。　ひよう、ひやう、へう、へふ。
びよう、びやう、べう、べふ。　びよう、びやう、べう、べふ。　みよう、みやう、めう、めふ。
りよう、りやう、れう、れふ。



## 略語ノ解

- 名……名詞
- 代……代名詞
- 數……數詞
- 自動……自動詞
- 他動……他動詞
- 文
  - 四段……四段活用
  - 上一……上一段
  - 下一……下一段
  - 中二、又、上二……中二段、又、上二段
  - 下二……下二段
  - か變……か行變格
  - さ變、又、五……さ行、又、五
  - な變……な行
  - ら變……ら行
- 言
  - 四段、又、一……四段活用、又、一
  - 二……二
  - 三……三
  - 四……四
  - 六……六
- 形……形容詞
- 助動……助動詞
- 副……副詞
- 接……接續詞
- 天爾……天爾乎波
- 感……感歎詞
- 接頭……接頭語
- 接尾……接尾語
- 枕……枕詞
- 根……根詞
- 句……句

## 符號ノ解

- ○……文專用
- ●……言專用
- (無印)……言文兩用
- △……古語、雅語
- ▲……方言、俚語
- ++……す又ハするヲ加ヘテ動詞ニナルモノ
- ((　))……發音
- (　)……音調
- 「　」……日本ノ通用字
- ((　))……支那ノ通用字
- 「　」……語原
- (一)(二)(三)……意味ノ轉ズルクギリ
- 字(字)……字ヲアテタ注
- 「　」……引用
- 字・字……語ノ分子
- ((…))、(…)、(…)、((…))……ソノスグ前ニアル語ノトオナジモノ
- 、……句
- 、……節
- 。……段
- ◎……成句、又ハ注意
- ——……引用ヲ呼ブクギリ
- ‖……同義
- ※……參考
- ……省略、又ハ連續

# 序

斯うまとめたものは、猶不滿足は澤山有り、しかも此原稿を版に附してから又拾つた語の數もすこぶる多い、それは改版のとき加へるつもり。

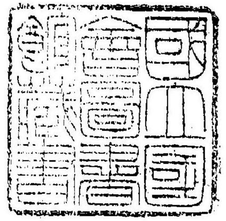
語原の不詳なのはそのままさしおいたのも有り、引用書の名は擧げたのも擧げぬのもあり、引用に臨み、原文の漢文を日本文にしたのも有り、兎も角も眼目のところを失はぬだけ。

すべて此辭書に關する委曲の意見は附錄に讓る。

明治二十五年七月

美妙齋

# 日本大辭書





## あ

あ　五十音、阿縱行第一番ノ假名。阿縱行ノ假名ハ他ノ各縱行ニ對シ、之ヲ母音ト名ヅケ、其音ハ必ズ單純ニ喉カラ出、又ハ同ジ縱行ノ中ノ他ノ母音ト相伴ナッテ別ニ一種ノ音トナル。あノ下ニ他ノ母音う、又ハうノ音ヲ發スルふガ附ク時ハ前後二音ノ相伴ナフ結果、あノ音ハ轉ジテれのヤウニ變クコトモ有ル。

△あ　(平)名。(足)　あしノ略。—あノ音。

△あ　(平)名。(畦)　あぜノ略、田ノサカヒ。—クロ。—ナハシロノあ。

△あ　(上)代。(吾—我)　われト同ジ意味。—古事記「あガ御子遊ヤクサミマスラシ。」—日本紀「伊弉冊尊ノ曰ハク、あガナセノト何ンモ晩クイダマシツル？　あハ既ニ、コモツヒクヒシッ。」

△あ　(上)代。(彼—彼)　あれト同ジ意味。

●あ　(平)代。(彼—彼)　前條ノ語ノ近体。—「あノ人」。

○あ　(上)感。(阿—唯)　呼バレテ、ソレニ答ヘル聲。

あ　(平)感。(阿—嗚—呼—噫)　ああ(嗚呼)ト同ジ意味。

あ　(上)感。(阿)　さんずくりつと語デ、悲シミ、オドロキ、ナゲキナドノ時ニ發スル聲。うんト結ビ合ッテあらんトナル。

ああ　(第一上)感。(嗚呼—吁—噫—於戲)

ああ　(全平)副。(如是—如此—如斯)　スベテ感ジテ出ス聲。—ア—ア。—アア。

●ああ　(全平)副。(如是—如此—如斯)　アノヤウニ。—アノクラヰニ。—谷峨、傾城買二筋道「文里サンダッテ、イッマデああシタコトデモアルメエ。」

ああら　(第一上)感。　ああらノ延、あらヨリ意味ヲ強メタ語。—「ああらアヤシャナ。」—「ああらアリガタヤ。」

ああし　(第一上)名。(愛)　物ニ對シ、心マタ想ヒガ殊ニヤサシク又深クソレヘ傾ク有樣。—イックシミ。—イトホシサ。—「親子ノああしニヒカサレル。」

◎同義　こひ(戀)　今日ノ普通ノ意味ニ因レバあいハこひヨリ意味ガヒロク即チあいハ一般外界ノ物ニ對シテノ想ヒニ適支ヘナク言ヘル語、但シ、こひハ寧ロソノ一部分デ、主トシテ男女間ニ起ルイックシミノ情ナドノ意味ヲ持ツ。—「生レテ三歲、あいヲ知リ、十五ヤウヤクこひヲ知ル。」

△あい　(第一上)名。　魚ノ名、あゆノ誤。

△あい　(第一上)名。　草又ハ染メ色ノ名、あゐノ誤。

●あい　(第一上)感。(唯)　呼バレテ答ヘル聲。—壺浦兒草記「ソレ、胡弓スレ、スレ！あいトコタヘテ氣ハ張リ弓。」—三世相錦繪文章「ナゼナゼ小判ハ通用セヌトイフ御フレデモ？あいサ。キノフノ今シブン。」

あい・きやう　((第四ヨ「第三四合」)(第三四上)名。(愛敬)　カハユラシサ—アイラシサ。—「コボレル程ノあいきやうアリ。」

△あい・きやう　((第四ヨ、第三四合))(第三四上)名。　年ヲコエタ鮎。

△あい・ぎやう　((…。第三ギ))　(…)名。

シホツケニシタ子モチアニ。—慶長板節用集「饅鰻」訓あいざやう」。

△あい・ざやう　(…)(…)名。あいざやう無クト、言葉品メキナド言ヘバ、言ハルル人モ聞ク人モ笑フ。

○あい・くるし　(第四上)形。〔愛くるし〕　カハユラシイ。—コボレル樣ナ愛敬ヲ持ツ。

◎多ク一般ノ小サナ動物ニツイテイフ。

●あい・くるしィ　(第五上)形。〔……し〕　あいくるしノ近体形容詞。同義。

あい・くるし・さ　(第四上)名。〔……さ〕　愛クルシクアル度合ヒ。

あい・ご　(第一上)名。〔愛護〕　愛シテ秘藏ニスルモノ(多クハ人ニツイテ)。—八犬傳「此樣ノあいごカ、鞍馬ノ若カ?」

●あい・ご　(…)名。　宇米詳、前條ノ語ノ轉カトイフ。芝居デ俳優ノ着クル髮ノ名、女形ノ用ヰル物。—著者不詳、劇場新話「リウゴ輪巻キ立テ、あいごノ老女」。

あいさ　(金平)名。　あいざさノ音便。

あい・さう　((第三ン)(第三上)名。〔愛想〕　(一)人ニ對スル、ヤサシイモテナシ。—「あいさノ好イ子」。(二)人ニ對スル、シタシイ情。—谷崎、頓城買二筋通「あいさうノ蠢キタモンダジ」。

あい・さつ　(第一上)名。〔挨拶〕　(一)コタヘ。—ハンシ。—三世相錦繊文章「阿捉ヂン、此中ノあいさつハ?」(二)禮ヲカヘスコト。—「あいさつニマハル」。

あい・し　(…)名。〔愛子〕　可愛ガル子。

あい・しふ　((第四ッ)(金平)名。〔愛執〕　フカク愛スルコヨロ。愛情ニ溺レルコト(佛教ノ語)。

あい・じやう　((第三ン、四合。第四ョ)(金平)名。〔愛情〕　愛ノココロ。

あい・じやう　(…)(…)名。(哀傷)　人ノ死ンダノヲ悲シム事。

あいス　(第一上)他動、五。〔愛す〕　(一)イツクシム。—イトホシク思フ。—メヅ。—カハユガル。—「子ヲあいす」。—「小虫ヲあいす」。(二)フカクオモフ。—「君ヲあいす」。(三)タノシミオモフ。—「眞理ヲあいす」。

「景色ノ美ヲあいす」。

●あいすル　(第三上)他動、六。〔愛する〕　あいすトオナジ意味。ソノ近體。

あい・せふ　((第三ン、ショ、第四ッ))(…)名。(愛差)　氣ニ入ッタ姿。

あい・せん　(第一上)名。〔愛染〕　(一)佛教ニ言フトコロノ明王ノ一。目ガ三ッ、手ガ六本、常ニ威怒ノ相ヲアラハス。(二)(轉ジテ)俳優ノ用ヰル顔ノ隈ドリノ名。

あい・そ　(第三上)名。〔愛想〕　あいさうノ約。—近松、釋迦如來誕生會「親モアキレテ西鶴、一代女「一ッ一ッョロシキコトハナキニ、子トイフモノ生マレテ、猶マタあいそヲツカシヌ」。

あい・そう　(金平)名。〔愛憎〕　愛スルコトトニクムコトト。—「あいそう意ニ任セ」。

あい・そ・づかし　(第四上)名。〔愛想盡かし〕　(一)他ニ對シ、ソノ人ヲ思ハヌ樣ヲ見セ、ソノ人ノ心モチヲ悪クサセル事。—谷崎、頓城買二筋道「マアあいそづかしヲヤメテ一ッ呑ミハドウダ」。(二)絶交スル事。—「モウ私ハ彼ノ人トあいそづかしヲ致シマシタ」。

△あい・だち　(第一上)形。　あひだち

なしノ音便。

△あい・だて・なし　(…)形。　あひだてなしノ音便。

△あいた・どころ　(第四上)名。〔朝所—朝食所〕　あしたどころノ音便。

△あいたん・どころ　(第五上)名。　あしたどころノ音便。—延喜式「參議以上着朝食所(訓アイタンドコロ)」。

△あいだル　(第三上)自動、下二。〔あい(愛)たる〕　(雅)ノ義ノ(愛だる)　アマエル。—シタシミ、戯レル。

あい・ぢやく　((第三ン、四合))(金平)名。〔愛着〕　あいしふト同ジ意味。(佛教ノ語)。

◎別ニ佛經ニしふぢやく(執着)トイフ語ガアル、コノ語ヲ二ッニワケテ、別ニあい(愛)ヲ加ヘテあいしふ及びあいぢやくノ二ッガ出來ル。

▲あ・いつ　(金平)代。〔彼奴〕　あやつノ轉。—三世相錦繊文章「一日ナリトメヲトニシテヤッタラあいつガ望ミモ遂ゲル道理」。

△あい・つつじ　(第四上)名。　あさつつじノ音便。—和名抄、山槐、阿伊豆豆之。

△あい・あシ　(第一上)形。　あひあしノ音便。

△あい・あシ　(…)形。〔愛無し〕　愛ラシクナイ—愛敬ノナイ。—源氏「上達部、ウヘ人ナドモあいあく目ヨンバメッツ」。

△あい・あだのみ　(第四上)名。　アテニナラス頼ミ事。—信ジタイタノミゴト。—ソラダノメ。—源氏「あいあだのみハイト苦シクナンアルベケレド」。

●あいあめ　(金平)名。　あゆなめノ轉訛。

●あい・にく　(…)副。　あやにくノ轉訛。

あいの　(第一上)名。　蝦夷ノ土人、又ソ



ノ語(蝦夷解)。

あい・べつ・りく　(第五上)名。〔愛別離苦〕　愛スル人ト別カレルクルシミ(佛經ノ語)。—近松、釋迦如來誕生會「會者定離、あいべつりくノコトワリモ、ツケテ輪廻ノ宮ノ中」。

●あい・ま　(金平)名。　あひまノ音便。

あい・まい　(金平)形。〔曖昧〕　(一)明白デ無イコト。(二)アトカタノタシカデ無イコト。

●あい・まい・さ　(…)名。〔……さ〕　物ノ曖昧デアル度合ヒ。

あい・まい・と(…)副。…(に)　あいまいノ副詞体。

▲あい・まい・や(…)名。〔……屋〕(アヤシタ見ニル家ノ義。ザゴクヤ。—婬賣ヲスル家。多ク飲食店ナドノ姿ヲ粧フモノニ云フ。

あい・やけ　(第一上)名。あひやけノ音便。

あい・よく　(…)名。〔愛慾〕　愛情ノ慾情ヨリ意味ヤヤ深ク。—近松、釋迦如來誕生會「あいよくに溺ルルバカリ妹脊ノチギリニアラバコソ」。

○あい・らし　(第三上)形。〔愛らし〕　カハユゲナリ。—ウツクシ。—イトホシゲナリ。

●あい・らしィ　(第四上)形。　あいらしノ近體形容詞。

あい・らし・さ　(第三上)名。　愛ラシイ度合ヒ。

△あいれん　(金平)名。〔愛憐〕　愛シアハレガル。

○あ・いろ　(第一上)名。〔文色〕　(あや(文)いろ(色)ノ義。　モヤウ。—スガタ。—ナリカタチ。—アリサマ。—「朝顔日記宿屋ノ段「モノノあいろモ水馬ノ」。

△あ・いろ・と・いろ　(金平)名。〔彼此〕　ココカシコ。—カナタコナタ。—「ヒタチナルあいろといろノ山コモテ、鹿鳴ク國ノハテトコソキケ」。

△あう・いク　((第一オ))(第一上)自動、四段。〔奥行く〕　人ノウシロカラ尾イテ行ク。

あう・ぎ　((第一オ、第三キ))(第一上)名。〔奥義〕　藝術ナドニアル、極メテ奥フカイ、秘密ノ筋。

あう・しきな　((第一オ))(第四上)名。〔草玉梅〕　北海道ナドニ產スル植物ノ名トイフ。

△あう・じち　((第一オ))(金平)名。〔鶏實〕　うぐひすノホノ實。—和名抄「阿宇之智」。

あう・しゅく・ばい　((…、第三四合))(第五上)名。〔鶯宿梅〕　梅ノ一種。　花ノ香ガ殊ニスグレ、八重モ一重モアルトイフ。—下學集「紅白交、其花尤異矣」。

△あう・ぎシ　((第一オ))(第一上)形。〔奥無し〕　ココロフカクナイ。—思慮ナイ。

あう・む　((第一オ))(金平)名。〔鶏鳴〕　(一)鳥ノ名。鶏冠地方ノ產。形ハいんこニ似テ、羽色多クハ白ク、頭ニとさかモ有リ。爪及び嘴ノ力スコブル强ク、又ソノ天性トシテ巧ミニ人ノ言葉ヲ直似ル。—和名抄「鷄鳴、阿布無」。下學集「アフム」。(あふむ參考)。(二)あうむがひノ略。

あう・うん　(第一上)名。〔阿吽—阿呼〕　なあがりい語　ある悲哀ノ聲。うん氣息ノ慣經疑問、承諾ナドノ聲。(轉ジテ)氣息ノ出入リ。—呼吸。



△あう・むがひ　((第一オ、第四ガ、第五イ))(第三上)名。〔鶏鳴貝—鶏鳴螺〕　色白ク鶏ガカッタ模樣アリ、形ハ鶏鳴ノ頭ニ似タ貝ノ名。—其品ノ罕ナノト、其色ノウルハシイタメ酒杯、又ハ釣リ花イケナドニ適ル。

あう・むがへし　((…、第五ニ))(第四上)名。〔鶏鳴返し〕　(一)和歌ノ語。人カラ言ヒカケラレタ歌ヲナガラソノママ、ワヅカニ語ヲ換ヘテ直ニ返歌トスルコト。—八犬傳「來ズヤト問ヘバ來ズトイフあうむがへしハ歌ナラデワガ腰折レンッカレ足」。(二)酒席ノ語。人カラサレタ杯ヲ傾カニ飲ンデ直ニ返スコトト云フ。—今川大双紙(擬書漫筆中)「あうむがへしノ杯ノコト、是ハ七返マダハスベシ、八返ハセズ」。

あうむ・せき　((…))(第三上)名。〔鶏鳴石〕　(一)物音ヲ返響サセル石。—八犬傳「人語ヲツタフル鶏鳴石ノ」。(二)(轉ジテ)俳優ノセリフヲ書キ抜イタモノ。今ノ筋書體ノモノ。(三)孔雀石ノ一種。淡イ黄綠ノ色。

△あう・よル　((…))(第一上)自動、四段。〔奥寄る〕　奥ヘ寄ル。

△あうら　(金平)名。〔足占〕　(あし(足)うら(占)ノ義)昔ノうらなひノ一法。足ヲ蹈ンデ吉凶ヲ定メタシワザ。—アシウラ。

△あえか　(第一上)根。〔脆弱〕　あえかニノ根詞。同義。

△あえか・に　(…)副。〔……に〕　(あゆ(鮎—癩—老)け(氣)にノ義?)　或ハあや(危)けにノ義?)　ヨワヨワシク。

△あえぬか・に　(第二上)副。(あゆ(溢—混)け(氣)にノ義)　コボレルヤウニ。—コボレサウニ。—マジリサウニ。

●あえル　(第二上)自動、一。あゆノ近體動詞。

あ・えん　(第一上)名。〔亞鉛〕　(亞つぐ鉛(なまり)、即チなまりニつぐ義)　トタン。

●あかぐ　(第二上)他動、一。あふぐ(仰)又ハあふぐ(扇)ノ近體音。

●あかひ　(全平)名。　あふひ(葵)ノ近體音。

●あかり　(全平)名。　あふり(障泥)ノ近體音。

あかる　(第二上)他動、一。　(垢)ノ近體音。

あか　(第一上)根。(赤)　血ニ似テ光ル氣味ノ色。

あか　(……)名。　(一)あかがねノ略。(二)あかどノ略(モッパラ母ガあかどヲ呼ブ時ニ)。

あか　(第二上)名。(垢)　アセ、アブラナド塵ト吸ヒ付キ、其體肌ニ付イテ居ル、キタナイ物。(二)流動體ノカス。—[鉄瓶ニ湯あかガタマル]

あか　(第一上又全平)名。(閼伽)　なあかりい語ダハ木音あがハ香水ヲ盛ル器ノ名。佛ニハ香水ヲ供ズルモノニ、ソレカラ轉シテ、水ノ義佛經ノ語)。

あか　(第二上)名。(途)　舟人ノ語、船中ニタマル水。

△あかあか　(第三上)根。　あかあかとノ根詞。

あかあか　(……)名。　あづきノ異名。

△あかあか・と　(……)副(明明と=(輝輝))　モットモアカルク。

あかあしげ　(第五ゲ)(……)根。(赤茸毛)馬ノ毛色、赤ミヲ帶ビタ茸毛。

あかあづき　(……)名。　あづき。

あかあは　(……)名。(赤粟)　赤ミヲ帶ビタモチアハ。

あかあり　(全平)名。(赤蟻=黄蟻))　蟻ノ一種、人家ニ近ダモ居ル。長サ一分ニ足ラズ、赤砂糖ノ色ニ見ユル蟲、又ノ名いひあり。

●あかイ　(全平)形。　あかさノ近休形容詞。

あかいも　(……)名。(赤薯)　さつまいもノ一種。皮ハ紅色デ中ハ黄色ヲ帶ビ、水分少ナク、薩摩ゴタヘヨク、味ハヒノ極メテイイモノ。

あかいわし　(……)名。(赤鰯)　(一)こぬかヲマブリ鰯ヲ醸醸ニシ、又ハ乾シタ物。昔之ヲ食ベタモノノ、後世デハ食用トセハ之ヲ食ベタモノ、後世デハ食用トセズ、唯節分ノ日之ヲひひらぎニ貫イテ戶口ニ刺シ、オニヤラヒノ儀式ニツカフ。(こぬかノタメニ其色ガ赤鳶色ニナル處カラ付ケタ名)。食用トシタ證據ハ—西鶴、なあかりい語ダハ木音あがハ香水ヲ盛ル器ノ名。佛ニハ香水ヲ供ズルモノニ、ソレカラ轉シテ、水ノ義佛經ノ語)。

△あかいろ　(……)名。　カサネノ色目ノ名。赤色ノ狩リギヌナドトイヘバ、ウヘヲ蘇芳色、裏ハ紅花ニシタモノヲイフ。

あかうこ　(第二コ)(全平)名。(阿衡))　掘ノ政ノ又ノ名(殷ノ伊尹ガハジメテあかうノ職ニツイタ故事ニ因ル)。

あかうなぎ　(第五ギ)(第三上)名。(赤鰻)　カラダノ赤イうなぎ。目ガ甚ダ小サイニ、又ノ名めくらうなぎトモイフ。

あかえひ　(第三、四ヱイ)(第二上)名。(赤鰕)　えひ參考。

あかおはぐち　(第四オ)(第三上)名。(赤大口)　おたばかまノ別名。うへのはかまノ下ニ着ケル袴、材料ハすすしノひらぎぬ、色ハ緋晴レガマシイ日ニ用ヰル袴、タダシ老人ハ白張リヲ用ヰル。—和漢三才圖會「之太波加萬一名赤大口」。

あかかうじ　(第四コ)(第三上)名。(赤柑子)　橘ノ一種、實ハ赤色。

あかかうち　(第三コ)(……)名。(赤麹)　色ノ赤イ麹、料理ニコレヲ用ヰテユデ玉子ナドヲ染メル。

△あかかがち　(第四カ)(……)名。　ほほづきノ別名。

あかかげ　(第四カ)(第三上)根。(赤鹿毛)　馬ノ毛色、赤ミヲ帶ビタ鹿毛。

△あかがさ　(第三カ)(第二上)名。　病ヒノ名、はしかノ古言。—アカモガサ。—ハシカ。

あかがし　(……)(全平)名。(赤樫=赤橿=(血櫧=甕櫧))　樫ノ木ノ一種、材ノ色アカクウルハシク、機械、鍬ノ柄、車軸ナドニスル物。

あかがしは　(……。第五ワ)(第三上)名。(赤柏)　あかめがしはノ略。

あかかすげ　(第五ゲ)(……)根。(赤糟毛)　馬ノ毛色、赤ミヲ帶ビタ糟毛。

あかかたばみ　(……)名。(赤酢漿)　かたばみノ一種、葉花共ニ唐紅色ノモノ。

あかかに　(第三カ)(全平)名。(赤蟹)　やまがにノ一名。

あかがね　(……)(全平)名。(銅)　(あかがね(金)ノ義。金鵝ノ名。赤色デ最モ有用ノ品、はがねニ次デ彈力ッヨク、鉄ニ次デ細工ニ用ヰラレ、金、銀、白金ニ次デ最モヨク箔ニ延ビル。質トシテ毒分アリ、酸ニ



觸レレバ綠青ヲ溶カセ、他ノ金屬ト合シテ種々ノ合金トナル。—即チしやくどう(赤銅)はくどう(白銅)せいどう(青銅)ノ類。

あかがねしぎ　(第六キ)(第五上)名。(銅鳴)　鳥ノ名。しぎノ一種。脊ト頸ハ淡色ノ斑點ガ、羽ノ色ヲモツ。

あかかひ　(第三カ)(第四イ)(第二上)名。(赤貝)　貝ノ名、売ノオモテニ筋ガアリ、ホノカニ毛モアリ、貝ノオモテハ濃イ鼠色ニ、中ハ紫色ヲ含ム。名ノツイタダケニ肉ノ色ハ赤ク、酢ニシ、又ウマ煮トシテ賞美スル。古言、キサ。—和名抄「木佐」。

あかかへる　(……。第四ヱ)(全平、又第二上)名。(赤蛙)　かへるノ一種、山野ノ草ノ中ニ多ク居ル。痩セ形、淡赤色ノ肌、甚ダ輕ク跳ネル。小兒ノ五癇ノ藥トテ、或ハ藥トシ、或ハ炙ッテ食フ。

△あかかり　(……)(全平)名。　あかぎれノ古言。

あかかりつば　(……。第四ツ)(第三上)名。(赤合羽)　雨具ノ名。紅ガラ色ノ桐油紙デツクッタ合羽。德川時代カラ盛ニ下人ノ所用トナル。

あかかき　(第三キ)(全平)名。(赤木)　紫檀ノ類ト云フ。

あかがき　(第二カ)(第一上)名。(足掻き)　(一)アガク事(馬ガ)—近松、釋迦如來誕生會「ヤッテ馬ハハネアガリ、あがきヲ打ッテ立ッホドニ」。(二)熱心ニハタラキツヲグコト(人ガ)—「縛ラレテハあがきガッカヌ」。

あかきじんけい　(全平)名。(赤雞)　鳥ノ名、きんけい。

△あかきぬ　(第三キ)(第三上)名。(緋袍)　緋色ノ袍(ハウ)。

あかきれ　(……)(全平)名。(皸)(あか(垢)きれ(切)カ、あか(赤)きれ(切)カ、又ハあかがりノ轉カ、不分明。　ツムサニ手足ノ皮ノ裂ケイタムコト。—和名抄「阿加加利」。

あかク　(……)(第二上)自動、四段。(足掻く)　(一)前足デ地ヲ掻ク(馬ガ)。(二)熱心ニハタラキ騒グ(人ガ)—「仕事ヲあがく」。—近松、博多小女郎浪枕「カブロ其ガあがいタ」。

あかけ　(全平)名。(赤毛)　赤イ髮ノ毛。

あかげ　(第三ゲ)(全平)根。(赤毛)　樺ニ似タ馬ノ毛色。

あかこ　(全平)名。(赤子)　澤ニ生ズル虫。

ノ名、色赤ク、形ハ小サイ蛆虫。取ッテ金魚ノ餌ニスル。—あかぼうふら—あかぼうふり。

○あかごころ　(第二カ)(第一上)枕。　あかす、あかしナドニカカル枕コトバ。

あかこ　(第三コ)(全平)名。(赤子=(奚兒))　ウマレテ間モナイ子=ミドリゴ。

あかごけ　(……)(全平)名。(赤苔)　濕地ニ生ジ、細カクテ紫ガカッタ色ノ、一種ノ苔。

あかこあすび　(第四上)名。(龍珠)(あか(赤)こあすび(龍爽)ノ義)。　形ハこあすびニ似テ、熟スル時赤クナル植物。夏小サイ花ガ開キ、實ヲ結ビ、秋ソノ實熟シテ赤クはづきノヤウニナル。主ニ盆栽ニ玩ブ。

あかこめ　(第三コ)(全平)名。(赤米)　(一)海赤黴ノアル米。(二)ヒネテ赤ミノカカッタ米。—西鶴、一代女「朝夕モソハ皆あかごめナレドモ、コチハ播州ノ天守米」。(三)ダイタウマイ。

あかさ　(全平)名。(赤さ)　赤色デアル度合ヒ。

あかざ　(全平)名。(藜)(あか(赤)くさ(草)ノ義カ?)　三角デ長イ葉、葉ノ周圍ニ鋸齒、莖ノ長サハ三四尺マデ。秋ノ頃粒ノ花ヲ開ク。種類ハあをあかざ、しろあかざ、のあかざ。

△あかし　(全平)名。(明かし=(燈))　トモシビ。—アカリ。

△あかし　(全平)名。(明かし=(證據))　シヨウコ。—テガカリ。

あかし　(全平)形。(赤)し=(丹)し)　(一)アカ色デアル。(二)アカルイ。—アキラカノ夜ノ月ノ光リシ。あかければクラフノ山モコエヌベラナリ」。(三)イッハリナイ(心ニ)。—「あかきこころ」。

あかしだま　(全平)名。(明石珠)(始メ播磨ノ明石カラ出タユエノ名)。　人造ノサンゴシヲ。

あかしちぢみ　(第四上)名。(明石縮)　播磨明石產ノチヂミ、專用夏ノ服、カタビラガハリ。

あかじみ　(全平)名。(垢染み)　垢ノヨゴレメ。

●あかじみル　(第四上)自動、二。(……る)あかじむノ近休動詞。

○あかじム　(第三上)自動、四段。〔垢染む〕垢デヨゴレル。—谷峨、二筋道ツギツギノ
あかじみ　タノヲ着タツテ、サウ心マデオチブレルモノカエ」。
あかしらが　(第五ガ)(第三上)名。〔赤白髪〕アカミヲ帶ビタシラガ。—枕ノ草紙「牛カヒハイトオホキニテ髮あかしらがニテ、カホノアカミテ角角シダナル」。
あかス　(第二上)他動、四段。〔明かす〕(一)アキラカニスル。　(二)秘密ヲアラハス。　(三)ウタガヒヲ正ス。
あかス　(第二上)他動、四段。〔……〕(あけ(明)さすノ義。　スゴス。—「夜ヲあかす」。—「泣キあかす」。—後京極「クモハ闇、月ハトモシ火、カクシテモあかせばあかすサヨノ中山」。
●あかス　(第二上)他動、二。〔飽かす〕(あく(飽)ノ命令言、あかしむノ縮。　アキサセル。—ツクス。—近松、博多小女郎浪枕「カキニあかした衣裳付ケ」。
▲あかず　(全平)名。　あかにノ伊勢ノ方言。
あかずあ　(……)名。〔赤砂〕　コンガウ砂。
あかずみ　(……)名。　シヨズミ(朱墨)。
あかすり　(……)名。〔垢擦り〕　絹、晒、紹ナドノキレハシ、湯ニ入ルヰ身ノ垢ヲスリ出ス品。
△あかせみ　(第一上)名。　アキゼミ。
あかせり　(全平)名。〔赤芹〕　芍藥ニ似タ草、葉ノ緑濃ク、赤ミヲ持チ、紅色ノ愛ラシイ花ガ咲ク。
あかそ　(第三上)名。〔赤苧〕　カラムシノ類、草ノ名。
△あかた　(第二ガ)(第一上)名。〔縣〕　(あがり(上り)た(田)ノ義。　ムカシ諸國ニアツタ朝廷ノ御領地。　(二)後世アガタヌシノ支配ニ屬スル土地ノ名。　(三)任國ヲサシテ呼ブ官人ノ稱。—「あがたメシ」。
(四)都ニ對シテ、ヰナカ、地方。
あかだいこん　(第三上)名。〔赤大根〕　大根ノ一種、花、葉、根ミナ赤イモノ。
あかだな　(全平)名。〔閼伽棚〕　閼伽カラ轉ジテ、スベテ佛ヘノ供物ヲ供ヘル棚。
あがたぬし　(第二ガ)(第三上)名。〔縣主〕　(一)△ムカシあがたデ支配シタ世襲職。　(二)カハチノ一ツ。
あかだひ　(第四イ)(全平)名。〔赤鯛〕　鯛ノ一種、潮ヲハナレテ色ノアザヤカニ赤クナツタモノ。味コトニ春ガスグレル處カラあくらだひトモ呼ブ。四時トモニイハヒノ料理ニ主トシテツカフ。古言、あかめ。
あかたま　(全平)名。〔赤玉〕　(一)スベテ赤色ノ玉。　(二)△コハク玉ノ古言。
△あがたみ　(第二ガ)(第三上)名。〔縣見〕　ヰナカケンブツ。—「あがたみニイデタツ」。
あがためし　(……)(第三上)名。〔縣召し〕　上古毎年正月十一日カラ十三日迄ノ間ニ官人ヲ縣ノ任ニ命ズルコト。此任命ヲあがためしノごもくトイフ。
▲あかだんご　(第五ゴ)(全平)名。〔赤團子〕　炙ノ異名。
あかぢ　(第一上)名。〔分がち〕　ワカチ。
あかぢさ　(全平)名。　サンゴジュ菜。
△あがつ　(第二上)他動、四段。〔分がつ〕　ワカツ。—ワタル。
○あかつき　(全平)名。〔曉〕　(あか(明)ときヨアケ。—アケガタ。
〔時ノ義〕
あかつくさ　(第五ク)(第四上)名。〔曉草〕　カキ(鐘)ノ異名ト云フ。—異竹集「フナ人ノカキ(鐘)ノ異名ト云フ。—ムカシ諸國ニアツタ朝廷ノ御領地。　(二)後世アガタヌシノ支配ニ屬スル土地ノ名。　(三)任國ヲサシテ呼ブ官人ノ稱。—「あがたメシ」。
(四)都ニ對シテ、ヰナカ、地方。
あかだいこん　(第三上)名。〔赤大根〕　大根ノ一種、花、葉、根ミナ赤イモノ。
あかだな　(全平)名。〔閼伽棚〕　閼伽カラ轉ジテ、スベテ佛ヘノ供物ヲ供ヘル棚。
あがたぬし　(第二ガ)(第三上)名。〔縣主〕　(一)△ムカシあがたデ支配シタ世襲職。　(二)カハチノ一ツ。
あかだひ　(第四イ)(全平)名。〔赤鯛〕　鯛ノ一種、潮ヲハナレテ色ノアザヤカニ赤クナツタモノ。味コトニ春ガスグレル處カラあくらだひトモ呼ブ。四時トモニイハヒノ料理ニ主トシテツカフ。古言、あかめ。
△あかとき　(……)名。〔曉〕　アカツキ。
あかとんぼ　(全平)名。〔赤蜻蛉〕—〔赤卒〕　(一)トンボノ一種。身、翅、皆赤ク、形小サク、春秋二季ノ中殊ニ秋多ク出ル。古言、あかゑんば。　(二)幕府時代鐵砲ヲ負ツタ人足。
あかとり　(……)名。〔閼伽取り〕　舟ノ中ノ
あかヲ酌ミ出スウツハ。
あかとり　(……)名。〔垢取り〕　元祿寛永ノ頃外國人ノ姿ヲシテ、相撲ノ賀デ人ノ耳垢ヲ取ツテアルイタ人。
あかな　(……)名。〔赤菜〕　茱ノ一種、葉ト根ト共ニ紫色ノモノ。
あがなひ　(第一ガ、第四イ)(第三上)名。〔贖ひ〕　アガナフ事。—アガナフ物。
あがなフ　(……、第四ウ)(……)他動、四段。〔……ふ〕　(一)罪ヲ又ハアヤマチノツグナヒニ物ヲ出ス。　(二)ウケダス(賀物ナド)。　(三)▲アヤマツテ賀ヒモトメル。
あかなまづ　(……)名。〔赤鯰〕　(一)小魚ノ名。大キクトモ三寸ヲ超エズ、捕ヘレバヨスナニハツノ松」。
あかつき・げ　(第五ケ)(第四上)根。〔赤月毛〕　月毛ニアカミヲ持ツタ馬ノ毛色。
あかづく　(第三上)自動、四段。〔垢附く〕　アカシム。—垢ガタカル。
あかつち　(全平)名。〔赤土〕　(一)赤ニ黄ヲ含ンダ色ノ土(くろつち、しろつちナドニ對スル名)。古言、はに。　(二)烟草ノ一種、色カラ付ケタ名。氣ノツヨイ葉。一名、あかまひ。
あかつら　(……)名。〔赤面〕—〔赭面〕　アカガヲ色ノ顔。オモニ慢ムトキ、又ハ罵ルトキニ用ヰル語。—近松、吉野郷女植、オノレコソあかつらノ熟柿坊主、フミツブシテノケン」。
△あかとき　(……)名。〔曉〕　アカツキ。
あかとんぼ　(全平)名。〔赤蜻蛉〕—〔赤卒〕　(一)トンボノ一種。身、翅、皆赤ク、形小サク、春秋二季ノ中殊ニ秋多ク出ル。古言、あかゑんば。　(二)幕府時代鐵砲ヲ負ツタ人足。
あかとり　(……)名。〔閼伽取り〕　舟ノ中ノ
あかヲ酌ミ出スウツハ。
あかとり　(……)名。〔垢取り〕　元祿寛永ノ頃外國人ノ姿ヲシテ、相撲ノ賀デ人ノ耳垢ヲ取ツテアルイタ人。
あかな　(……)名。〔赤菜〕　茱ノ一種、葉ト根ト共ニ紫色ノモノ。
あがなひ　(第一ガ、第四イ)(第三上)名。〔贖ひ〕　アガナフ事。—アガナフ物。
あがなフ　(……、第四ウ)(……)他動、四段。〔……ふ〕　(一)罪ヲ又ハアヤマチノツグナヒニ物ヲ出ス。　(二)ウケダス(賀物ナド)。　(三)▲アヤマツテ賀ヒモトメル。
あかなまづ　(……)名。〔赤鯰〕　(一)小魚ノ名。大キクトモ三寸ヲ超エズ、捕ヘレバヨ



ク人ヲ驚ス。溪流ナドニ居、形ハ鯰ニ似タ魚。
○あかに　(全平)名。〔赤丹〕　にノ重言。
あかにし　(……)名。〔赤螺—赤辛螺〕　にしノ一種。形おさゑニ似テ尖リ、殼ノ内部ノ色赤ク、味ニハ甚ダ美味デナイモノノ、食用ニハ爲ル。殼ヲ燒イテ細末ニスレバ最上ノ齒磨トナルトイフ。—和漢三才圖會「赤辛螺…其殼燒灰入藥傳瘡腫妙。或作藥攙」。
▲あかにし　(……)名。　キハメテ客嗇ナ人。(アカニシ貝ノ持性トシテ、殊ニ甚シク殼ノ外ニ肉ヲ出スヲ嫌フ處カラ、ソノ出スヲ嫌フトイフヲタトヘニ起ツタ言葉)
●あかぬけ　(第四上)名。〔垢抜け〕　アカヌケル事。
●あかぬける　(第四上)自動、二。〔垢抜ける〕(あく(灰汁)ぬける(抜)ノ義。垢抜けるトシテ解シテ差シ支ヘ無ササウナガラ、垢ニ「ヌケル」トハ全體ガ緑ノ無イ醜ト思ハレル。灰汁ノあくナラバ「ヌケル」トイフニ緑モ有リ、殊ニコノあかぬけるノ語ハ江戸カラ始マツタモノラシク、シカモ江戸ダハあくト云フ語ヲコノ樣ナ意味ノ他ノ場合ニニモ用ヰル處カラオモヘバ、此語全体ヲモ前言フ通リ解剖シタ方ガヨササウニオモハレル。　(一)アラヒ抜イテアル(肌ニ)。　(二)シロウトケ(素人氣)ガナクナル(一般ノ藝人ニ)。—「あかぬけノシタ藝者肌」。
あかね　(全平)名。〔茜〕　(あか(赤)ね(根)ノ義)　(一)山野ニ生ズル蔓草ノ名。中空デ方形ノ莖、刺モアリ、葉ハ四枚ヅヽ莖ノマハリニ生ジ、表面青ミヲ帶ビ、裏面緑ヲ含ム。七八月花ヲ着ケ、小粒ノ山椒ニ似タ實ガナル。根ハ染メ草、又藥用ニナル。—アタヰ。
○あかね　(……)根。　(……)色ノ名。赤ノ稍沈ンダモノ。
○あかねさす　(第四上)枕。〔あかね(茜)さす(差す)ノ義〕　(色カラ轉ジテ)日又ハ晝ノ枕コトバ。—万葉集、額田王「あかねさすムラサキ野ユキ、シメ野ユキ、モリハミズヤ君ガ袖フル」。
あかねぶり　(第三上)名。〔垢紙り〕　(一)風呂ニ生ズル一種ノ虫。
あかの・ぞせん　(第四上)名。〔赤の御膳—赤飯〕　アカノマンマ。—アカノメシ。
あかの・の・たにん　(第一上)名。〔……の他人〕　タニン(殊ニ意味ヲツヨメタ語)。—「あかのたにんニセワヲスルイハレハナイ」。
あかの・の・まんま　(第四上)名。　(一)●(赤の飯)　婦人小兒ノ語、アヅキメシ。　(二)(野菊)　アカクサ。
あかばうず　(第三ボ)(第三上)名。〔赤坊主〕　アカバフシ。
あかはだ　(第二上)名。〔……肌〕　ムケテ赤ダナツタ肌。
あかはだか　(全平)名。〔……裸〕　(一)着物ヲツケズ、ムキダシニシタ肌。—スハダカ。—マハダカ。　(二)ハダカムギ。
あかはぢ　(……)名。〔……恥〕　ハヂ(殊ニ意味ヲツヨメタ語)。
あかばち　(……)名。〔赤蜂〕　蜂ノ一種、身ニ黑ト樺茶ノモヤウアリ、翅モ樺茶デ、腰ノ細イ蜂。
あかばな　(……)名。〔赤花〕　小草ノ名、葉ハ鋸葉アツテ狹ク長ク、紅色四瓣ノ小サナ花ガ咲ク。
あかばな　(……)名。　紀伊ノ海上ニ居ルトイフ大魚。
あかばふし　(第三ボ、第四ウ)(第三上)名。〔赤法師〕　ノギノナイ小麥—アカバウズ。
○あかばム　(第三上)自動、四段。〔赤ばむ〕　赤ミガ付ク。—段段赤クナル。—アカム。—アカマル。—アカラム。—アカミバシル。—アカラブ。
あかはら　(全平)名。〔赤腹〕　(一)鳥ノ名、形チックミニ似、ヨク囀ラズ、胸ト腹ハ赤ク、ヨク群レテ飛ブ。　(二)腹ノ赤イ處カラ)ヰモリノ異名。　(三)腹ノ赤イ處カラ)魚ノ名。ウグヒノ一名。
あかはら　(全平)名。〔赤腹—赤痢〕　痢ノ病ノ類、赤色ノ水ノクダル病氣—セキリ。—シヤクリ。
◎▲あかはらハ垂レヌ。—(ウソハ言ハヌ)。
あかひき　(第二上)名。〔赤蟾蜍〕　(一)赤ミノアルヒキガヘル。　(二)アカガヘル。
あかひげ　(第四ケ)(全平)名。〔赤髭—赤髭〕　(一)赤色ノヒゲ。　(二)西洋人ヲイヤシメテ呼ブ語。
あかひげ　(……)名。　鳥ノ名、テウセンゴマノ一名。
あかひも　(……)名。〔赤紐〕　ヲミゴロモニ着ケルカザリノ紐。　一丈四五尺ノ布ヲ組ミ合ハセ、二ツニ折ツテ垂レル。コキウチ(濃打)、スハウウチ(蘇枋打)ノ二種ガアリ、トモニ小鳥、胡蝶ナドヲヱガク。
あかひゆ　(……)名。〔赤苋〕　ヒユノ一種、莖モ葉モ赤ミノアル草—シヤウヱンジ。
△あがフ　(第二ガ、第三ウ)(第二上)他動、四段。　あがなふノ略。—万葉集、家持「中臣

ノフトノリゴトヲイヒハラヘ、あがふ命モタガタメニナレ」。

あか・ぶち　(金平)根。〔赤斑〕　ケダモノノ毛色、赤色ノブチ。

●あか・ぼうふら　(第三上)名。　あかぼうふりノ轉。

○あか・ぼうふり　(…)名。〔赤子子〕　アカコ。—アカイロノボウフリ。

△あか・ぼし　(第二上)名。〔明星—(金星)〕あけ(曙)ぼし(星)ノ義。　金星ノ古言—和名抄「歲星、一名明星。此間云阿加保之」。

○あか・ぼしの　(第二上)枕。　あくるノマタラコトバ。

あかは・じは　(第二三コウ、第五オ)(第二上)名。〔赤穗褪〕　播磨産ノ褪。あかはハ間國内ノ郡ノ名。

あか・ばふし　(第四ウ)(第三上)名。〔赤法師〕　アカバフシ。

あか・はん　(金平)名。〔赤本〕　〔近古ノ草雙紙ノ表紙ノ赤カツタトコロカラ〕タツザウシノ異名。

△あが・ま　(第二ガ)(第一上)名。〔吾駒〕　(あが(吾)こま(駒)ノ義。　ワガノル駒。—ワガ當ヲ駒。

あかま・ひし　(第三上)名。〔赤間石〕　アヅキ色ノ石、最上ハ紫色ヲフクム。長門國、厚狹郡邊ノ産デ、赤間ガ關カラ積ミ出ス。キメゴマカ故多ク視ニツカフ。

あかま・が・せき　(第四カ)(第三上)名。〔赤間關〕〔赤間ガ石トスルノハ誤リ〕。　積ミ出ストコロノ名カラ轉ジテスダニソノ石ヲ呼ブ名。—アカマイシ。

あか・ますす　(金平)名。〔赤鱒〕　(一)ペニマス。(二)ハタヨロノ類ノ魚ノ名、身ニ赤イ斑ノアルトコロカラ。

あか・まつ　(…)名。〔赤松〕　松ノ一種、コケ少ナク皮ノ色赤ク葉ハ細クテ短ク、枝モオノヅカラ柔カナ松。—メマツ。

○あか・まひ　(第四イ)(…)名。〔赤蜂ひ〕　烟草ノ名、アカツチ。

あか・まル　(第三上)自動、四段。　あかむノ延、アカバム。

あか・み　(金平)名。〔赤味〕　アカ色デアルコト。

あか・み　(…)名。〔赤身〕　(一)材木ノ中心ノ赤イトコロ。　(二)スベテ肉ノアカイトコロ。

あか・みそ　(…)名。〔赤味噌〕　シロマメデ造ル、アカイロノ味噌。—蜀山人、俗耳蔽吹「あかみそキリモノ、アカ貝」。

○あかみ・ばしル　(…)自動、四段。〔赤味走る〕　アカバム。—西鶴、一代女「又ウハヒゲアリテあかみばしり、アタマハキンカナル人アリ」。

△あかム　(…)自動、四段。〔赤む〕　アカバム。—巾箱カナ本「コトニオドロカズ、カホスコシあかみて非タルモヲカシ」—同「面サヘあかみテ」。

○あかム　(…)他動、下二。〔赤む〕　赤クスル。—アカメル。「カホヲあかめテ」。

○あがム　(第二ガ)(…)他動、下二。〔崇む〕　(あが(上)む)ノ義。　タツトブ。—ウヤマフ。

○あかム　(…)名。〔赤女〕　(一)魚ノ名、たひノ古言。—日本紀「唯あかめコノゴロロノ疾ヒアリテマウコメ…註、赤女、鯛魚名也」。

△あかめ　(…)名。〔赤目〕　シタマブチヲ指ナイモノヲ見セルタハフ。—万葉集「ツノ國ノナニハ堀江ノヒトツ橋、キミシワタラバあからめモセズ」。

●あからめル　(金平)他動、二。〔赤める〕　アカクスル(顔色ヲ)。—「顔あからめるオボコ氣ノ」。

あかり　(金平)名。〔明り〕　(一)物ヲ見得ル光リ。—「蝋燭ノあかり」。「電氣ノあかり」。(二)身ニ暗イコトノナイ證據。—「あかりヲ立テル」。

あかり　(金平)名。〔上〕　(一)上ヘアガルこと。(二)〔上達〕ワザノスムこと。—「蝋燭ノあかり早イ」。(三)〔成功〕成就。—「仕事ノあがりガ早イ」。(四)〔結果〕轉ジテ、出來上ガツタ結果。—「細工ノあがりガウマイ」。(五)〔騰貴〕價ノ高クナルコト。—ネノあがりガハゲシイ。(六)ノチノスガタ。—「蔦蘿シタヅノあがりハ乞食ガオサダマリ」。(七)〔歌—收〕ヤムコト。—ヲハルこと。—「雨ノあがりガ早イ」。(八)スゴロクノコト勝負ヲ決スルタメニ擲ル六ニ殺ケテアル最後ノ場所。

●あがり　(第一上)接尾。〔上—揚〕　ソノ後ノ身ノ上。—「盜人あがり」。「坊主あがり」。—近松「曾根崎心中」「ヤア、シヤラクナデッチあがりうまメ」。

△あがりうま　(第三上)。〔跳る馬〕〔はねあがり(跳上)うま(馬)ノ義〕　跳ネクルフ馬。



○文部省・●国語調査委員會・無印・西鶴・古文書・物語・古文・俳諧・狂言・浄瑠璃・歌謡・雜

あか・ぼし　(第二上)根。〔赤らか〕　(一)ニホヤカニウルハシイコト。(二)赤ミノアツテウルハシイコト(顔色ノ)。

○あからか・に　(…)副。　あからかソ副調體。

あから・がは　(第四カ)(第五オ)(第三上)名。〔赤顔〕　赤ミノアル顔。—「あからがはノオヤヂ」。

△あからけシ　(第四上)形。〔赤らけし〕　赤イアリサマデアル。

△あから・さま　(第二上)根。〔倏忽—暴〕　(一)ニハカ。—タチマチ。—「日本紀「倏忽之間出其不意則破之必也」(倏忽、訓、わからさま)」。(二)カリソメ。—チヨツト。—「狹衣物語「夜居ノ僧ノあからさまニイデタルアト見ニ」。

◎△わから・さまニする　(天命ダナクニハカニ命ヲ失ハセル)。

あから・さま　(…)根。〔明地—白地〕〔あきら(明)さま(樣)ノ義〕　イササメ。—アラハ。—「あからさまニウチアケテハナス」。

あから・さまに　(…)副。　あからさまノ副調體。

○あから・ひく　(金平)枕。〔赤羅引く—朱引く〕　日朝「うるはしい叫、うるはしい女ナドノ枕詞」。

○あからブ　(第二上)自動、中二。　アカバム(顔色)。—アカクナル。

あからブ　(第三上?)自動、下二。　オモセキル。—アキラメル。—續日本紀「あからべタマハント歎キタマヒ」。

あからム　(金平)自動、四段。〔赤む〕　アカクナル。—アカラブ。—忍夜戀曲者「あからむ顔ノ袖屏風」。

○あからム　(…)他動、四段。〔…〕　アカクスル。—アカク色ヲカセル。

○あからめ　(金平)名。〔他見〕〔あからさま(倏忽)(目)ノ義カ?〕　ソノ目的ノモノヲ見ルコト。—ワキミ。—ヨソミ。—万葉集「ツノ國ノナニハ堀江ノヒトツ橋、キミシワタラバあからめモセズ」。

●あからめル　(金平)他動、二。〔赤める〕　アカクスル(顔色ヲ)。—「顔あからめるオボコ氣ノ」。

あかりこ　(金平)名。　死ンダカヒコ。

あかり・さき　(金平)名。〔明り前〕　アカリノ來ル方。—「あかりさきニ立ツテ暗クテナラヌ」。

あがり・ざしき　(第四上)名。〔揚り座敷〕　アガリヤソ一キハ上等ナモノ。

あかり・しやうじ　(第四、五合、第五ヨ)(第三、四上)名。〔明り障子〕　檜、杉、椹ノ類ノ細イ木ヲ格子ニ組ミ、コレヲ骨トシ、コノ骨ニ美濃紙ナドヒトヘ貼リツケタ障子。近世ハ略シテ多クしやうじトノミ言フ。—西鶴、若風俗「一間店ニあかりしやうじ」。

あがり・だん　(金平)名。〔上り段—(階)〕　ノボリダン。—昇ルトキ足ヲフミカケル段。

あかり・とり　(第三上)名。〔明り取り〕　部屋ヲアカルクスルコト。—光線ヲ差シコマセルコト。光線ヲ差シコマセル處トイフ一說ハ穩當デナイ)。—西鶴、一代女「居間ノ片スミヲ深クホリテあかりとりソカクシ窓ホンク」。

あがり・ば　(金平)名。〔上り場〕　スベテ水カラ陸又ハ水ヂナイ處ヘ上ルベキ處。(舟ヘ、又ハ人ノ肩ヒヲ睹セヌ片ノ法。—アカンベイ。—メアカウ。—メカカウ。—ベツカツカウ。

あかめ・がしは　(第四カ)(第四上)名。〔赤芽柏—(梓)〕　山野ニ生ズル喬木ノ名。芽ハ甚ダ赤ク、葉ハカクレミノノヤウニ三ツニ割レ、長サハ三四寸乃至五六寸。花ハ夏ノ頃玉子色デ咲キ、三分バカリノ實ガナル。—アカガシハ。—古言、アヅサ。

あかめ・だひ　(第五イ)(第三上)名。〔赤目鯛〕　メバルニ似タ小魚ノ名。目、口共ニ大キク、身ニ紅ト綠ノ斑ヲモツ。

あかめ・ふぐ　(第五ク)(第四上)名。〔赤目河豚〕　魚ノ名、フグノ一種。目赤ク、秋ムラガリヨル。ハゲシイ毒魚。

●あかめル　(金平)他動、二。　あかむノ近體動詞。同義。

●あがめル　(第二カ)(第三上)他動、二。　あがむノ近體動詞。同義。

△あか・もがさ　(第四カ)(…)名。〔赤痘瘡〕　病ヒノ名、ハシカノ古言。—アカガサ。

▲あか・もと　(第二上)名。　魚ノ名、ねひかはノ一名(攝津河内ノ方言)。

△あが・もの　(第二ガ)(金平)名。〔贈物〕　罪ヲアガナフト云フ心デハラヘ(祓)ノ片ニ出スモノ。—カタシロ。

▲あかや　(…)名。　西京方言、イロゴノミノ人。

△あから　(第二上?)名。〔赤ら(顔)あからか(赤)ノ義ト云フ〕。　酒ノ古言。

あから　(金平)名。〔朱—赤羅—(赤嘯)〕　赤色ノ餘光。

○あから　(…)根。〔紅〕　赤色。—万葉集「月マチテ家ニハユカン、ワガサセルあから立花カゲニミエツツ」—又「オキユクヤあ

あがり・かり　(第二上)名。〔上がり下り—(上下—昇降)〕　ノボリトクダリト。—「あがりおりソワルイ段バシゴ」。

●あがり・かき　(金平)名。〔上り柿—(熟柿)〕　熟シタ柿。—熟スベキ柿。—アガツツカキ。—「木ザラシノあがりかき」。

あがり・くち　(金平)名。〔上り口〕　(一)タテモノノ入リ口。—ノボリクチ。—西鶴、一代女「久六、提灯トモセバあがり口ヨリハタハタタ歩ミ」。(二)▲オトロヘハシメ。—「アノ店モモウあがり口ダ」。

あがり・こ　(金平)名。　死ンダカヒコ。

あかり・さき　(金平)名。〔明り前〕　アカリノ來ル方。—「あかりさきニ立ツテ暗クテナラヌ」。

あがり・ざしき　(第四上)名。〔揚り座敷〕　アガリヤソ一キハ上等ナモノ。

あかり・しやうじ　(第四、五合、第五ヨ)(第三、四上)名。〔明り障子〕　檜、杉、椹ノ類ノ細イ木ヲ格子ニ組ミ、コレヲ骨トシ、コノ骨ニ美濃紙ナドヒトヘ貼リツケタ障子。近世ハ略シテ多クしやうじトノミ言フ。—西鶴、若風俗「一間店ニあかりしやうじ」。

あがり・だん　(金平)名。〔上り段—(階)〕　ノボリダン。—昇ルトキ足ヲフミカケル段。

あかり・とり　(第三上)名。〔明り取り〕　部屋ヲアカルクスルコト。—光線ヲ差シコマセルコト。光線ヲ差シコマセル處トイフ一說ハ穩當デナイ)。—西鶴、一代女「居間ノ片スミヲ深クホリテあかりとりソカクシ窓ホンク」。

あがり・ば　(金平)名。〔上り場〕　スベテ水カラ陸又ハ水ヂナイ處ヘ上ルベキ處。(舟

カラ岸ニ上ルベキ歳トシタ「言海」ノ解ハ
ワルイ。—西鶴、一代女「フロシキノ上ニ直
レバ、分ノアル方ヘモ、無キ人ニモあがり
ばノ女近ヨリテ、今日ハ芝居ヘオコシカ、
色里ノオカヘリカ抔外ノ人聞クホドニ御
機嫌トレバ」「言海」ノ解デハ此引用文ニ適
用デキヌ。
あかりまど　(第四上)名。(明窓＝仰窓)
ヘヤヲアカルクスルタメニ設ケタ窓。—
西鶴、一代女「カタスミニあかりまどヲウ
ケテ」。
●あがりもの　((第二ガ))(全平)名。(上り物)
(一)食物ノ敬語。(二)フヨウニナッタモ
ノ。＝フルクナッタモノ。＝ロウズモノ。—
西鶴、若風俗「あがりものノ大小、ッヤハ大
キニ柄ホソク」。
あがりや　(全平)名。(揚屋)　身分ノアル
人ノ牢獄(徳川幕府ノ制)。参考、あがりざ
しき。—妙々奇談「無間地獄ノあがりやニ
入レオキタマフ」。
あがりやしき　(第四上)名。(揚屋敷)　官
ニ没收サレタ屋敷(徳川幕府ノ時ノ語)。
△あかる　(第三上)自動、四段。(明)　アカル
タナル。＝ホノボノト赤クナル。＝枕ノ草
紙「山ギハスコシあかりタムラサキガチ
タル雲ノホソクタナビキタル」。
△あかる　(…)自動、四段。(紅＝酡)　酒ニ
顔ガ赤クナル。
△あかる　(…)自動、四段。(明)　清ク、ウル
ハシイ(物ノ)。—延喜、祝詞式「御服波明
多閇、照多閇(榜訓、ミソハあかるタヘ、テ
ルタヘ)」。
▲あかる　(…)自動、一。(明＝開)　ヒラク
(戸ナド)。—「戸ガカタクテあからナイ」。
あがる　(…)自動、四段。(上)　(一)(揚)
ツヘヘ行ク。＝カミニ到ル。＝ノボル。—
慈鎮和尚「ヒバリあがる春ノ野澤ノ淺ミ
ドリ、空ニ色コキムラガスミカナ」。(二)
(進＝昇)ノボリスム(役目ナド)。—「位
ガあがる」。(三)(熟＝達)タクミニナル。
—「ウデガあがる」。—「手ガあがる」。(四)
(成功)成就スル。—「ウケオヒシゴトガあ
がる」。(五)(勝)アタヒガ高クナル。—「米
ガあがる」。(六)(歌＝収)ヲハル。＝ナク
ナル。—「雨ガあがる」。—「ツキヤクガあが
る」。(七)死ヌ(魚ガ)(鳥ノおつるニ對シ
テ)。(八)(跳＝勝)アバレル。＝クルフ(馬
ガ)。—枕ノ双紙「馬ノあがりサワギタルモ
シク覺ユレバ」。(九)(参上)マヰリノ
恐ロシク覺ユレバ」。(九)(参上)マヰリノ
ボル(宮中、役所ナドオモテムキ、又目上
ノ)。(十)没収サレル。＝没官サレル。—「扶
持ガあがる」。—「役ガあがる」。(十一)〇
(上)古クアル。＝年ヘテアル。—源氏、若
菜「あがりタル世」。(十二)クモットナル。
—「菓子ガあがる」。—「線香ガあがる」。(十
三)熟ス。＝ヨク實ガイル。—「柿ガあがる」。
＊あがり柿　(第二上)自動、下二。(別)　ワカ
レル。＝ハナレル。＝一ツノモノガ二ツ以
上ニナル。
あがル　(全平)他動、四段。(上)　クラフノ
敬語。—「御膳ヲあがる」。—「御酒ヲあがる」。
あがル　(全平)接尾。　ヲハル＝トホル。—
西鶴、一代女「手足ヒエあがりて、イビキ書
シク」。
●あかるイ　(全平)形。　あかるしノ近體形
容詞。
●あかるさう　((第四ソ))(全平)根。(明るさう)
アカルクアリサウ。
○あかるシ　(全平)形。(明るし)　(一)光リ
ノタメニヨク見エル。＝アキラカデアル。
—「トモシ火ノカゲあかるし」。(二)ユキ
ワタッテ居ル。—「學問ノ道ニあかるし」。
あかるさ　(全平)名。(明るさ)　アカルイ
處。＝アカルクアルコト。
△あがれ・あがれ　(第四上)根。(別別)　ベッ
ベッ。＝ワカレワカレ。＝チリヂリ。＝右往
左往。—大鏡「あがれあがれニオハシマシ
キ」。
△あか・ね　(全平)名。(赤土)　アカイロノ＃
ノシシ。
あか・ね　(全平)名。(閼伽井)　佛ニ供ヘル
水ヲ汲ムベキ井戸。
あか・ゑ　(全平)名。(赤繪)　陶器ノ類ニ、
スベテ赤色デカイタ畫。—蜀山人、俗耳蔵
吹「赤繪大鉢鯉平ヅクリ」。
△あか・ゑんば　(第三上)名。　あかをんぼト
オナジモノ。—和名抄「阿加惠牟波」。
あか・を　((第二コ))(第二上)名。(赤魚)(あか
(赤)うを(魚)ノ義)　魚ノ名。頭トロト共
ニ大キク、全身ウスアカク形ヤヤ鯛ニ似
大キサモ大方同ジク、但シ尾ハワレメヲ
持タズ、ウロコ細カク、肉白クテカルイ味。
—一名うまぬすびと。
あか・をけ　(第三上)名。(閼伽桶)　あかノ
水ヲクミ入レル桶。
あか・つ・け　((第三道))(全平)根。　あかけノ
訛。
あか・つ・つら　((…))(全平)名。　あかつら
ノ訛。
あか・つ・ばぢ　((…))(全平)名。　あかはぢ
ノ訛。
●あかんぼう　((第四ボ))(全平)名。(赤ん坊＝
(赤子))　(一)アカゴ。＝ミドリゴ。(二)
▲懲役人(柿色ノ服ヲ着ル處カラ)。



▲あか・んぼし　(全平)自動、一。　あかみ
ばしるノ轉訛。
▲あか・んべい　(第一上)名。　あかめノ轉
訛。
▲あかんば　(全平)名。　あかんばうノ轉
訛。
あき　(第一上)名。((秋))(あかり(朱)ノ義ヲ、
即チ稻ナドノ赤ラム時ノ義トイフ)。
夏ノツギ(冬ノマヘ)。即チ一年四時ノ三番
目。陰暦デハ普通ニ七、八、九ノ三月(陽暦デ
ハ同ジク八、九、十ノ三月)ヲ此時トスル。
あき　(第一上)名。　あかにしノ古言。—
和名「阿岐」。
△あき　(全平)名。(商)　物ノウリカヒ。＝ア
キナヒ。
あき　(全平)名。(明)　(一)(隙)スベテア
イテヰル處。(二)スルコトナクテヰル時。
—「手ノあき」。
あき　(全平)接頭。(空)　カラダアル。＝フ
サガッテヰヌ。—「あきダナ」。—「あき地」。
あき　(第二上)名。(厭＝倦)　充分ニナ
ッテイヤニナルコト。—「あきガ來ル」。
△あぎ　(…)名。　(顎)　口中ノ上下ノ
骨。＝アギト。＝アゴ。
△あぎ　(第二上又全平)代。(吾君)　ワガ
眞人、マタワガ子ヲ愛シタフトンデ呼ブ
語。—古事記「あぎフルクマガ」。
あき　(全平)名。(阿魏)　其原質不詳ノ
舶來藥品。しやむ國邊熱帶地方ノ產、草カ
ラ取ルト木カラ取ルト兩品アルトノ事。
又說、產地ノ風土ニヨリ、草ノヤウニモ木
ノヤウニモ見エルトノ趣キ。眞僞イヅレ
モタシカデナイ。其物、香氣甚高ク僧尼令
デハ之ヲ五辛ノ中ニ數ヘテアリ、其氣味
ハ辛ク、虫クダシニ用ヰ、オコリノ病ニ服
サセ、痢病ニ與ヘテ大ニ利クト云フ。語原
大方ゑんがるちゑつと。ゑるしゃ邊カト
思ハレル。モノノ考据ナイ。—僧尼令「五曰
蒜薑」クレノオモ也。
あきあづき　(第三上)名。(秋赤豆)　秋熟
スルあづき(夏小豆ニ對シテ)。＝あづき參
考。
あきあはせ　(第三上)名。(秋袷)　秋着ル
アハセ(夏あはせニ對シテ)。
あきいへ　(全平)名。(明家＝空屋)　人
ソ住マヌ家。
○あきうど　(第二上)名。(商人)(あきんどノ
音便)。　アキンド＝アキビト。
○あきがしは　((第三カ))(第三上)秋。(秋柏)
(あき(商)かしは(柏)ノ義)。　スナハチ、上
古かしはノ葉ニ食物ヲ盛ッタ時、コレヲ
買フ人モ多クソレガラシテウリカヒノ
繰語トナッタワケ。ソレユエ「秋ハタダア
テ字ト云フダケ」。賣ルノマクラコトバ。
—「あきがしは賣ルヤ河邊ノシノノメニ
思ヒテヌレバ夢ニミエケリ」。
あきかぜ　(第三上)名。(秋風)　(一)秋フ
ク風。(二)(あき(秋)ヲ同音あき(厭)ニ寄
セタ)男女間ノ情交ノ冷ヤカナルコト。—
「ハヤあきカ風ガ立ッタトハホンニヤルセ
ガナイウィナ」。
○あきかぜ・の　(…)枕。　(風一名ちゃ。ソレカラ
ノ線デちニッヅケタモノ)。　ちト云フ
音ニカカル枕コトバ。
あきかた　(全平)名。(明き方)　アケグア
ヒ。＝アキヤウ。
あきかた　(第四上)名。(厭き方＝倦き方)
アキルクアヒ。＝イヤニナル工合ヒ。
△あきかた　((第三カ))(全平)根。(厭方)　あ
きノ(厭)ノキタ氣味。—伊勢物語「深草ニスミ
ケル女ヲあきがたニヤ思ヒケン」。
△あきがはり　((第三カ))(第三上)名。(商變ハ
リ)　一旦買ッタモノヲ心ガ變ッテマ
タガヘスコト。
△あきがき・の　(全平)枕。(秋蓋の)(あき(蓋)ノ實ガ
二ツヅツナル處カラふたつトイフ語ニ寄
セタワケ)。　ふたごもりノ枕詞。
●あきさみ　((第三キ))(全平)根。(明き氣味)
明キサウナ樣子。
●あきさみ　((第三キ))(第二上)根。(厭き氣味
＝倦き氣味)　ヤヤ厭キノ來タ休。
●あきさり　(全平)根。(明き切り)　常ニ開
イテアルコト。—「口ヲあきさりニスル」。
○あきさり　((第三キ))(第二上)名。(秋霧)
秋タツ霧。
あきさ・くさ　(…)名。　(秋草)　スベテ秋
ノ草。
○あきさ・の　(…)枕。　(ムカシ、草ヲムスブ
トイフコトヨクアリ、ソレカラシテひす
ぶニ寄セタワケ)。　ひすぶノ枕詞。
○あきさ・のはな　(第二(第七上)名。　菊ノ
異名。
あきさ・ぐみ　(第三上)名。(秋茱萸)　草ノ名。
葉花共ニなつぐみヨリ小サク、高サ一丈
餘、實ハ秋熟シ直徑一分カラ二分グラヰ、
赤クテヤヽ白イ點ガアリ。熟スレバ澁味
ガ去ッテ甘クナリ、食用トナル。
○あきさ・さ　(全平?)名。(秋沙)　鳥ノ名。形
こがもニ似テ、頭ト脊トハ鼠色、白イ腹、尖
ッテ赤イ嘴ニ、全シク赤イ脚。＝別名、あい
さ。＝あひがも。—夫木集「アハヂシマ松フ
ク風ノオロスカト、キケバ磯邊ニあさざ
ッナリ」。
○あきさ・ぐくね　(第三上)名。　にはそ。
あきさ・ざしき　(全平)名。　人ノ＃ヌ・ざし

き。
△あきさス（全平）自動、四段。（瞋）　アキナヒニ、テッケヲヤル。
△あきさぶき（…）名。（秋様）　秋ノ、コロ。
○あきさめ（…）名。（秋雨）　秋フル雨。
○あきさり・どころも（（第五ゴ））（第五上）名。（秋去衣＝（秋衣））　秋ニナッテ着ル着物。
あきしく・のはな（第二、第七上）名。（秋敗の花）　菊ノ別名。
△あきじ・とり（第三上）名。（商行李）　アキナヒゴリ。
△あきとひ（（第四イ））（…）名。（明盲＝（清盲））（あきナガラ（明）しひ（盲）ノ義。　アキメクラ。＝見エルラシクテ見ヨヌ目。＝和名抄「清盲、阿岐之比」
●あきじみル（…）自動、一。（秋染みる）　季ガ秋ラシクナル。＝秋メク＝秋ガ來タラシクナル。＝アキヅク。＝「ニハ石ノサビカタモあきじみタリ」。
○あきしりぐさ。（第五ク））（第四上）名。（秋知り草）　をぎノ異名。
あきしろ（全平）名。（明城＝（空城））　人ノ居ヌ城。
●あきす（…）名。（明巣）　（オモニ）人ガ留守ニシタ家。
●あきす・ねらひ（第四上）名。（…狙ひ）　窃盗。
あきせみ（全平）名。（秋蟬＝（蜩））　形ノ大キナ蟬。濃イ茶色ノ翅、八月ノ頃多ク出ル。＝アカゼミ。＝アブラゼミ。
○あきた（第一上）名。（秋田）　秋ノ田。
あきた・じやう・の・すけ（（第四、五ヨ））（第四、五上）名。（秋田城介）　古ノ職名。出羽ノ介ガ兼任シテ秋田城ヲ守ル、ソノ職名。

●あきすぎル（第四上）自動、二。（秋過ぎる）　サクモッノミソノリガヨスギル。
あきだな（全平）名。（明店＝（空屋））　人ノ居ヌタナ（店）。
あきた・ぶき（第三上）名。（秋田蕗）　羽後ノ國、秋田郡邊ニ產スル蕗ノ名。蕗ノ中デハ最モ大キク、葉ノ高サ七尺、葉ノ大キサ傘位ヰニナル。
あきたル（全平）自動、四段。（飽き足る）　アキルホド充分ニナル。
●あきたりル（全平）自動、二。（あきたる）　ノ近体動詞。
あきたち（全平）名。（明地＝（空地））　（一）タテモノノデキテヰヌ地所。（二）▲ハゲアタマヲ冷カシテ呼ブ語。
△あきつ（第一上）名。（秋津＝（蜻蛉））　ど んぼ。＝日本紀「あきつノトナメセル如シ」。
○あきつかみ（（第三上、又全平））名。（明津神）　ミカド（あき（明）つ（之）かみ（神）ノ義。
ワタストンデ呼ビ奉ルコトバ。＝万葉集「あきつかみ、ワガ大君ノ天ノ下」。
△あきづク（…）自動、四段。（秋付く）　秋トナル。＝秋ラシクナル。
○あきつくに（…）名。（秋津國）　アキツシマ。
○あきつ・しま（…）名。（秋津島）　コノ日本國ノ古名。神武天皇ガ大和アタリデ國見ヲサレテ、コノ國ノカタチガあきつの虫ニ似タト仰セラレタトコロカラ起ツタ名。
あきつ・ば（第三上）名。（蜻蛉羽）　羅紗ナドノウスモノヲ見立テタコトバ（一説、あきつは蜻トスルノハイカガ？）
あきつぼね（第三上）名。（明局＝（空局））　人ノ居ヌツボネ。

あきと（第一上）名。（頤）　（一）○アギ。＝アゴ。（二）（鰓）。ウヲノエラ。＝和名抄「鰓、阿木止」。
○あきと・フ（第一上）自動、四段。（あきと（頤）ヲタダチニ動詞ニシタモノ）。（一）（喰隅）水面ニ近ク來テパクパクスル（魚ガ）。（二）（喰）カタコトデ物ヲ言フ（小兒ナドガ）。
あきなひ（（第四イ））（第三上）名。（商ひ）　アキナフノ名詞＝モノノウリカヒ。＝夫木集「イチヒメノ神ノイガキノオカナレバ、あきなひモノニ千代ヲツムラン」。
●あきなひ・とみル（第六上）自動、一。　アキナヒノヤウニエル。＝アキナヒメク。
あきなひ・もの（全平）名。（商品）　アキナヒニスル品物。
あきなひ・みやうり（（第四イ、第五、六ミョ））（第五、六上）名。（商名利）　アキナヒノミヤウリ。此解釋容易デナシ、マヅみやうりノ義ヲクハシク探ッテソレカラノ事。
みやうり參考。＝近松、博多小女郎波枕「あきなひみやうり廣言ゴザラヌ」。
あきにれ（全平）名。（秋楡＝（柳楡））　イビッナリデ尖ッタ葉、葉ノヘリニノコギリ齒、八月頃ウス黃色ノ小サナ花ヲ開ク。
◎あきの（全平）名。　秋ノ野。
あきの・かた（第三上）名。（明の方）　歳德神ノヰルト定メル方角。＝エハウ。＝ハウ。＝としとくじん參考。
あきの・みや（第三上）名。（秋の宮）　（東宮ノハルノヤミニ對シテ）。　キサイノ御所。＝皇后ノ御所＝家隆「カサヲテモカヲテ千歳ノシルキカナ、春ニタチソフあきのみや人」。
あきはぎ（全平）名。（秋萩）　クサノ名、



はぎト同義。
あきはツ（全平）自動、下二。（厭き果つ）　イヤニナリハテル。＝心カラキラフ。
●あきはてル（全平）自動、二。　あきはつノ近體動詞。
△あきびと（第三上）名。（商人）　あきうどノ原語。
あきふた・げ（第四上）名。　鹿ノ毛ノ名。鹿ノ毛色デ秋ノ新シイ毛（黑色）ヲ殘シ、モトノ古ケテ長イ毛ヲ去ッタモノ。＝「秋ふたげノムカバキ」。
あきべや（全平）名。（明部屋＝（空房＝空室））　人ノ居ヌヘヤ。
あきぼこり（第三上）名。　めなもみ（石見ノ方言）。
あきまめ（全平）名。（秋豆）　秋熟スルダイズ。
▲あきめく（…）名。（明盲）　あきめくらノ略。東京ノ下等社會ノ隱語。
あきめク（第三上）自動、四段。　秋ラシクナル。＝アキヅク＝アキジミル。
あきめくら（全平）名。（明盲＝（清盲））　（一）アキシヒ。（二）文字ヲシラヌモノ。＝モンマウ。
△あきもの（全平）名。（商品）　アキナヒスベキ品物。
あきもの（全平）名。（明き物）　ソノ時ダシザイ用ヰテ居ヌモノ。
あきもも（第二上）名。（秋桃）　秋ニナッテ熟スル桃、又其實。夏ももヨリ大キナ實。
あきや（全平）名。（明屋＝（空屋））　人ノヰヌ家。＝アキイヘ。
あきやしき（全平）名。（明屋敷＝（空邸））　人ノヰヌヤシキ。
あきやま（第二上）名。（秋山）　秋ノ山。

あきやまの（第二上）枕。　したぶノ枕詞。＝「あきやまのシタブル妹」。
あきらか（第二上）根。（明）　（一）モノノハッキリシタコト。＝クマナクアルコト。＝クモリノナイコト。＝トモシ火あきらかナリ」。（二）ウタガハシイコトノナイコト。＝ヨクワカルコト。＝「事ワケあきらかナリ」。
あきらか・さ（第二上）名。　物ノアキラカデアル度合ヒ。＝アキラカ度合ヒ。
あきらか・ま（第二上）副。　あきらかノ副詞體。
○あきら・けし（第四上）形。（明らけし）　アキラカナル。
○あきらむ（第三上）他動、下二。（明＝（諦））　アキラカニ探ル。＝「眞理ヲあきらむ」。
○あきらム（第三上）自動、下二。（前條ノ語カラノ轉義）。　あきらめテオモヒトドマル。＝念ヲ斷ツ。＝「仕官ヲあきらむ」。
○あきらめ（全平）名。　オモヒトドマルコト。＝オモヒキリ。＝人間ハあきらめガ肝心、ヨシヤ子ニ死ナレタトテモ」。
●あきらめル（第四上）自動、二。　あきらむノ近體動詞。オモヒトドマル。＝思ヒキル。
●あきル（第二上）自動、二。　あく（厭）ノ近體動詞。
○あきル（全平）自動、下二。（呆る＝（惘る））　オドロキマヨフ。＝オモヒノホカノモノゴトニ遇ッテオドロク。
あきれ（全平）名。（呆れ）　アキレル、又アキレタコト。
●あきれ・かへル（（第五ニ））（第四上）自動、一。（呆れ返る）　ハナハダシクアキレル。
●あきれル（全平）自動、二。　あきるノ近体動詞。

○あきゃさめ（第三上）名。（秋收）　秋ノ田ヲ刈ルコト。
▲あきゃ・ぎり（（第三遍））（全平）根。　あきぎりノ轉訛。
▲あきゃ・ぱィ（…）（第四上）形。　ハヤクイヤニナリヤスイ。＝「モノゴトにあきゃぱい」。
▲あきゃ・ぱさ（…）（第四上）名。　アキッポクアル度合ヒ。
●あきゃんど（第二上）名。（商人）　あきうどノ轉訛。
あきゃんど・かたぎ（（第七キ））（第五上）名。（…氣質）　商人ダケニ商人ラシイココロモチ。「あきゃんどかたぎニ」。文ノ利モアラソフ」。
あきゃんど・ぶね（第五上）名。（…船＝（商船））　アキナヒモノ、又ハアキンドヲ載セル舟。
●あきゃんど・や（第四上）名。（…屋）　アキンドノ住ム家。
あきゃんど・やど（第五上）名。（…宿）　主ニ商人ヲ泊メル宿屋。
△あく（全平）名。（…）　四方ノマハリト屋根トヲ共ニ張ル布、幕ノ類。今ノてんとト全ジタグヒ。ムカシオホク用ヰタモノ。＝アゲバリ。
△あく（…）名。（醴）　ウルイ酒。＝下等ナミキ。＝和名抄「醴酒俗云阿久」。
あく（…）名。（灰汁）　（一）灰ヲ水ニ沈メ、日ヲ經レバ黃色ノウハズミガデキル、コノウハずみ、アブラ、アカナドヲ落ス用ニッカフ。（二）灰ノ別名。但シ極メテ普通デハナカ。（三）植物類ノ澁イシル（液）。＝「ヨメナノあく」。＝「茶ノあく」。
あく（第二上）名。（惡）　（一）スベテワル

イコト。―ヨクナイコト（善ニ對シテ）。（二）（平）歌舞伎ニ、スベテ悪人ノシワザヲ行フコト。―カタキヤク。―アクヤク。

▲あく（…）名。（悪口）（あく（悪）く（口）ノ義）。ワルクチ。―ヒトノ心ヲソコナフ、ニクラシイ言語。

あく（全平）自動、四段。（明く―開く）（一）（空）ヒマニナル。―スルヲガナクナル。―「手があく」。（二）（空）ソノ中ノ物ガナクナル。―「烟草ヲ呑ミ盡クシテ、函ガあひた」。（三）手ヲ下サズニ自然ニ開ク。―「戸前ガあく」。

◎穴ガあく―（テオチガデキル。―ヌケメガ出來ル。）◎鼻ガあく―（シッパウスル。―アテガハヅレル）◎口ガあく―（思ヒノホカトナル。―アキレル）。

○あく（全平）他動、下二。（明く―（開く））（一）（空）ムナシクスル。―スルコトヲ無クス。―「手ヲあく」。（二）（空）ソノ中ノモノヲカラニスル。―「函ヲあく」。（三）手ヲ下シテ開ク。―「戸前ヲあく」。

◎穴ヲあける―（シッサクスル）―（ボロヲ出ス）。◎ウチヲあける。―（ヨソヘ泊マル）。

○あく（全平）自動、四段。（飽く）（ヨ）ク。―オモフマヤニ滿足スル。―充分トオモフ。

○あく（…）自動、四段。（悪く）（前條ノ語義ガ轉ジテ）充分ニスギテイヤニナル。―イトハシクナル。―キラフ。―家隆「ハシタガノ遠山ヲカノ山ガヘリ、カヘルサあかぬ雪ノ御狩場」。

○あく（全平）自動、下二。（明く）（ル。―スギル。―ダツ。―「夜あく」。

あく（全平又マレニ第二上）他動、下二。（上）ぐ。（一）高イ處ヘヤル。―ウヘヘサザグル。―「手ヲあぐ」。―「手ヲ屋根へあぐ」。（二）アタヒヲ高クスル。（三）音色、テウシヲ高クスル。―「コヱあげて」。（四）弘メツタヘル。―「名ヲあぐ」。（五）登用スル。―アツマニ官府ニあぐ。（六）（源）授官スルツミニヨッテウバヒトル。―「扶持ヲあぐ」。（七）（獻）ダテマツル。―近松、二枚繪双紙「毎年ノオシモ月ケダイモナウあげるコト、自力デハ叶ハズ、恩德ノオカゲナリ」（八）ムスブ、又ニフノ敬語。―「御クシヲあぐ」。（九）成効スル。―ナシヲハル。―「シあげる」。―「稲モハヤ刈リあげタ」。（十）動詞一）吐ク。―胃カラモドス。―「醉ッテタベタモノヲスッカリあげる」。（十二）ハタク。―ップス。―ナクナス。―近松、二枚繪卯紙「新地グルヒニ身體あげ」。

●あくあくしイ（第一上、又第五上）形。（悪悪しい）ワルサウデアル。―「あくあくしい顔」。

あくあくし・さ（…）名。アクアクシクアル度合ヒ。

あく・い（第二上）名。（悪意）ワルイココロ。―アクシヨウタクラム心。

あく・うち（全平）名。（灰汁打ち）アクヌスル身ノウヘノ運命。―「あくうんガッヨイ。

あく・うん（第三上）名。（悪運）アクあく・えん（第二上）名。（悪縁）男女ノ間デ、トカク思フ儘ニナラズ、ソレデ深ク思ヒアフ縁。―谷峨二筋道「戀ヒコガレテ痩セオトロヘ、食モロクロク食ハヌホドボレルトイフモジヨク深イあくえんガラウガ」。

あく・がぶ（（第三、四ゴウ））（第二上）名。（悪業）悪事ヲシタムクイ。―悪事ヲシタ成レノハテ。―近松、釋迦如來誕生會「イカナル過去ノあくがぶニテ佛ニ縁ノナイコトヤ」。

○あくがらす（第四上）他動、四段。あこがらす ト同義。

○あくがル（第三上）自動、下二。あこがるト同義。―和泉式部「モノオモヘバ澤ノ蛍モ吾身ヨリあくがれイヅル魂カトゾ見ル」。

あく・き（（第二逼））（第一上）名。（悪鬼）ヨコシマナ鬼。―タタリヲスル鬼。

あく・きん（（…））（全平）名。（悪金）（一）タチノワルイ金（キン）。（二）ニセガネ。

あく・きやう（（第三、四キヨウ））（第二上）名。（悪行）フミモチ。―ワルイオモヒ。

あく・きやく（（第三、キ、第三、四合））（全平）名。（悪道）（一）道德ニソムイタスベテノ悪事―ランバウ。（二）八虐ノ一。

あく・く（（第二逼））（全平）名。悪口ノ異音ヨミ（佛者ノ語）。

●あくけなイ（（…））（第四上）形。あくけなしノ近体形容詞。

あくけ・さ（（…））（第三上）名。アクケナクアル度合ヒ。

あくけ・あシ（（…））（第四上）形。（飽氣無し）ハカナイ。―滿足シガタイ。―充分トオモハレヌ。―「花火トイフモノハ揚ゲタト思フトスグ消エテ、ホントウニあくけない」。

あく・とう（（…））（全平）名。（悪口）ワルクチ。―ヒトノ心ヲソコナフコトバ。

あく・さう（（第三ソ））（第三上）名。（悪相）アクニンラシク見エルサウガウ。

あくじ（第一上）名。（悪事）道德ニ背イタシワザ。―スベテワルイシワザ。―ワ



ザハヒ。

あくじう（第三上）名。（悪獣）マウジウ。―人ノガイトナルケモノ。

あくしつ（全平）名。（悪疾）タチノワルイヤマヒ。―戸仝七悪疾。

あくしん（第三上）名。（悪心）ワルイココロ。―アクヲシタガル心。

あくしん（第二上）名。（悪神）ワルイ神。―タダシイ道ニヨラヌ神。―タタリヲスル神。

あくしやう（（第三、四ショウ））（全平、又第三四上）名。（悪性）（一）ワルイタチ。―ヨコシマナウマレツキ。（二）ワルイコト。―ワルイシワザ。―近松、二枚繪双紙「餘ノあくしやうハ若イモノ、有ラウコトモ言ハレウガ」。（三）（轉ジテ）ミダリガハシイシワザ。―「あくしやう女」。―「あくしやう男」。―「あくしやうアマ」。―「あくしやうヤラウ」。

あくしゆ（（第三、四合））（全平）名。（悪酒）アヂ、又ハタチノワルイ酒。

あくぐしゆ（（…））（第一上）名。（悪趣）佛經ノ語。佛教ニ地獄、餓鬼、畜生ノ三ツヲ三悪趣トイフ。―アクダウ。―ココロヨカラヌ、悪ノムクイ。

あくしよ（（…））（全平）名。（悪所）（あるい（悪）ところ（所）ノ義。―スベテ遊蕩ヲムカヘル場所。

あくしよ（（…））（…）名。あくしよノ轉訛。

▲あくしよ・ぶち（（…））（…）名。あくしよへ行クコト。―西鶴、一代女「禮場ヨリスグニあくしよぶちノ内談」。

●あくしよ・ぐるひ（（…、第五ゲ、第七イ））（第五上）名。（悪所狂）あくしよデハウタウスルコト。

あくしよば（（第三、四合））（全平）名。（悪所場）あくしよト同義。―著者不詳、寛天見聞記「…マタ宿場ノメシモリ女吉原町トヲサシテ世ニあくしよばトス」。

あく・せうねん（（第三ショ））（第三上）名。（悪少年）ミモチノワルイコドモ、マタ若モノ。

●あく・せく（（第一上））根。（齷齪）事ニカカハッテイソガシイコト（大槻氏ノ言海）。「ヒマナイ」トシタノハ穩カデナイ。

あく・せく（…）副。イソガシク。―セカセカト。―ヤカセカ。―「あくせくカセグ」。

●あくせくど（…）副。セカセカト。―キモキト。

あく・せん（全平）名。（悪錢）（一）タチノワルイ錢。（二）不正ノシワザデ得タキンセン。―「あくせん身ニツカズ」。

あく・そう（第三上）名。（悪僧）ハカイノ僧。―道ニソムイタシワザノアル法師。―近松、釋迦如來誕生會「邪法白見ノあくそう共ニ」。

あくだ（（第四上））名。（芥藻屑）（あくた（芥）もくづ（藻屑）ノ義）。アクタ、モクヅナドノツマラヌモノニヨッヘテ、ヒトヲ罵ルコト。―「あくたもくづチマケル」。

あくた（全平）名。（芥）（あ）（發語）くた（塵）ノ義。）ゴミ。―ヤブレ、或ヒハ腐ッテ捨ラレタモノ。―紀海音、青梅撰食盛「ソコラアタリノ青モノハ蹈ミツケラレテあくたナル」。

たニナル。（全平？）名。（蚘虫）虫ノ名。イマ言フ、クワイチュウ。―和名抄「蚘虫、今案一名寸白、俗云加以、又云阿久太」。

あくた・たい（第三上）名。（悪對）（悪對、コノ字ハ全クノアテ字デアラウカ？ソモソモ此あくたいガ悪對ノ音トシテ始マッタ語デアルトハタシカニ言ヘヌ。右ノ悪對ハ言海ニアル字、語彙ニハコレヲ悪態トアテタモノノ是ハ最モオダヤカデナイ。ト言ッテ言海ノモ扨ヨクナイ。思フニ此コトバハあくた（芥）ノ延デモアラウカ？コノタグヒノ延、例ハ他ニ無クハナシ、ナゼあくたノ延カトイフニ、其證據ハコノあくたいガもくたいトイフ語ト成句ニナッテ續クコトデアル。もくたいハ其條ニイフトホリもくづ（藻屑）ノ轉、即チあくたいもくたいハあくたもくづ、即チあくたもくづトマッタク同義デ、モシモあくたいガ悪對ナラ、之ニもくたいト續ク語モ何カ然ルベキ漢字ノアタッテ居ルガ道理ラシク、ヨシサウデ無イトシタ處ガ、何故ニもくづガ悪對ト結ビ付クカトイフ事ノ説明ハ迚モ出來ヌ。悪口デヘンタフヲカヘスコト。―イヤシメ罵ルコト。

◎あくたいヲつく（吐）―（悪口スル）。◎▲あくたいヲこく（ハゲシク悪口ヲイフ）。

あくたい・もくたい（第五上）名。あくたもくたノ轉。

あく・たう（（第三上））（第三上）名。（悪黨）（あく（ワルイ）たう（ナカマ）ノ義）。アクニン。―ワルモノドモ―アクト。

あくだう（（…））（第二上）名。（悪道）（あく（ワルイ）だう（ミチ）ノ義。）佛家ノ語。罪障ノアルモノガ死ンデ行クトイフ處。コレニ地獄、餓鬼、畜生ノ三種ガ有リ、ヒキクルメテ、コレヲ三悪道。

あくた・とり（（第三上））名。（芥取）ゴミトリ。―チリトリ。

◎此語今日ノ普通言ニハヤヤ癈語トナッ

タ姿。

△あくたび　(第三上)名。〔非火〕　アクタヲ燃シタ火。

△あくた・ふ　(…)名。〔非生〕〔糞堆〕　チリヅカ。—ゴミヨセバ。—和名抄「糞堆、阿久太布」。

△あくた・むし　(…)名。〔蜚〕〔蜚蠊〕　アブラムシノ類カト云フ。—和名抄「蜚蠊阿久多牟之」。

あくた・もくた　(第四上)名。　あくぞもくぞノ轉。

あくだら　(全平)名。〔阿久陀羅〕〔発語?〕　常陸邊ノ方言、はりぎりノ木。

●あくたれ　(…)名。〔悪行〕〔暴行〕　ヤクニナッテスルワルイ所業。—イタヅラ。—ランパウ。

●あくたれ・もの　(…)名。〔暴人〕　あくたれタ所業ヲスルモノ。—イタヅラモノ。—ランパウニン。

●あくたれル　(…)自動、二。〔悪れる〕　アバレル。—アタケル。—ヤケニナッテ悪イ所業ヲスル。—コトサラニヒトノ害トナルイタヅラヲ行フ。「あく(悪)ヲ動詞トスルタメニたれるノ助動詞ヲソヘタ語ダ。あさをたれるノたれるナドト同シ例」。

◎間義あばれるノ條參考。

あくだよ　(第三、四合)第一上名。〔悪女〕　(一)オモニ、ヌガタ、カタチノ美クシクナイ女。—シコメ。—ブランナ。—醜婦。(二)コロコロノワルイ女。

▲〔あくつ〕〔あくと〕　(全平)名。〔鍾〕〔あかと〕〔かかと〕〔皿〕と(處)トシタハ率强ニコレヲあ(足)く轉ノ又轉言海ニコレヲあ(足)く地方ノ方言。カカト。—キビス。　東北

●あくと　(全平)名。〔悪徒〕　ワルモノ。—ゴロツキ。

あくとこ　(第一上)名。〔悪徒〕　(一)ワルモノドモ。—ワルモノノムレ。—アクタウ。(二)(マレニ)コロコロノヨコシマナ人。

●あくどい　(第三上)形。〔(諄)い〕〔あ(發語)く どい(元)ノ義。言海ニコレヲあく(悪)いたし(痛)トシタハ率强ニスギル。　ホドヨリスギテ好マシクナク思ハレル。—クダクダシイ。—シツコイ。—アヂハヒガスギル。

○あくどいハ　八ノシツサニモ、マタスベテ五感ニフレル感觸ニモイヘル。—〔あくどいアヂノ類〕

●あくどさ　(第二上)名。〔…さ〕　シツコイヤクアル度合ヒ。

○あくどシ　(…)形。　あくどいト同義。

○あくまフ　(第四ウ)(第三上)自動、四段。〔(跳)〕〔あく(悪)なふ(爲)ノ義〕。　主ニ、ハネル(馬ガ)。

あくにん　(第二上)名。〔悪人〕　ヨコシマナ人。—アクト。—ワルモノ。

あくね・せうちう　(第四ショ)(第四上)名。〔阿久根燒酎〕　薩摩阿久根カラ出ルセウチウ。

あくねル　(第二上)名。〔悪念〕　ワルイココロ。—アクシン。

●あくび　(…)名。〔悪婆〕　ココロノヨクナイむノ轉トイフ。同義。

あくば　(…)名。〔悪婆〕　アクバ。

あくば　(第一上)名。〔悪馬〕　ワルイウマ。—アバレウマ。—アクメ。

あくび　(全平)名。〔欠〕　アクブコト。—ツカレタリ、又ハネムタイ時シゼンニ出ル一種ノ呼吸。—枕ノ草紙「カミザマニカ

△あくぶ　(全平)名。〔足組〕〔足〕　アグム(足組)コト。—アグラヲカクコト。

あくみ　(…)第一上名。〔厭〕　アグム(厭)コト。—近松、吉野都女楠「古今無雙ノ名將ト呼バレタル足利尊氏ニ一あくみアグマセントハ思ハズシテ」。

あくみやう　(第四ヨ、第三、四合)(第二上)名。〔悪名〕〔わるい(悪)な(名)ノ義〕。　ワルイウハサ。—ワルイヘウバン。—あくシラサグリアゲテあくびヲオノレウチシテヨリ臥シヌル」。

▲あくび　(第一上)名。　あけびノ訛。

あくび　(全平)名。〔悪筆〕　(一)コシラヘノワルイ筆。(二)オモニ、ツタナイ字ノ体。—マヅイ手跡。—クセノ有ル字。

あくびやう　(第四ヨ、第三、四合)名。〔悪病〕　スベテ、タチノワルイ病氣(癲、梅毒ナド)。—ナンビヤウ。—西鶴、一代女「カヤウノタグヒノ女身ヲ、ンザイニ持チナシ、ムカシノあくびやう山歸來ナドニシテ隱シオキシガ」。

△あくブ　(全平?或ハ第二上?)自動、四段。　ツカレタリ、又ハネムタイ時シゼンニ一種ノ呼吸ヲ出ス。—アクビヲスル。—枕ノ草紙「ナガナガトウチあくびテ」。

あくふう　(第三上)名。〔悪風〕　(一)人家、草木ナドヲソコナフカゼ。(二)道德ニ背クナラハシ。—不德ノ風俗。

あくま　(第一上)名。〔悪魔〕　ま(魔)ト同義。—あくまゲダウ。

あくまで　(第二上)副。〔飽迄〕〔あく(飽)まで(迄)ノ義〕。　充分トナリチムシロイヤニナル位ノ處マデ。—ヲハリノハテマデ。—「あくまでヤリトホス」。—「あくまで仇ヲスル」。

△あくみ　(第二ク)(全平)名。〔足組〕〔足〕〔厭〕　アグム(足組)コト。—アグラヲカクコト。

あくみ　(…)第一上名。〔厭〕　アグム(厭)コト。—近松、吉野都女楠「古今無雙ノ名將ト呼バレタル足利尊氏ニ一あくみアグマセントハ思ハズシテ」。

あくみやう　(第四ヨ、第三、四合)(第二上)名。〔悪名〕〔わるい(悪)な(名)ノ義〕。　ワルイウハサ。—ワルイヘウバン。—あく



みやうヲ取ル」。

△あくみ・ゐ　(第二ク)(第三上)名。〔足組居〕〔跌坐〕　アグミシテスワルコト。

△あくム　(…)(第二上)自動、四段。〔足組〕〔跌〕〔あ(足)くむ(組)ノ義〕。　両足ヲ組ンデスワル。—アグラヲカク。

あくム　(…)(…)自動、四段。〔厭〕　イヤニナル。—タイクツスル。—力ノ及バヌノデ思ヒワンコナフ。—「タヤスク落ツベキ城ナラネバ攻メあぐんデ見ユタリケル」。

△あくめ　(第一上)名。〔悪馬〕　あくば(悪馬)ト同義。—大鏡「イミシカリシあくめナリ」。

△あくや　(全平)名。〔幄屋〕　あく(幄)デカコツタカリヤ。

あくら　(第二ク)(…)名〔あ(足)くら(座)ノ義〕。　(一)〔胡床〕〔繩床〕。コシヲカタル道具ノ名。支那デ胡床ヲソノモト西戎ノ製トイフ處カラ思ヘバムカシノぐりいす邊カラ早ク支那ニ傳ハッタカ?　支那デ漢ノ靈帝ガコレヲ好ンダオモフキ、其後ソノママ支那ニノコリ、遂ニ日本ト交通スルニ及ンデコノ邦ヘモ傳ヘタモノ。形ハ今日ノ安樂椅子ト更ニ違ハズ、普通ニタダ腰ヲカケル處ヲ繩ノアダンモノデ張ル類、タタミアグラ。—日本紀「然自若踞坐胡床」—和名抄「胡床、阿久良」。　(二)〔胡坐〕(前條ノ道具ハあぐみシテスワルタメノモノニ、ソレカラ轉ジテ)スワチあぐみスルコト。

◎あぐらヲかく—(アグミヲオコナフ)。—鼻ガあぐらヲかく—(鼻ガヒラタクハダカル)。

△あぐらう　(第三ロ)(第二上)名。　あくりやうノ轉。—源氏、「あぐらうハシフネキヤウナレド」。

▲あぐらなべ　(第二ク)(第四上)名。〔胡坐鍋〕　煖ナガラ食ベルニ用ヰル鍋。鍋ニ別段カハッタ形ハナシ、タダ獨酌ナド樂シム時ニアグラ抔カイテ鍋ニ向フ處カラッケタ名。—「あぐらなべノコナガラザケ舌ッヅミヲウッタノシミ」。

△あぐら・ゐ　(…)(第三上)名。〔胡坐居〕　アグラヲカイテスワルコト。—古事記、「あぐらゐノカミノミテモチ、ヒグコトニ」。

あぐらう　(第四ヨ、第三、四合)(第二上)名。〔悪魔〕　ヲンリヤウ。—タタリヲスル死人ノ魂。—オモヒ。

あくる・あさ　(…)名。〔明朝〕　ソノ日ノ次ノ朝。

△あくる・けふ　(第四、五、キョウ合)(…)名。　ソノ日ノツギノ日。—桑花物語、「あくるけふハ心ノドカニ」。

あくる・とし　(…)名。〔明年〕　ソノ年ノツギノ年。

あくる・ひ　(…)名。〔明日〕　ソノ日ノツギノ日。

あくわい　(第二、三合)名。〔亞槐〕　大納言ノ異名(支那ノ周ノ世、外朝ニ槐ヲウエタ處カラコレニ最モ近イ太政大臣、左右大臣ノ三人ヲ三槐トイヒ、ソレカラ又大納言ハ此三槐ニツグ(亞)モノトノ義カラ亞槐トイフ)。

あくわんぼく　(…)(第二、三上)名。〔亞灌木〕　(くわんぼく(灌木)ニつぐ(亞)ノ義)灌木ヨリヤヤ草ニ近イウエモノ全體ノ名(英蓉ノ類)。

△あけ　(全平)名。〔朱〕　あか(赤)ノ轉。(一)アカイロ。(二)(轉シテ、オモニ)緋色、スナハチあかニヤヤ黄色ヲ合シタモノ。—日本紀、「直八絃緋(訓アケ)。—「モミヂバハコガレアヒテモ見ユルカナ、繪鳩ガイソノあけノソホヂ」。

あけ　(…)名。〔明〕　(一)アケル(明)コト。(二)ヨアケ。—アケガタ。—アカツキ。

あけ　(…)名。〔樋〕　コタツノヤグラ。—和漢三才圖會「夜久良一名阿介」。

あげ　(第二ゲ)(全平)名。〔上〕　(一)アゲル(上)コト。(二)コドモノ着物ノウチノ一部分ノ名。布ヲ斷タズ、後ノ用ニナルタメ、肩、及ビ腰ナドニ縫ヒアゲヲツクッテ置ク、ソノヒダ。

◎あげヲとる—(ヌヒアゲヲツクル)。

あげ　(…)(…)名。〔揚〕　アゲモノ、アゲドウフ、又ハアブラアゲノ略。

あげ・あし　(…)(…)名。〔舉足〕　(一)ヤハラ、スマフナドノ語。カラダノ浮イテ地ヲ離レテ足ノアガルコト。—「あげあしヲ取ッテ引キタフス」。(二)(轉シテ)ヒトノ言葉ノアナ。—コトバジチ。—「あげあしヲ取ッテカラカフ」。

あげ・あぶら　(…)(第三上)名。〔揚油〕　アゲモノニ用ヰルアブラ。オモニ、胡麻ノアブラ、ナタネノアブラ、近頃ハ又牛、ブタ、ニハトリノアブラモイフ。

あげ・いし　(…)(全平)名。〔上石〕　圓碁ノ語。圍ンデ殺シテ敵カラ取ッタ石。—ハマ。

あげ・いた　(…)(…)名。〔上板〕〔揚板〕　板ノマノユカニ敷ケタ、アケタテノ出來ル板—アゲブタ。

あ・げう　(第二キョ合)(第一上、又全平)名。〔阿膠〕　〔東阿縣(今山東兗州府揚穀縣)有井有官舍以其井水常煮膠以貢之故名阿膠〕。　ニカハ。スベテノ牛、ロバ、ブ

タナドノ皮ヲ裏テコシラヘタニカハ。主ニ藥用トシ、肺、大腸ノヤマヒニ用ヰル。

あげうた　（（第二ゲ））（全平）名。〔擧歌〕　上古ノ雅樂ノ名。ウタヒカタニ擧ノアガル處カラノ名。—日本紀「此贈二首曰擧歌」。

△あげ・ふとり　（（……））（……）名。〔上劣〕　アゲオトルコト。—源氏「あげおとりヤトウタガハシク」。

△あげ・れとル　（（……））（……）自動、四段。　あげまさるノ對。元服シテ髮ヲアゲ、前ヨリカホガチノ劣ル。

あげ・おろし　（（……））（第三上）名。　アゲサゲ。—西鶴、一代女「サダウグノあげおろし」。

あげ・かす　（（……））（……）名。　アゲモノヲアゲタアト、アブラノ中ニノコルカス。

あげ・かすがひ　（（……第五カ、第六イ））（第三上）名。〔擧鍬〕　アゲ戸ヲトメルカスガヒ。—和名抄「阿介賀須加比」。

あげ・がた　（（第三ガ））（全平）名。　ヨアケ。＝アカツキ。＝夜ノアケカカツタ時。

あげ・く　（（第二ゲ））（……）名。〔擧句＝揚句〕　（一）連歌ノ語。五、七、五、七、七ノウチ、下ノ七、七ノ二句ノ名（發句ニ對シテ）。（二）轉ジテ、ヲハリ。＝スエ。＝トドノツマリ。—近松二枚繪双紙「アカイ男ヲフリステ、ノボリツメテ、あげくニハ姫君ヲウケダストテ」。—近松、吉野都女楠「ヒヤツチモヒチツテモ二寸ヨリ上目ナク、あげくニ今夜三寸縄ニシバラレマシタト泣キケル」。

++あげくだし　（（……））（……）名。〔吐瀉〕　ハキクダシ。

○あげ・くル　（第三上）自動、カ變。〔明來る〕　夜ガアケテクル。＝夜ガアケハツメル。—萬葉集「あけくれハウラマコグラシ」。

あげ・くれ　（第二上）名。〔明暮＝旦暮＝朝暮〕　ヨアケトユフグレト。—「あけくれノ空」。—「山ノあけくれ」。

あけくれ　（……）副。　朝ニ、夕ニ。＝ツネニタエズ。—源氏「コノゴロあけくれゴランズル長恨歌ノ御繪」。

◎あけくれ・ネガフ雲。＝（彌陀來迎ノ紫雲）。—永緣「柴ノトノ西ノタカキノ藤ノ花、あけくれネガフ雲カトゾ見ル」。

△あけ・くれ（暮）ノ義）　（（第三ゲ））（全平）名。　アケガタニナツテ、スコシ夜ノ晴タナルアリサマ。—源氏、「サヤ暮ノ空」。

あけ・ぐれノホド。

○あけ・ぐし　（（第二ゲ、第三ゴ））（第二上）名。〔上興〕　肩デカタゲル コシ（輿）（サゲゴシニ對シテ）。—「あげでしニカツグ」。

あげ・ごと　（（第二ゲ））（全平）名。〔獻事〕　神ホトケ、ソノ他スベテアガメルモノニ物ヲ奉ルコト。—奥竹集「七夕ニカサント思フあげことニソノ夜ナキ名ノタチニケルカナ」。

あけ・ごろも　（（第三ゴ））（第三上）名。〔緋袍〕　緋色ノ袍。＝あけ（朱）參考。—源頼政「あけごろも色ヲソヘニシムラサキノ今一シホヤマシテウレシキ」。

あげさげ　（（第二、及第四ゲ））（第二上）名。〔上下〕　（一）アグルコトトサグル事。（二）ダシイレ（賣物ナド）。—「貧乏ダケニ質物ノあげさげニハクハシイ」。（三）（轎ヒ）ホメルノト、ソシルノト。

○あけ・さル　（第三上）自動、四段。〔明去〕　充分ニ明ケル。＝充分ニ了ル。—万葉集「あけされバ荻ノサエダニ」。

あげ・じとみ　（（第二ゲ））（……）名。〔上蔀〕　アゲラレルヤウニ造ツテアルシトウヘヘアグラレルヤウニ造ツテアルシトミ。＝ツリシトミ。

あげ・しば　（（……第四オ））（全平）名。〔上汐〕　アゲテクル潮。＝サシシホ。

▲あげ・すけ　（第二上）根。〔明助〕〔すけハじんすけ、でれすけナドト同シタグヒノ語〕　（☆すけ參考、あげハ打チアクル義）。モノヲ包ミカクサヌセイシツデアルコト（ヤヤイヤシメテ云フ意）。

▲あげ・すけ　（……）名。　アケスケナ人。

▲あげ・すけ・さ　（……）名。　アケスケデアル度合ヒ。

▲あげ・すけ・に　（……）副。　アケスケデ。＝モノヲカクサズ。

あげ・せん　（（第二ゲ））（第三上）〔上錢＝揚錢〕　（一）物ヲ貸シ、マタ賣ルムクイトシテ取ルハネセン。—「クルマノあげせん一日五錢」。（二）日ガケ、又ハ月ガケノカケセン。—「ムヨンノあげせん」。（三）人ヲ勞シタムクイニヤル錢、マタソノナシタヅシ。—近松、二枚繪双紙「九間ノオロセガあげせんノノコリモ今日ハスツキリト」。

あげ・たい　（……）（全平）名。〔揚代〕　遊女、娼妓ナドヲ席ヘヨブ代。

あげ・だし　（（第二ゲ））（……）名。〔揚出〕　豆腐、赤子ナド、アゲアブラデカルク一寸アゲタモノ。

あげ・たたみ　（（……））（第三上）名。〔上疊〕　貴人ノ座、壇ノ両面ニオモテトヘリトヲ付ケタモノ。コレヲ高クカサネテ座敷ノタタミノ上ニシタ。

あげ・たて　（第二上）名。〔開閉〕　戸、フスマ、ヒキダシナドヲアケルコトトシメルコト。—「女ノクセニあけたてガ手アライ」。

○あげ・たツ　（全平）自動、四段。〔明立〕　夜ガアケヲタル。＝夜ガアケヲハル。—古今集「あけたてバ蟬ノウチハヘナキクラシ夜ハホタルノモエコソワタレ」。

あげ・だま　（（第二ゲ））（……）名。〔揚玉〕　カブトノ臺座ノカザリ玉ノ名。近代ノ工夫デムカシノ作ニハ見エズ、多クハココノヘ座ホドノ臺座ニツク。

▲あげ・う　（第一上）名。〔秋津＝蜻蛉〕　南都アタリノ方言。トンボ（アキツノ訛）。

○あげ・つげどり　（（第四ゲ））（第四上）名。〔明告鳥〕　ニハトリノ異名。

あげつち・もん　（（第二ゲ））（……）名。〔上げ土門〕〔つち（土）あげ（上）もん（門）ノ義〕　建築術ノ語。屋根ニ土ヲオイタ門。＝アヅチモン。—庭訓往來、「上土門（訓アゲツチモン）」。—武家雛形、「あげつちもん」。

あげ・づめ　（（……））（全平）名。〔揚詰〕　オノレ一人デ藝妓、娼妓ナドヲ買ヒキルコト。—西鶴、一代女「長崎屋出羽あげづめニセシ二三トイヘル男」。—京傳、江戸生艶氣樣燒「ワルイ思庵ノ名前ニテ浮名（遊女ノ名）ヲあげづめニシ」。

○あげつらひ　（（……、第五イ））（第四上）名。　アゲツラフコト。＝ギロン。＝ヒヤウロン。

○あげつらフ　（（……、第五ウ））（……）他動、四段。〔論〕　道理ヲツメテ物ヲイフ。＝ロンズル。

○あげ・とうふ　（（第二ゲ、第五ウ））（第三上）名。〔揚豆腐〕　アブラアゲ。＝アブラアゲ。

◎アマリ普通ニ用ヰズ、今ヤヤ癖語ニ近ツタ。

あげに　（全平）名。〔明菊〕　旅行ノ具。ムシロデ作リ、カド又ハオシブチニ竹ヲ用ヰ、時時明ケ得ラレルヤウニシタモノ。



あげ・のこル　（……）自動、四段。〔明殘る〕　アケキラヌ。＝マダヨクアケヌ。＝アケテモ殘ル（星ナド）。

あげ・の・みやうじやう　（（第五ヨ、第四、五合、第八ヨ、第七、八合））（……）名。〔曉明星〕　金星ノ異名。

あげ・ば　（（第二ゲ））（……）名。〔揚場＝埠頭〕　カシアゲノ場所。舟カラ物ヲ陸ヘアグル處ノ岸。

〔あげ・はなし〕　（……）名。〔明放＝開放〕　アケハナスコト。

〔あげ・はなし〕　（第四上）他動、四段。　（一）ノコラズ開ク（オモニ戸ナド）。（二）（開放）アイテアルママニスル。

○あげ・はなル　（……）自動、下二。〔明離る〕　夜ガアケテシマフ。

●あげ・はなれ　（全平）名。　アケハナレルコト。—「夜ノあけはなれガハヤイ」。

●あげ・はなれ　（第五上）自動、二。　はなるノ近体動詞。

あげ・は・の・てふ　（（第二ゲ、第五、六チヨウ合））（第四上）名。〔揚羽蝶＝鳳蝶〕　蝶ノ一種、サンセウ虫ノ化シタモノ。茶、又ハ白茶ノツバサ、コレニ黑イタテスヂ、小紋モヤウ、アミメ、マダラノホシナドガ有リ、ソシテ形ハスコブル大キイモノ。—近松、釋迦如來誕生會「コンコン二色ノあげはのてふ、トビツレ、トビツレ、トビモツレ」。

あけ・ばん　（全平）名。〔明番〕　宿直果テテ同役トカハツテ退出スルコト。

あげ・ばり　（（第二ゲ））（……）名。〔揚張＝幄〕〔あげて（揚）はる（張）義。　幄＝和名抄「阿計波利大帳也」。

あけび　（第一上）名。　あけびかづらノ略。

あけ・はらひ　（（第五イ））（全平）名。　アケハラフコト。

あけ・はらフ　（（第五ウ））（第四上）他動、四段。〔明拂ふ〕　コトゴトクアケル。＝アケハナス。

あけびかづら　（第四上）名。〔山女＝通草〕　山野ニ生ズルツルクサノ名。小判形ノ葉デ、ヒトトコロカラ五枚ヅツ出ル。夏ノハジメ、葉ノ間カラ細イ枝ヲ出シ、コレニ三瓣ノ花—花ソノ色ハウス紫カ白デ、ソノ大キサハ四五分バカリノモノ—ヲ着ケル。實ハ細長ク、瓜ニ似テ長サハ二寸アマリ、熟スルニ從ツテ食用トナルベク、ソシテソノ肉ハ白ク核ハ黑イ。—和名抄「葡子、阿介比」。—下學集「通草（傍訓アケビ）」。

あげ・びさし　（（第二ゲ））（第三上）名。〔上庇＝活搬〕　ツキアゲビサシ。

あげべ　（全平）名。　若狹、邊ノ方言。アケビ。

あげ・ぶた　（（第二ゲ））（……）名。〔上蓋〕　アゲイタ。

あけ・ぼの　（……）名。〔曙〕　〔あけ（明）はの（微茫）ノ義〕　アカツキカラ朝マデノ間。＝明ケサウニナツテホノボノトナルヨアケゴロ。＝シラシラアケ。—枕ノ草紙「春ハあけぼのヤウヤウ白クナリユク」。

あけぼの・ぐさ　（（第五ク））（第四上）名。〔曙草〕　〔曙ニ見テ殊ニウルハシイ故？〕　サクラノ異名。—奥竹集「ハルッゲグサ、あけぼのぐさ、ヨメミグサ、ヨシノグサ、フツカグサナドサクラノ異名アリ」。

あけぼの・さう　（（第五ン））（全平）名。〔曙草＝瘧牙菜〕　草ノ名。オホバコニ似タ葉秋開ク白色ノ花。花ハ五瓣デ、中ニ青又ハ黃ノ小サナ點ガアル。＝ヨシノシツカ。＝ホタルサウ。

あげぼの・じま　(全平)名。〔曙縞〕　タダシク縞ニシタアケボノヅメ。—西鶴若風俗「御所ヂラシ、千筋、山ヅクシ、あげぼのじま、幽禪ガ薮ノスンガキ」。

あげぼの・そめ　(……)名。〔曙染〕　染色ノ名。紅、黒、紫、藍ナドデアケボノノ空色ノヤウニボカシテ染メタモノ。—河東竹婦人作、カブロ萬歳「あげぼのそめモヤウヤウト紫ダチシハッソラニ」。

あげ・まき　(〔第二ケ〕)〔第二上〕名。〔揚巻〕　(一)(〔總角〕)ムカシノ小兒ノ髪ノユヒカタノ名。毛ヲ左右両方ニ分チ、上ヘあげテ巻イテ結ンダモノ。—源氏「あげまきノ長キ契リヲ結ビコメ、同シ心ニヨリモアハナン」。(二)(〔總角〕)紐ノ結ビカタノ名。輪ヲ左右ニ出シ、中ヲイシダタミニ組ンデ結ンダモノ。ミス、ヨロヒナドノカザリニスル。—アグマキムスビ。「ミスノあげまきトッテ下サレシユエ」。(三)(〔轡〕)介ノ名。まてノダクビ。頭カラ紐フダスデ出ス体ノあげまき結ビニ似タ處カラ云フ名。—アフギガヒ。(四)結紐具ガ久シク潮水ニサラサレ、上ガ無クナッテ下ノミ殘リ、オモテニ五瓣ノ花形ヲアラハシタモノ、タコノマクラトハ別物。

あげ・まく　(……)(……)名。〔揚幕〕　(一)芝居デ、花道ノハテニアル幕ノ名。(二)(〔轉シテ〕)俳優ガ花道ヘ出ル口。—劇場新語「二度目ノシラセニテ幕明ニ出ル役者階子ヲ下リテ無蓋トあげまくトヘマハル」。

△あげ・まきり　(……)(全平)名。〔上饌〕　あげたとりノ反對。カミヲアゲテ前ヨリ顔ダチノヨク見エルコト。

△あげ・まさル　(……)(……)自動、四段。　あげたとるノ反對。元服シテカミヲアゲ、前ヨリ顔ダチノヨク見エル。

あげ・まど　(〔第二ケ〕)〔第三上〕名。〔上窓〕　ッキダシマド。

あげ・まんおゆう　(……)(……)名。〔揚饅頭〕　アプラデアゲタ饅頭。

あげ・むつ　(全平)名。〔明六〕　アケガタノ六時。クレムツノ對。—異本洞房語園「町人ハ渡世ノ産業ニ油斷ナクあげむつカラクレムツマデ氣ヲツメテ」。

あげ・もち　(〔第二ケ〕)(……)名。〔揚餅〕　スベテ、アゲアブラデアゲタ餅。

あげ・もの　(……)(……)名。〔揚物〕　(一)水デトカシタウドン粉ヲ野菜肉類ナドヘマブシ、アゲアブラデアゲタモノノ總名。但シ、今日ハ大方癈語トナリカクタスガタ。(二)今モッパラ、野菜ル非ヲアゲアブラデアグタモノ。—シャウジンアゲ。◎肉類ヲアゲタノハ今普通ニテンプラ、又キンプラ。

▲あげ・もの　(……)(……)名。〔揚物〕　ヌスミモノ。—ヒソカニセシメテ來タ品モノ。—「ドロバウダケニあげものデ身ノマハリヲックル」。

あげもの・や　(……)(……)名。〔揚物屋〕　アゲ油デアゲタ物ヲックル家、マタ賣ル家。

(二)▲ヒソカニクスマモノヲスル人。

あげ・や　(……)(……)名。〔揚屋〕　遊女ヲ招イテ遊ブ家。—西鶴若風俗「若衆ノヒゲヌクト手許ト、知ラヌあげやノ門デ雨ヤドリヲスルト」。

あげ・やくわしや　(……、第四、五合、第六、七合)〔第四、五上名〕〔揚屋花車〕　京都島原ノくわしや(花車)ノ名。ヤリテヨリ一層ノカミニ立チ、職分ハヤリテトオナジ事ヲ行フ。

あげや・ぢょらう　(……、第四、五合、第六ロ)(第四、五上)名。〔揚屋女郎〕　江戸吉原ノ遊女ノ一種類ノ名。ウメ茶女郎ニ亞イダ格式デ、女郎ノ中デハ下等ノモノ。此名目ハ寛延ノ頃マデアッタオモフキ。

○あげ・ゆク　(〔第三上〕)自動、四段。〔明行く〕　ダンダントアカッキニナル。—ダンダント過ギル。

▲あげら・かん　(〔第二上〕)根。〔あげら(明)かん(閑—空)ノ義?〕　忙然トシテ居ルコト。—心ヲウバハレテ居ルコト。—アッケラカン。

▲あげ・らかん　(……)名。　忙然トシテ居ル人。—心ヲウバハレテヲル人。

▲あげらかん・と　(……)副。　あげらかんノ副詞體。

●あげル　(全平)他動二。　あく(他動、下二)ノ近體動詞。

●あげル　(〔第二ケ〕)(……)他動、二。　あゲ(上)ノ近體動詞。

あげル　(……)他動、下一。〔揚げる〕　(一)アブラニ浸シテ、イッテ(蒸煑ル。)—天麩羅ヲあげる。(二)スベテ藝人、遊女ノタグヒ、ソノ身ノシロヲハラッテ呼ンデアソブ。—「ゲイシヤヲあげる」。(三)▲ヌスム。

●あげル　(……)助動、(上)　敬語トシテ動詞ニ伴フコトバ。ソノタメニソノ事ヲスル義。—「ミテあげる」。—「シラセテあげる」。—谷峨二筋道「ドウゾヨナガラ貰イテあげテイニモ」。

◎※あぐノ解義第十參考。コノあぐノ敬語トあげルノ敬語ト同性質ニ見エルモノノ、實ハスコシ違フ。一方ハ動詞ト熟語トナリ、一方ハタダノ助動詞トシテ伴ナフバカリ、コレガ相違ノ點デアル。



あけ・わたル　(第四上)自動、四段。〔明渡る〕　夜ガマッタク明ケル。

あげ・を　(〔第二ケ〕)(全平、又第一上)名。〔上緩—上緒〕　カムリノ緒。。おいかけ參考。

▲あけ・つ・ばなし　(全平)名。　あけはなしノ轉訛。

▲あけ・つ・はなス　(第五上)名。　あけはなすノ轉訛。

△あこ　(第一上)名。〔吾子〕　(あ)ガ(吾)ノ(子)ノ義。　リガ子ヲ親シンデ呼ブ語。—日本紀伊雜懐而毛あご(阿毀)豫。

△あこ　(……)名。〔吾子〕　人マタハ人ノ子ヲシタシンデ呼ブ語。—万葉集「コノあこヲカラクニヘヤル、イハヘ神タチ」。

あ・こ　(……)名。〔(下火—下炬)〕(あ(下ノ朱雀)と(火ノ朱雀))。　禪宗デ、火葬ノ時、火ヲツケル法師ノ役名。—下學集「茶毘、下火、火葬」。

あこ　(……)名。〔中居〕　宮女ノ名目。キョドコロヲスル官女。—オンナカ井。—「一休ハあこガ腹ヨリウマル」。

▲あこ　(第一上)名。　魚ノ名。あこうノ畧。

あご　—和漢三才圖會、又略阿古。　アミヲ引ク人。—

(全平)名。〔網子〕

萬葉集、「大宮ノウチマデキコエアピキストあごトトノフルアアノヨビゴエ」。

あご　(第二上)名。〔(脣)〕〔あぎとノ轉訛〕。

(一)アギ。—アギト。　(二)ウワノエラ。

▲あご　(……)名。　九州、中國邊ノ方言、トビノウヲ。

●あこう　(全平)名。〔(榕)〕　語原不明。カツマルト同シ類、イヌビハニ似タ木。—チンガウボク。

●あこう　(第二上)　あかうをノ轉訛。

●あこえ　(全平?)名。〔(距)〕〔あ(足)くえ(蹴)ノ義?〕　ニハトリ又ハ雄子ナドノケヅメ。—和名抄、「距音巨、訓阿古江。鷄雄脛有岐也」。

あこ・がら　(〔第三カ〕)(全平)他動四段。　アクガラス。—アコガレルヤウニスル。—源氏「思ヒマッハスケシキ見ニマシカバ、カクモあこがらさザラマシ」。

●あこがらせル　(……)(〔第五上〕)他動、二。　あこがらすノ近体動詞。

あこガル　(……)(〔第二上〕)自動、下二。〔(憧)〕〔あこがる(焦)ノ義?〕　オモヒワキマヘカネテ心ガソワソワニナル。—「ソノ人ノ居ルカタニノミあこがれテ」。　あこがれ　(……)(〔第四上〕)自動、二。

●あこがれル　(全平)名。〔阿古屋〕　(一)あこやガひノ略。　(二)あこやたまノ畧。

あこや・がひ　(〔第四カ〕)(〔第五イ〕)(〔第三上〕)名。〔阿古屋貝—珠母〕　介ノ名。大キサ一二寸カラ六七寸。外面ザラザラトシ、內面ハ白ニ青ミノ色ヲ含ミ、特質トシテ眞珠ヲ持ツ。—シンジュガヒ。—ソデガヒ。—テフガヒ。—タマガヒ。—アコヤ。

△あこや・だま　(……)名。〔阿古屋玉〕　あこやガひカラ出ルタマ。—シンジュ。—シラタマ。—アコヤ。—六帖、「イセノウミ、アマノシワザノあこやだま」。

あこ・ひげ　(〔第二ケ〕)(〔第四ケ〕)(〔第二上〕)名。〔髭〕　(一)アゴニハヘタヒゲ。(二)芝居デッカフカッラノ名。

あさ　(第一上)名。〔(朝)〕　ヨアケカラヒルマデノ間。—アシタ。

あさ　(第二上)名。〔(麻)〕　(一)草ノ名。莖ハ角形デ、マスグニ生ヘ、葉ハモミヤニ似テ大キク、且對生スルモノ。莖ノ皮ヲムイテ糸ニシ、イロイロノ用ニッカフ。種類、をあさ、めあさ。又別名、をぎ、さくらあさ、めぎ、

(一)マンマルナカダチ。(二)カブトノ一種。からしようぎんノ變體、十代目宗安カラックリハジメタモノデ、カタチ圓クテ、イタダキヲスコシ凹メタコシラヘ。

○あこめ　(第一上)名。〔柏〕　(一)あこめぎぬノ略。—源氏「サマザマノあこめミダレキ」。枕ノ草紙「ウラハノあこめノウハオソヒハ何イロニ仕フマッルベキト」。(二)裝束ノ下ニ着ル男子ノ服。(三)(轉ジテ)シツノメ。

○あこめ・ぎぬ　(〔第四ギ〕)(〔第四上〕)名。〔……衣〕　婦人ガ身ニ近ヅケテ着ル服ノ名。—和名抄、「柏、阿古女岐沼。女人近身衣也」。

あこや　(全平)名。〔阿古屋〕　(一)あこやガひノ略。　(二)あこやたまノ畧。

あこや・がひ　(〔第四カ〕)(〔第五イ〕)(〔第三上〕)名。〔阿古屋貝—珠母〕　介ノ名。大キサ一二寸カラ六七寸。外面ザラザラトシ、內面ハ白ニ青ミノ色ヲ含ミ、特質トシテ眞珠ヲ持ツ。—シンジュガヒ。—ソデガヒ。—テフガヒ。—タマガヒ。—アコヤ。

△あこや・だま　(……)名。〔阿古屋玉〕　あこやガひカラ出ルタマ。—シンジュ。—シラタマ。—アコヤ。—六帖、「イセノウミ、アマノシワザノあこやだま」。

あこ・ひげ　(〔第二ケ〕)(〔第四ケ〕)(〔第二上〕)名。〔髭〕　(一)アゴニハヘタヒゲ。(二)芝居デッカフカッラノ名。

あさ　(第一上)名。〔(朝)〕　ヨアケカラヒルマデノ間。—アシタ。

あさ　(第二上)名。〔(麻)〕　(一)草ノ名。莖ハ角形デ、マスグニ生ヘ、葉ハモミヤニ似テ大キク、且對生スルモノ。莖ノ皮ヲムイテ糸ニシ、イロイロノ用ニッカフ。種類、をあさ、めあさ。又別名、をぎ、さくらあさ、めぎ、

みあさ。(二)あさいとノ略。(三)あさぬのノ略。—新古今集、宮内卿「マドロマデ眺メヨトテノスサビカナ、あさノサゴロモ月ニウツロヒ」。

・あさ　(…)名。(「麻」)(あさ(鮮)ノ義?)皮層ノ色素ガ常デナイ色ニナッタ、ソノ一種ノシミアト。ウマレツキノ病ヒカラモ、キリキズ、ウチキズカラモ出ル。—和名抄「痣、あさ」。

あさ　(…)名。(「宇」)　一村ノ内ノマタ小サナ名目。あざなノ略。

あさ・あけ　(第四上)名。(朝開)(あさ(朝)あけ(明)ノ義)　(一)アサボラケ。—アサケ。(二)マバユイバカリノ朝ノ色。—河東節、松ノ後「障子マバユキあさあけニ」。

△あさ・あけ　(…)根。(浅緋)　ウスイ緋イロ。—延喜、縫殿式「浅緋綾一疋」。

あさ・あさ　(第三上)名。　宮中ノ諺、アサッキ。

あさ・あさ　(第一上)副。(朝朝)　マイアサ。—アサゴトニ。—アサナアサナ。　キッカ

+○あさ・あさ　(第三上)副。(鮮鮮)　キッカリ。—アザヤカニ。—タシカニ。—ハッキリ。

○あざ・あざと　(…)副。　あざあざト同義。—平家物語「文字ヲバヨリ入レ、キザミツケタリケレバ、涙ニモ洗ハレズ、あざあざとシテコソ見ルタリケレ」。

○あさあさシ　(第四上)形。(浅浅し)　アサハカデアル。—オクソコノ見ニル。

●あさあさ・しイ　(第五上)形。　あさあさしノ近體形容詞。

あさ・あめ　(第三上)名。(朝雨)　朝フリダス雨。—朝フル雨。—「あさあめニ簑ヲ卷ケ」。

あさ・あらし　(…)名。(朝嵐)　朝フク山カゼ。—「結糸ノ旗ヒトナガレあさあらしニ(ヘンポント)」。

△あさあ・ね　(…)根。(浅藍)　(あさ(浅)あ(藍)ノ義)　ウスイ藍色。—延喜、縫殿式「浅藍綾一疋」。

++△あさ・い　(全平、又第二上)名。(朝寝)　日ガノボッテモ寝ガ常デナイ色ニナッタ、ソノ一種ノシミアト。ウマレツキノ病ヒカラモ、キリキズ、ウチキズカラモ出ル。—和名抄「痣、あさ」。

あさ・い　(全平)形。　あさしノ近体形容詞。

△あさしあ　(第二上)名。(亜細亞)　近古あしあ(亜細亞)ヲアヤマッテ、呼ビナシタトナヘ。—和漢三才圖會「日本國乃小東洋之界而亞細亞訓アサイア之東極也」。

あさ・いと　(第三上)名。(麻絲)　アサノ糸カラ取ッタ絲。—八犬傳「あさいとノウムノコタヘモ」。

あさ・うら　(全平)名。(麻裏)　あさうらざうりノ略。

あさうら・ざうり　(第五ア)(第五上)名。(麻裏草履)　アサイイトノ平ウチヲ裏地ニフレル處ニッケタ藤タラザウリ。

▲あさ・うり　(第二上)名。(浅瓜)　(一)(ちろうり(瓜)ノ義)。京都邊ノ語、シロウリ。(二)ヘチマノ別名。

++あさ・おき　(第二上)名。(朝起き)(晨起き)　(一)アサ早クオキルコト。(二)朝ハヤクオキルセイシツ。—「アノ人ハあさおきッ。—鹽川春町、楠無益委記「ムスコ決シテ夜アルキヲセズ、ホトケイヅリニあさおきシテ」。

△あさ・かげ　((第四ゲ))(第三上)名。(朝影)　アサヒニ照ラサレタ映影。オモニ人ニ。

++あさ・がけ　((第三カ))(全平)名。(朝駈け)　(一)軍陣ノ語、朝ハヤク敵ニカカルコト。—「あさがけヲヤル」。(二)轉ジテ)スベテ朝早ク出カケルコト。—「あさがけニ友ダチノ家ヘ寄ル」。

▲あさ・かさ・でばる　(第五上)句。語原不詳。岩手地方、山間ノ土人ガ人シブリトカ無沙汰トカヲ挨拶スルトキノ句。

あさ・がとみ　((第三カ))(第三上)名。(朝霞)　朝タナビクカスミ。

○あさ・がすみ　(…)(…)枕。　(あさがすみノかをる(憂)トイフ處カラ轉ジテかニカケタモノ)。—万葉集「あさがすみカヒヤガシタニ鳴クカハヅ、聲ダニキケバワレコヒメヤモ」。

あさ・かせ　(第二上)名。(朝風)　朝フクカゼ。

あさ・かた　((第三カ))(…)名。(朝方)　アサノ頃。

○あさ・がたち　(…)(第三上)名。(朝形ち)　アサニナッテノアリサマ。—「ニコゲナルあさがたち」。

あさ・がひ　(…、第四イ)(全平)名。(阿座貝)　ハマグリノ類ノ貝、色ウスアカク、或ハウス紫ニ、大キイノハ二三尺ニ至ル。肉ハ白クテ味モヨク、殼ハ大キクテ丈夫ナタメ鹽ノタダヒニ取リ用ヰル。

△あさ・かへス　((第四エ))(第三上)他動、四段。(熟閲)　心ヲ入レテ見、マタハ爲ス。—ツラヌケル處マデ見、マタ行ナフ。

++あさ・がへり　((第三カ))(…)名。(朝歸り)　(一)朝カヘリクルコト。(二)クルワカラ朝カヘルコト。

△あさ・がは　((…、第四オ))(全平)名。(朝顔)　今起キタバカリノ顔。—チオキノ顔。—萬葉集「君ニアヒテあさがはハヅルカクレノノ」—源氏「折ラデスギウキケサノあさがは」。



○文部刊、●后撰刊、無印、『言文両刊』ナリ、又ハナリ。デ動詞ニナルモノ△古語、▲方言、『俚語』、☆略者。

○あさ・がは　((…))(第二上)名。(朝顔)　(一)(率牛花)夏カラ秋ニカケテノ蔓草ノ名。葉ハ三三筋、又ハ五筋ニワレ、ママ圓葉モアリ、何レモ細カイ毛ガ生ヘル。花ハ傘ニ似タ形デ、白、紫紺、紅、茶ナドイロイロアリ、何レモ朝早ク咲イテ日中モロクシボム。—ニフカゲグサ。—カガミグサ。—ケニゴシ。—シノノメグサ。(二)△桔梗ノ古名。(三)((蜂—樋))△ムクゲノ古名。(四)((白露蟲))虫ノ名。八月頃、池、澤ノ邊ニ居ルモノ。ツバサハ薄クテ四枚ナガラ一處ニカサナリ、身ハ狹ク細クテ長サ六七、分イサゴムシノ化シタモノ。—カゲロフ。

++あさ・がは・はせ　((…、第六ウ))(第五上)名。(朝顔合はせ)　色色ノアサガホ(率牛花)ヲ持チヨリ、會ヲシテ優劣ヲアラソフアソビ。德川ノ末年ニハシマリ、維新以前ニ早ク絶エル。—擁書漫筆、「今茲七月十九日淺草御藏前天王町天王社別當大圓寺ノあさがはあはせ」。

あさ・がひ　((…、第五カ、第六イ))(第四上)名。(朝顔貝)　紀伊、和歌ノ浦ニ產スル貝ノ名。形ハ圓タヒラタク、カタツムリニヨク似タモノ。色ハアヲク、アサガホニ似タ處カラ呼ブ名。

あさ・がは・ざる　((第三上))(…)名。(朝顔笊)　アサガホ(率牛花)ノ花ノ形ニ造ッタザル。

あさ・がは・せんべい　((…))(第五上)名。(朝顔煎餅)　アサガホ(率牛花)ノ花ノ形ニ燒イタ煎餅。上ガ開イテ下ガッボンダモノ。

あさ・がは・ぞめ　((…))(全平)名。(朝顔染め)　元祿ノ頃行ナハレタ染摸樣ノ名。紺、又ハ紫ナドデオホガタニ染メタモノ。—西鶴、若風俗「あさがはぞめノ大振袖、スキヤメノ大小」。

あさ・がは・なり　((…))(…)根。(朝顔形)　率牛花ノ花ノカタチヲシタコト。—シャウゴナリ。—「あさがはなりノサカヅキ」。

あさ・がは・やき　((…))(…)名。(朝顔燒き)　實物不詳。　率牛花ノ花ノ形ニ燒イタ陶器?—西鶴、若風俗「タンスノ下ヨリあさがはやきノ天目ダシテ」。

△あさ・がみ　((…))(第二上)名。(朝髮)　アサ、ネオキノ髮。—アサヲガミ。

あさ・がみしも　((…))(第三上)名。(麻上下)　麻デックッタカミシモ。

○あさ・がみ・の　((…))(第二上)枕。(朝髮の)　みだるノ枕詞。

あさ・がら　((…))(全平)名。(麻殼—(麻稭))　絲ヲムイタアトノ、麻ノ莖。—ヲガラ。—アサギ。

あさ・がら　((…))(…)名。(朝顔燒き)　ノ名。四月頃、藤ノフサニ似タ白イ花ヲ着ケ、ソノ實カラ油ガトレルモノ。

++あさ・がり　((…))(…)、第三上)名。(朝獵)　朝ハヤク行ナフカリ(獵)。—萬葉集「タツカ弓手ニトリモチテあさがりニ君ハタチヌヌナラクノ野ニ」。

○あさ・がれひ　((…、第五イ))(第三上)名。(朝餉)(一)朝ノ食事。—アサメシ。(二)ミカドニ奉ル、朝ノクゴ。—「あさがれひノクシキバカリフレサセタマヒテ」。(三)あさがれひノ間(マ)ノ略。あさがれひのまハ清涼殿內ノ御膳所、ヨカドガあさがれひヲキコシメス所。

△あさ・ぎ　((第三ギ))(全平)根。(浅黄—(淡黄))　カリヤス、デ染メタ色。キハメテウスイ黄色。—延喜、縫殿式「浅黄綾一疋」。

あさ・ぎ　((…))(…)根。(浅葱—(淡藍))　ウスイ藍イロ。即チ、ミヅイロ、ソライロノタグヒ。(葱(キ)ノ色ノウスイトイフ語義ナガラ、ソノ實コノあさぎノ語義モ亦今日ハ變遷ヲ經タモノトナッタ。葱(キ)ノウスイロハミドリノウスイロ、或ヒハウスダケイロデ決シテ藍ノウスイモノデハ無イモノノ、其似タトコロカラ混ジテ用ヰタト見エル。あさぎノ對ハもえぎ、コノもえぎハ即チみどり、ダシみどりガ今日あさぎノ反對デハ無クナッタ。畢竟、色ノ名義ハヒトリ日本ノミデナク各國皆アイマイナモノデ、コレラモ唯ソノ一例トシテ輕ク看スゴスダケノコトデアル」—西鶴、若風俗「白無垢ニあさぎノカミシモ袂シホレテ」—森山孝盛、賤の苧環、「翁ガ八ッ九ツノコロヨリハヤあさぎハスタリテ昔物トテ人ハキラヒタリ」。

△あさ・ぎ　((…))(第二上)名。(悪木)(あし(悪)き(木)ノ義)　ソマッナ木。—「あさぎノハシラ」。

▲あさ・ぎ　((…))(全平)名。(あさ(麻)が(稭)ノ義)　アサガラ。

▲あさ・ぎ　((…))(…)根。(浅氣)　アクドクナイコト。—ヒカヘメ。—ツツマシイコト。—「慾モイイガケンあさぎガイイ」(東京ノ方言)。

あさ・ぎ・ざくら　((…))(第四上)名。(浅葱櫻)　アサ黄色ノ花サクサクラ。花ハ一重デ白ク、蕚ノキハダッテモエギイロナタメ花モ青ミヲオビテ見エルモノ。

△あさ・ぎた　((…))(第三上)名。(朝北)　朝フク北風。—土佐日記「あさぎたノイデコヌサキニツナデハヤ曳ケ」。

△あさ・ぎぬ　((…))(…)名。(麻衣)　アサドロモ。

あさぎよめ　（(……)(……)）名。〔朝潔〕　ニハ、ツチノマナドヲ朝掃イテキヨメルコト。—拾遺集、公忠「殿守ノ伴ノミヤツコ心アラバ、此春ヤカリあさぎよめスナ」—續後撰集、大上天皇「忘レズヨ、あさぎよめスル殿守ノ袖ニウツリ秋萩ノ色」。

あさぎり　（(……)(第二上)）名。〔朝霧〕　朝タツ霧。—新勅撰集、慈鎮「夜モスガラカビヤガ烟タチソヘテあさぎり深シ小山田ノ原」。

○あさぎりの　（(……)(……)）枕。　おもひまどふノ枕詞。

△あさぎくさ　（全平）名。〔淺草〕　ネザシ淺クハヘタ草。

あさぐるがみ　（(第五ガ)(第四上)）名。〔淺草紙〕　下等ノ紙ノ名。フルカミヲスキガヘシニシタモノ「東京淺草ノ製ヲ本トシテノ名」。

あさぐさしま　（全平）名。〔淺草縞〕　實物未詳。ムカシ元祿ノコロ役者ナドガ着用シタゼイタク著ノ織リ物ノ名。—西鶴、一代女「あさぐさしまニムラサキックレバ、見ル人オドロキ、コノウヘ又モ有ルマシキ沙汰スルホドノ事ナリシニ」。

あさぐさのり　（第四上）名。〔淺草海苔〕　アマノリノ一種ヲ紙ノヤウニ漉イタモノ。今主ニ武藏品川モヨリカラ出ス、昔ハ、武藏ノ淺草川モヨリカラ。色ハ紫ニ黑ミヲ帶ビタノヲ上品トシ、アブッテ食ベル。

▲あさくさまぬ　（第五上）名。　猫ノ異名トイフ。語原不詳。—奥竹集「小夜ヲクテあさくさまぬニ逢ヒヌルカ、ミクサモソノウラフレテ鳴ク」。

△あさくちなし　（第四上）根。〔淺山梔〕　ウスイクチナシイロ。—延喜縫殿式「淺支子綾一疋」。

あさぐつ　（(第三グ)）（全平）名。〔淺沓〕　(一)△裝束著用ノトキニハク沓。桐デツクリ、ソトヲウルシヌリニシタモノ。(二)ハンゲツ（ヲカグツ、ナガグツニ對シテ）。今洋服著用ノトキニハク淺イ沓。

▲あさくまぬ　（第五上）名。　あさくさまぬ。

あさぐも　（(第三グ)）（第三上）名。〔朝雲〕　朝タツ雲。

あさぐも　（(……)(……)）名。〔朝蜘蛛〕　朝出ル蜘蛛。イロサト、客商賣ナドデ縁起ヲ祝ヒ、アサ出ル蜘蛛ハメデタイトイフ處カラ出タコトバ。—「あさぐもヲ殺スト御客ヲニガス」。

++あさぐもり　（(……)(……)）名。〔朝曇り〕　ソラノ朝クモルコト。

あさくら・ざんせう　（(第七ショ合)）（第五上）名。〔朝倉山椒〕〔蜀椒〕〔元、但馬ノ養父郡朝倉村カラ出タユヱノ名〕　山椒ノ一種。葉モ實モッチノ山椒ヨリ大キク、香氣モツヨイモノ。—古言、ナルハシカミ—フサハシカミ。

○あさ・け　（全平）名。〔朝開〕〔あさ（朝）あけ（明）ノ淺〕　早朝—アカツキ。—アサアケ。—萬葉集「ホトトギスクサノあさけニ鳴キツルハ君聞クランカ、朝寢スランカ？」〔あさあけトあヲ加ヘテ云フノハ中ムカシカラノ事トノヨシ、定家ノ說〕。

○あさ・げ　（(第三ケ)(……)）名。〔朝餉〕　(一)アサガレヒ。—アサハン。—アサメシ。(二)アサメシヲタクコト。

あさ・けぶり　（第三上）名。〔朝烟〕　アサタッケフリ。

△あさ・けし・しらさき　（第四上）根。〔淺滅紫〕　ムラサキノソメ色ヲウスクシ、且ヒカリヲ消シタモノ。—延喜縫殿式「淺滅紫絲一絇」。

あざけり　（(……)）名。〔嘲〕　アザケルコト。—アサミ、ワラフコト。

あざける　（第三上）他動、四段。〔(嘲)る〕（あさ（淺）ヲ脚詞ニシタモノ）。　(一)アサミ、ワラフ。—アサハカダト他ヲコナス。(二)ソガ思フママヲ述ベテ心ヲ晴ラス。—後拾遺序「月ニあざけり、風ニウソムクコト」。

◎同義　あざむ。—あざむく。—そしる。—ひやかす。コノ中デあざける。—あざむ。—あざむく。—ひやかす。意味互ニスコシモ違ハズ、イヅレモ「馬鹿ニスル」ココロヲタシカニ含ム。そしるニ至ッテハあざけるホド「馬鹿ニスル」ココロヲ多ク含マヌ。

△あさ・こぎ　（第四キ）(……)名。〔朝漕〕　朝フネヲコグコト。

あさ・ごち　（(第三ゴ)(……)）名。〔朝東風〕　アサ吹クコチ、即チヒガシカゼ。

あさ・ごほり　（(……)(……)）名。〔朝氷〕　朝ノ氷。

あさ・ごほり　（(……)(……)）枕。〔(とく(解)ノ縁ニヨッテ）一般ノとくトイフ語ニカカル枕コトバ。

○あさ・ごろも　（(第三ゴ)）（(……)）名。〔(麻衣)〕　アサギヌ。—麻ヌノデツクッタキモノ。（モッパラ喪服ノ意ニ用ヰル）。

あさ・さ　（全平）名。〔荇—(金蓮子—鳧葵)〕（あさ（淺）うき（浮）くさ（草）ノ義？）　水ニウク草ノ名。莖白ク、葉ハシュンサイヨリ稍マロク、根ハ甚ダ長ク水底ニアリ。夏、白又ハ黃ノ花ヲ著ケ、ヤマナシニ似タ實ヲムスブ。—ハナシュンサイ。—キンレンゲ。—和名抄「荇、阿佐佐」。

あさ・さ　（全平）名。〔(淺さ)〕　淺クアル度合ヒ。—「ドノクライ淺ヰカノノあささノ知レヌ川」。

●あさ・さけ　（第四上）名。〔朝酒〕　朝ノム酒。—「あさざけヲノンデクダヲマク」。

あさ・さむ　（全平）根。〔朝寒〕　朝ノ寒イコト。

△あさざ・ゆふざ　（(第五ウ)(……)）名。〔朝座夕座〕　法華八講ナドデ、朝夕ニヨットメル勤行ノ式。（あさざトゆふざトノ複語ニハ相違ナイモノノ、コノ二言ハナシテ用ヰタ例ガ書典ニ見エヌタメ、假リニ一語トシテ解ク）。

△あさ・さル　（第一上）自動、四段。〔ゆふさるナドノさる〕　朝トナル。—夜ガアケヲハル。

○あさシ　（全平形。〔淺〕）　(一)フカクナイ。—底ガチカイ。—萬葉集「澤田川ッデックバカリあさケレドクニノ宮人高橋ワタス」。(二)奥ガ近イ。—カギリガアル。—ハテガ近イ。—「山ガあさシ」—「鼻ノサキノあさシ智慧」。(三)ウスイ。—コクナイ。—「変ハリガあさシ」—「色ガあさシ」。(四)イヤシイ。—ヌヲトクナイ。—「あさき根ザシ」（イヤシイ腹ニウマレル義。）

△あさ・しは　（(第四オ)(第二上)）名。〔朝潮〕　朝サシタクル潮。

あさ・ぢみ　（第三上）名。〔朝凍〕（あさ（朝）しみ（氷）ノ義。）　朝早イウチ大地ナドノ猶コホッテヰルコト。

++あさ・ぢめり　（(……)）名。〔朝濕り〕　朝ハヤイ内、ソコラガ露ナドデシメッテ居ルコト。

あさ・しも　（第二上）名。〔朝霜—(曉霜)〕　(一)アサノシモ。(二)シロザケノ名。

○あさしも・の　（(……)）枕。〔(……の)消(け)ノ縁〕　カラシテ、スマテけトイフ語ニカカル枕コトバ。

△あさず　（全平）副。〔不倦〕（あさざず（不倦）ノ義？　かわかさずノ略トイフ說ハヤヤ穩ダナイヤウナ）。

○あさず　（全平）副。〔不倦〕（あさざず（不倦）ノ略トイフ說ハヤヤ穩ク。—萬葉集「あさずヨセサザ」。

あさ・すず　（第二上）名。〔朝涼〕　夏ノ朝ナド、マダアックナラヌ間。—「あさずずニ出テ山ヲ越ス」。

++○あさ・すすみ　（第三上）名。〔(……)〕　夏ノ朝ハヤク起キテスズムコト。

△あさ・すはう　（(第四ホ)(……)）根。〔淺蘇枋〕　色ノ名。ウスイスハウ。—延喜縫殿式「淺蘇枋綾一疋」。

あさ・ぜ　（全平）名。〔(淺瀨)〕　瀨ノアサイトコロ。—フカクナイ瀨。—「あさせヲノボルワカアユノカゲ」。

あさ・だ　（(……)）名。〔淺田〕　ドロブカクナイ田。

++あさ・だち　（第四上）名。〔朝立ち〕　アサハヤクヤドヲ出ルコト。—アサ早ク旅ニタツコト。

○あさ・だち　（全平）名。〔淺茅〕　マバラニ生ヘタチ（茅）。—六帖、大伴田村大嬢「ツバナヌクあさだちガハラノッボスミレ、今サカリナリ、我戀フラクハ」。

あさだち　（第二上）名。〔鰯〕　(一)魚ノ名。實ク、ウロコ細カク、身ニ斑文ノアルモノト云フ。—和名抄「鰯、阿散知」。

○あさだ・ふ　（(第四ウ)）（全平）名。　アサヂノ物不詳。口大キク、ウロコ細カク、身ニ斑文ノアルモノト云フ。—和名抄「鰯、阿散知」。

（支那デさいッ・ふイ（鰯魚）トイフノハ是カ？）「桃花流水鱖魚肥」トイフ詩モアレバ、春ノコロ其旬ニナルモノカ？　古書ニ傳ヘル處ノ說ハ皆大抵一致シテ甚シク相違セヌ、コレヲ思ヘバコノ魚モタシカニ有ッタモノデアラウ。ガ、支那ノミカ、ソレトモ日本ニモ有ッタカハ更ニワカラヌ。和名抄ニあさだトイフ語ノ有ルノヲ見レバ日本ニモ有ッタラシク思ハレルモノノ、ソレガ今日ニナッテ無イトイフノモ亦心得ガタイ。コトバノ形あさだ（鰯）ト近イノモ何カイハレ有ルラシク、ソノカッカウモ似タラシク思ハレルモノノ、コレハ河ウヲ、ソレハウミウヲ、更ニタドリ入ル手ガカリガナイ。

但シおひかはト同種類ノ物トイフダケハタシカラシイ。和漢三才圖會ニ本草綱目ノ文ヲ引イテ「鰯生江湖中扁形濶腹、大口、細鱗、有黑斑、如織網、故曰鮎。色明著爲雄、稍暗者爲雌。背有鬐鬣刺人。其髮刺凡十二、以應十二月。誤鯁害人。厚皮緊肉、肉中無細刺。有吐能晴亦啖小魚。……夏月居石穴、冬月假泥蹤。魚之沈下者也。小者味佳。至三五斤者不美」。(二)又、ウヲノ名。おひかはノ一名。

あさだ・ざけ　（第三上）名。〔淺茅酒〕　肥後產ノ酒ノ名。色白ク、タチノ濃イモノ。

○あさだ・なは　（(第五ワ)）（第三上）名。〔(……縄)ち（茅）デックッタナワ。ハラヘニ用ヰル。

○あさだ・はら　（(第四ワ)）（(……)）名。〔淺茅原〕　アサヂノアル原。

○あさだ・はら　（(……)）枕。　淺茅原ニツバナガ生ヘル、ソノ縁カラつばらトイフ語ニカカル枕詞。

○あさだ・ふ　（(第四ウ)）（全平）名。　アサヂノハヘタ處。—「あさだふノ小野ノシノハラ忍ブレド」。

●あさ・ちや　（(第三四合)）（第二上）名。〔朝茶〕　朝ノム茶。—「あさ茶一杯ココロヲ清メ」。

あさ・つき　（(……)）名。〔朝葱—淺葱〕（あさ（淺）つ

（ネ）ぎ（葱）ノ義」　き（葱）ノタグヒデ、色ウスク、葉細ク、春ヲ過ギレバコハクナル。ソノ前ハ食用ニナル—和名抄、「島蕗、阿佐豆木」。

あさつき・あさず　（第五上）名。（淺葱鯨）アサツキヲ加ヘ、酢味噌デアヘモノニシタモノ。專ラ三月、雛ノ節句ニツカフ。

△あさ・づくひ　（第三上）名。（朝月日）（あさ（朝）つく（附）ひ（日）ノ義）　アサヒ。—アサノ日輪。

○あさ・づくひ　（…）枕　ひかふトイフ語ニツヅク枕コトバ。—萬葉集「あさづくひ向フツゲクシアリヌレド何シカ君ガ見レドアカレヌ」。

○あさ・づくよ　（第四上）名。（朝月夜）　月ガナホ殘ルアケガタ。

あさ・づけ　（全平）名。（淺漬）　大根ヲスコシ干シ、麹マタハ糠ヲ加ヘテスコシ鹽ヅケニシタモノ。—蜀山人、俗耳蘇吹、「香ノ物、ミソツケ大根、あさづけ、ヒトクチ所予」。

あさづま・ぶね　（第五上）名。（淺妻船）　近江國坂田郡、朝妻、トイフ處ノヲタシブネ。ウカレメノ居ル繰カラ後世賣婦ノ義ニモ用ヰル。

あさ・つゆ　（第二上）名。（朝露）　朝オク露。—定家「あさつゆノ庭ノモミヂバ思ヒシレ、オノガ下ナル苦ノ心ヲ」。

○あさ・つゆ・の　（…）枕。　おく、きゆ（消）ナドノ枕詞。—「あさつゆのオクノ小道」。

○あさて　（第三上）名。（明後日）　ケフノツギノツギノ日。—アスノアス。—ミヤウゴニチ。—アサツテ。

あさで　（全平）名。（淺手—（微傷））　戰爭、ケンクワナドニイフ語。ウヅカノキズ。（オモデニ對シテ）。

△あさで・で　（…）名。（麻手—麻梼）（あさ（麻）たへ（梼）ノ義）　アサヌノ。—アサヌノノモノ。—萬葉集常陸娘子「庭ニタチあさでカリシキ、シキシノブアヅマヲトメヲ忘レタマフナ」。

△あさで・こぶすま　（第五上）名。（麻梼小衾）　麻ヌノノフスマ。—アサブスマ。

△あさ・ど　（第二上）名。（朝戸）　朝ノ戸。—「あさどヲヒラク」。

△あさ・どこ　（…）名。（朝床）　朝ノネドコ。—「あさどこヒヤヤカニ」。

△あさ・と・で　（第三上）名。（朝戸出—朝疾出）（と・で（戸出）、と・で（疾出）兩說）　朝ハヤク戸ヲアケテ出ルコト。

△あさ・どり　（第二上）名。（朝鳥）　スベテ、アサ居ル鳥。

○あさ・どり・の　（…）枕。　かよふノマクラコトバ。（朝ハ鳥ガ堺ヲハナレテ思フ處ヘかよひユク處カラ）。

△あさ・な　（…）名。（朝菜）　スベテ、朝有ル菜—「あさなクラフ」。—「あさあツム」。

あざ・な　（全平）名。（字）（（あざ（糾）な（名））即チ古義、扨信ケラレモセヌヤウナ。私カニ案ズルニさんくりつとカラノ語デハ無カラウカ？　さんくりつとデ分明ノ人ノ義、又同ジ語デ刪ノ種屬ノ類ノ義、コレラ日本ノあざあト頗ル似タ意味ヲ持ツ」。（一）實名ノ外ニアル名。カナラズ定マツテ持ツモノデモナイモノ。—日本紀「諱大脚、字（訓アザナ）島郎」。（二）後世、支那ノ風ヲ眞似、專ラ學者、文人ガ實名ノ外ニミヅカラ命ジテ持ツカヘナ。—「頓山陽、字子成」。（三）漢語「字ノ和譯。支那デ、實名ノ外ニ持ツ一種ノ名。他カラ敬ヒ呼バレル時ニ用ヰルモノ。—「孔子名丘、字仲尼」。（四）一村ノウチノマタ小サイ區域ノ名目。—アザ。

○あさな・あさな　（第三上、又第一上）副。（朝な朝な）（あさあゆふなノ轉）　マイアサ。—マイテウ。—「ヨシノ山花サク頃ノあさあさな心ニカカル峰ノ白雲」。

あさなき・どり　（第四上）名。（朝鳴鳥—鶴鳴）　ワタリ鳥ノ名。カケスホドノ大キサ、尾短ク、頭ニ青イ毛ノ冠。夏ヲ好ミ、冬ハ居ズ、朝ヨク鳴ク。

あさ・なぎ　（（第四ギ））（全平）名。（朝和）（あさ（朝）なぎ（和）ノ義）　朝、海ノオモテガオダヤカデアルコト。（ユフナギノ對）—伊勢物語「シホガマニイツカ來ケンあさあさニツリスル舟ハココニ寄ラナン」。

△あさ・なけ・に　（第四上）副。（朝爾來）（あさ（朝）ユ（テニハ）け（來）ノ義）　アサコノカタ後マデモ—アサニケ。—ヒキツヅイテ。—古今集「あさあけに見ベキ君トシタノマチバ思ヒタチヌル草枕ナリ」。—源氏「あさあげに世ノウキコトヲ忍ビツツナメセシヒマニ年ハヘニケリ」。

△あさ・さ・な　（第三上）副。　あさああさなノ略。

○あざ・なはル　（（第四ヲ））（第四上）自動、四段。（（糾）はる）　アザハル。—マトハル。—カラミアフ。

○あざ・なフ　（（第四ウ））（第三上）他動、四段。（あざ（麻）な（綯）ノ義カトイフ）　スベテ、



絲紐ナドノ類細クテ長ク、且ヤハラカミソ有ルモノヲシテ同志タカヒニカラミアハセル。—ナフ。—ヨル。—「あざなへる繩」。

○あさ・なゆふ・な　（（第五ウ））（第一上）名。（朝菜夕菜）　（一）朝タベル菜トタベル菜。（二）轉ジテ朝ノ食事ト夕ノ食事。

○あさ・なゆふ・な　（（…））（…）副。（朝夕—朝な夕な）　前條ノコトバノ轉。アサニ、バンニ—アケクレニ。

△あさ・には　（（第四ウ））（全平）名。（朝庭）　朝ノニハ。

△あさ・にけ・に　（第四上）副。（朝爾來）　あさけにト同義。

あさ・ぬの　（全平）名。（麻布）　麻絲デ織ツタ布。—アサ。

あさ・ね　（第二上）名。（朝寢）　アサイ（朝寢）—アサネムツチ居ルコト。

△あさ・ね・がみ　（（第四カ））（第三上）名。（朝寢髮）　アサガミ。

▲（あさ・ね・ばう）（あさね・ばう）　（（第四ボ））（第三上）名。（朝寢坊）　アサネスルモノヲイヤシメテ云フコトバ。

あさ・の・うち　（全平）名。（朝の內）　アサノアヒダ。—アサノヤ。

あさ・の・は　（第三上）名。（麻の葉）　モヤウノ名。麻ノ葉カラ取ツタ形。オナジ角度デマハリニ六本ノ線ヲ出シ、線ト線トヲマタ同ジ距離ヲ以テ他ノ線デ結ビツケタモノ。

○あさ・の・み　（全平）名。（朝の間）　アサノウチ。—アサノアヒダ。

あさ・の・み　（第三上）名。（麻の實—（麻實））　メアサ（苣麻）ニ生ル實、黑色デ、圓ク、噛ミツブセバ一種ノ芽バシイニホヒノスルモノ。—和名抄「阿佐乃三」。

あさば　（全平、又第二上）名。　魚ノ名。ヒラメノ小サナモノ。

あさ・はか　（第二上）根。（淺墓—淺瑞）　ココロノ深クナイコト。—思慮ノトドカヌコト。—考ヘノアサアサシイコト。

あさ・はか・さ　（…）名。（淺墓さ）　あさはかデアル度合ヒ。

あさ・はか・に　（…）副。　あさはかノ副詞休。

△あさ・はた　（全平）名。（淺畑）　野邊—ヒラヲ織ルハタ。

△あさ・ばた　（…）名。（朝患—あさはたヤアツラフチ。—ヒロノ。—朝患ヒあさはたヤアツラフ雪ヲカキツケタ君ガチトセノヰノヒヲヅシル」。

△あさ・はつね　（第三上）名。（あさ（淺）はづぬ（班）ノ義？）　ハヅカシサ。—メンボクナサ。—元方「玉ノヨヨ絕エナバ絕エヌトあさはつね、ワガ泣クナミヲ人ニシラセジ」。

あさ・はなだ　（…）根。（淺花田—淺縹）　アサイハナダイロ。—延喜、縫殿式「淺縹綾一疋」。

○あさ・は・ふ　（第一上）枕。（朝羽振る）　そで（袖）ニツヅク枕コトバ。アサ吹クカゼニ袖ノウゴク義。

あさ・はら　（全平）名。（朝腹）　（一）アサメシマヘノスキハラ。—アサツパラ。（二）（（轉））ジテ（早朝）—「あさはらニ馬ヲ賣ル」。

△あざはル　（（第三ワ））（第三上）自動、四段。（（糾）はる）　アサナハルト同ジコトバ。

あさ・はん　（全平）名。（朝飯）　アサメシ。—アサダ。

◎近世、コノ語ハあさめしヨリヤ敬語ノ類トナル。

あさ・ひ　（第二上）名。（朝日—旭）　朝ノタモノ。

あさひ・さんだいゆう　（（第六、七合））（第四上）名。（朝日饅頭）　紅デソメタマンヂユウ。

大陽—朝ノニチリン。

あさひ・かうがい　（（第四コ、第六カ））（第四上）名。（朝日笄）　女ノ髮ノカザリノ名。鹿ノツノヲスハウデソメテ造ツタ笄。元祿ノ前ゴロあさひやしト共ニオコナハレタ品。

○あさひ・かげ　（（第五ケ））（第三上）名。（朝日影—旭影）（（あさひ（旭）かげ（景）ノ義）　アサヒノヒカリ。—アサヒノ色。—「あさひかげニホヘル山ノカナタニヅ」。

あさひ・がに　（（第四カ））（…）名。（朝日蟹—紅蟹））　海產ノ蟹ノ名。甲ハ横四寸、タテ六寸バカリ、色極メテ赤ク、身ニ疣ムラガリ、アトアシハ杓子ガタノモノ。—ベニガニ。—シャウジャウガニ。

あさひ・がひ　（（…、第五イ））（第三上）名。（朝日貝）　貝ノ名。カキノ類。一寸ヨリ小ツク、カラハウスク、フタハ平タクテ穴ガ一ツ、色ハウスアカノモノ。—ナミマガシハ。—ヒサガヒ。—ヨメガヒ。

あさひ・かまぼこ　（第四上）名。（朝日蒲鉾）　ウヘヲ紅デソメタ蒲ボコ。オモニ雛ノ節句ナドニ用ヰルモノ。

あさひ・くし　（（第四グ））（第三上）名。（朝日櫛）　あさひかうがいト同ジコシラヘノ櫛。—曳尾庵、わが衣「あさひのくしかうがい」。

△あさひ・と　（第二上）名。（朝達—旭））　あさひト同ジ意味。—万葉集「ワガコマハ早クユカナンあさひとガ八重サヌヲノノ玉笹ノウヘニ」。

あさひ・なが・いも　（（第五カ））（第四上）名。（朝日長芋）　ユデタナガイモヲ紅デソメタモノ。

あさひ・まんじゅう　（（第六、七合））（第四上）名。（朝日饅頭）　紅デソメタマンヂユウ。

△あさ・びらき（第三上）名。〔朝發き〕 朝舟ガ港ヲ出ルコト。

△あさフ（（第三ウ）（第二上）自動「下二」〔淺ぶ〕）アザ アサシクナル。＝アサハカニナル。＝カルガルシクアル。＝ヒタクテアル。「ウチあさヘタルオコナヒ」。「コヨナウあさヘタルフルマヒカナ」。「ミノホドノあさヘタルル ニ」。

△あざフ（…）他動、下二。〔紇ぶ〕 アザナフ。＝ヨリアハセル。＝クミアハセル。＝トリアハセル。＝マゼル。

△あさブ（第二上）他動、四段。〔淺ぶ＝既〕 あさむノ轉。同ジ意味。

△あさブ（…）自動、四段（？）〔淺ぶ〕 アサクナル。＝深クナクナル。「淵ハあさびて」。

▲あざ・ぶ（全平）根。〔麻布〕〔オマヘ麻布デ氣ガ知レヌ」トイフ童謡カラ出タコトバ〕 氣ノシレヌコト。＝ツケノワカラヌコト。＝マタ、ソレラノ人。「スコブルあざぶ」。

△あさ・ぶすま（第三上）名。〔麻衾〕 あさでこぶすまト同ジ意味。

あさ・ぶろしき（…）名。〔麻風呂敷〕 麻ヌノノフロシキ。

あさ・ぼらけ（全平）名。〔朝開〕〔あさ（朝）ひらき（開）ノ義〕 朝ノ明イタトコロ。＝アケガタ。「あさぼらけ、有明ノ月ト見ルマデニ」。

○あさ・まし（第三上）形。〔淺ましし〕 （一）アサハカデアル。＝タノミガヒノナイ。＝萬葉集「ワレヲタノメテあさましモノヲ」。（二）オドロクベカリナ。＝思ヒノ外ニハナハダシイ。＝キモノツブレサウデアル。＝源氏、桐壺ノウチニ二ケ所「カカル人モ世ニイデオハスルモノナリケリトあさまし



きマデ目ヲ驚カシタマフ」。＝同「アゲオトリヤト疑ハシクオボサレツルヲ、あさましウウツクシゲサ添ヒタマヘリ」。＝同夕顔、「メノトナドヤウノ思フベキ人ハあさましウマホニ」。（三）興ノサメタ。＝イヤミナ。＝タノミガタク思ハレル。＝源氏、桐壺、カクテモ月日ハ經ニケリトあさまウオボシメサル」。＝同末摘花「あさましノクチツキヤ」。＝金葉集「あさましヤコノシタカゲノ岩清水、イクソノ人ノカゲヲ見ツラン」。

●あさましイ（第四上）形。〔淺ましい〕 あさましノ近体形容詞。サモシイ。＝アサハカナ。＝イマハシイ。＝ヒレッナ。「親ハ盗メトヲシヘヌニ、あさましヨナ」。「サウイフあさましい心トシラズ大事ヲ言ッタハウタシガアヤマリ」。

さもし、さもしい 參考。

あさましさ（第三上）名。〔淺ましさ〕 アサマシクアル度合ヒ。＝アサマシイコト。

○あさ・まだき（第三上）副。〔未明〕〔未シキ〕ノ義〕 ハヤク。＝サウテウニ。＝夜ノアケヌマニ。

あさまつげ（第五ゲ）名。〔朝鶴黄楊〕 伊勢、アサマ山（朝鶴山）ニ多イツゲノ木ノ名。

○あさ・まつりごと（第六ゴ）〔第三上〕名。〔朝湯〕 朝トル政務。＝源氏、猶あさまつりごとハ怠ラセタマヒヌベカメリ。

あさみ（全平）名。〔淺み〕 （一）水ナヤ、ベチアサイトコロ。「あさみヲ見テソタル」。（二）芝居デ、バウズノカツラノ一種。

あざみ（…）名。〔薊〕 草ノ名。葉ニトゲ多ク花ハウラナ太ク、マヒハケノ形ニ似、紫色ニ咲ク。二三寸ノ時ニハ茹デテ食用ニナル。＝マヒックリ。＝マヒハケ。＝和名抄「阿佐美」。

◎今按ズルニ、あざみノ名古今スコブル混亂シテヰル。ムカシ云フあざみハ今イフおにあざみデ、今普通ニイフあざみハ一種めあざみトイフモノ、即チ古言デかまま、又ハ一種ふとしも種類ニハ、のあざみ、やまあざみ、きつねあざみ、まゆつくり、まゆはけ。

あざみ・ぐは（（第四グ））（第四上）名。〔薊桑＝（鶏桑）〕〔桑ガあざみニ似タ故ニヨブ名〕 桑ノ一種。葉ニワレメノ多イモノ。

あさ・みどり（第三上）根。〔淺綠〕 ウスイミドリノイロ。＝ウスイモエギ。＝延喜、縫殿式「淺綠綾一疋」。

あさむ（全平、又第二上）他動、四段。〔淺む〕〔あさましむノ義〕 （一）アサハカデアルトイヤシム。＝アサアサシク見ヤル。＝「アザケリあざむ」。「あざみヲラフ」。（二）思ヒノホカデアルト驚ク。＝分ニスギタオモフ。＝水鏡「手ヲウチ、あざむ」。

あざむき（…）名。〔欺き〕 アザムクコト。＝ダマスコト。

あざむく（第三上）他動、四段。〔欺く〕 （一）イツハリデ人ヲ迷ハス。＝タブラカシダマス。＝イツハリデ人ヲオトス。＝古今集、忠岑、「秋ノクルカタニあざむきイデテ」。＝同、遍照、「ハチスバノニゴリニ染マヌ心モテ何カハ露ヲ玉トあざむく」。（二）△ソシル。＝アザケル。＝ヒヤカス。「是ヨリ本妻ヲ伽羅ノ御方ト異名シ、妾ノ名ヲツリドウロウトあざむく」。

あさ・ひらさま（第四上）根。〔淺紫〕 ウスイムラサキ色。＝延喜縫殿式「淺紫紫草五斤」。





△あさ・め（全平）名。〔朝目〕 朝オキテ見ル目。＝古事記「阿佐米余玖」。

あさ・めし（…）名。〔朝飯〕 アサゲ。＝アサハン。

◎今日ノ普通デハあさはんヲ敬語トシ、あさめしヲ卑語トスルガタ。

○あさめ・よし（第三上）枕。〔麻裳よし〕

○あさも・よひ（（第五イ））（…）枕。〔朝催ひ〕 〔あさもよし、あさもよひ、二ツニソレゾレ説ガアル。一説ハあさ（麻）も（裳）よ（呼）ビカケ詞）し（休メ字）ノ義ト解シ、ソレニき（着）ニカカル枕コトバデアルトイフ。一説ハあさもよひト解ク、但シ何故きニツヅクカヲ説カヌ。別ニ一説、「あしもえてよき水」ト説クハ取ルニ足ラズ、三説ノ中比較シテ力ノ有ルハ第一ノ説カ？」 きニツヅク枕コトバ。

あざやか（第二上）根。〔鮮やか〕 〔あざ（あざあざ）ノ義。あか（明）さやかトイフ言海ノ説ハイカガ？〕 目ニタッテウツクシイ。＝ハッキリト際立ツ。源氏「イヅカタニツケテモモノあざやかナルニ」。枕ノ草紙、「夏ナドノイトアッキニモ帽子イトあざやかニ」。

あざやかさ（…）名。 アザヤカデアル度合ヒ。＝アザヤカデアルコト。

あざやかよ（…）副。 あざやかノ副詞体。

△あざやグ（第三上）自動、四段。〔鮮やぐ〕 あざやかノ動詞。アザヤカニナル。＝シツカリトスル。＝ハッキリトナル。源氏「スコシヲヲシウあざやぎタル御心ニハシヅメガタシ」。

あさ・やけ（全平）名。〔朝燒け＝（曉霞）〕 ユフヤケノ對。空ノ色ノ朝アカミバシルコト。「あさやけハ風ニナリタガル」。「あさやけガスル」。

●あさ・ゆ（第二上）名。〔朝湯＝（朝浴）〕 アサノウチニ湯ニ入ルコト。「あさゆヘ行ク」。「あさゆヲツカフ」。

△あさ・よひ（（第四イ））（第一上）名。〔朝宵＝（朝夕）〕 アサトヨルト。＝アヲモノノ名。セリノ一名。

△あさら（…）根。〔淺ら〕 イロノアサイコト。＝アサイ色。＝萬葉集「アラジメノあさらノコロモ」。

○あさらか（第二上）根。〔淺らか〕 アサアサシイコト。＝ヒトトホリ。「あさらかニオモフ」。「あさらかニ戀フ」。

○あさらか・なル（第二上）形。 あさらかノ古体形容詞。

○あさらかに（…）副。 あさらかノ副詞体。

△あざらけシ（第四上）形。〔鮮らけし〕 あざやかノ形容詞ノ一体。キヨイ。＝ヨゴレメノナイ。＝アタラシイ。「あざらけきイヲ」。「あざらけきシシ」。

あざらし（…）名。〔海豹〕〔語原不詳。あいのうな（海）とら（虎）ノ轉カ？〕 ノノ名。北海ナド寒イ海ニ多クムラガル。形ハオットセイノヤウデ、毛ノモヤウヤ虎ノ似ル。皮ヲ刀ノシリザヤ、馬具ナドニツカフ。＝和名抄「阿左良之」。

あさり（全平）名。〔淺蜊＝蛤仔〕〔あさ（淺）あり（在）ノ義カ？〕 介ノ名。カラニ細イタテ筋アリ、コレニ色色ノマダラモヤウヲ現ハス。大キクテ一寸、小サクレバ四五分。ソノ肉ハムキミトシテ食用ニナル。一名キシメガヒ。種類オキアサリ。

◎淺井了意、東海道名所記「ハマグリノミヲ申ニサシ、日ニホシテあさりトカヤ名ツケテ賞ルナリ」トアルハイカガ？ 或ハ作者ノキキヒガメテ、あさりトハマグリト混シタカ？ ソレトモ此時代ハ同シモノヲ言ッタノカ？ 此時代ノ他ノ書籍、イヅレヲ見テモ類例ナク、ソレユエニタシカナ事ハ言ヘヌモノノ、臆測スルトコロ、十カ九マデハ作者ノ誤解ラシイヤウナ。

○あさり（…）名。〔漁り〕 アサルコト。＝イサリ。＝スナドルコト。

◎無名抄ニヨレバあさりトいさりトニ差別ガ有リ、即チ、朝ノスナドリガあさりデ、夜ノガいさり、コレガアヅマノ海人語ノトイフ。

○あさり（全平）名。〔阿闍梨〕〔梵語 ācārya（阿闍梨耶）摸範、照鑑ノ義トイフ。今純粹ノさんすくりつと語ニヨレバ ācārya（ああしゃり）ヲ語原トシテ出來タ語ニ「ああしゃらや」、即チ、タヨリニスベキモノ、ヨリカカルベキモノ、非バシヨ、ヤスミドコロ、隱レガ、タノミ、タスケ、保護、聯合、縁ナドノ義、又、ācārya（ああすらや）ヲ本トシタ語ニ「ああすらあやにや」、即チ先生、教師ノ義」。（一）僧ノ師トナルベキ人ノ稱。＝佛法ノ先達。＝アジャリ。＝唐名、正行隨、又ハ軌範。（二）僧ノ官名。圓融帝ノ天祿四年慈恩和尚ガ爲ッタノヲ始メトシテ此官名モ日本ニ起ル。眞言ノ古儀ニハ階梯ヲ經タモノニ授ケ、新儀ニハ經ズトモ授ケル。格式ハ僧綱ニ亞キ三綱ニマサル。＝拾芥抄「僧正、都都、律師、法印、

法眼、法橋、謂之僧綱、已講、内供、阿闍梨、謂之有職。寺官、上座、寺主、都維那、謂之三綱。

あざる　(第二上)他動、四段。(一)(獲る)尋ネサガス。—ノヅムモノヲ得ヤウト思フ。—紫式部日記「ヤヲラオハシマシテあざらせタマヒテ」。(二)(求食)食物ヲサガス(トリクモノナド)。—「あざる犬」。—「餌ヲあざる雀ノ子」。(三)(漁)魚貝ナドヲタヅネ取ル。—スナドル。—レフスル。—「あざるタツキ」。—「シホヂニあざる」。(四)シキリニタヅネ求メル。—「あざつて稼ぐ」。

◎今ノ普通語ニイフあせるハ「セク」「イソグ」「イラダツ」ナドノ義デ、ツマリ此あざるノ轉訛シタモノ。あせる參考。

△あざる　(第三上)自動、下二。(有際)　人ト人トノ間ガ不和ニナル。—與竹集「あざる人ノ中アシクナルヨイフ」。

△あざる　(第二上)自動、四段。(足去る)(あ(足)さる(去)ノ義?)　アルク。—ウロツク。—ツマヨフ。

△あざる　(……)自動、下二。(戲る)(あざむノ異體同種)　タハフレル。—フザケル。—ザレル。—カロクトボケル。—狹衣物語「ウハモあざれダリトアオボサレム」。　クサル。

○あざる　(……)自動、下二。(戲る)　—ワルクナル(魚肉ナド)。—「魚ノあざれたる」。

○あざれ・がまし　(第四カ)(第四上)形。(戲れがまし(易戲))　ミダリガハシ。—フザケガハシ。—源氏「スキズキシウあざれがましき」。

○あざれ・ばむ　(……)自動、四段。(戲ればむ)(あざれ(戲ば)む(うごめく、ゆよめく)ナドノめく)ノ意義)　タハフレル氣味ニナル。—フザケ出シサウニナル。—「あざればむサマノ見ユルヲナン」。

あざ・わらふ　(第五ウ)(全平)他動、四段。(潮笑ふ)　アザムキワラフ。—ヒヤカシテワラフ。—セセラワラフ。—ヒヤカシテワラフ。

あさ・つて　(第三遍)(第二上)名。　アサテ。—ミヤウゴニチ。—アスノアス。　あさはらノ

▲あさ・つぱら　(……)(全平)名。　あさぼらけ。

あさんれん　(第二上)名。(下三遍)(本資、かさんれんノ轉)　支那ノ詩學ノ語。韻格ノ一句ノウチ、末ノ三字ガ平ナラ平三ツ、仄ナラ仄三ツ。共ニ同ジノガ揃フコト。イヅレモ詩デハ嫌フ。

あし　(……)名。(足=脚)(しかし(令行)即チゆかしむノ義カ?)　(一)手ニ對シテ、カラダノ他ノ端ニアル肉ノエダ。アルキ又立ツ用ニタツモノ(人ノ)。—和名抄「阿之」。(二)人間ヲ除イテ、他ノ動物ガ、ソレニヨリテ地ヲフムベキ四本ノ肉ノエダ。—「ヨツあし」。(三)人間ヲ除イテ、他ノ動物ガ、ソレニヨッテ地ヲフムベキ四本ノ肉ノエダノ中、腰ノ方ニアルニ本ダケノエダノ名。—「熊ハ手デツカンデあし」デ取ル」。(四)人間ノあしノブシカラ下ノトナヘ(即チ、アシクビ。(五)アシナミ。—アシドリ。—あしアルキカタ。—ススミ。—「あしヲハヤメル」。—「日あしガハヤイ」。(六)山ノスソ。(ソノ物ヲササヘ、サザケル用ニタツモノ。—コノササヘトナルモノハ、ソノササゲルウヘノ物ヨリ大キサハ必ラズ小サイニカギル。—「テエブルノあし」。—「門ノあし」。—枕ノ草紙「大進生昌ガ家ニ宮ノイデサセタマフニ、ヒンガシノカドハ四ッあしニナシテ」。(八)餅ナドノネバリケ。—「あしノアル牛皮餅」。—和漢、用捨箱「我家ノ餅ハあしガツヨウテウマキニヨリ」。(九)垂レサガッテ見エルモノ。—「雲あしガ下ル」。—「雨あし」。

◎あしガ出ル。—(思フタヨリ嵩ム費用)。

◎あしヲ洗フ。—(イヤシイカセギヲヤメル)(此句ハ主トシテ藝妓、娼妓ナドノ賤業者ヲどろみづト異名スルトコロカラ、ソノドロアシヲ洗フトイフ意味ニ用ヰハジメタモノデアル)。　◎あしガ付ク。—(逃ゲタサキヲ知ラレル)。—カクレタ處ヲ知ラレル)。　◎あしガ付ク。—(ニゲタサキガワカル。—カクレタ處ガ知レル)。　◎あしヲ付ケル。—(ニクサキヲサガス。—ニクサキヲサグリアテル)。

◎あしガアガル。—(ノマミガ絶エル。—取リツク嗚ガナクナル)。—「夜泊リヲシテ主人方ヘハ歸レズ、トウトウあしガアガッタナ」。　◎あしガ流レル。—兜鍬治ノ語。カブトノ鉢ノタテスヂガ後ロヘ向フ。—「あしノナガルル鉢ヲ忌ム」。

あし　(第二上)名。(鏡)(あし(足)メグリアルク義)　ゼニノ異名。—オアシ。—徒然草「オホクノあしヲ賜ヒテ」。

あし　(第一上)名。(蘆=葦)(あをし(綠)ノ轉)　水草ノ名。莖フルヰカラ生ヘ、枝ハナク、莖モ葉モ竹ニ似、秋ニナッテ白イ穂ノ花ヲ著ケルモノ。—ヨシ。—ナニハグサ。—タマエグサ。—和名抄「阿之」。

△あし　(全平)根。(惡)　アシシ。—ワルイ。—「三條ノあし宰相」。

○あし　(第一上)形。(惡)　スベテ善ニ反對スル。—ヨクナイ。

あし・あと　(第三上)名。(足跡)　足ガ地ニ



ソコスアルイタアト。—アシカタ。

あし・あぶり　(……)名。(足炙り)　中ニ火ヲ入レテ足ヲアタタメル道具。—アンクワ。

あしうち　(全平)名。(足打ち)　(一)あしヲツケタ器。—アシウチ。—「あしうちノ食盤」。(二)あしうちをしきノ器。

△あしか　(全平)名。(蘆)　ムカシノ農具ノ名。土ナヤヲ運ブタメノイレモノデ、形ハ今ノサルカゴト同ジク、オモニ竹カ藤デシタル。ノチニソノ不便ヲ避ケテかるこガ發明ニナル。—和名抄「阿自賀」。

++あし・がかり　(第三ガ)(第三上)名。(足掛かり)　(一)スベテ、高ミニノボル時、足ヲカケルモノ。—アシバ。—アナナヒ。—「五重ノ塔ノあしがかり」。(二)轉シテ事ニ着手スル手ハシメ。—「ヤリタイコモあしがかりガナイ」。

○あし・がき　(……)(第二上)名。(葦垣)　葦デツクツタ垣。

○あし・がきの　(……)(第二上)枕。　ふる(古)、おもひみだる、まぢかしナドノ語ニカカル枕コトバ。(葦垣ハ細カクタ來ノ亂レル處カラおもひみだるトツヅキ、コマカク結フ處カラまぢかしトツヅキ、マタ難波ナド舊都ノアトデ葦垣ナドモノフルクナツタ居ル處カラふるトツヅク。

●あし・かけ　(全平)副。(足掛け)　ホトンド。—オホヨソ。—大抵。—「あしかけ三年ノ間」。—「今デあしかけ五月」。

◎あしかけハ其ママノ意味ノトホリあしヲかけて義デ、スナハチココカラソコマデ跨イテ、ヒックルメテ、ナドノ意味ヲ持ツ。ソレ故カナラズ數量ノ場合ニ用ヰ、シカモ又カナラズ年月ノ時ニカギル。「あしかけ三年」トカ「あしかけ三月」トカバ言ヘテモ「あしかけ三圓」ナドトハ言ハヌ。

あしかけノ今日ノ普通ノ意味ハソノ指スモノヲ一ツトシ、其前後ニ伴ナフモノヲモ悉ク皆一ツツツニ見ルコトデアル。即チあしかけ三年ハコトシカラ見テ、一昨年カラ昨年ヲトホシ、ソレカラコトシニ至ルマデノ間ヲイヒ、假リニ今年ヲ廿五年トスレバ、一昨廿三年カラコトシ廿五年ニ至ルマデヲイフコトデ、其特質ハ實際ノ年月ヲ何年何月ト數ヘズ、タダ一年ノ呼ビゴエニヨッテ通算シ、大約ノ數ヲ定メル處ニアル。ソレ故ニ、廿三年ノ五月カラ廿五年ノ一月デもあしかけ三年、月ニ於テノ場合ヒモ亦此意味デ充分ニ解シ得ラレル。

△あしかし　(第三上)名。(足柳)　刑罰ノ具。足ヘハメルカセ。—アシカセ。—和名抄「阿之加之、穿木加足」。

あしかせ　(……)名。(足枷)　轉。

△あしかた　(第四上)名。(足形=足跡)　アシアト。

あし・かため　(第三ガ)(第三上)名。(足固め)　足ヲスコヤカニスルコト。—「あしがためノトホミチ」。

○あし・がちる　(……)(第一上)枕。(葦が散る)(雜波ニハあしノ多ク葦ノ花ナド散ルトコロカライフ)　なにはへカカル枕詞。—萬葉集、「あしがちるナニハニ年ハヘヌベクオモホユ」。

△あし・がなへ　(……)(第三上)名。(足鼎=鼎)　足ノアル鼎。オモニ三足デ、スナハチ今イフカナヘト同ジモノ(まろがなへノ對)—和名抄「阿之賀奈倍」。

△あし・がに　(……)(第二上)名。　葦ナド生ヘタ處ニムラガル蟹。

△あし・がは　(……)(第四ワ)(第四上)名。(足革)　獵リニツカフ靴ノソレヌタメ、其足ニツケル革ノヒモ。—アシヲ。

△あし・かび　(第三上)名。(葦芽)(あし(葦)かび(芽)ノ義)　アシノ芽。—古事記「あしかび貝」。

あし・がひ　(第三ガ)(第四イ)(第二上)名。(葦貝)　ハマグリノタグヒ。茶色デ葦ニ似タシマノアルモノ。

○あしかび・の　(第三上)枕。(葦芽の)　あしなへトイフ語ニカカル枕コトバ。(あしかびハ芽ニエ柔カク、慈ヘヤスイタメニイフカ?)

あし・がも　(第三ガ)(……)名。　(一)△普通ノ鳴。(葦ノアル處ニ多クヰルニエ)。(二)鳴ノ一種。頭ハヤヤ赤イ鳩羽鼠色デ眼ノ上ニ赤又ハ白ノスヂヲアラハシ、胸ハ鼠色デ、腹ハ灰色、背ハ鳩羽鼠ノ色デ、ツバサニ青イ羽ガマジリ、ソシテクチバシト脚トハ黑イモノ。

あし・がら　(……)(第四上)名。(足搦(あし(足)がらみ(搦)ノ略)　スマフ、又ハ柔術ノ語。ヒトノ足ニコチラノ足ヲカランデ、メクヒタフスシカタ。—「あしがらヲカケテ倒ス」。

あし・がらみ　(……)(全平)名。(足搦み)　マキリ蟲ノタマゴ。　かばぢがふぐり參考。

あし・がらめ　(……)(……)名。(足搦め)　あしがらみノ轉。

あしがら・をぶね　(……)(第五上)名。(足輕小舟)　アシノ輕イ小舟。—ヨクハシリ得ル小舟。—アシバヤブネ。一說、伊豆足柄

山ノ木デックッタ舟。

あしがる　(……)(全平)名。　(一)下等ノ雑兵。ガサデアルクモノ。　(二)後世、徳川ノ頃ハ各大小名ノ手ニ必ラズタクハヘタ一種ノ下等ノ徒者。—チュウゲン。

△あしきぬ　((第三ギ))(第二上)名。〔絁〕〔あしぎぬ(鳥)ノ義〕　フトイ絲デ織ッタキヌ。—雜解「賦役令「細爲絹也、麁爲絁也」」。

△あしきらひ・もの　((第五イ))(第一上)名。〔凶藥物〕　ハラヘ(秘)ノトキノアガモノ名。—日本紀「あしきらひ もの」。☆きらひもの ノ參考。

○あしきル　(第三上)他動四段。〔刑る〕　支那ノ刑罰ノ語デ、漢文ヲヨムトキニ用ヰル。ヒザブシカラ切ル。

あしくび　(……)名。〔足首〕　足ノクルブシノアタリノ名。—西鶴「一代女」「あしくびノフトキヲ裾長ニシテツツミ」。

あじくゐん　((第三四合))(全平)名。〔阿字觀〕　眞言宗ノ(ア)ヲ一切言語ノ根トシ、コレニ僧徒ナドガイフ語ッイテ坐禪スルコト。

あしげ　((第三ケ))(第一上)根。〔葦毛〕　馬ノ毛色。白ニ黑ノサシゲノアルモノ。

○あしげ　((……))(第三上)根。〔邪氣〕　ワルサウデアルコト。—「ココチあしげニ見ユ」。

あしげ　((……))(……)名。〔足蹶〕　足デ蹶ルコト。—「あしげニスル」。

○あしげシ　(……)形。〔悪げし〕　ワルイアリサマデアル。—「ヨケク、あしげく」。

○あしげに　(……)副。　ワルサウニ。

△あしげびと　(……)名。〔悪げ人〕　アクニン。—ワルモノ。

あしげ・ひばり　((第三ゲ))(第四上)根。〔葦毛雲雀〕　馬ノ毛色。アシゲニ雲雀毛ノ交ッタモノ。

あしげ・ぶち　((……))(……)根。〔葦毛斑〕　馬ノ毛色。アシゲデ、ブチナモノ。

△あしこ　(全平代)〔彼處〕〔かしこ(彼處)ノ義〕　アノトコロ。—カシコ。—アソコ。—アスコ。—枕ノ草紙「あしこマデモ行キッカザラメト」。

△あしこ・こと　(第三上)代。〔彼處此處〕　アッコトココト。—ココカシコ。

△あしこ・もと　(……)代。〔彼處許〕〔もとはこと もとナドノもと〕　アソコノハウ。—アソコノ邊。

●あしさ　(第一上)名。〔悪さ〕　悪クアル度合ヒ。—枕ノ草紙「サラニ手ノあしさヨサ、歌ノヲリニアハザランヲモ知ラジト」。

あじさし　(全平)名。　語原不詳。鳥ノ名。燕ニ似テ稍大キク、且大小ノ二種ガアリ、常ニ海ノウヘヲ飛ブトイフ。

○あしさま　(……)根。〔悪樣〕　ワルイヤウ。—ワルサウ。—ヨク無ササウ。—「あしさまニ言ヒナス」。

○あしさまに　(……)副。〔悪樣に〕　あしさまノ副詞体。

あしじしろ　(第二上)名。〔足代〕　アシガカリ。—アシバ。—アナナヒ。—高ミヘノボル足ガカリ。

○あしすだれ　(第三上)名。〔葦簾〕　葦デツクッタスダレ。—ヨシスダレ。—夫木集「スクモタル難波ヲトメガあしすだれ、ヨニスケタル吾身ナリケリ」。

あしずり　(第二上)名。〔足摩り〕　モガイテ、足ヲ踏ミ、マタ摩ルコト(怒ルトカ、ナグクトカノ時ニ)。—萬葉集「ヲシマロヒ、あしずりシッツ、タチマチニ心キエウセヌ」。

△あしずル　(第三上、又第二上)自動四段。　あしずりノ原語。モガイテ足ヲスル。—「あしずり、サケブ」。

△あしすゑ・の・くみ　(全平)名。〔……〕　寶物未詳。タチ(大刀)ノ附屬品トイフ。—延喜、神祇式「阿志須惠組」。

あしぞろへ　((第五エ))(第三上)名。〔足揃へ〕　人マタ馬ナドノ足ナミヲソロヘルコト。

○あした　(……)名。〔朝〕　(一)朝。—サウテウ。—萬葉集「あしたナキタ夕パ消ヌル月グサノケヌベキ戀ヲ我ハスルカモ」。—同宵ニ逢ヒテあしたオモナミカクレノ」。—風雅集「玉ニラニキノフノユフベ見シモノヲ今日ノあしたハコフベキモノカ」。　(二)轉シテ「明日」。—アス。—谷峨、二筋道「チカラガ落チテあしたガラ役所ヘモ出ラレズ」。

▲あした　(……)名。　あしたぐさノ略。

あしたぐさ　(全平)名。〔足眼〕〔あし(足)した(下)ノ義〕　ミチワルノ時用ヰル下駄。蠱ハオモニ桐ニシ、齒ハ櫻マタ欅ニシ、ハナヲスゲテ足ニハク。蠱ノ長方形ノハオモニ男ガ用ヰ、小判形ノハ女ガ用ヰ、スミキリノハ男女ニ通ジ、一種意氣ガッタ人ガハク。普通ハ白木ツクリナガラ、婦人ノニハ黑ウルシ、セイシツ、朱ウルシナドデ塗ッタノモ有ル。—和名抄「阿師太」—淺井了意、東海道名所記「あしだハキテ行ク人アリ」。　(二)▲ツケカケ。—スベテ人ノタメニ物ナド調ノヘテヤル時、ソノ價ヒヲイツハッテ高クイフコト。—「味噌屋ガヨヒ、豆腐屋ガヨヒ、あしだハイタ癖ガ失セズ」。

あしたか・ぐも　((第五グ))(第五上)名。〔足高蜘蛛〕　足ガハナハダ細ク、且長クテ、高高トミエル蜘蛛ノ名。形四五分、足ハ八本、身ハ鼠色、目ハ



一ッ、糸ヲ出サズ、多クニカシタ、或ハササ(笹)ノ葉ニ棲ム。—アシナガグモ。

あしたぐさ　((第四グ))(第三上)名。〔朝草—(鹹草)〕　海濱ニ生ズル草ノ名。ウドニ似タ葉、夏ノ半バニ白イ花。草ハ取ッテ食用ニナル。—アシタバ。—トウダイニンジン。

○あしたづ　(……)名。〔葦鶴〕　普通ノ鶴ハ草ノ生ズル邊ニヨク居ル處カラ。—和名抄「葦鶴」。

△あしだ・つくり　(第四上)名。〔足駄造り〕　アシダヲツクル人。

△あした・どころ　(……)名。　アイタドコロ。—アイタンドコロ。ムカシ、大政官ニアッタ間(マ)ノ名。(一說、八省院ノ別名)。☆いたんどころ參考。

あしだ・の・はいれ　(第七上)名。〔足駄の齒入れ〕　足駄ノ齒ヲ入レカヘルコト、マタソノ人。

あしたば　(第三上)名。〔あした(鹹草)は(葉)ノ義〕　アシタグサ。

あしだ・はいれ　(全平)名。〔足駄齒入〕　あしだのはいれト同義。

あしだまり　(第三上)名。〔足溜まり〕〔あし(足)だまり(駐)ノ義〕　(一)イクサノ語。當時足ヲトメル處。—「山フトコロノ家ヲ燒イテあしだまりトス」。　(二)轉ジテ、スベテチョット足ヲトメル處。

▲あしだらひ　((第五イ))(……)名。〔足盥〕　足ヲアラフタラヒ。—センンクダラヒ。(ミミダラヒ、ラウヅダラヒノ對)。

△あしだを　(第四上)名。〔足駄緒〕　足駄ノハナヲ。—和名抄「阿之太乎」。

あしつき　(第二上)名。　ミル(水松)ノ類。北國ノ川ニハヘルモノ。

あしつき　(……)名。〔足付き〕　(一)足ノカタチ。—足ノヤウス。—「あしつき甲高ニ」。　(二)アルク樣子。—「あしつきシドロニ」。

あしつき　(全平)根。(……)　足ノアルコト。—アシウチ。—「あしつきノ膽」。—「あしつきノ臺」。

▲あしつぎ　(第四上)名。〔足繼ぎ〕　足ノダイ。—フミダイ。—フミッギ。

○あしづつ　(第一上)名。〔葦筒〕　葦ノナカニアルアマカハノヤウナモノ。—後撰集「難波潟カリツム葦ノあしづつノヒトヘニ君ヲワレヤ」。

△あしづの　(第二上)名。〔葦角〕　葦ノ新芽。ヨシゴ。—和名抄「阿之豆乃」。

△あしつ・を　(全平?)名。　語原不詳。トビクモタル蜘蛛ノヲゴトニツケル糸。

あしで　(全平)名。〔葦手〕　文字ヲクヅシ、葦ナド生ヘタヤウニ書ク形。多ク蒔繪ナド、和歌ノチラシガキニコノ書體ヲ用ヰル。—源氏「あしでノ双紙」。

あしで・がき　((第四ガ))(……)名。〔……書き〕　アシデデ書クコト、又葦手デカイタモノ。

あしで・がた　((……))(……)名。　アシデノ書體。

あしで・がらみ　((……))第四上)名。〔足手搦み〕　(一)手足ニ物ノマトヒツクコト。(二)妻子ナド、身ノ厄介トナルコト。—アシテマトヒ。—左傳、三世相錦繡文章「ソレモ是モ、マタ六三メガ凡ヲヤドシ、ウミオトシテハあしてがらみト愚案シタ故」。

あして・まとひ　((第六イ))(……)名。〔足手纏ひ〕　アシテガラミ。

あしで・もと　(……)名。〔葦手文字〕　纏手デカイタ文字。

あし・どめ　(……)名。〔足留め〕　人ノデカケルノヲ止メルコト。

◎あしどめヲくふ(食)—(アシヲトメラレル)。

あしどり　(第二上)名。〔足取り〕　足ヲハコブ有リサマ。—アシビヤウシ。—アシブミ。—中氣ヤミダケニワルイあしどり」。

あし・なか　(全平)名。〔足半〕　ワラザウリノ一種。馬ノクツノヤウデ、人ノ足ノウラノ中ホドダケヲ戴クモノ。—シリキリ。—アンナカ。—シリキレ。

あし・なが　((第四カ))(……)名。〔足長〕　ムカシノ想像ノ人種。脚ノ非常ニ長イトイフ人種。(手長ノ對)。

あしなが・ぐも　(……)第五ク))(第五上)名。〔足長蜘〕　アシタカグモ。

あしなが・だこ　((第四カ))(第五上)名。〔足長蛸〕　足ノ長イタコ。毒ガ有リ、食ヘバ醉フ。—テナガダコ。

○あし・なフ　((第四ウ))(第三上)自動、下二。〔足蕎ふ—(蹇)ふ〕　アシナヘグ。—足ガ利カヌ。—足ガイタム。—足ガヨワル。

○あし・なへ　((第四エ))(第三上、又全平)名。〔蹇へ〕　アシナヘグコト、マタアシナヘタモノ。—和名抄「阿之奈閉」。

△あしなべ　(第三上)名。〔足鍋—鐺〕　鍋ノ一種。足ガ三ッ有リ、酒ノカンヲスルタメノ品。柄ノ有ルノモ有リ、無イノモ有リ、後世ハ大抵無ク、而モ後世ハ誤ッテコレヲ銚子サシナベノ代リニツカフ。—カンナベ。—和名抄「阿之奈倍」。

○あしなへグ　((第四エ、第五グ))(第四上)自動四段。　アシナフ。—古事記「あしなへぐ」。

あしなみ　(第四上)名。〔足並み〕　足ノナラビヤウ。—アシドリ。—アシブミ(行列ナド)。

○あしなユ（第三上）自動、下二。〔足萎ゆ—(痿)ゆ〕　アシナフ。—アシナヘグ。

○あしぬぐひ（第四ダ、第五イ）(…)名。〔足拭ひ〕　アシヲ拭フ布。—アシフキ。

○あしねはふ（第五ウ）(第一上)枕。〔葦根這ふ〕　した(下)ニツヅク枕コトバ。〔葦ノ根ハ下ニサス處カラ〕

あしの・うら（第三上）名。〔足の裏—(跡)〕　アナウラ。—足ノソコノ地ニ向フ處。

△あしの・け（全平）名。〔脚の氣〕　ヤマヒノ名。脚氣ノ古言。—和名抄「阿之乃介」。

○あしの・ね・の（第三上）枕。〔葦の根の〕　ね(根)、わく(分)、よ(夜)、みじか(短)ナドニカカル枕詞。〔あしのねノ下ヲ取ツテねトカカリ、あしのねハ末ノヲカレルモノ故わきてナドトカカリ、根ノフシノミジカイ處カラよ(夜—節)みぢかしトカカル〕。

あしの・は・がれひ（第五ガ、第七イ）(第五上)名。〔葦の葉雛〕　魚ノ名。カレヒノ一種。オモニ干物トスルモノ。—蜀山人、俗耳誠吹「あしのはがれひ」。

あし・ば（第三上）名。〔足場〕　(一)アシシロ。—アナナヒ。—アシガカリ。(二)(轉シテ)道ナドノダアヒ。〔あしばノワルイ道〕。

あし・ばや（全平）枕。〔足早〕　アシノ早イコト。〔あしばやニ行ク〕。

あしばや・に（…）副。　前ノ副詞體。

○あしば・を・ぶね（第五上）名。〔足早小舟〕　ヨクハシル小舟。—アシガラ小舟。

あし・はら（第三上）名。……〔葦原〕　(一)葦ノハヘタル原。　(二)みづほのくにトツヅイテ日本ノ義。

あし・はら・がに（第五ガ）(第四上)名。〔葦原鞏(膨脹)〕　ハサミニハ毛ガアリ、足ニハ毛ノ無イ蟹ノ名トイフ。

△あしび（第一上）名。〔葦火〕　あぜみノ古言。〔葦ヲタク火。—後タ邊—續古今集赤人「和歌ノウラニシホミチケレバカタヲナミあしべヲサシテ田鶴ナキワタル」〕。

○あしび（…）名。〔足拭成〕　(一)〔ナニハガタあしびタク屋ニ宿カリテソアロニ袖ノシホタルルカナ〕。

○あしびき・の（第五上）枕。〔足引きの〕　(一)やまニツヅク枕コトバ。〔あしハ山ノスソ、即チすそひきノ義デ、ソレカラ山ニカカル。山ハ歩クニクタビレテ人ガ足ヲ引クトフ說ハ取ルニ足ラヌ〕。(二)後世誤マツテ、山ノ義トシ、あしびきノいは、あしびきノ水ナドトツヅク。

○あしび・なす（第一上）枕。〔馬酔木儆す〕　さかゆニカカル枕詞〔あしび(馬酔木)ノ花ノキラビヤカナヲ人ノ身ノウヘノ時メク處ナドニ寄セタモノ〕。

あしびやうし（第四ヨ、第三、四合）(第三、四上)名。〔足拍子〕　アシデトル拍子(舞四上)名。〔足拍子〕—劇場新語「拍子木ニテ板ノ間ヒナドニ」。

ヲダタキ、あしびやうし ニ合ハスルナリ」。

あし・ふき（第四上）名。〔足拭き〕　アシヌグヒ。

あし・ぶち（全平）根。〔足斑—(驢)〕　馬ノ毛色。四足共ニ白イモノ。—ヨツシロ。—和名抄「阿之布知」。

△あし・ぶね（第三上）名。〔葦船〕　葦デ造ツタ舟。

あし・ぶみ（第四上）名。〔足踏み〕　(一)足デフムコト。—「シヨノ土地ニハマダあしぶみモシナイ」。(二)足デキザンデ踏ムコト。—アシドリ。—アシビヤウシ。—「あしぶみガ律呂ニアツテウマイ」。(三)スベテ、セブミシテ見ルコト。—タメシ。—「スコシツツあしぶみヲシテ考ヘル」。

あし・へん（全平）名。〔足偏—(足旁)〕　漢字ノ名。ヘンノ(足)ノ字。

△あし・べ（第三上）名。〔葦邊〕　アシノハヘタ邊—續古今集赤人「和歌ノウラニシホミチケレバカタヲナミあしべヲサシテ田鶴ナキワタル」。

あし・ぼね（…）名。〔足骨〕　アシノホネ。

◎別ニあしノ力ノ義ガ有ルトイフ言海ノ說ハイカガ？　例ニ引カレタ「あしぼねツヨキ」ノ句ニシロ、必ラズあしノ力ト解セズトモ意味ハ通ルラシイニ。

○あし・ま（全平）名。〔蘆間〕　葦ノハヘタアヒダ。—「あしまノ蟹」—「あしまノ小舟」。

◎あしまノカヒコ（…の卵）—(オモニ、ニホドリノ卵)。

あし・まかせ（第三上）根。〔足任せ〕　足ノツヅクダケノカギリ事ヲ行フコト。—「あしまかせニアルク」—「あしまかせニ蹶ル」。

あし・まかせ・に（…）副。　前ノ副詞體。

あし・まとひ（第五イ）(…)名。〔足纏ひ—(蛭)〕　蟲ノ名。ハリガネムシ。

○あし・まとひ（…）(…)名。〔足纏ひ〕　アシテガラミ。—淺井了意、東海道名所記、「今ハ中中コノ志シガあしまとひニナリ」。

△あし・まゐり（…）名。〔足參り〕〔あし(足)まゐる(參)ノ義〕　人ノ足ヲアンマスル義ノ敬語。—源氏、「右近ヲ御あしまゐりニ召ス」。

あし・もと（第四上）名。〔足元〕　(一)足ノモト(下)。—「濱邊ハあしもとマデ混寄セテ」。(二)足ノサダマリカタ。—足ノハコビヤウ。—「ヨタヨタトアブナイあしもと」。

◎あしもとカラ鳥ガ立ツヤウナ。—(オモヒガケヌ。—ハカナ)。　◎あしもとノアカルイ内。—(不自由ニナラヌ内。—ド



ウニデモフリカタノツク内)。

あしやう（第三ヨ、第二、三合）(第一上)名。〔亞相〕　大納言ノ唐名。

あしや・がせ（第四ガ）(第三上)名。〔葦屋鎹〕　中古、筑前ノ葦屋村デ鑄タ鎹、茶人ガ最モタツトブ。

あしやくだ（第二、三合）(全平)名。〔頗梨吃〕　梵語。八寒地獄ノウチノ一ツ。

あじやり（…）名。〔阿闍梨〕　あざりト同義。

あしゆら（第二、三合）(…)名。〔阿修羅〕〔なまが(ま)即チ、サカラフ、コハス、ヤブル義、同ジ語原トシテ出來タ語ニ「ああしゆら」即チ、勇者、大人、偉人、獅子、大陽神ナドノ義。二ツ合シテ「目ニサカラフモノ」、「神ニサカラフモノ」、「正理ノ無イモノ」ノ義」〔轉シテ「佛經ニアル語。六界ノ一。天野ニ背クトコロ。略シテハ、シユラ。あしゆらわう參考。

あしゆら・かい（…）(第四上)名。〔阿修羅界〕　アシユラト名ノツイタ一區域。

あしゆら・だう（…、第五ド）(…)名。〔阿修羅道〕　アシユラカイヘ行ク道。略シテ、シユラダウ。

あしゆら・わう（…、第五ヲ）(…)名。〔阿修羅王〕　佛經ニイフ魔神ノ名。力ツヨク、暴威タクマシク、梵天帝釋トアラソヒ、正法ヲホロボサウトスル神。

◎なあがりい語、ああしゆらニハ下ニ記シタダクノ義ガアル。—大威德ノ神。—神靈。—不生不滅。—亡靈。—幽魂。—大陽。—象。—白雲。—黑闇。—恐物。—魔王。—日ニ逆フモノ。—正理ヲクラマスモノ」ナド。　コノ義カラ推セバ、あしゆらトイフダケデ既ニ大魔神ノ意味ハタシカニコモル。ソレニ「王」ヲ加ヘタノハ飜譯トハ云ヒナガラ、アマリ巧ミデナイ重言カ？

あし・よめ（全平）名。〔足覆〕　(一)ルクニ駒イコト。(二)(轉シテ)足ノ達者デナイモノ(老、幼、婦女)。

あしらひ（第四イ）(第三上)名。〔アシラフコト。—アシラフモノ。—西鶴、一代女。「レンナトシヨリ男ハ此方ノあしらひ一ツナリ」—妙妙奇談「タマタマあしらひアレバ松ハ丁子ガシラノ如ク、鶴ハトウシンザイクニ似タリ」。

あしらふ（第四ウ）(…)他動四段。　あへしらふ(全平)名。〔網代〕〔あみ(網)しろ(代)ノしらふノ略〕。

あじろ（全平）名。〔網代〕〔あみ(網)しろ(代)ノ義〕〔なはしろナドノしろ〕。

あじろ（全平）名。〔……〕　アジロニ編ンダモノ。—アジログミ。

あじろ・うち（…）名。〔……打ち〕　川ニアジロ組ミ立テルコト。

あじろ・がき（第四ガ）(第三上)名。〔……垣〕　アミモノノアシロデ造ツタ垣。

あじろ・かご（第五ゴ）(…)名。〔……籠〕　アジロアミノノリモノカゴ。

あじろ・がさ（第四ガ）(第四上)名。〔……笠〕　アジロアミノカブリ笠。昔シカラ有リ、オモニ竹デ編ム。シブヌリ、ウルシヌリ共ニ有ルモノノ、大方ハ木地ノ儘ニシ、多クハ法師ノカブリモノデアツタ處、天和以後カラ一般ノ人モカブル。

あじろ・がた（…）(全平)根。〔……形〕　アジロニ出來テ居ルモノ。

あじろ・ぎ（第四ギ）(第三上、又全平)名。〔……木〕　魚ヲトルアジロニ用ヰル木。—新古今集、慈圓「あじろ木ニイザヨフ浪ノオトフケテ獨ヤ寢ヌル宇治ノ橋姫」。

あじろ・くみ（第四グ）(全平)根。〔……組み〕　アジロニ組ンダモノ。—アジロアミ。

あじろ・ぐるま（…）(第四上)名。〔……車〕　ヤカタヲアジロアミニシタ車。オモニ古代ノ用、後世ハスタレル。—アジロ。

あじろ・ごし（第四ゴ）(第三上、又第四上)名。〔……輿〕　アジロアミノ輿。ムカシ晴レニ用ヰタモノ。

△あじろ・たまま（第四上？）名。　呉竹集「あじろたままハ車ヲイフナリ」。

あじろ・てんじやう（第七ヨ、第六、七合）(第四上)名。〔……天井〕　アジロアミノ天井。

あじろ・ばり（全平）根。〔……張り〕　スベテ、アジロアミニシタモノ。

あじろ・ばり（…）名。〔……〕　アジロ笠ノ一種。市女笠ト武者笠トノアヒコノヤウナカブリ笠。ヘリドホリハ上ヘツヨク反リカヘル。德川幕府ノ中頃カラハジマリ、小身ノモノガ馬上ノ時者カブリ、其他納戸方、扈從タチモ亦用ヰ、延享以後陪臣モ亦用ヰ出シタモノ。イヅレモ赤ヌリ。

○あじろ・びと（第三上）名。〔……人〕　川ノア

シロヲ守ル人。—アジロモリ。—萬葉集「宇治河ハヨドセ無カラシあしろびと舟ヨブコエノヲチコチ聞ユ」。

あじろ・びやうぶ《第五ヨ》、《第四、五合》《第四、五上》名。〔……屏風〕　アジロバリニシタ屏風。

○あじろ・もり　《第三上》名。〔……守〕　アジロヒト。

△あし・わけ　《全平》根。〔足別け〕　足ノトリハヅシノ出來ルモノ。—あしわけノ扒。

あし・わけ　〔…〕名。〔葦別け〕　葦別けハ當テ字デ、本義ハ—モノノサハリ。—ワルイサハリ。　☆あしわけをぶね參考。

あしわけ・をぶね　《第五上》名。〔葦別け小船〕　アシマヲクグツテ行ク船。—萬葉集「ミナトイリノあしわけをぶねサハリ多ミ、我オモフ君ニアハヌコロカモ」。コノ歌カラ中古以來あしわけヲサハリノ義ニツカフ。

△あしぬ　《第二上?》名。〔蘆〕　葦ノ名。ヨブナグサノ一名。

あし・を　《第三上》名。〔足緒〕　アシガハ。—和名抄「阿之乎」。

▲あし・つくび　《《第三通》》《第五上》名。　あしくびノ轉訛。

▲あし・んぼぬ　《第四上》名。　あしぼぬノ轉訛。

あす　《第二上》名。〔明日〕〔あさ(朝)又ハあした(朝)ノ轉〕　今日ノツギノ日。—ミヤウニチ。—アクル日。—人丸「あすヨリハシモトノ小田ニ袖ヌレテ、トミ草サナヘウエツベラナリ」。

あす　〔…〕副。〔明日〕　今日ノツギノ日ニ。—「あす見ベキ山」。

○あス　〔…〕自動〔下二〕〔淺す〕　(一)アサクナル(ナガレ川イケナド)。(二)《《褪す》》色ガウスクナル。—色ガサメル。—源氏「ムスビツル心モ深キモトコヒニ濃キムラサキノ色シあせズバ」。

あせノ轉訛。

△あず　〔…〕名。〔畦〕　あせ

あずか・かせ　《第三上》名。〔飛鳥風—明日香風〕　大和國、アスカ邊デイフ語。アスカ(飛鳥—明日香)ノ方カラ吹ク風。ナニハカゼ、ハツセカゼノ類)。—萬葉集「タヲヤメノ袖吹キカヘスあずかかぜ、都ヲトホミイタヅラニ吹ク」。

あずか・みそ　《第四上》名。〔飛鳥味噌〕　カシ大和ノ飛鳥デ造ツタ味噌。—著聞集「キノフキテ今日モテマ非ルあずかみそ」。

●あすこ　〔全平〕代。〔彼處〕　あそこノ轉訛。

あす・ならう　《第四ロ》《第三上》名。　はひのきト同シモノ。

あす・は　《第三上》名。　あすはひのき

あす・は・ひのき　《第四上、又第二上》名。〔羅漢柏〕〔あす(明日)は(テニハ)ひのき(檜)ニ爲ラウトノ義トイフ。ソレカラシテ又、あすからう〕　ヒノキニ似タ常綠木ノ名。—アスナラウ。—アスヒバ。

あす・ひ　《第一上、又第三上》名。〔明日檜〕

あすはひのき・ト同シモノ。

▲あすび　〔全平名〕〔遊び〕　あそびノ轉訛。

▲あすブ　《第三上》自動、一。〔遊ぶ〕　あそ

ぶノ轉訛。

あすら　〔全平〕名。〔阿修羅〕　あしゆらノ轉。

△あせ　《第一上》代。〔我兄〕〔あが(我)せ(兄—夫)ノ義〕　シタシイ男ニ對シテノ敬語(他人ニモ、夫ニモ)。

あせ　〔…〕名。〔汗〕　(一)動物ノ體ガ熱シテ肌ニ出ル水。—枕ノ草紙「スズロニあせアエルココチゾシケル」。(二)血ノ異名。霧宮ノ語。

◎手ニあせニギル。—熱心ニ思ヒクルシム)。

あせ　〔…〕名。〔畦〕　田ノクロ。—和名抄「久呂、一云阿世」。

▲あせ　《第一上》副。〔何故〕　なせノアヅマナマリ。—奥州歌「イグヒスヤ初音ブンダセ、聞クベイニ、あせカ嘴カナイ、無沙汰ダンベイ」。

△あせれク　《第三上》他動、四段。　語原不詳。畦ヲツクル、タガヤスナドノ義ラシク見エル。—「シヅノヲガ苗代ガキヲあせおきテ今日ゾタナ非ニ種オロシツル」。

◎コノあせハ名詞カ、動詞カ?　名詞トシテモ而白クナシ、ト云ツテ動詞トスレバ他ニ語尾變化ノ例ヲ見ズ、隨ツテ語原モ探レヌ。

あせ・れり　《全平》名。〔畦織り〕　布ノ織リ方ノ名。ヨコ糸ニ太イト細イト共ニ交ゼ、田ノ畦ノヤウナタカビクヲ出シタモノ。

●あせ・かき　《第二上》名。〔汗掻き〕　アセヲ多クカク人、マタソノヤウナカラダ。

○あせ・くム　《《第三ク》》《第三上》自動、四段。〔汗含む〕〔ぐむハなみだぐむナドノぐむ〕　アセヲモホス。—アセバム。

あせ・くら　《第二上》名。〔校倉〕　古代ノ建築ダ、横ニ角ノ木ヲ組ミアゲテ造ツタ倉。(奈良ノ正倉院ノ建築ナド)。—和名抄、「阿世久良」。

あせ・ごろう　《第三上》名。〔畦呉絽〕　アセオリノ呉絽。

▲あせ・とばん　〔…〕名。　あせじゆばんノ轉訛。



++あせ・じみ　〔全平名〕〔汗染み〕　アセノシミツイタシルシノアト。

あせ・じム　《第三上》自動、四段。〔汗染む〕　アセノシミガ付ク。

あせ・じゆばん　《《第三、四合》》《第三、四上》名。　アセトリ。

△あせ・たなごひ　《《第五ゴ》》《第六イ》》〔…〕名。

あせてぬぐひト同シモノ。—アセノゴヒ。—アセヌグヒ。—アセフキ。

あず・せ・ち　〔全平名〕〔按察使〕〔あん(按)さつ(察)し(使)ノ轉訛〕　大古、諸國ノ風俗、教化ナドヲ觀察サセシ使ヒノ官職。

++あせ・づたひ　《《第五イ》》《第三上》副。　アセミチヅタヒ。

あせ・てぬぐひ　《《第五グ》》《第六イ》》〔…〕名。〔汗手拭ひ〕　アセヲ拭フ手ヌグヒ。—アセノゴヒ。—アセヌグヒ。—アセフキ。

あせ・とり　《第二上》名。〔汗取り—〔汗衫〕〕　肌著ノ一種。汗ヲシミ込マセ、ウハギヘ拔ケサセヌタメニ用非ルモノ。—古言、カザミ。

あぜ・な　〔…〕名。〔畦菜〕　葦ノ名。さぎごけト同ジモノ。田ノアゼニ多ク生ズル處カライフ名。

あせ・ながし・の・あな　《《第四ガ》》《第三上》名。〔汗流しの穴〕　メンポウノ下ニアイテ居ル穴。

あぜ・なは　《《第四ヲ》》《全平》〔畦縄〕　田ヘヒキワタス縄〔あざへ(紐)なは(縄)トスル說ハイカガ?〕

あせ・ぬぐひ　《《第四グ》》《第五イ》》《第三上》名。

あせ・のごひ　《《第四ゴ》》《第五イ》》〔…〕名。〔汗拭ひ〕　アセヲヌグフ布ノキレ。アセフキ。—アセヲヌグヒ。—アセタナゴヒ。—下學集「アセノゴヒ」。

あせば　〔全平名〕　あせ

△あせ・ば　〔…〕名。〔汗疣—〔痂子〕〕〔あせ(汗)ノ義〕　多ク汗ノ出ルタメ肌ニ出來ル小ナデキモノ。—和名抄「熱淵瘡、阿世毛」。

○あせ・もよ　〔…〕根。〔汗催〕〔あせ(汗)もよほし(催)ノ義カ?〕　アセノタレルコト。

あせ・もよ・に　〔…〕副。　前ノ副詞體。

△あせ・ゆク　〔…〕自動、四段。〔淺せ行く〕　(一)アサクナリユク。—アセテ(淺)ユク(水ナド)。(二)《《褪せ行く》》　サメユク。—オトロヘユク。—アサアサシクナル(色、人情、世ノ中ナド)。

●あせル　〔第二上〕自動、一。〔急る〕〔あさる(求食)ノ轉カ?〕　ノゾミヲ遂ゲヤウトテ急グ。—望ムコトニ熱心ニ志ザス。—「朝カラあせつてヤウヤウ十錢」。

◎此語ヲ解イテ、あヲ發語トシ、せるヲ競フトシタ說ハイカガ?　ソレデモ聞コエルヤウナモノノ、あさるニスデニ、今日ノ普通デハ、ノゾミヲ遂ゲヤウトテ急ク意味モアルヲ、强チニ別ノ語原ヲ取ルニモ及ブマイカ?

●あせ・つ・かき　《《第三通》》〔…〕名。　あせかきノ轉訛。

あせん・やく　〔…〕名。〔阿煎藥〕　フシ、即チ五倍子ヲ煮カタメタモノ。クスリニツカフ。

△あそ　〔第一上〕名。〔朝臣〔あそみ(朝臣)ノ略〕〕　人ヲタツトンデイフ敬語。—萬葉集、奥守、「ホトケックルアカニタラズバ水タマル池田ノあそガ鼻ノ上ヲ掘レ」。

あ・そうぎ　《《第四キ》》《第二上》》〔…〕名。〔狡語・無央數ノ義トイフ。但シ語原ハ知ニソレホドノ義ヲ含マセタモノデモ有ルマイ。

あせ・も　〔第三上〕名。〔汗疣—〔痂子〕〔あせ(汗)いぼ(疣)ノ義〕　多ク汗ノ出ルタメ肌ニ出來ル小ナデキモノ。—和名抄「熱淵瘡、阿世毛」。

○あせ・もよ　〔…〕根。〔汗催〕〔あせ(汗)もよほし(催)ノ義カ?〕　アセノタレルコト。

あせ・もよ・に　〔…〕副。　前ノ副詞體。

△あせ・ゆク　〔…〕自動、四段。〔淺せ行く〕　(一)アサクナリユク。—アセテ(淺)ユク(水ナド)。(二)《《褪せ行く》》　サメユク。—オトロヘユク。—アサアサシクナル(色、人情、世ノ中ナド)。

●あせル　〔第二上〕自動、一。〔急る〕〔あさる(求食)ノ轉カ?〕　ノゾミヲ遂ゲヤウトテ急グ。—望ムコトニ熱心ニ志ザス。—「朝カラあせつてヤウヤウ十錢」。

◎此語ヲ解イテ、あヲ發語トシ、せるヲ競フトシタ說ハイカガ?　ソレデモ聞コエルヤウナモノノ、あさるニスデニ、今日ノ普通デハ、ノゾミヲ遂ゲヤウトテ急ク意味モアルヲ、强チニ別ノ語原ヲ取ルニモ及ブマイカ?

●あせ・つ・かき　《《第三通》》〔…〕名。　あせかきノ轉訛。

あせん・やく　〔…〕名。〔阿煎藥〕　フシ、即チ五倍子ヲ煮カタメタモノ。クスリニツカフ。

△あそ　〔第一上〕名。〔朝臣〔あそみ(朝臣)ノ略〕〕　人ヲタツトンデイフ敬語。—萬葉集、奥守、「ホトケックルアカニタラズバ水タマル池田ノあそガ鼻ノ上ヲ掘レ」。

あ・そうぎ　《《第四キ》》《第二上》》〔…〕名。〔狡語・無央數ノ義トイフ。但シ語原ハ知

レヌ。モシヤなあがりい語 ᳬᳬᳬ（あすがき）ノ轉カ？「あすがき」ニハ「不可思議」「不可到着」「不可測知」ナドノ義ノ有ル處カラ推セバ、コノ非常ニ大キナ數ニ用ヰル語トシテ互ニ緣モ有リサウニ思ハレル。佛經ニアル非常ニ大キナ數ニ―醍醐名義集、「十百名千、十千名万、十万名億、千万億名那由他、千万那由他名嗣羅、千万顆羅名迦他、過迦他名阿僧祇」。

あそこ（金平代）（彼處）　アノトコロ。―カシコ。―アスコ。―アシコ。

△あそそ（…）根（淺淺）（あさあさ（淺淺）ノ義）。ホノカ。―オボログ。―フツカ。

△あそそに（…）副。　前ノ副詞體。

△あそばかす（…）他動四段（遊ばかす）　アソバセル。―アソバヤウニスル。

○あそばす（…）他動四段（遊ばす）　（一）アソバヤウニスル。―枕ノ草紙「チゴノメノトノ唯アカラサマトテ往ヌルヲ、求ムレバ、兒角あそばし、ナグサメテ」。（二）オコナフ、爲ルナドノ義ノ敬語―古事記「ワガ大君ノあそばしシ」。（三）●他動、一。他ノ動詞ノ下ニツヅク敬語。―カウ御シあそばせヤ」。

●あそばせ・ことば（第五上名）（遊ばせ言葉）カウ遊バセ、アア遊バセナド、スベテあそばせヲ用ヰテ言フ丁寧ナ語法。―「あそばせ言葉ニ三ツ指三味」。

●あそばせル（金平）他動、二。　あそばす第一解義ノ近體動詞。

あそび（…）名（一）（遊び）（遊戯）　アソブコト。―スベテ愉快ヲ覺エテ心ヲヤルシワザ。（二）△（遊女）身ノシロヲ客ニハラハセ、其客ノ機嫌ヲ取ルタグヒノ女。―ウカレメ。―アソビメ。―アソビモノ。―ウカレヅマ。―ヒトヨヅマ。―ナガレメ。―タハレメ。―ヂヨウロ。―ヂヨラウ。―イウクン。―イウヂヨ。―ケイセイ。―和名抄「阿曾比」。

◎○あそびハムシロ公娼デ、コレヲ私娼ト同ジク解クノハヤ穩カデナイ、ト言ッテ、ウタヒメ、ゲイシャナドデモナイ。ソレコレカラココニ擧ゲタ同義ニハワザト私娼、藝者ノ類ヲハブキ、ソレラヲバンレイレイノ處ニ寄セタ。

●あそび（金平）名（…）　シマリノナイコト。―ルク見エルコト（顏ツキニ）。―「あそび有ル顏スコシ馬鹿ゲテ」。

あそびがたき（（第四ガ））（第四上）名（…）敵）「かたきハとゝばかたきナドノかたき」

●あそび・がは（…）（第五オ）（金平）名（…）顏）シマリノ無イカホツキ。

○あそび・ぐさ（（第四グ））（…）名（…草）　アソブ種。

●あそび・しごと（（第五ゴ））（第四上）名（…仕事）　カヲコメズ、ユルユルトスルスベテノシゴト。―「あそびしごと、ハカハ行カズ」。

●あそびすき（…）根（…好き）　ヨク遊ビタガル性質。

●あそびだて（第五上）名（…立て）　アソブコト。―「あそびだてヲスレバ切リガイ」。

◎あそびだて　イ意味ヲ持ツ。あそびニ對シテ一段ノ強あそびだてハ言ヘバ、コトニ際立ツテ聞コエル。あそびだてト言ハ、「ヨシ多クトモ少ナクトモ」トカ「事情ハドウニシロ、兎ニ角ニ」トカノ邊デアル。あそびだてノアル文ノ中ニコノ句ナドヲ容レテ大抵ハ會解ガ出來ル。「身柄ノアル人ノあそびナラ格別、コノ痩セ身代デあそびだてヲシテタマルモノカ？」コノ文ヲ下ノヤウニシテモ解セル。―「身柄ノアル人ノあそびナラ格別、コノ痩セ身代デ（ヨシ多クトモ少ナクトモ、又ハ事情ハドウニシロ兎ニ角ニ）あそびだてヲシテタマルモノカ？」

●あそび・づく（金平）名（…づく）（づくハいひづく、うでづくナドノづくデ、即チつくし（盡）ノ義）。（一）アソビヲ盡クス、即チ、アソブダケアソブコト。―「トテモあそびづくナラ負ケテ居テハ腹ガ立ツ」。（二）アソブ仕方。―「あそびづくニ因ッテハ許ス」。

●あそびて（…）名（…手）　（一）遊ビノ好キナ人。―アソビズキ。（二）アソビノ上手ナ人。

●あそび・にん（…）名（…人）　アソビテ。―ゴロツキ。

○あそび・め（…）名（…女）　あそび第二解義トオナジモノ。

△あそび・もの（…）名。　（一）あそびめトオナジモノ。（二）オモチャ。―テアソビ。―モテアソビ。―グワン弄ブツ。―源氏「ヲカシキ繪、あそびもの、トリニツカハシテ」。

△あそび・を（…）名（…男）　伶人。

あそぶ（…）自動四段（遊ぶ）　（一）身ニ愉快ヲ覺エルコトヲスル。―心ヲヤルコトヲスル。（二）愉快ヲ覺エルタメニ出アルク。―「山ニあそぶ」。（三）イウレキスル。―「來國ニあそぶ」。（四）△管絃、謠曲ノ類ヲ奏スル。―「高藥集」「獅トリ、ユフシデあそぶ冬ノ夜ハ天ノ岩戸モ明ケヌベキカナ」。



（五）人ヲヒヤカス。―オモチャニスル。（六）手ガ明ク。―スル事ガナイ。―「あそんデ居ラハ食ヘヌ世ノ中」。

◎○あそぶ糸。―（カゲロフ）。

△あそみ（第一上）名（朝臣）（あ吾）せ（兄）たみ（臣）ノ義。　ムカシ定メタ姓ノ名。第二等ノ位。―アソン。―アツソン。

☞かばね卷考。

あそん（…）名（…）　あそみノ轉。

あた（第二上）名（仇）（あたり（當ノ義）。（一）スベテコチラニ當ッテ不愉快ヲ覺エサセルモノ。―源氏「長キ世ノウラミヲ人ニ殘シテモカツハ心ノあたト知ラナン」。（二）我ニアダル敵。―我ヲ攻メルモノ。―カタキ。―萬葉集「家持「シラヌヒノ筑紫ノ國ハあたマモルオサヘノキガト」。（三）マヘニ受ケタ害。―前ニ加ヘラレタ害―「あたヲ復ス」。（四）ムカフノ者ノタメ不利益。―「あたヲヌ」。

●あた（金平）名（…）　あた（第二上）第四解義トオナジ意味。―「あたヲシテヤル」。

△あた（第一上）敵（兎）　大古ノ尺度ノ敵。今ノ四寸ニアタルトイフ。―釋日本紀、「凡讀兎爲阿多者、手之義也。　一手之廣四寸兩手相加、正是八寸也」。―「八あた鳥」。

▲あた（…）感。　スベテ、ソノカカル形容詞ノ意味ヲ強メルコトバ。―近松、心中二枚繪草紙「田地賣ラセタ女メガ市サママヰル、身ヨリトハ。　ハテ偖偖あたシダタルイ」。

●あだ（第二上）名。　あた（仇）ノ轉訛。

あだ（…）根。（仇―他―徒）　（一）モロイコト。―タノミ甲斐ノナイコト。―ハカナイコト。（二）ムダデアルコト。―形バカリデ實ノナイコト。―「あだナル名ノミ龍田川」。―「あだニナリヨク人ノ心」。

●あだ（…）根。（仇―（阿娜））　ナマメイタコト。―ウハキラシイコト。―色ヲ含ンダコト。―「あだナ姿ニ迷フタハテハ」。―「あだナ顏ノヲスレカサ」。

○あだあだし（第四上）形。（仇仇し）　ナマメイテ居ル。―ウハキラシク見エル。―色ヲ含ンデヰル。

▲あたい（金平）代。（私）　わたし（私）ノ轉訛。同義オモニ婦人小兒ナドガツカフ。

☞あたし、わたし卷考。

☞○あだ・うち（…）名。（仇討ち―復仇―報讐）前ニ受ケタ怨ミヲカヘスコト。―カタキウチ。―フクシウ。―アダウチ。

あだ・がたき（（第三ガ））（第三上）名。（仇敵）（あだ（仇）ノかたき（敵トヲヨセタ語）。あだ、又ハかたきヨリ意味ノヤヤツヨイ語―「あだがたきノオモヒヲスル」。

あたかも（…）副。（恰―宛）　サナガラ。―チヤウド。―ソックリ。―ソノママ。―サシク。―「あたかも似タリ」。

○あだ・くち（金平）名。（仇口―徒口）　ムダクチ。―アダゴト。―ヘラズグチ。―ヤクニモタタヌハナシ。―マコトノナイハナシ。

あだ・くらべ（第三上）名。（仇競べ）　互ニ浮氣ヲスルコト。

△あだク（金平）自動下二。（仇く）（あだ（仇）ノ動詞體）。　ウハツク。―ウハウハスル。―心ガ定マラヌ。―源氏「ウチあだけスギタル人ノ」。

△あだけ（…）名。（仇け）　あだくノ名詞體。

○あだ・げ（（第三ゲ））（第三上）根。（仇氣）　アダアダシクアルコト。―「あだげナル人カナ」。

●あたげ・びくよ（第四上）名（安宅北丘尼）物モラヒノ比丘尼ノ一團。　德川時代、正德ゴロ江戸深川新大橋ノムカフ、即チ公儀ノ船「安宅丸」ヲ置イタ處ノ跡ノ町家カラ毎日市中ヘ物モラヒニ出タモノ。

●あたげ・もの（金平）名（…者）　アタケタガル人。―アタケル人。

●あたけル（…）自動二。（當ける）　ワザトアバレル。―心デワルイト承知シナガラツラアテニ亂暴スル。―アクタレル。―イタヅラスル。

●あたけ・つ・ぽイ（（第四逼））（金平）形。　容易ニアタケル性質デアル。

●あたけ・つ・ぽさ（…）（第五上）名。　容易ニアタケル度合ヒ。

あたご・だけ（（第三、四ゴ））（第三上）名。（愛宕苦）　深山ニ生ズル苦ノ一種。莖細ク、葉ハ檜ノ木ニ似テ冬ハ樺色ニナル。山城ノ愛宕山ニ多イ處カラ名ガ付ク。―エイザンゴケ。

○あだ・ごころ（（第三ゴ））（第四上）名。（仇心）　ウハキナココロ。―ソゾロゴコロ。―アダクチ。

○あだ・ごと（金平）名。（仇言）　アダクチ。

▲あたし（…）代。（私）　わたし（私）ノ轉。同義オモニ婦人小兒ナドガツカフ。あたいヨリヤヤサナク無イココロヲ持ツ。

△あだシ（第二上）形。（他し）　ホカノ物デアルラシイ。―「あだしウ見エケリ」。

○あだ・し（金平）接頭。（他し―仇し）（あだ（徒）し（休メ字））　アダナ。―種ノ無イ。―イタヅラナ。―「あだしエニシ」。―「あだしチギリ」。

●あたじけ・なイ（第五上）形（あたへ（與）し（休メ字）け（氣）無いノ義カ？）　人ニ物ヲヤルノヲ惜ム。―客嗇ナ。

●あたじけなさ　(…)名。　アタジケナクアル度合ヒ。

●あたじけなし。(…)名。　アタジケナイ人。—〔あたじけなしノ心デハナルホドサウトモ思ハウガ〕。

○あだし・ごころ　((第四ゴ))(第五上)名。〔あだ(徒)し(休メ字)心ノ義〕　アダゴコロ。

○あだし・の　(金平)名。〔徒し野〕〔あだ(徒)し(休メ字)の(野)ノ義〕　ナキガラヲ葬ムルトコロ。—〔あだしのノ露〕。

○あたス　(…)自動、さ變。〔(恕)す〕　あた(仇)ヲスル。—アダナフ。—〔ヱヒスドモあたす〕。

●あたすル　(…)自動、六。〔(恕)する—(仇)する〕　あたすノ近體動詞。

あたたか　(第二上)根。〔(暖)か〕〔あつ(熱)やかノ義カ?〕　(一)スズシイノ反。アツクナク、寒クナイ。ナカホドノ温度ヲ言フ語。—ヱクトイ。(二)オダヤカニ、ヤサシイ(交情ナド)。—〔交情あたたかニ〕。(三)充分ニ滿チテヰル。—足ラヌコトノナイ(金ナド)。—近松、博多小女郎浪枕、「身ウケスルホド内證ガあたたかデ」。

●あたたかイ　(第四上)形。〔(暖)かい〕　あたたかノ近體形容詞。

あたたかさ　(第二上)名。(…さ)　アタタカクアル度合ヒ。

あたたかシ　(第二上、又金平)形。(…かし)　あたたかノ古體形容詞。

あたたかに　(第二上)副。(…に)　あたたかノ副詞體。

あたたかみ　(第五上)名。(…かみ)　アタタカデアルコト。—〔コノ部屋ハあたたかみガ多イ〕。

○あたたけシ　(第四上)形。(…けし)〔けしハさやけし、あきらけしナドノけし〕　アタタカナ。—ヱクトイ。—夫木集、「あたたけキ春ノ山邊ニ花ノミゾ處モワカズ咲キワタリケル」。

あたたまり　(第五上)名。(…まり)　アタタコト、又、ナッタコト。—ヱクタカニナルコト。

あたたまル　(第四上)自動四段。(…まる)　アタタカクナル。—ヱクマル。—ヱクトマミ。—〔火ノあたたまりノ消エヌ灰〕。

○あたたム　(第三上)他動、下二。(…む)　アタタカニスル。—アタタメル。—ヱクメル。

△あたたむら　(…)名。〔仇屯〕〔あた(仇)たむら(屯)ノ義〕　ウルモノノムラガリ。—〔あたたむらニ說カシメテ〕。

●あたためル　(第四上)他動二。(暖める)　あたたむル。近體動詞。(一)アタタカニスル。(二)身ニ秘メテ自身ヒトリ樂シム。—〔トコロデあたためタ金百兩〕。

△あたたら・まゆみ　(第五上)名。〔安達眞弓〕〔あたたら(安達)ノ古言〕。—〔あたたらハ岩代ノ安達カラ出ル弓〕。

▲あだ・つク　(金平)自動、一。〔仇つく〕〔つくハ(着)ノ義〕　アダちちつく、がたつくナドノつく。—京傳、艶氣樺燒、「ウヌガヤウナ好イ男ガチラックト女郎衆ガあだついテナラヲエカラ」。

○あだ・な　(第二上)名。〔仇名〕　ウハキモノトイフ評判。—ムジツノ名。—〔あだなタツノ川ノ瀬モ〕。

○あだな　(金平)名。〔綽號—渾名〕　〔思フニ多分あざな(字)ノ轉〕、あだな(仇名)ノ義トイフ說モアルモノノ〕。—三世相錦繡文章「あだなカシクトニ、マグレ」。—蜀山人、奴師勞之、「人皆齒マデノ黑人トあだなセリ」。

△あたなフ　((第四ウ))(第三上)自動四段。(…寇なふ)　アタヲスル。

あだ・なみ　(第二上)名。〔仇浪〕　アダナ浪。涙ナドノ定マラヌノヲオモニ人ノ心ニタトヘテイフ語。—金葉集、「音ニ聞クタカシノ濱ノあだなみハカケジヤ袖ノヌレモコソスレ」。

あだ・に　(第二上)副。〔仇ゑ—狗娜に〕　●あだ、あだナドノ副詞體。—夫木集、花山院、「あだ(仇)に散ル花見ルダニモ有ルモノヲ、實ノウエ木オモヒコソヤレ」。—〔あだ(狗娜)に見エタルヲミナヘシ〕。

△あたね　(金平)名。　草ノ名。あかねノ古言。—古事記、「夜麻賀多尒麻岐斯阿多泥」。

○あだね　(第二上)名。〔仇寢〕　ヒトリ唯空シク寐ルコト。—アダブシ。

△あたはス　(第三上)自動四段。〔(婚)—交合〕　男女交合スル義ノ敬語。—古事記、「唯其弟木花之佐久夜姫ヲノミトドメテヒトヨミトあたはシッ」。

○あだ・ばあ　(金平)名。〔仇花—徒花〕　ムダバナ。—實ヲ結ブベキモノニ咲キナガラ終ニ實ヲ結バヌタチノ花。—和名抄、「阿太波奈」。

○あたはら　(…)名。〔疝〕〔いた(痛)はら(腹)ノ義カ?〕　病ヒノ名。急ニ腹ノイタム病氣。—シラタミ。—センキ。

あたひ　((第三イ))(…)名。〔(價)〕〔あて(當)あひ(合)ノ義カ?〕　(一)ウリモノニ對シテ定メタ金錢ノ高。—ネダン。—ネ。—ネウチ。—シロ。—ダイ。—レウ。(二)ウリモノニ對シテ定メタダケノ金錢。—〔あたひヲ受ケテ品ヲハラフ〕。(三)人、マタハ物ノクラヰ、程度。—〔あたひノアル人〕。

◎あたひなし。—(ネノ知レヌ)。—萬葉集、



タカナ。—ヱクトイ。—夫木集、「あたたけキ春ノ山邊ニ花ノミゾ處モワカズ咲キワタリケル」。

あたたまり　(第五上)名。〔…まり〕　アタタコト、又、ナッタコト。—ヱクタカニナルコト。

あたたまル　(第四上)自動四段。〔…まる〕　アタタカクナル。—ヱクマル。—ヱクトマミ。—〔火ノあたたまりノ消エヌ灰〕。

●あたためル　(第四上)他動二。(暖める)　あたたむル。近體動詞。(一)アタタカニスル。(二)身ニ秘メテ自身ヒトリ樂シム。—〔トコロデあたためタ金百兩〕。

△あたたら・まゆみ　(第五上)名。〔安達眞弓〕〔あたたら(安達)ノ古言〕。—〔あたたらハ岩代ノ安達カラ出ル弓〕。

▲あだ・つク　(金平)自動、一。〔仇つく〕〔つくハ(着)ノ義カ?〕　アダちちつく、がたつくナドノつく。—京傳、艶氣樺燒、「ウヌガヤウナ好イ男ガチラックト女郎衆ガあだついテナラヲエカラ」。

○あだ・な　(第二上)名。〔仇名〕　ウハキモノトイフ評判。—ムジツノ名。—〔あだなタツノ川ノ瀬モ〕。

○あだな　(金平)名。〔綽號—渾名〕　〔思フニ多分あざな(字)ノ轉〕、あだな(仇名)ノ義トイフ說モアルモノノ〕。—三世相錦繡文章「あだなカシクトニ、マグレ」。—蜀山人、奴師勞之、「人皆齒マデノ黑人トあだなセリ」。

●あたふた・と　(…)副。　あたふたトオナジ意味。

◎あたふたと・に　(…)副。　タクサンニ。—カアサンノ義モ共ニ有ル。

●あたふた・に　(…)副。　タクサンニ。—カアヘキレヌホドニ。—〔あたふたニハウロタヘル義モ無イ〕。

◎あたふたに・ハ　((第三ウ))(金平?)自動、下二。　フザケル。—トボケル。—アバケル。

△あたへ　((第三エ))(金平)名。〔直〕〔あたひえノ約〕　上古ノ姓ノ名。君ノ義。—〔針間別佐伯直〕。

●あたへル　((…))(…)他動、二。　あたふ(與)ノ近体動詞。

あたま　(第三上)名。〔頭〕〔いただき(頂)かみ(上)ノ義カ?〕　(一)カシラノイタダキ。—ナウテン。—和名抄、「天窓和名阿太萬」。(二)スベテ、首カラ上ノ名。—カシラ。—カウベ。—ドタマ。—〔あたまガヤメル〕。(三)物又事ノハジメ、又ハ上ノ部分。—近松、博多小女郎浪枕、「知ラズバ知ラヌトあたまカラ言フタガヨイ」。—〔鉄ノあたまノマンマルコ〕。(四)●〔髮ノ毛ハ頭ニハヘル處カラ轉ジテ〕結ッタ髮、理メタ髮ナドノ義。—〔ヨク出來タあたま〕。—〔あたまガコハレル〕。(五)●腦髓ノ義。—〔イイあたま〕。(六)▲ムカシ江戸芝居ノ茶屋デノカクシコトバ。銀二十目ノ義。(七)遊。—量。—〔あたまニ應ジテソリフル〕。

◎あたまヲナヤマス　(惱)。—〔思ヒワヅラフ。—心ヲイタメル〕。◎あたまヲ搔クヰ—〔失策シテ恥デ入ル〕。—兜軍記、岩永ハバチビンあたまカクバカリ〕。

●あたま・がくし　((第四ガ))(第四上)名。〔頭隱し〕　元祿ノ頃、比丘尼、老女ナドガ頭ニカブッタ頭巾ノ一種。—西鶴、一代女、黑羽二重ノあたまがくし、深江ノ阿七サシノ加賀笠。

●あたま・かず　(…)名。〔頭數〕　物(主ニ人)ヲ數ヘル名目。—〔あたまかず十一人。オノオノニ竹鎗持タセ〕。

●あたま・がち　((第四ガ))(金平、又第五上)根。〔頭勝ち〕　(一)ホカトノ釣合ニシテ頭ノ大キイコト。—〔あたまがちノカナガシラ〕。(二)轉ジテ物事ノハジメガ終リヨリ大キ過ギ、釣リ合ヒヲ失フコト。—〔爲ルコトモ、スルコトモあたまがちデシマヒガ付カズ〕。

●あたま・わり　(金平)名。〔頭割り〕　アタマカズニ應ジテ割リッケルコト。—〔あたまわりニシテ一人十本〕。

△あたム　(第二上)他動、四段。〔(仇)む〕　あた(仇)カラ出タ動詞。仇トシテ見ル。—カタキニ思フ。

あだ・めク　(第三上)自動、四段。　(一)アダ(狗娜)ニナル。—アダ(狗娜)ニ見エル。—源氏「トリナセバあだめく」。(二)△ウハキツポクナル。

○あだ・もの　(金平)名。〔仇物—徒物〕　ツマラヌモノ。—ハカナイモノ。—古今集、「命ヤハ何ゾハ露ノあだものヲアフニシカヘバ惜シカラナクニ」。

▲あだ・もの　(…)名。〔仇物—狗娜物〕　ウツクシイ人。—美人。—タヲヤメ。—〔ミヅギハダツヲあだものノ」。

○あだ・や　(第二上)名。〔徒矢〕　マトニ中ラヌ矢。

△あた・ゆまひ　((第五イ))(第三上、又第四上)名。〔仇忌ひ〕〔あた(仇)いみ(忌)、即チゆまひ



家持、「あたひなキ寶トイフトモ一ツキノ濁レル酒ニ豈マサラメヤ」。

△あたひ・え　(金平)名。〔直〕　上古ノカバネノ名。あたへノ原語。◦かばね參考。

++あだ・びき　(…)名。〔仇譬き〕　正シイ音シメヲ取ラズ、僅カニ戲レナトデ琴三味線ノ類ヲヒクコト。—三世相錦繡文章、「水調子ノあだびきナラバコケヤウガ外レヤウガ厭ハヌド」。

あたフ　((第三ウ、第二或ハ、ト))(第二上)自動四段。〔(能)ふ〕〔あたひト同根異体。あたりあふノ義〕　(一)△相當スル。—適當スル。—アタリアフ。—十訓抄、「十德ナカラン人ハ判者ニあたはず」。(二)○〔後世轉ジテ叶フ、爲シ得ルナドノ義〕—〔一念ッヒニ思ヒ絕ッコトあたはず〕。—〔身ノあたはぬナリクリ、人ヲウラムベウモアラズ〕。(三)▲洋書ヲ反譯シテ讀ム時ニ同ジク、叶フ、爲シ得ルナドノ義ニシテ用ヰル語。—〔コドモガ人形ヲ持チあたふ〕。—〔犬ガ走リあたふ〕。

◎古言ノあたふハイッモ必ズ打チ消シニシ、必ズ皆あたはずトノミイフ。

○あたフ　((…))他動、下二。〔(與ふ)〕〔あたひト同根異体〕　ワガモノヲ人ニワタシテ其人ノ物トサセル。—ヤル。—クレル。—ツカハス。—オクル。—カヅケル。—タマフ。—サヅケル。

++○あだ・ぶし　(金平)名。〔仇臥し〕　アダヂ。

●あた・ふた　(第一上)副。〔あはて(周章)ふためく(狼狽)ノ義カ?〕　(一)ウロタヘテ。—〔あたふた騷イデ車ニ乘レバ〕。(二)タクサンニ。—カフヘ切レヌホドニ。—〔あたふた有ル金ニマカセテ〕。—〔あたふたッヒヤス〕。

ノ義」　アダガタキト思ッテニクムコト。

●あたら　(全平)接頭。〔(可惜)〕　名詞ニカカル接頭語。惜シイ。＝アッタラ。—萬葉集、「トブサタテ、足柄山ニ舟木キリ、木ニ伐リカケツ、あたら舟木ヲ」—千載集、小大進「アス知ラヌ御室ノ岸ノ根ナシグサ、何あたら世ニオヒハジメケン」。

△あたらシ　(…)形。〔(可惜)し〕　惜シムベクアル。—源氏「キハ殊ニカシコクテ、タダ人ニハイトあたらしケレド」。

○あたらシ　(第三上)形。〔(漸)し〕　マダフルクナラヌ。＝モノデキハジメカラ程タタヌ。

●あたらしイ　(第四上)形。〔(…い)〕　あたらしノ近體形容詞。

あたらしさ　(第三上)名。〔(…さ)〕　アタラシクアル度合ヒ。

△あたらしム　(第四上)他動、四段。〔(可惜)しむ〕　惜シム。

あたり　(全平)名。〔(當り)〕　アタルコト。(一)強クブツカルコト。「あたりガ烈シイ」。(二)チョットサハルコト。(三)思フ坪ニハマルコト。＝目的ノトホリニナルコト。「芝居ハあたりダ」。(四)光リナドノ差スコト。「あたりノ弱イ冬ノ日」。

◎あたり無シ。＝比類ナシ。

●あたり　(…)名。〔(…)〕　ケンタウ。＝テガカリ。「あたりガ付ク」。

あたり　(第一上)名。〔(邊)〕　ソノキンジョ。＝ソノヘン。＝フタリ。＝井マハリ。＝ホトリ。—古今集「春風ハ花ノあたりヲヨキテ吹ク、心ヅカラキウツラフト見シ」。

あたり　(…)接尾。〔(頃)〕　名詞ニツヅイテ副詞體ヲナスコトバ。　コロ(頃)、トキ(時)ナドノ義。—「去年あたり」。「コノアヒダあたり」。

◎言海ニコレヲ副詞トシタハ穩カデナイ。ソノ第一解、「門ノあたり過ギ行ケバ」ノ例ヲ擧ゲテ副詞ト解イタモノノ、何故ニコレヲ名詞ト見テ差シツカヘガ有ルコトカ？　實ニ名詞ト見テ「門ノあたりヲ過ギ行ケバ」トシテ見テ差シツカヘハ更ニナイ。

●あたり・いも　(全平)名。〔當り芋〕〔あたりハ德川ノ末ゴロカラ江戸ノ花柳社會、延喜ヲ祝フ處ニ起ッタコトバ。スベテする(磨—剃＝撰)ハ「身代ヲする」即チ「身代ヲ無クス」ニ當ガイ似タトカイフ語ダトカイフ處カラソレヲ避ケ嫌ッテ代用ニスル忌ミコトバ」　ワサビオロシデ磨リオロシタ山ノ芋。＝トロロ。＝スリ芋。

●あたり・ぎ　(第四ギ)(…)名。〔(…)木〕〔(…)〕　主ニ東京ノ花柳社會ディフ語。スリコギ。＝レンギ。

●あたり・きんじょ　(第六、七合)(第一上)名。〔(邊近處)〕　あたり(邊)ト同ジ意味。

△あたり・ぐるし　(第四グ)(第五上)形。〔當り苦し〕　物ニアテカネル。＝クラベ得ラレヌ。—「あたりぐるしき御ヨソホヒ」。

●あたり・さはり　(第五ワ)(全平)名。〔(…障り)〕　ソノ井マハリト密ニ關係スルコト。＝サシヒビキ。—「ヨクサヘ言ヘバ向フモ怒ラズ、ツマリあたりさはりガ無イト云フモンダ」。

◎語彙ニあたりさはりハ獨リタダ他ノ心即チ(感情)ニ關係スルヤウニ解イタノハイガガ？

●あたり・どし　(…)名。〔(…年)〕　スベテ田畠ノモノノヨク出來タ年。—櫻田治助、えびちゃ源太「コトシャ南瓜ノあたりどし」。

●あたり・ばこ　(…)名。〔(…函)〕〔あたりハあたりいも、あたりきナドノあたり〕　主ニ東京花柳社會デ云フ語。スズリバコ。

●あたり・ばち　(…)名。〔(…鉢)〕〔(…)〕　主ニ東京ノ花柳社會デ云フ語。スリバチ。

●あたり・はづれ　(…)名。〔(…外れ)〕　ウマクユク事ト、シクジル コトト。—「あたりはづれハウキヨノッキ」。

●あたり・ぶるまひ　(第七イ)(第四上)名。〔(…振る舞ひ)〕　スベテ物事ノウマク行ッタタメ喜ビニ人ニ行フ馳走。

●あたり・まへ　(第五エ)(全平)根。〔(…前)〕　(一)正ニ是非トモサウアルベキコト。—「當ノアタルハあたりまへ」。(二)通例デアルコト。＝ナミノ物ト チガハヌコト。—常磐津、姿花后雛形「ソトヲ夜番ハあたりまへ、見向キモヤラズ來リケル」。

●あたり・み　(…)名。〔(…身)〕〔あたりハあたりいもノあたり〕　主ニ東京ノ花柳社會デ用ヰル語。スリバチデスッタ魚ノ肉＝スリミ。—「爾ノあたりみ」。

●あたり・みかん　(第四上)名。〔(…蜜柑)〕〔あたりハくさり(腐)ノ義。あたりいも參考〕　クサレタ蜜柑。

●あたり・もの　(全平)名。〔中り物〕　食ベテソノ物ガ身ノ毒トナルコト、マタソノ物。—「あたりものニ惱マサレテ身動キナラズ」。

あたル　(…、又第三上)自動、四段。〔(當る)〕　(一)ツヨクブツカル。—「敵ニあたる」。—「玉ニあたる」。(二)サハル。＝觸レル。＝スコシブツカル。(三)思フツボニハマル。＝目的ノトホリニナル。—「マトニ矢ガあたる」。



「山ガあたる」。—「出版ガあたる」。(四)光リ、熱ナドガ差ス。—枕ノ草紙「日ノサシあたりタルニ打チ眠リテ居タルヲ」。(五)丁度ソコニアテハマル。—「藥ガ病ニあたる」。(六)丁度ソコニアル。—「南ニあたりテ薩陀時」。　(七)火ニアタタマル。—「あたれバアタタカクナル」。(八)推察ガ正シク付ク。—「ウラナヒガあたる」。

◎氣ニあたる—(感情ヲソコナフ)。　言海、「氣ニあたる」ヲ「怒ル」ト解イタノハ穩カデナイ。氣ニあたるハマダ怒ルトイフマデノ意味ヲ持タヌ。氣ニあたッタ上ニ怒リモスル、氣ニアタッタノガ直ニ「怒ル」ト同ジ義トハ言ヘヌ。

◎第七解義ノ「火ニアタタマル」ハ實ニ今日ノ普通語トナッタモノデ、ソモソモノ書コソあたるモ「火」ノ助ケヲ受クテ意味ヲ全クシタモノ、今ハ早ソレダケノ義ガ實際ニあたるニ付イテ仕舞ヒ、最早カナラズシモ「火」ノ附屬ヲ要セヌコトニナッタ。

あたル　(全平、又第三上)自動、四段。〔(申)る〕　惱マサレル。＝イタメラレル。＝サヘル。—「毒ニあたる」。

◎コノ動詞ニハ名詞ガナイ。ものガ加ハッテものあたりトナルダケニ名詞ヲ許シ、ソノ他ニハあたりトシテ名詞ニ通ジナイ。

あだん　(全平)名。〔阿旦＝(草藁書)〕　語原不詳。熟帶產ノ常緑草ノ一種。葉ニトゲガ有リ、桃色、又ハ黃色ノ花ガ咲ク。

○あち　(第二上)代。〔(彼方)〕　自分カラ向ッテ丁度ムカフニ離レタ場處。＝アナタ。＝カナタ。＝アチラ。＝アッチ。

あち　(第一上)名。〔(鯔)いが(則)ち(持)ノ義〕　ウミ魚ノ一種。大キサ、大ハ一尺、小ハ二三寸。ウロコ無クテ、唯鱗ニ似タトゲトゲシイモノ(ゼイゴ)ガ腮ノ下カラ尾マデ全身ヲ貫ヌイテ行キワタル。夏ノ初メカラ秋ニカケテヨク捕レル。肉ハ食用トナル。＝種類、イラダカ、ムロアヂ、メダカアヂ、シマアヂ、メッタクアヂ。　委曲ハソレゾレノ條。—和名抄「阿遲」

△あち　(第二上)名。　あちがもノ略。—萬葉集「あちノスムスサノ入リ江ノアリソ松」。

あち　(全平)名。〔(味)〕　(一)食物ニ對スル舌ノ感覺。＝アヂハヒ。「あちガアマイ」。　(二)味ガカライ。　(三)轉ジテ　物事ニ關スルスベテノ感情。＝オモムキ。—「あちモ知レテ」。

○第一解義ノ「巧」ハ著ナコト。＝手ノ書コソあたるモ「火」ノ助ケヲ受クテ意味ヲ全クシタモノ、今ハ早ソレダケノ義ガ實際ニあたるニ付イテ仕舞ヒ、最早カナラズシモ「火」ノ附屬ヲ要セヌコトニナッタ。

△あち　(第二上)根。〔(…)〕　(一)巧ノ著ナコト。＝ウマク行ナフコト。—「あちスルコト。＝ウマク行ナフコト。＝手際ヨクスル事ニ關スルスベテノ感覺。＝アヂハヒ。「あちガカライ」。　(二)轉ジテ　物事ニ關スルスベテノ感情。＝オモムキ。—「風流ノ道ノあちモ知レテ」。

●あち　(…)根。〔(…)〕　(一)巧ノ著ナコト。＝ウマク行ナフコト。＝手際ヨクスル事ニ關スルスベテノ感覺。＝アヂハヒ。「あちガカライ」。　(二)轉ジテ　物事ニ關スルスベテノ感情。＝オモムキ。—「風流ノ道ノあちモ知レテ」。

▲あち・うり　(第三上)名。〔味瓜〕　西國ノ方言。マクハウリ。

あち・がも　(第三ガ)(…)名。〔味鳧〕　ミヅトリノ名。鳧ニ似テ鳧ヨリ小サク、小鳴ヨリ大キイモノ。背クビナガラ稍カバ色ヲ含ミ嘴ト脚トハ黑ク、翅ハ湖鼠ニ、胸ハ樺茶色デ小サイ黑ボシガ有リ、イクツトナク群ガッテ飛ブ。雌ハ全體ガ鼠色デ黑イホシヲアラハス。＝アヂ。

●あち・き・なイ　(第四上)形。　あちきなしノ近體形容詞。

あち・き・なさ　(第三上、又第四上)　アヂキナクアル度合ヒ。

○あち・き・なシ　(第四上)形。〔味氣無し〕〔あち(味)け(氣)なしノ義トイフ〕　(一)ムヤクシ。＝何ノ甲斐モナイ。＝シカタノナイ。—源氏「ヤウヤウ天ノ下ニモあちきあう人ノモテナヤミグサニナリテ」。　(二)面白クナイ。＝興ノナイ。＝公實「蚊ヤリビノ下シクユレバあちきなくムカヒノ里ヲフスベガホナル」。　(三)ツライ。＝ナサケナイ。—定家「あちきなくツラキ嵐ノコヱモ凄シ、ナド夕グレニ待チナラヒケン」。

●あち・こち　(第三上)根。〔彼方此方〕　斯ウアルベキ事ガサウアリ、又サウアルベキコトガ斯ウアルコト。＝反對。＝アチラコチラ。＝アッチコッチ。＝アッチラコッチラ。—「美イモ惡イモ知ラズ、あちこちノコトヲイフ」。

あち・こち　(…)代。〔(…)〕　カナタト、コナタト。—「櫻サク山ノあちこち」。

●あち・こち・に　(…)副。〔(…ゑ)〕　あちこち(●)ノ副詞體。

△あち・さ　(全平)名。　木ノ名。ちさのきトオナジモノ。

△あち・ざけ　(第二上)名。〔味酒〕　アヂノアル酒。＝ウマイ酒＝美酒（中古以後ノ語）。

○あち・さは・ふ　(第四フ)(第三上)枕。〔味多經〕　〔あち(味鳧)さは(多)ふ(經)ノ義〕　めニツ

ヅク枕コトバ。〔アヂガモハ群レルモノ、ソレもれノ反ハめ、コレヲ繰ニツヅク〕

あぢさゐ　（全平）名。〔紫陽花〕　瀧水ノ名。葉ハマルミガ有リ、ツヤ麗ハシク、マハリニ鋸歯、夏ノハジメ四瓣ノ花ヲアマタ一處ニ群ガラセテ著ケル。花ノ色ハハジメ白ク、後ニウスアヰ、又ハウス紅ニカハル。＝アヅサ井。＝シチヘンゲ。種類ガ多ク又ハガクサウ又ハガクバナ。—夫木集、公朝、「コレホド人ハオモハシ、川上ニサキツヅケタルあぢさゐノ花」。

++あぢ・はひ　（第三ワ、第四イ）（全平）名。〔味〕は〕　あぢトオナジコトバ。

◎今日ノ普通語カライヘバ、あぢヨリモあぢはひハヤヤ高尚ニイフ場合ニモチ井ル。

あぢはフ　（第三ワ、第四ウ）（……、又第三上）（一）アヂ〔味〕ヲタメス。—〔ツラツラ新酒ヲあぢはひテ。（二）他動、四段。〔……はふ〕　オモムキ、又ハ意味ヲヨクヨク考ヘル。—「あぢはふニ從ヒ興味アリ。」。

△あぢ・はフ　（……）（第四上）他動、下二。〔……〕あぢはふトオナジ意味。

△あぢ・まさ　（全平）名。〔横椰〕　ビラウ。＝ビリヤウ。

△あぢ・まめ　（……）名。〔味豆＝編豆〕〔あは淡〕ふぢまめ〔藤豆〕ノ義〕　豆ノ名。フヂマメ。＝タウマメ。—和名抄「阿知萬女」。

△あぢ・むら　（第二上）名。〔味群〕　アヂガモノムレ。—夫木集、西行「オチソムル氷ヲイカニ厭フラン、あぢむらヲタルスハノイリウミ」。

あぢ・むら・とま　（第五上）名。〔……駒〕　光陰ノ譬トイフ。—見竹集「あぢむらとま、光陰ノ事ナリ」。〔あぢむらハゆく（行）すぐ（過）ナドニモ有ルユヱ、ソレカラ取ツテ、ゆきすぎる駒（光陰如白駒過隙）トイフヲカ？〕

○あぢ・むら・の　（第二上）枕。〔……の〕　ゆく（行）、さわぐナドノ枕コトバ。

▲あ・ちゃ・さん　（第二、三合）（第二、三上）名。長崎人ガ支那人ヲ呼ブ語。〔ちやハちやんちやんばらずノちやカ？〕　ちやんちやんばらず参考。

▲あちゃら・づけ　（……）（全平）名。〔やたらづけノ轉カ？〕　ハスノ根、ズ井キ、ゴバウ、大根ナドヲ細カニシテ酢、酒、醤油ナドニ漬ケタモノ。

あちら　（……）代。〔彼方〕　アチト同ジ義。—都都逸「あちらタテレバコチラガタダズ」。

◎今日ノ普通語ノ意味ニヨレバ、あちらハあつちニ對シテ、敬ヒノ心ヲ持ツ、ソレニ敬語トシテモチ井ル。—「今あつちカラ歸ツタ」—「今あちらカラ歸リマシタ」。

●あちら・こちら　（第四上）根。〔……此方〕　アチコチ。—「配膳ガあちらこちらニナル。」

●あちら・こちら　（……）代。〔……〕　アナタト、コナタト。—「西鶴、一代女「あちらこちらへトリチガヘタ」。

●あちら・こちら・に　（……）副。〔……に〕　あちらこちらノ副詞體。

○あツ　（全平）他動、下二。（當つ）　あてるノ古體動詞。（一）ツヨクブツケル。（二）觸レサセル。（三）思ヲ坪ニハメル。＝目的ノトホリニスル。—「マトニ矢ヲあつ」。—芝居ヲあつ」。（四）光リ熟ナドヲ差サセル。—「日ヲあつ」。—「日ニあつ」。（五）正シク推察スル。—「身ノウヘヲあつ」。（六）アテハメル。—「病ヒニ藥ヲあつ」。

◎ココニ言海ハ「物サシヲあつ」。「火ノシヲあつ」ナドノ句ヲアゲ、「差ス」、「熨ス」ナドノ解ヲ下シタガ、オダヤカデ無イ。コレラノあつハ此解義第二ノ所謂「觸レサセル」デ解シテ何ノ不都合ガアラウカ？　直接ニ意味ノ解理シ得ラレルモノハ辭書ニ於テ成句トシテ見ルニ及バヌ。

あつ・いた　（……）名。〔厚板＝編〕　オリモノノ一種。絹ノチリイトヲ經トシ、生糸ヲ緯トシタモノ。オモニ帶ナドニツカフ。

●あつイ　（第二上）形。〔暑い＝熟い〕　あつし〔暑＝熟〕ノ近體形容詞。

●あつイ　（全平）形。〔厚い〕　あつし〔厚〕ノ近體形容詞。

あつ・うす　（第三上）名。〔碾磑〕〔あつ〔厚〕うす〔臼〕ノ義〕　今イフ處ノヒキウス。☆ひきうす參考。—和漢三才圖會「碾磑、阿豆宇須」。

△あつ・えびと　（第三上？）名。〔萬癰〕〔あつ〔萬〕やみ〔病〕びと〔人〕ノ義？〕　オモイ病ヒノ有ル人。—日本紀萬癰訓アツエビト」。

あつ・えふ　（第三ヨ、第四ウ）（全平）名。〔厚葉〕　烏ノ子紙ノ一種。〔ちゆうえふ、うすえふノ對〕。

あつ・えふ・がみ　（……、第五カ）（第三上）名。〔……紙〕　アツエフ。

●あつ・がしら　（第三カ）（全平）名。〔厚頭〕　髮ノ毛ノ濃イアタマ。

●あつ・かは　（第四ウ）（……）根。〔厚皮＝鋼面皮＝厚顔〕〔面ノカハガ厚クテ物ニ感セヌ義〕　恥ヲ知ラヌコト。＝アツカマシイコト。＝人ノ目カホニ關係セズワガ思フママヲ行フコト。

△あつかはし　（……）（第四上）形。〔扱かはし（一）關係スル。—「マツリゴトニあづかる。」—〔あづかりテ力有リ。（二）ソノクミニ入ル。—「實ニあづかる。」

あづかル　（……）他動、四段。〔預かる〕〔あづけらるノ義〕　物ヲ引キ受ケテ守ル＝當座自分ノ手ニ借リテ置ク。—「質物ヲあづかる。」—「人ヲあづかる。」

●あつがル　（第三カ）（……）自動、一。〔暑がる〕　暑サヲ怯レル。＝ナミハヅレテ暑氣ヲヨク感シル。

●あつ・がん　（……）（……）根。〔熟燗〕　酒ノ燗ノアツイコト。

++あつ・ぎ　（第三キ）（全平）名。〔厚著〕　衣服ヲ多ク重ネテ著ルコト。

あづき　（第三上）名。〔小豆〕　（一）豆ノ一種デ、大豆ヨリ小サク、ソレ故大豆ニ對シテせうづ〔小豆〕トモイフ。種類、シロアヅキ、ヤヘナリアヅキ、クロアヅキ。（二）赤小豆〕オモニあかあづきノ略。秋實ル。全體がささげニ似テ些シ小サク、實ハ赤イモノ。種類、アキアヅキ、ナツアヅキ。

あづき　（……）根。〔……〕　色ノ名。赤ニスコシ黑ヲ帶ビタモノ。—〔あづきいろノナマコシボリ〕。

あづき・かは　（第四カ、第五ワ）（……）名。〔……革〕　ナメシガハノ一種。　アヅキノ色ニ染メタモノ。

あづき・がゆ　（第四ガ）（……）名。〔……粥〕　赤小豆ヲ交セテ炊イタ粥＝サクラガユ。—土佐日記「十五日（正月）ケフあづきがゆニス」。

あづき・めし　（……）名。〔……飯〕　赤小豆ヲ交ゼテ炊イタウルチゴメノ飯。赤小豆ノ汁デ飯ニ紅ノ色ガ付ク。＝アカノマンマ。＝アカノメシ。—八水隨筆「南都先生あづき



（一）扱ヒタイ。（二）轉ジテウルサイ。＝ワヅラハシイ。

△あつかはし　（……）形。〔暑かはし〕　アツクルシイ。—桃ノ草紙「スヾシダニイトあつかはしウ」。

++あつかひ　（第四イ）（全平）名。〔扱ひ〕　アツカフコト、マタソノシカタ。—〔あつかひノヨサニ心モトロケ〕—不知足散人、聞上手「嘘嘩デゴザツタ。あつかひニカカツテ見マシタガ」。

○あつかひ・ぐさ　（第四イ、第五グ）（第四上）名。〔……草〕〔ぐさハれもひぐさナドノぐさ〕　アツカフ種。

++●あつかひ・だて　（第四イ）（第六上）名。〔扱ひ立て〕〔だてハあそびだてナドノだて〕　アツカフコト。〔あつかひヨリ强イ意味。—〔あつかひだてガ氣ニ入ラヌ　仲人ナラ仲人ノヤウニシロ」。

●あつかひ・づく　（……）（全平）名。〔……づく〕〔づくハあそびづく、かんぢやうづくナドノづく〕。（一）アツカヒヲ盡クス、即チ、アツカツテ見ルダケノ限リ扱ツテ見ル。—「兩方デあつかひづくナラコチカラノ方ガ德ダゼ」。（二）アツカフシカタ。—〔あつかひづくニ因ツチヤア勘辨シマイゾ」。

●あつかひ・にん　（……）（……）名。〔……人〕　アツカヒスル人。

あつかフ　（第四ウ）（……）他動、四段。〔扱ふ〕（一）世話ヲスル。＝トリサバク。—事務ヲあつかふ」。（二）ツカフ。—「刀ヲあつかふ」。（三）嘱嘩トドヲ中載スル。（四）待遇スル。＝モチナス。＝アシラフ。＝アヘシラフ。（五）●當惑スル。＝ワヅラフ。—「モチあつかふ」。

●あつかましイ　（……）形。〔厚かましい〕〔かましハをこがましナドノかましい〕。　アツカハデアル。＝恥ヂヲ知ラヌ。—谷峨、二筋道、又ハ主ノコトデあつかましい無心モ言ヒンスコヱ」。

●あつかましさ　（第五上）名。〔……さ〕　アツカマシクアル度合ヒ。

あつ・がみ　（第三カ）（全平）名。〔厚紙〕　ウスガミノ對。スベテ厚イ紙。モリシタ紙、センクワ紙、シマヅツミ、西ノ内ナドノ總名。

++あづかり　（第四上）名。〔預かり〕　（一）アヅカルコト。（二）官省ナド、一局ノ長トナツテ、ソコヲ守ル人。舊幕時代オモニ用井タ語。—〔御船蔵あづかり。（三）スベテ引キ受ケテ守護スル人。—「山ノあづかり」。—「留守宅ノあづかり」。

●あつ・がり　（第三カ）（全平）名。〔暑がり〕　暑サニオソレル人。＝アツガリヤ。

++●あづかり・だて　（……）名。〔預かり立て〕〔だてハあそびだてナドノだて〕　アヅカルコト（あづかるヨリ强イ意味。

●あづかり・づく　（……）名。〔……づく〕〔づくハあそびづく、かんぢやうづくナドノづく〕　（一）アヅカツテ見ルダケノ限リ預カツテ見ル。（二）アヅカルシカタ。

●あづかり・にん　（第四上）名。〔……人〕　物ヲアヅカル人。＝アヅカリヤ。

●あづかり・まへ　（第六ニ）（第四上）名。〔……前〕　物ヲアヅカツタホネヲリシロ。

●あづかり・もの　（全平）名。〔……物〕　アヅカツテ居ルモノ。—西鶴、若風俗「我身ナガラ命ハあづかりもの」。

●あつがりや　（第三カ）（……）名。〔暑がり屋〕　暑サニオソレル人。＝アツガリ。

あつかル　（第三上）自動、四段。〔與る〕　（一）關係スル。—「マツリゴトニあづかる。」—〔あづかりテ力有リ。（二）ソノクミニ入ル。—「實ニあづかる。」

あづかル　（……）他動、四段。〔預かる〕〔あづけらるノ義〕　物ヲ引キ受ケテ守ル＝當座自分ノ手ニ借リテ置ク。—「質物ヲあづかる。」—「人ヲあづかる。」

●あつがル　（第三カ）（……）自動、一。〔暑がる〕　暑サヲ怯レル。＝ナミハヅレテ暑氣ヲヨク感シル。

●あつ・がん　（……）（……）根。〔熟燗〕　酒ノ燗ノアツイコト。

++あつ・ぎ　（第三キ）（全平）名。〔厚著〕　衣服ヲ多ク重ネテ著ルコト。

あづき　（第三上）名。〔小豆〕　（一）豆ノ一種デ、大豆ヨリ小サク、ソレ故大豆ニ對シテせうづ〔小豆〕トモイフ。種類、シロアヅキ、ヤヘナリアヅキ、クロアヅキ。（二）赤小豆〕オモニあかあづきノ略。秋實ル。全體がささげニ似テ些シ小サク、實ハ赤イモノ。種類、アキアヅキ、ナツアヅキ。

あづき　（……）根。〔……〕　色ノ名。赤ニスコシ黑ヲ帶ビタモノ。—〔あづきいろノナマコシボリ〕。

あづき・がは　（第四カ、第五ワ）（……）名。〔……革〕　ナメシガハノ一種。　アヅキノ色ニ染メタモノ。

あづき・がゆ　（第四ガ）（……）名。〔……粥〕　赤小豆ヲ交セテ炊イタ粥＝サクラガユ。—土佐日記「十五日（正月）ケフあづきがゆニス」。

あづき・めし　（……）名。〔……飯〕　赤小豆ヲ交ゼテ炊イタウルチゴメノ飯。赤小豆ノ汁デ飯ニ紅ノ色ガ付ク。＝アカノマンマ。＝アカノメシ。—八水隨筆「南都先生あづき

めし好物ニテ。

あづき・もち　(…)名。(…餅)　赤小豆ノ餡ヲカケタ餅。＝アヅキモチヒ。＝アンコロ。＝アンコロモチ。＝アンモチ。＝近松、吉野都衣鞠「大納言ハあづきもち」。

○あづき・もちひ　((第六イ))(第四上)名。(…)　(一)アヅキモチ。(二)アヅキノ汁デ色ヲツケタ餅。

●あづく　(第二上)他動、下二。(預ク)　物ヲ守ラセル。＝假ニ人手ニ渡シテ保護サセル。＝近松、心中二枚繪草紙「空モアヅカル。あづけラゴザレ」。

○あづくるし　(第四上)形。(熱苦し)　(一)苦シイホドアツイ。(二)ザモ熱サウニ見エル。

●あつ・くるしイ　(第五上)形。(…い)　あつくるしノ近體。

あつくるしさ　(第四上)名。(…さ)　アツタルシクアル度合ヒ。

あつ・け　(第三上)名。(暑氣)　アツサ。＝「あつけヲハラフ」。　(一)△夏ノ人ノ身ニソレガ影響ヲ及ボス時ニ用ヰル。＝「あつけニアタル」。　(二)後世、專ラ

あづけ　(…)名。(預け)　(一)アヅケルコト。(二)法律上ノ罰ノ名。アル期限ノ間人ニ守ラセルコト。＝セキフ。＝「親類ヘあづけニナル」。

○あつ・けシ　(…)形。(暑＝熱けし)　あつし(熱＝暑)ト同ジコトバ。

●あつ・げしやう　((第三グ、第五ヨ、第四、五合))(第四、五上)名。(厚化粧)　ウスゲシヤウノ反對。コイゲシヤウノ意味。コッテリトシツコク顔ナドヲ化粧スルコト。＝常盤津、姿花后離形「千早ト俱ニ年古リシ御顔ニサッテモあつげしやう」。

●あづけル　(第三上)他動、二。　あづくノ近體。

△あつ・さ　((第三ゴ))(…)自動、下二。(厚肥ゆ)　アッポッタクアル。＝手アタリノ厚イ。＝枕ノ草紙「クルミイロトイフ色ノ紙ノあつさ、えタルヲ」。

あつ・さ　(全平)名。(暑さ)　アッケ(暑氣)。＝ショキ。＝「あつさニアタル」。

あつ・さ　(第一上)名。(…)　暑クアル度合ヒ。＝「テリツケラレルソノあつさ」。

あつ・さ　(全平)名。(厚さ)　厚クアル度合ヒ。＝「あつさ二寸」。

あづさ　(…)名。(梓)　木ノ名。アカメガシハト同ジモノ。＝和名抄「阿豆佐」。

○あづさ・みこ　(第三上)名。(梓巫)　アヅサ弓ヲハジイテ神オロシヲスルミコ。＝イチコ。＝クチヨセ。

○あづさ・ゆみ　(…)名。(梓弓)　アヅサノ木デ造ッタ弓。上古多クハ皆コレ。

○あづさ・ゆみ　(…)枕。(…)　はる(張)、ひく(弾)、かへる(返)、や(射)、よる(寄)、い(射)、れす(押)、すえ(末)ナドノ枕コトバ。＝萬葉集「あづさゆみハル山近ク家居シテ」。＝古今集「あづさゆみヒキノノッヅラ来ツヒニ」。＝古今集「あづさゆみイソベノ小松タガ世ニカ」＝風雅集「あづさゆみイルノノ草ノフカケレバ」。＝古今集「あづさゆみオシテカフフリヌ」。＝楠正行「カヘラジドカキテ思ヘバあづさゆみ」。＝續拾遺「あづさゆみヤノカミ山春カケテ」。　あづさゆみ古言。＝和名抄「安豆佐爲」。

△あづさ・ゐ　(全平)名。　あづさゆみ

あつし　(第一上)名。(厚子)　あいの餅。オリモノノ名。アツニノ木ノ皮ヲ糸ニシテ織ッタモノ。あいの人ガ常ニ着ル。

○あつシ　(…)形。(暑)し(熱)し)　あつい(暑＝熱)ノ古體形容詞。さむし(寒)ノ反對。ヤゲシクホテル。＝「火ハあつし」。(二)夏ノホテリガ強イ。＝枕ノ草紙「夏ナドノイトあつきニモ帷子イトアザヤカニ」。(三)ツヨクハマリコム。＝熱心ニナル。＝「女ニハマッテあつくナル」。

○あつシ　(全平)形。(厚し)　あつい(厚)ノ古體形容詞。うすし(薄)ノ反對。(一)一ツノ單純ナ物體ノ一方ノ表面カラ他ノ反對ナ表面ニ至ルマデノ間ガ有ル。＝ウスクナイ。＝萬葉集「あつブスマ、ナゴヤカシガニ寐タレドモ君シトハネバ明カシカネツツ」。(二)ソリヤクデナイ。＝フカイ。＝濃イ。＝念ガ入ル。＝「あつクモテナス」。＝「心ザシあつク」。＝「あつク交ハル」。(三)身ガラノ有ル。＝身ノウヘノイヤシクナイ。＝淺井了意、東海道名所記「至ッテあつキ御身ノ上ノ御カタハ如何侍ラン、申シ難シ」。　あつぼったい參考。

○あつシ　(…)形。(篤シ)　ヤマヒガ重クナル。

△あつし　(第二上)形。(あつ(熱)カラノ轉)　(一)身ニ熱氣ノアル。(二)轉シテヤマヒガチナ。＝ビヤウシン。＝ヨワイ。＝源氏、「イトあつしクナリユキ、モノ心ボソゲニ」。

あつし・さ　(…)名。　アッシクアル度合ヒ。＝源氏「年頃ツネノあつしさニナリダマヘレバ」。

△あつ・たちばな　(第四上)名。(あへたちばなノヘノ形ヲ中古ニ讀ミアヤマッタモノ)　あへたちばなトオナジモノ。

あつち　(全平)名。(射場)　あづち(射場)ノ約。

土ヲ塀ノヤウニ築キアゲ、弓ヲ射ルトキ、マトヲカケルトコロ。＝イクハドコロ＝



アムヅチ。

あづち・まくら　(第四上)名。(梁枕)　今イフはとまくら。廣ノ廣クナル工合ヒガ丁度あづち(梁)ニ似タ處カラ付ケタ名。＝種蒔用捨箱「あづちまくらハイト近キ製作ナルベケレド、若キ人ハ名ダニモ知ラズ」。

◎あつちまくらノコトヲ今ハはとまくらトイフモノノ、文政以前ハ全ク別物ニ用ヰタコトデアル。文政以前ニイフはとまくらハ所謂いれとまくらデ、全クあつちまくらトハ違フ。　とまくら、いれとまくら、はとまくら參考。

あづち・もん　(第三上)名。(安土門)　あづちもんノ約。ツイヂノ風ニックッタ門。

あづち・や　(全平)名。(梁屋)　アヅチノ上ヘサシカケル屋根、マタソノ屋根ノアル假リ屋。

△あづるひ　((第四イ))(…)名。(合歡)　二種ノ歡ヲ一ツニ埋メルコト。

あつに　(全平)名。(あつば(厚葉)にれ(楡)ノ義カ?)　木ノ名。ニレノ一種。葉ハ小判形デ大キク、且刺顔ノ葉ニ似タサクメガ有リ、春ノ末ウスミドリノ小サナ花ヲ着ケル。蝦夷人ハコノ木カラ糸ヲ取ッテあつしノ布ヲ織ル。＝アッシ。

あつ・ぴたひ　((第五イ))(第三上)名。(厚額)　冠リノ一種デ、男子十六歳以上カラ用ヰルモノ。イソガ厚イニニ付イタ名。うすぴたひノ對。

●あつ・ぴん　(全平)名。(厚鬢)　フサフサトシタ鬢、オモニ神主ナドガヨソホフ髮ノカタチ。＝西鶴、若風俗「神主ニハあつぴんヲオロサセ」。

あつ・ぶさ　(…)名。(厚總＝厚洗蘇)　フサヲ多クカザリニ付ケタ、馬ノオシカケ。＝

▲あつ・ぼったい　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　あつい(厚)トあつぼったイ　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　同ジ意味。＝アッツボイ。

◎言海ニコレヲ「ハデハダ厚シ」トシタハ如何? 決シテあつしノ意味ヲ强メタニ無イ。決シテあつしノ意味ヲ强メタ語デモナイ。「あつい紙」「あつぼったい紙」「ガウ二ッ比較シテ後ノハ前ノヨリ猶厚クアルナドノ意味ハ現ハサヌ。畢竟コレラハさやかあらヲさやけしナドイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

▲あつ・ぼったい　(第四逼)(全平)形。(厚太い)　あつい(厚)トあつぼったイ　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　同ジ意味。＝アッツボイ。

◎言海ニコレヲ「ハデハダ厚シ」トシタハ如何? 決シテあつしノ意味ヲ强メタニ無イ。決シテあつしノ意味ヲ强メタ語デモナイ。「あつい紙」「あつぼったい紙」「ガウ二ッ比較シテ後ノハ前ノヨリ猶厚クアルナドノ意味ハ現ハサヌ。畢竟コレラハさやかあらヲさやけしナドイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつぼったい　(第四逼)(全平)形。(厚太い)　あつい(厚)トあつぼったイ　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　同ジ意味。＝アッツボイ。

◎言海ニコレヲ「ハデハダ厚シ」トシタハ如何? 決シテあつしノ意味ヲ强メタニ無イ。決シテあつしノ意味ヲ强メタ語デモナイ。「あつい紙」「あつぼったい紙」「ガウ二ッ比較シテ後ノハ前ノヨリ猶厚クアルナドノ意味ハ現ハサヌ。畢竟コレラハさやかあらヲさやけしナドイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

「クレナ非ノあつぶさカケタル馬」。

あつ・ぼったい　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　(あつ(厚)ぶとい(太)ノ義)　あつい(厚)ト同ジ意味。＝アッツボイ。

◎言海ニコレヲ「ハデハダ厚シ」トシタハ如何? 決シテあつしノ意味ヲ强メタニ無イ。決シテあつしノ意味ヲ强メタ語デモナイ。「あつい紙」「あつぼったい紙」「ガウ二ッ比較シテ後ノハ前ノヨリ猶厚クアルナドノ意味ハ現ハサヌ。畢竟コレラハさやかあらヲさやけしナドイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　あつい(厚)トあつぼったイ　((第四逼))(全平)形。(厚太い)　同ジ意味。＝アッツボイ。

◎言海ニコレヲ「ハデハダ厚シ」トシタハ如何? 決シテあつしノ意味ヲ强メタニ無イ。決シテあつしノ意味ヲ强メタ語デモナイ。「あつい紙」「あつぼったい紙」「ガウ二ッ比較シテ後ノハ前ノヨリ猶厚クアルナドノ意味ハ現ハサヌ。畢竟コレラハさやかあらヲさやけしナドイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつぼったい　(全平)形。(厚ぼったい)　あつい(厚)ノ強イ。＝「あつぼったい顔」ト「あつい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつぼったい紙　(全平)形。(厚ぼったい)　あつい(厚)ノ強イ。＝「あつぼったい顔」ト「あつい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつぼったい參考。

あつぼったい顔　(全平)形。(厚ぼったい)　あつい(厚)ノ強イ。＝「あつぼったい顔」ト「あつい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

あつ・ぼったい參考。　「あつい顔」ト「あつぼったい顔」トノ間ニハヤハリ意味ノ相違ガ有ル。＝「あつぼったい顔トイフ例デ、ツマリハ所謂異語同義、サシタルコトノ無イ方デアル。

あつ・ぼったい參考。

本武尊ノ故事」　幾内カラ東ニアタル國國ノ總稱。＝日本紀、「日本武尊每有顧弟橘媛之情。故登碓氷嶺而東南望之三歎曰吾嬬訓アヅマ)者耶。故因號山東諸國曰吾嬬國也」＝拾遺集「あづまニテ養ハレタル人ノ子ノ吾ダミテコソ物ヲイフナレ」。

△あづま　(…)名。　あづま琴ノ略。＝源氏、「あづまヲイトヨク搔キ合ハセタリ」。

あづま・あそび　(第四上)名。(…遊び)　六人ノ人デ舞フ上古ノ歌曲ノ名。

△あづま・あはび　((第五ワ))(…)名。(…鰒)　アヅマカラ産スルアハビ。

あづま・うた　(第二上)名。(…歌)　萬葉、古今ナドニ載セラレタ東國ノ人ノ和歌。

⊙あづま・うど　(…)名。(…人)　あづまびとノ音便。

＊あづま・からげ　((第六ゲ))(第四上)名。(…縣げ)　アヅマヒトノ裾ノカラゲ方。裾ヲハショルコト。

あづま・さく　((第四ギ))(第三上)名。(…菊)　山ヤ野ニ生ヘル草ノ名。春菊ニ似タ形ノウスアカイ花(マタ白イノモ)ガ咲ク。

△あづま・さぬ　((…))(第四上)名。(…絹)　東國カラ出ル下品ノ絹。

あづま・げた　((第四ゲ))(第三上)名。(…下駄)　女ノ下駄ノ一種。櫻ノ齒ノ有ル下駄ニタトミオモテヲ打ッタモノ。

あづま・ごと　((第四ゴ))(第四上)名。(…琴)　ワゴン(和琴)トオナジ物＝ヤマトゴト。＝アヅマ。

△あづま・ごゑ　((…))(全平、又第二上)名。(…聲)　アヅマヒトノコエ(稍イヤシメテイフ語)。

○あづま・ぢ　(第三上)名。(…路)　幾内カラアヅマヘ行ク道。＝俊頼、「あづまぢノ勿來

ノ闘ノヨブコトリ、何ニ告グベキ心ナルラン」。

△あづまづ　（…）名。〔遊郭〕〔あつまとノ轉〕ヒナ。＝非ナカ。—和名抄「遊郭、阿豆萬豆」。

△あづまど　（…）名。〔東人〕　あづまびと　あづまの略。＝アヅマウド。

++あづまなまり　（第四上）名。〔…訛り〕　東國ノコトバノナマリ。

○あづまびと　（第三上）名。〔…人〕　アヅマノ人。＝アヅマウド。＝アヅマド。

あづまひやくくわん　（第四、五合、第七、八合）（第一上、第四、五上）名。〔…百官〕　京都禁廷ノ百官ニ對シテノ武家ノ官名。イハユル右膳、多門ナド　關東武士ガ用ヰタ處カラオコル。

++あづまあそび　（第五イ）（第三上）名。〔…舞ひ〕　都ノ舞ヒニ對シテイフ　東國ノ舞踏。—擁書漫筆引用酒飯論「タチマヒ、非マヒ、あづまあそび」。

△あづまめ　（全平、又第三上）名。〔…女〕　アヅマノ婦人。

あづまや　（…）名。〔…屋＝四阿〕　ハウギヤウノ屋根、四本バシラ、壁ヲ付ケズ、極メテ質素ノックリノ小屋。今オモニ風流ナ庭ナドノ中ニ一種ノ粧飾トシテツクル。—俊成「あづまやノマヤノアマリノ雨ソギ、アマリナル迄濡ルル袖カナ」。

++あつまり　（第四上）名。〔集まり〕　アツマルコト、マタ集マッタ一ツノ團體。

あつまりせい　（…）名。〔…勢〕　ウガフノ人數。＝規律モ無クタダアツマッタ多クノ人。—忍夜戀曲者「あつまりぜいノ悲シサハ風ニコンソニキナガレ」。

あつまる　（第三上）自動四段。〔集まる〕　多クノモノガ一ツニ寄リツドフ。＝マトマル。＝ムラガル。＝ヨル。

あづま　（第六ワ）（第四上）名。〔東豎子＝東孀〕　ナイシドコロノ被管ノ女官。ムカシハ行幸ノアル時、姫松トイッテ妙ナ馬ニ乘ッテ供奉シタモノデ、世ニイフ三ッ子ヲ用ヰラレタトイフ。

あづまをとこ　（…）名。〔…男〕　アヅマヲトコ。

あづまをとめ　（…）名。〔…處女＝…少女＝…乙女〕　アヅマノヲトメ。

○あづまをみな　（第五上）名。〔…女〕　アヅマヲトコノ對。アヅマノ女＝アヅマメ。

●あづまつ・こ　（第四逼）（第三上）名。〔…つ子〕　アヅマニウ〔こハえをつこナドノこ〕　マレタ人（オモニ男ニ用ヰ、ヤヤ威張ルカタムキデ云フ語）。—櫻田治助、水賣廻夕照「コロガ名代ノあづまつこ。氣モハバビロナ緋縮緬」。

○あつム　（第二上）他動下二。〔集む〕　多クヲ一ッニヨセル。＝マトメル。—頼政「クルルマデ花ニダグヘテ散ラシツル心あつむる春ノ夜ノ月」。

△あつ・むぎ　（第四ギ）（第三上）名。〔熟麥〕　ヒヤムギノ對。ウドン、又ハ素麺ヲ熟クタモノ。

○あつ・もの　（全平）名。〔羹〕〔あつ（熟）もの（物）〕　ノサイ（菜）ヤ肉デコシラヘタ汁。＝義〕　スヒモノ。—和名抄「阿豆毛乃」。

あつもり・さう　（第五ン）（…）名。〔敦盛草〕　フル根カラ生ヘル草ノ名。葉ハえびぬニ似、ホロ（母衣）ノヤウナ形ノ紫色ノ花ヲ着ケル處カラ名モ付ク。

あつ・ゆ　（第二上）名。〔熱湯〕　タギッタ湯。—近松、釋迦如來誕生會「口ヨリスル湯あつゆヲ吐キ、ウブユヲ灌イ奉ル」。

△あつユ　（全平）自動下二。〔篤ゆ〕〔あつし（篤）ノ異體同語〕　ヤマヒガオモル。＝アッシル。—源氏「オトド失セタマヒテ大宮モ頼モシゲナクあついタマヘルニ」。

○あつらフ　（第四ウ）（第三上）他動下二。〔誂ふ〕　あつらへる　ノ古體。（一）人ニ言ヒツケテ爲セル。（二）人ニ言ヒツケテ造ラセル。

++あつらへ　（第四エ）（…）名。〔…へ〕　（一）アッラヘルコト。「あつらへニナル」。（二）アッラヘタ品。—「此物ハあつらへデアル」。

●あつらへル　（…）（第四上）他動、二。〔…る〕　あつらふノ近體。同義。

△あつル　（第二上）自動下二。〔暑る〕〔あつし（暑）カラノ動詞〕　暑クナル。＝暑サニ感ジル。

●あつ・う・くるしイ　（第三逼）（第六上）形。　あつくるしノ轉訛。

●あつ・う・くるしさ　（…）（第五上）名。　あつくるしさノ轉訛。

△あつ・う・ぱイ　（…）（全平）形。〔厚つぱい〕　アッポッタイ。

あつ・う・ぱな　（…）（第四上）名。〔…さ〕　アッポクアル度合ヒ。

○あて　（第二上）根。〔貴〕　タフトイコト。—「あてナル人カナ」—竹取物語、「あてナルモイヤシキモ」。（二）ヒンノイイ。＝人ガラノ秀レタ。＝アテハカ。—「あてニ生メイダル人」。

あて　（全平）名。〔當て〕　（一）當テルコト。（二）モクテキ。＝マト。＝ミコミ。＝チラヒ。—近松、心中二枚繪草紙「ソノウヘ御前ハあてモ無イ花車ヤ、娘仲居ニマデ。（三）物（主ニ水カ石）ヲ切リ、又ケヅル時下ニオク臺。＝マクラ。—日本紀「石ヲモテあてトシ



テ」。（四）タノミ。＝メド。—谷峨、二筋道「サレバサ、其瓶ミニスル心トイヘバ、ウソヲツクガ商賣ダモノヲ、何あてニナルモノカ！」。

▲あて　（…）名。〔當て〕〔めあてノ義カ？〕　馬術ノ語。馬ノ感覺ノ度合ヒ。—「あてノイイ馬」。

◎あてガイイ。＝〔アバレル〕。◎あてガワルイ。＝〔アバレル〕。

△あてあて　（…）根。〔宛宛〕　ソレゾレニ割リフルコト。

△あてあてに　（第四上）副。〔…に〕　あてあてノ古體副詞。

△あて・いし　（全平）名。〔當て石＝試金石〕　今イフ、ッケ石。黃金ノ眞贋ヲタメス石。

++あてがひ　（第三ガ、第四イ）（…）名。〔宛ひ〕　アテガフコト、マタ、ソノモノ。

●あてがひ・どばり　（…、第六オ）（第五上）根。〔…遣り〕　アテガハレタソノマヤ。＝アテガヒブチ。

●あてがひ・どばり・に　（…）（…）副。〔…に〕　アテガハレタヤウニ其儘ニ。

あてがひ・ぶち　（第三ガ、第四イ）（…）根。〔…扶持〕　ワガ心ノママニ物ヲアテガフコト（多クハ乏シク與ヘル時ニ用ヰル）。—「あてがひぶちデハクラシガ立タヌ」。

++あてがひ・ぶち　（…）（…）名。　ソノ人ニ定メテ與ヘル扶持。

あて・がフ　（第二ガ、第四ウ）（…）他動、四段。〔宛ふ〕〔あてれとあふ（宛行）ノ轉カ？　或ハ又あて（當）かふ（交）ノ義カ？〕　（一）ソレグレニ應ジ、定メテ物ヲワタス。—「扶持ヲあてがふ」。（二）多少ハ相手ノ望ミニ因ラズ、ワガ心ノ儘ニ物ヲ與ヘル。（三）ソノ求メルトコロヘ間ニ合ハセル。—「桎ヲあてがつて水ヲ防ぐ」—西鶴、一代女「奉書取ッテあてがひケルニ、御サダマリノ文章ソコソコニ書キ散ラシ」。（四）合スカ合ハヌカヲ試ミル。—「茶碗ノカケトカケトヲあてがつて見ル」。

△あてき　（第一上）名。　少女ノトホリ名。

●あて・くち　（全平）名。〔當て口〕　アテコスリト同じ意味。—森山孝盛、賤のをだまき、「ダンダントあてくちヲ言ヒダシテ」。

●あて・こすり　（第五上）名。〔當て擦り〕　アテコスル コト。＝アテッコスリ。＝スッペキ事。—「あてこすりサンノ病ヒダノ何ノト色色あてこすりヲイヒマス」。

●あて・こすル　（第四上）自動、一。〔當て擦る〕　前デ他ノコトニカコッケ、ソレデ暗ニソレト悟ラセルヤウニソノ相手ノ事ヲ惡クイフ。＝アテッケル。

●あて・こと　（全平）名。〔當て事〕　（一）頼ミニナルペキ事。—「あてことモ無ノ癖ニ大法螺バカリ」。（二）△アテコスリ。＝アテクチ。—西鶴、若風俗「折フシノオンあてことヲ言ヒダシテ」。

△あて・ぎッ　（第四ウ）（第三上）自動四段。〔當て障ふ〕〔あたり（當）さはる（障）ノ義〕　アタリサハリガ有ル。＝アチコチニ差シ支ヘル。

++あて・じ　（全平）名。〔當て字〕　ソノ字ノ意義ハ摂ハズ、ヨミコエ又ハ音ニ因リ、イイ加減ニ當テル字。＝誤マッテ用ヰル字。赤間ガ關ヲ赤間ガ石トスルタグヒ。＝近松、釋迦如來誕生會「四十アマリノ文字一ッ覺エヌ癖ニあてじカク」。

▲あて・すつぱら　（第四逼、第五ホ）（第五上）名。〔あて（當）そつぱら（素頓）ノ義〕　ムチヤクチヤ。＝デタラメ。—「あてすつぱらヲイフ」。

▲あて・すつぱ　（第四逼）（…）名。　あてすつぱらノ約。同義。

○あて・つク　（第四上）他動、四段。〔宛付く〕　クリツケル。—著聞集、「オホ非子ガ田ニハあてつけザリケルトキ」。

●あて・つける　（第四上）自動、二。〔當て付ける〕　アテコスル。＝アテッコスル。

あて・ど　（全平）名。〔當て所〕　目アテニスベキ所。＝目アテニシテ行クベキ所。—近松、博多小女郎浪枕「イデ物見セント三味線フリアゲ、鬢ヲあてどニ追ヒハス」。

++あて・な　（…）名。〔宛名〕　宛テテヤル先方ノ名。—「手紙ノあてな」。

○あて・に　（第二上）副。〔貴に＝〔嬋妍〕に〕　貴ク。＝ヒンガヨク。—「あてよミヤビタル上臈ノ」。

++●あて・のみ　（全平）名。〔當て飲み〕　（一）人ノ酒ヲアテニシテ飲ムコト。（二）轉ジテ、アテモナクテ非ルコト。—山崎美成、麓ノ花「長ノ半、コレモあてのみ花見酒」。

△あて・はか　（第二上）根。〔貴はか＝〔嬋娟〕〕　貴クアルコト。＝ミヤビタコト。—「清ウあてはかナル姿ノホノメイタル」。

あてはまル　（第四上）自動、四段。〔當て篏まる〕　シックリトウマク適當スル。—「其職ニあてはまつテ手落チナク」。

○あて・はム　（第三上）他動、下二。　あてはめるノ古體。シックリトウマク適當サセル。

△あて・ばム　（…）自動、四段。〔嬋娟（ばむ）〕〔ばむ　はきばむ、あきばむナドノばむ〕　ナマメク。＝色ヲフクム。



261006

●あて・はめル　(第四上)他動、一。　あてはむノ近體動詞。　同義。

○あて・びと　(第二上)名。(貴人)　身ガラノイイ人。＝キニン。

＋○あて・ぶみ　(金平)名。(宛書)　ソノ人ニ差シテ官カラ付ケル公文。

●あて・ふり　(第二上)名。(當て振り)　デタラメニ行フヲドリ。＝亂舞。＝瀬川如皐、瓢箪鯰「スッポン、ドン亀、ヲドリ子ノ泥鰌ノあてふりウキ拍子」。

＋あて・み　(金平)名。(當て身)　(一)柔術ノ語。コブシデ人ノ急所ヲ突キ、一時呼吸ヲトメルコト。(二)▲維新前、芝居者ノカクシコトバ、物ヲ買ヒナガラ錢ヲタテカヘサセルコト。—戲場新話「ヒッテン、イタダキ、あてみ」。

あて・もの　(…)名。(當て物)　馬術ノ語。

あてトオナジ意味。

＋あて・もの　(…)名。(中て物)　カクシタ物ヲ悟ッテアルコト、マタソノアソビ。

○あて・やか　(第二上)根。(媚娟)　タフトイコト。＝ヒンノイイコト。＝美クシイコト。

＋あて・やか・さ　(…)名。(……さ)　アテヤカデアル度合ヒ。

○あて・やか・に　(…)副。(……に)　あてやかノ古體副詞。

●あてル　(金平)他動、二。(當てる)　あつ(當)ノ近體動詞。(一)あつ(當)トオナジ意味。(二)ソル(剃)ノカハリニ用ヰルイミコトバ(あたりいも、あたりばちナドノ例)。—「鬱ヲあてタノデ年ガワカクナル」。

●あて・つ・えすル　(第三逼)(第五上)自動、一。あて・とする ノ轉訛。

あと　(第一上)名。(跡)(あ(足)と(所)ノ義)(一)足ヲ下シタ所ニノコルシルシ。—「あとガ付ク」。—「鳥ノあと」。—「人あとノ絶エタ山路」。(二)去ッテ行ッタソノ行キガタ。—「あとクラマシテ逃ゲ失セヌ」。(三)モノゴトノ過ギ去ッタノチノスガタ。—源氏、「亡キあとマデ人ノ胸アクマジカリケル人ノ御魂エカナ」。—「家ノあとヲ取ル息子」。(四)神佛ノ靈。＝リッパナ人ノ功績。—淺井了意、東海道名所記「八幡ノ宮右ノ方ニアリ。凡ソ此御神ノあとヲ垂レタマフ所國國ニ多シ」。(五)スガタ。＝アリサマ。—「あとカハラヌマツリゴト」。

◎あとヲ取ル。(ユキガタヲ探ル)。◎あとヲ繼ゲ。＝あとヲ取ル。(家ヲ繼グ)。◎あとヲクラマス。＝(カゲオチスル)。＝あとヲ亡スル。＝あとヲ垂レル。＝(本ノ)あと。＝(文字、又文句)。◎鳥ノあと。＝(文字、支那デ鳥ノ足跡ヲ見テ字ヲ作ッタ故事)。

あと　(…)名。(後)(あと(跡)ノ轉)。(一)ウシロ。場所。—「あとニツヅク」。(二)ノチ(未來ノ時間)。—サキ(過去ノ時間)。—「あとガ病メル」。(三)以前＝「あとヲトフラフ」。—「あとノ年」。

(四)死人ノ魂。—リッパナ人ノ功績。—淺井了意、東海道名所記「八幡ノ宮右ノ方ニアリ。凡ソ此御神ノあとヲ垂レタマフ所國國ニ多シ」。(五)スガタ。＝アリサマ。—「あとカハラヌマツリゴト」。

◎あとヲ引ク。＝(ナガク殘ル。＝飽クマデノアム)。

○あと　(…)名。(阿堵)　ゼニノ異名。

△あと　(……)副。　ムカシノアヅマナマリ。

なぞ　ノ轉訛。

△あと　(……)名。(後)(あと(跡)ノ轉)。(一)能狂言ノワキシテ。(二)能ノ地乗跡スル。

●あと・がき　(第二上)名。(後脚)　クモノノシリヘノ脚。—「あとあしデ砂」。

＋あと・ぐち　(第四上)名。(なぞなぞがたりノ轉訛トモ、あとがたりノ轉訛トモイフ)。　解說未定。ナゾバナシモ、カゲグチトモイフ。—後撰集「あとうがたりノ心ヲトリテカクナン申シケル」。

△あとうツ　(…)自動、四段。　あとノ動詞化。(一)能狂言ノワキシトナル。(二)人ノハナシニ拍子ヲ取ル。＝八ノハナシニハヅミヲツケル。＝水ヲムケテ話シ出サセル。

＋あと・れさへ　((第五ニ))(第三上)名。(後押さへ)　行列ナドノ一番ウシロニ立ッ人數。＝シンガリ。＝アトヅナヘ。

あと・かた　(第四上)　(跡形)　アトノシルシ。—「あとかたノ有ルヤウナ事ハセヌ」。

◎從來ノ辭書、イヅレモあとかたなし語ハ收メテモあとかたダケハ入レヌ、コレハ甚ダ心得難イ。現ニ今イフ普通語ニ前引イタホリノ例モ有ル。

あと・かた　(第二上)名。(後肩)　さきかたノ對。カゴナドカツグ人ノ語。＝アトボウ。

●あと・かたづけ　(第三上)名。(後片附け)　スベテモノゴトノ終ッタアトヲ片付ケルコト。

△あと・かばね　(…)名。(後姓)　ミヤウセキ。

●あと・がへり　((第三ガ))(第四ニ))(…)名。(後覆り)　俳優ガ行フたてノウチノ一種。ウシロムキニカヘルチニウガヘリ。

●あと・がね　((第三ガ))(……)名。(後金＝殘金)　定メノ高ノ中ヲイクラカ拂ッタ、ソノノコリキン。＝アトキン。＝ザンキン。＝ザンガク。—「稻川二百兩のあとがね」。

●あと・がま　((……))(第四上)名。(後釜)　前ノガハリトナルベキ物。＝後補者。—「先妻ハ死ンデモあとがまハスデニ扣ヘタリ」。



＋○あと・さきよめ　((第三ギ))(第三上)名。(跡清め)　葬式ナド過ギ出シ、アトヲ清メル。＝アトバラヒ。

●あと・きん　(金平)名。(後金＝殘金)　あとがねトオナジ義。

●あと・くち　(第二上)名。(後口)　(一)殘リモノニナッタ口ワケ。—「仕ハラヒのあとくちがマダ百兩」。(二)物ヲ飲食シタアトノ口。—「菓子のあとくちハ茶ガ何ヨリ」。

●あと・げつ　((第三ケ))(……)名。(後月)　センゲツ。＝今月ノ前ノ月。＝キョゲツ。

●あと・けなイ　(第四上)形。(仇氣無い)　あどけなしノ近體。

あど・けなさ　(……)(又第三上)名。(……さ)　アドケナクアル度合ヒ。

○あど・けなシ　(…)形。(……し)　アダアダシクナイ。＝ワルイ心ガナイ。＝ツミガ無イ。＝無邪氣デアル。＝アドナシ。

△あと・こヒ　(金平)自動、下二。(跨ゆ)　ハルカノ處ヘマタイデ行ク。

あと・ざき　(第一上)根。(後先)　センゴノ別ガ無イコト。—「筆ノタテドモあとさきナル」。

＋あと・さき　(…)名。(……)　マヘトウシロト。＝前後。＝アトマクラ。—「あとさき見マハス」。—八犬傳「あとさきシドロノ非義亂言」。

●あと・さき・みず　(第四上)根。(後先見ず)　ムフンベッデアルコト。＝センゴノ思慮モナイコト。＝ムテッパウ。—「あとさきみずナ了簡カラ」。

●あと・さき・みず　(…)名。(……)　あとさきみず(根)ノ近體名詞體。—「あとさきみずガ付ケテ」。

あと・しき　(第二上)名。(跡式)　(一)父又ハ兄ナドニ次イデ受ケル家督。＝アトメ。—「あとしき相續」。(二)(轉ジテ)●スベテ人ノ身後ニノコルモノ。＝遺產。—「あとしき一切質ニ入レル」。

●あと・じさり　(第三上)名。(後退り＝逡巡)　アトズサリ。＝アトビッサリ。＝アトビッシャリ。(一)アトヘシリゾク事。(二)恐レテ後ヘ下ガル事。(三)蟲ノ名。あとびさりノ一名。

●あと・じり　(金平)名。(後尻)　江戸吉原遊廓ノ語。女郎屋ノ店ト勝手トノ間ニアル障子ノシキリ。—異本洞房語園考異、「ツケガネ、ギフダイ、あとじり」。

あと・ずさり　(第三上)名。(後退り＝逡巡)　(一)あとじさりノ轉。同義。(二)蟲ノ名。あとびさりノ一名。

あと・ぞなへ　((第五ニ))(……)名。(後備)　(一)後カラ續ク軍兵。(二)シンガリ。＝アトオサヘ。(三)スベテ、後備トナル物。—「ツカッラモ金ノあとぞなへ」。

あと・つぎ　((第四ギ))(第四上)名。(跡繼ぎ)　先代ノアトメヲ續グベキ後ノ人。＝アトク。＝嗣子。—近松、二枚繪草紙、「阿鳴ト云ッテ彼ノ里ニ阿初ガあとつぎカクレナシ」。

◎言海モ語彙モコレヲバ「父ノ跡ツグ子」トイフハ悪イ。必ラズシモ子ニハ限ラヌ。

あと・とり　(第二上)名。(跡取り)　アトツギ。＝西鶴、一代女「あととりラシキモノモ見エズ」。

○あと・なシ　(…)形。　あとけなしノ略。

●あと・の・まつり　(金平)名。(後の祭り)　過ギタ事。—「死ンダ跡ノ大金マウケ、あとのまつりデ役ニハ立タヌ」。

＋あと・のり　(…)名。(後乘り)　後カラ騎馬デノ隨行。

△あと・ば・かなし　(第四上)形。　アトカタノ殘ラヌ。

●あと・ばら　(…)名。(後腹)　(一)產後ノ腹。(二)(轉ジテ)產後ノ腹痛。(三)(轉ジテ)スベテ事ノ過ギタ後。—西鶴、一代女「智慧ノ有ル男ヲ顧ミ、あとばら病マズニ仕切リ銀ノウチニ貫目出シテ」。—十返舍一九、馬鹿ニ付ケル藥「ワタクシハ親ガカリユヱ、イクラ此御藥ヲ頂イテモあとばらハ病メマセヌ」。

＋○あと・ばらひ　((第五イ))(第三上)名。(後掃ひ)　アトギヨメ。

＋●あと・ひき　(第二上)名。(後引き)　愈ヨ得テ愈ヨホシガル(主ニ酒ノミニイフ)—馬琴、夢想兵衛「あとひき」。

●あと・ひき・じやうご　((第六ヨ))(第五、六合、第八ゴ))(第五、六上)名。(……上戸)　アトヒキノ性質ノサマ。

あと・びさり　(第三上)名。(後退り)　(一)あとじさりノ轉。同義。(二)蟲ノ名。砂ノ中ニスリバチノ形ノ穴ヲ穿チ、ソノ中ヘコロゲ落チル他ノ蟲ヲ餌食トスル蟲。＝アトジサリ。＝アトズサリ。＝アリヂゴク。＝アトビッサリ。＝アトビッシャリ。＝スリバチ蟲＝ツンネンボウ。＝ツボムシ。＝地獄蟲＝サヲトメ。

＋あと・びつさり　((第四逼))(…)名。　あとびさりノ轉。同義。

＋あと・びつしやり　((……、第五、六合))(……)名。

あと・びつさり　((第三ウ))(金平)他動、下二。(聘ふ)　妻ヲムカヘル。

△あとブ　（（……）（第二上）他動、下二）〔誂ム〕
アツラフ。
○あと・べ　（第三上）名。〔後邊〕　アトノ方。＝ウシロノ方。
●あと・ぼう　（全平）名。〔後棒〕　サキカタ。〔さきぼうノ對〕
△あと・まくら　（第三上）名。〔後枕〕〔まくら（枕）ハ頭ニ用ヰルモノ故、カシラノ方ノ義ニツカフ〕　アトサキ。＝マヘウシロ。＝ウヘシタ。—狭衣物語、〔あとまくらモ知ラズ〕。
●あと・ぞはし　（（第四ツ））（……、又全平）名。〔後廻し〕　アトニオクル（主ニ仕業ニイフ）。
あと・め　（第三上）名。〔跡目〕　（一）アトトシキ。＝先代ノ家督。—左交三世相錦繍文章、〔左孕ミハ男ノ子、歸參ヲナサバあとめヅト〕。（二）先代ノ役目。（三）△あと（跡）ノ略。—〔あとめニ付テ來リマヰル〕。（一）モトヘカヘルコト。—〔あともどりノ道〕。（二）フルクナルコト。—〔あともどりノ學問〕。
△あと・もフ　（（第四ウ））（第三上）他動、四段。〔或ハあ（敬語）ともふ（伴）ノ義カ？〕　一途ニツレル。＝トモナフ。
△あと・もへ・か　（（第四エ））（……）句。〔あと（何ど）もへ（思）か（疑問）ノ義〕　何トオモフカ？
△あとらフ　（（第四ウ））（……）他動、下二。　あつらふノ古言。同義。
△あとらへ　（（第四エ））（……）名。　あつらへノ古言。同義。
あとり　（全平）名。〔猶子鳥〕　ムラガツテ飛ブ鳥ノ名。ホホ白ホドノ大キサ、頭モ背モ共ニ樺色デ、背ハアヲクロニ赤ミヲ含ミ、頭ハウスイ藍鼠デ、背モ頭モ黒斑ガ有リ、脚モ樺色ダ、翅ハ黒ク、オモニ深山ニ產スルモノ。—アツトリ。
○あな　（第一上）感。　ナゲキ、オドロキナドノ時ニ出ス聲。＝アラ。—古事記、〔あなイヒ知ラズ、なミニクヤ〕。—古今集、〔あなイヒ知ラズ、アフサキルサニ〕。
あな　（第二上）名。〔穴〕　（一）スベテ、ヘコミ、又ハウツロニナツテ、其一方ノ口ガ開イテアル部分。—〔蟻ノあな〕。—〔辨慶ノ指ノあな〕。（二）アヤマチ。＝短所。＝妙妙奇談、〔浮世ノあな〕。（三）▲婦人ノ陰部ノカクシコトバ（アザケツテ言フ）。
○あ・ない　（……）名。〔案内〕　あんないノ略。—枕ノ草紙、〔好キ男ノ車トドメテ物イヒ、あないセサセタル〕。
○あな・いち　（全平）名。〔穴一〕＝〔意錢〕〔あな（穴）うち（數）ノ義カ？〕　小兒ノ遊ビノ名。ゼニウチノ一種、地ニスヂヲ引キ、錢ヲウツテ勝負ヲアラソフモノ。ハジメ地ニ穴ヲアケ、ソレニ錢ヲ打チ込ンダ處カラあなノ名モ付ク。今ハ錢ト限ラズ、石、ツチクレ、ソノコロナドデモ行フ。（ソノ遊ビノ時、手ニ殘スト錢ヲたまトイヒ、誤ツテ他ノ錢ニ中テルノヲへるトイヒ、誤ツテ筋オヨビあなうちノ解ハ和漢三才圖會ニヨル。
△あな・うら　（全平）「又第二上」名。〔足裏＝跡〕〔あ（足）の（之）うら（裏）ノ義〕　足ノウラ。—和名抄、〔阿奈宇良〕。
○あな・かしと　（第一上）句。〔穴賢〕〔あな（感）かしと（敬）ノ義〕　（一）アヤ恐レ多イ。（二）オソレツツシム（手紙ノ末ニ書ク）。
あな・がち　（（第三ガ））（全平）根。〔强ち〕〔あな（感）がち（勝）ノ義カ？〕　即チヒタスラニ勝チタガル過分デアルコト。＝無理。—源氏、〔あながちニ御前去ラズモテナサセ賜ヒシ程ニ〕。—枕ノ草紙、〔サルマジウあながちナル處ニ隱シフセタル人ノ〕。
あな・がち　（（……））（……）副。〔……〕　（一）意味同前。（二）カナラズシモ。—〔あながち悪クモナイ〕。
△あな・かま　（第一上）句。〔噫喧〕〔あな（感）かしまし（喧）ノ義〕　人ノサワグノヲ制スル句。
△あな・かまし　（……）形。〔……し〕　アアヤカマシイ。
あな・かんむり　（全平）名。〔穴冠〕　漢字ノ〔窰、窓ノ類〕上ニアル穴ノ字。
あな・ぐま　（（第三グ））（……）名。〔穴熊〕　（一）スベテ、穴ニスム熊ノ名。（二）▲バクチウチノ語。樣ノ下ニカクレ、一方ト謀ツテ、ヒソカニ下カラ針デ賽ノ目ヲ勝手ニナホス人。（三）獸ノ名。熊ノ一種。多ク山中ノ穴ニ棲ミ、形小サクテ痩セ、走ルコトノ早イモノ。＝アナホリ。
あな・ぐも　（（……））（第三上）名。〔穴蜘〕　ツチグモ。
あな・ぐら　（（……））（全平）名。〔穴藏＝土窖〕　穴ヲスグニ倉トシタモノ。
あなぐらだいく　（（……））（第五上）名。〔……大工〕　穴グラノ匣ヲ拵ヘル大工。
あな・ぐら・や　（（……））（全平）名。〔……屋〕　穴グラヲ堀ル職人。
●あな・ぐり　（（……））（第四上）名。〔穿り〕　アナグルコト。
●あな・ぐり・や　（（……））（全平）名。〔……屋〕　アナグリテ。
あな・ぐる　（（……））（第三上）他動、四段。〔穿る〕〔あな（穴）くしとる（穿）ノ義カ？〕　劇シク探ル。—馬琴、八犬傳、〔あなぐり探作〕。



あなご　（（第三ゴ））（全平）名。〔穴子〕　魚ノ名。はもニ似タ形デ、はもホド骨ハ無ク、黑ミノアル樺色デ、脇バラニ白イホシガ有リ、ツケ燒ニスレバ食用ニナル。
●あなさがし　（（第四サ））（第三上）名。〔穴探し〕　アヤマチヲアナグルコト、又、ソレヲ好ンデスル人。
△あなし　（第一上）名。　西北ノ風。＝アナあなと　セ。—〔あなじ吹タ清見ガ關ノカタクレバ波ト共ニモ立チカヘルカナ〕。
△あなすゑ　（全平）名。〔足末〕〔あ（足）の（之）すゑ（末）ノ義〕　（一）足ノサキ。—日本紀、〔タナスエ、あなすゑ〕。（二）〔轉ジテ〕子孫。＝バツソン。—日本紀、〔クハシク御あなすゑノミコ遠ヲエラブ〕。
▲あなせ　（第一上）名。　あなじノ轉。—物類稱呼、〔幾内及ビ中國ノ船人ノ言葉ニ西北ノ風ヲあなぜト稱ス〕。
あなた　（第二上）代。〔彼方〕〔あ（彼）の（之）かた（方）ノ義〕　（一）ムカフノ方。＝アチラ。＝カナタ。—近松、吉野都女楠、〔假リ初メナガラ大事ノ所、あなた（正行ノ母）ガ長年ヲ指ス）ノ下知ニ任セテ居ヤ〕。（二）今カラ前。（三）（貴下）相對シテ語ル相手ニイフ敬語、古言ノきみノ稱度。—曲山人、娘節用、〔あなたニ御別レ申シテヨリ〕。
◎今日ノ普通言、あなたハ敬語ト定マツテ居ルモノノ、最上ノ敬語トハマダ言ヘヌ。オモニ親シミノ中ニ猶禮義ノ有ル方ノ意味ヲ、ドチラカト言ヘバ持ツ。
あなぢ　（第二上）名。〔穴痔〕　病ヒノ名。痔デ肛門ニ穴ノアクモノ。＝ハスヂ。
△あなづらはし　（（第五ツ））（第五上）形。〔侮らはし〕　アナドラレサウナ。＝輕輕シイ。＝安安シイ。—枕ノ草紙、〔あなづらはしキ人ナラバ後ニナド言ヒテ追ヒモヤリツベシ〕。
△あなづらはし・さ　（（……））（……）名。〔……さ〕　侮ルラシダアル度合ヒ。
△あなづり　（全平）名。〔侮り〕　アナヅルコト、ヤシナフシウサ。
△あなづる　（第三上）他動、四段。〔あなどる〕同ジ意味。—枕ノ草紙、〔寄セテ下ルベキモノト思ヒあなづりタルニ〕。（第三遍）（第四上）名。〔穴遍〕　アクショウグルヒ。
あなどル　（第三上）他動、四段。〔侮る〕　アナヅル。＝カロシメル。＝イヤシメル。＝イヤシンズ。＝ミサゲル。＝カロンズル。＝オトス。＝ミクビル。＝ミクダス。＝サゲスム。
▲あななし　（第二上）名。〔穴無し〕　女ノ不具ノ名。人マシハリノナラヌモノ。
あななす　（（……））名。〔鳳梨〕〔印度語 Ananas〕（一）熟帶ノ植物、實ハ松ノ實ニ似テ、食用トナル。（二）あなすノ實。
△あななひ　（（第四イ））（……）　（一）アナナフ事。＝ササヘ。（二）高イ處ニノボルアシガカリ。＝アシシロ。＝アシバ。—和名抄、〔麻柱、阿奈奈比〕。
△あな・なフ　（（第四ウ））（第三上）他動、四段。　タヌスケル。＝ササヘル。
△あなにく　（第一上、又ハ全平）句。〔噫憎〕　アアニクラシイ。—源氏、〔あなにくャ罪フカキニャアラン〕。
△あなにやし　（（……））句。〔噫美し〕〔あな（感）に（美）や（乎）し（休メ字）ノ義〕　アア美クシイ。＝アナニニ。—古事記、〔阿那迩夜志愛袁登古袁〕。
△あなにゑ　（（……））句。〔……〕　アナニヤシ、—日本紀、〔研哉（訓アナニヤ）〕。
○あなにゑノゑハ稍アヤシク思ハレルモノノ、先例モ古イコトニニ其儘ニサシオク。
△あなはじかみ　（第三上）名。　今イフシャウガ（生薑）。＝クレノハジカミ。＝ハジカミ。—和名抄、〔阿奈波之賀美〕。
あなばち　（第二上）名。　蜂ノ一種。ツチバチ。
△あなはらはら　（第一上）句。〔噫腹腹〕　アア腹ガイタイ。
△あな・ひら　（第二上）名。〔附〕　足ノ甲。—和名抄、〔阿奈比良〕。
△あなへグ　（（第三エ））（第四グ））（第三上）自動、四段。〔蹇ぐ〕〔あ（足）なへぐ（萎）ノ義〕　アシナエ。
あなほり　（第四上）名。〔穴堀り〕　（一）スベテ、穴ヲ堀ル事。（二）スベテ穴ヲ堀ル職業ノ者。（三）あなほりだいくノ略。（四）▲あなぐまノ別名。（駿河邊ノ方言）。
●あな・ほり・だいく　（第五上）名。〔……大工〕　（一）穴ヲ堀ルノミヲ職トスル大工。（二）〔轉ジテ〕大工ヲイヤシメテイフ語。＝タタキダイク。
●あな・もん　（全平）名。〔穴門〕　忍ビノ門。＝イヌクグリ。—西鶴、若風俗、〔あなもんノキビシキニ合ヒカギヲ拵ヘ〕。
△あ・なゆム　（第三上）自動、四段。〔足惱む〕〔あ（足）なやむ（惱）ノ義〕　足ガワルクナル。—萬葉集、〔人ノ子ノ悲シゲンダハハマストリあなゆむ駒ノヲシケクモナシ〕。
あに　（第一上）名。〔兄〕　エ。＝セ。＝イロセ。＝コノカミ。＝セウト。＝アニキ。＝アニイ。＝アニゴ。＝オヤカタ。＝舍兄。（一）オナジ親ニ生マレタ男ノ子ノ年ウヘノ方。

（二）〔轉ジテ〕オナジ親ヲ持ツ男ノ子ノ年ウヘノ方。（三）他人ノ男ヲ親シンデ呼ブコトバ。

○あに（……）副。（豈）〔いかに（如何）ノ義カ？〕或ハなに（何）ノ轉カ？〕　イカデ。—ドウシテ。—何トシテ（下ニ必ズ反語ヲ持ツ）。—萬葉集「ワガ戀ヒニあにマサラメヤ奥津白浪」。

△あに（……）副。なに（何）ノ轉訛。　アヅマノコトバ。

▲あに・い（第二上）名。　兄ノ轉訛。

◎素ノ者、若イ衆ナドノ氣負ヒ肌ニ多ク用ヰル。—〔魚河岸ノあにい〕ノ類。

●あに・い・かぶ（第二上）名。〔兄い株〕　人ニ推尊サレル身分（氣負ヒ肌ノ男ニイフ）。—カホヤク。—オホアニイ。—〔町内ノあにいかぶ〕。

あに・き（第一上）名。〔兄貴〔あに（兄）きみ（君）ノ義〕〕　（一）△兄ノ尊稱。（二）▲後世、メダノ兄ト同ジ意味。—市川白猿、老ノ樂ミ、〔内證ハアラシ（俳優ノ名）ガあにきブンデムリマスル〕。

あに・く・や（第二上）句。〔憶ミや〕　あなにくノ轉。

△あに・ご（……）名。〔兄御〕　他人ノ兄ニ對スル尊稱。—〔オあにごハドウサレマシタ？〕

△あに・ぎみ（第一上）名。〔孝兄〕　スエノ兄。

●あに・でし（……）名。〔兄弟子〕　我ヨリ前ニ我ノ同ジ師ニ就イタモノ。—スヒン。

●あに・ぶん（……）名。〔兄分〕　假リニ定メル兄。—義兄。—西鶴、若風俗、氣ニ入リタルあにぶん見アタラヌ故ダカシ。

あに・よめ（……）名。〔嫂〕　兄ノ妻。

あにりん（金平）名。〔亞仁林〕〔英語 Aniline〕　絵ノ具ノ名。　オモニ紫色ナドノモノデツカフ。

▲あに・ぐや・ひと（第一上）名。〔兄ぐや人〕　芝居ノセリフニツカフ語。兄ト同ジ意味。

○あに（……）副。（豈）〔いかに（如何）ノ義カ？或ハなに（何）ノ轉カ？〕　イカデ。—ドウシテ。—何トシテ（下ニ必ズ反語ヲ持ツ）。—萬葉集「ワガ戀ヒニあにマサラメヤ奥津白浪」。

△あに（……）副。なに（何）ノ轉訛。　アヅマノコトバ。

▲あに・い（第二上）名。　兄ノ轉訛。

◎素ノ者、若イ衆ナドノ氣負ヒ肌ニ多ク用ヰル。—〔魚河岸ノあにい〕ノ類。

●あに・い・かぶ（第二上）名。〔兄い株〕　人ニ推尊サレル身分（氣負ヒ肌ノ男ニイフ）。—カホヤク。—オホアニイ。—〔町内ノあにいかぶ〕。

あに・き（第一上）名。〔兄貴〔あに（兄）きみ（君）ノ義〕〕　（一）△兄ノ尊稱。（二）▲後世、メダノ兄ト同ジ意味。—市川白猿、老ノ樂ミ、〔内證ハアラシ（俳優ノ名）ガあにきブンデムリマスル〕。

あに・く・や（第二上）句。〔憶ミや〕　あなにくノ轉。

△あに・ご（……）名。〔兄御〕　他人ノ兄ニ對スル尊稱。—〔オあにごハドウサレマシタ？〕

△あに・ぎみ（第一上）名。〔孝兄〕　スエノ兄。

●あに・でし（……）名。〔兄弟子〕　我ヨリ前ニ我ノ同ジ師ニ就イタモノ。—スヒン。

●あに・ぶん（……）名。〔兄分〕　假リニ定メル兄。—義兄。—西鶴、若風俗、氣ニ入リタルあにぶん見アタラヌ故ダカシ。

あに・よめ（……）名。〔嫂〕　兄ノ妻。

あにりん（金平）名。〔亞仁林〕〔英語 Aniline〕　（一）▲あねノ轉訛。（二）●人ニ尊マレタガル性質ノ女。

▲あね・ご・かぶ（……）名。〔姉ご株〕　人ニ推尊サレル身分（氣負ヒ肌ノ女ニイフ）。

▲あね・き（第一上）名。〔姉貴〕　駿河邊ノ方言。

あね・ご（第三ロ）（金平）名。〔姉御〕　（一）○他人ノ姉ニ對スル尊稱。（二）●氣負ヒ肌ノモノノ妻ヲ呼ブ尊稱。「あねご！—カシラハ内カ？」

あね・は・づる（第四上）名。〔姉羽鶴〕　鶴ニ似タ鳥ノ名。マナヅルニ似タ形、鼠色ノ背ト脚、腹ハ黑クテ長イ毛ガアリ、嘴ハ本ガ淵モエギテ末ガ黄バンダモノ。

●あね・ぶん（第二上）名。〔姉分〕　假リニ定メル姉。—義姉。

あね・むこ（第三上）名。〔姉聟—姐夫〕　姉ノヲツト。

あの（金平）代。〔彼の〕　彼のトオナジ語。同義。—源氏「あのツラキ人ノアナガチニ」。

●あの（……）感。　少女、小兒ナド世ナレヌモノノ類ガ物ヲ言ヒ出ス時、意味ナシニイフ語。—谷峨、二筋道「あの子。外山サンガオッセイス」。

▲あの・の・もの・の（第一上）句〔あのもの（彼物）ノ義〕　何ノ角ノトノ。—〔このもの（此物）ノ義〕。

近松、釋迦如來誕生會「アレ、アレ、悉達太子サマ！あののものの臺詞ナシ」。

△あは（第二ワ）（……）根。〔淡〕　あはし（淡）ノ略轉。同義。—アハソカ。

△あは（……）（……）根。〔多〕〔さは（多）ノ轉カ？〕　多イコト。—澤山ナ事。—萬葉集「降ル雪ハあはニナ降リソ」。

あは（……）（……）名。〔粟〕　（一）五穀ノ一ツ。形ヨク黍ニ似タモノ。食用ニナル。種類、オホアハ、ケアハ、コアハ、モチアハ、ウルチアハ、虚頭知ラズ、クロンバウ。—和名抄「阿波」。（二）寒サ又恐ロシサナドニ感ジテ、肌ニ出ルブツブツシタモノ。

▲あば（第二上）名。　岩手地方ノ方言、父ノ義。—アッパ。

あは・あはし（第二ワ）（第四上）形。〔淡淡し〕　（一）淡イ。枕ノ草紙「あはあはしキ女」。（二）オモシロミノナイ。（三）カルガルシイ。—無遠慮ナ。枕ノ草紙「宮ヅカヘスル人ヲバあはあはしウワロキ事ニ思ヒ居タル男コソ」。



●あはい（第二ワ）（……）形。（淡い）　あはしノ近體形容詞。

○あは・いひ（第二ワ、第四イ）（第三上）名。〔粟飯〕　粟ノ飯。—アハメシ。

あはら（第二ホ）（第一上）根。〔阿房〕　オロカ。—馬鹿。

あはら（……）（……）名。（……）　オロカナ人。—バカモノ。—常磐津、すきにし内ノコガヒノ長太ガあはらノ癖ニイヤラシイ。

あはら・どり（……）（第二上）名。〔……鳥〕　オモニ南洋ナドニ居ル鳥。雁ヨリ大キク、身ハ白クテ稍青ク、脚ハ赤ク嘴ハ長ク、性質ハカシコクナイ。—オキノタイフ。—トウクラウ。—ライ。

†あはら・ばらひ（……、第六イ）（第四上）名。〔……拂ひ〕　德川時代ノ罰ノ一種。武士ノ屢ノ物ヲ奪ッテ追放スルコト。

あはら・らし（……）（……）形。〔……らし〕　バカラシイ。—瀬川如皐、瓢箪鯰、瓢箪鯰ノ根クラベ。ヲカシ、メヅラシ、あはららし」。

●あはら・らしイ（……）（第五上）形。〔……らしい〕　あはららしノ近體。

あはら・らし・さ（……）（第四上）名。〔……らしさ〕　アハウラシクアル。

あは・ふこし（……）（……）名。〔粟炬粉〕　粟デ搾ヘタオコシゴメ。

あは・がひ（……、第三ガ、第四イ）（第三上）名。〔粟貝〕　貝ノ一種。ソノ小サクテ黄色デ粟ツブニ似タ處カライフ名。

あは・がら（第二ワ、第三ガ）（金平）名。〔粟程〕　粟ツブヲコイタアトノ莖ノカラ。

あは・がら（……）（……）名。　魚ノ名。形ハ長ク、且ツ圓ク肥テ、色ハウスアカタ、小サイモノ。—ヤガラ。—和名抄、「桃園魚、東人云阿波加良」。

◎今普通ニハやがらトイフ。其語原ハシカニ知レヌ。あはがらノ方ハ古イ語ラシイ。「ガ、やがらノ方ガ意味有ルラシイ。嘴ガ粟稗ニ似タトイフ故カ？或ハ矢殼ニ似タトイフ譯カ？

○あはき（……）（……）名。〔檍〕　實物不詳。—和名抄「檍、阿波木。今按又檀木一名也」。

あはき・ばら（……）（第三上）名。　あはきノ生ヘタ原。—古事記、「橘ノヲドノあはきばら」。

△あはく（第二ワ）（第二上）自動、下二。　ツカレテグタグタニナル。

あばく（……）他動、四段。〔〔發く〕〕　（一）土ヲ堀リ開イテ、中ニ隱レタ物ヲ出ス。「信西ヲあばく」。（二）ヒトノカクシゴトヲ探リ出シテ世ニサラス。「罪ヲあばく」。

あは・ごけ（第二ワ、第三ゴ）（……）名。〔粟苔〕　庭ナドニ生ヘル小サナ草。葉ガ圓クテ小サク、粟ツブニ似タ處カライフ名。

あは・さ（……）（……）名。（……さ）　淡クアル度合ヒ。

○あはシ（……）（第一上）形。〔……し〕　（一）淡泊ナ。—シツコクナイ。—アッサリシタ（感覺ニイフ）。（二）フカクナイ。—「マシハリあはし」。

○あは・しき・の（……）（第二上）枕。〔粟嶋の〕　あはトイフ語ニカカル枕コトバ。

あは・しようろ（……、第三、四合）（第三、四上）名。〔粟松露〕　肉ノ色ノ黄バンダ松露。コメショウロヨリ味ハ劣ル。

○あはス（第二ワ）（第二上）他動、四段。〔合は〕（一）コレトソレト一ツニスル。—源氏「コナタカナタ心ヲあはせテ」。（二）夫婦ニスル。—源氏「四ノ君ニあはせタマヘリ」。（三）相應サセル。—十訓抄「ソノ笛ヲ吹キあはす人ナカリケリ」。

○あはス（……）（……）自動、四段。〔逢はす〕

あふ（逢）ノ延。

○あはすル（……）（第三上）他動、下二。〔合はする〕　あはすト同ジ義。

あはせ（……）（金平）名。〔袷〕〔あはせ（合ぎぬ）ノ義〕　ヒトヘモノニ綿ヲ入レズ、殘ラズ裏ヲ付ケタモノ。—和名抄、「阿波世乃岐沼」。

△あはせ（……）（……）名。〔菜〕〔飯ニあはせテ食ベルモノノ義〕　サイ。—オカズ。—オメグリ。—オマハリ。—枕ノ草紙「ツギニあはせヲ皆食ヒツレバ」。

あはせ・いと（……）（第四上）名。〔合はせ絲〕　ヨリアハセタ絲。

†あはせ・かがみ（……、第五ガ）（……）名。〔……鏡〕　（一）二ツノ鏡ヲ照ラシ合ハセ、身ノウシロナド唯デ見エス處ヲ見ルコト。（二）▲〔轉ジテ〕アヒヅチ。—ウマク調子ヲ合ハセル事。—谷峨、二筋道「是モオメヘツノタメダト胸ヲナスリナスリ、あはせかがみモヨッポドツライ役サ」。

あはせ・ざより（……）（……）名。〔……鱵〕　鱵ノ肉ヲ中ニシテ互ニ合ハセタモノ。料理ニコレヲ燒イテナドツカフ。

△あはせたきもの　（……）（……）名。〔……炷き物〕　ネリカウ。＝色色ノ香ヲ蜜デ煉リ合ハセタモノ。

あはせ・つち　（……）（第三上）名。〔……土〕　タタキト同ジモノ。

あはせ・ど　（……）（……）名。〔……砥〕　刀、カミソリ杯スベテ滑ラカニ磨ギアゲル時ツカフ砥石。

あはせ・おり　（……）（第四上）名。〔袷羽織〕　綿ヲ入レズ、一體ニ裏ノミ付ケタ羽織（ワタイレバオリノ對）。—西鶴、若風俗、「本ガヘシノあはせおり」。

あはせ・ばん・かう　（……）（第六コ）（……）名。〔合はせ板行〕　印刷スルモノノ語。色色ノ色ヲ一枚ノ繪ニ入レアハセルタメノ板木。—手柄岡持、後者書物語、「團扇ノ繪モあはせばんかうニナリタルハ一枚繪ノあはせ板行ヨリハ一年遅カリシ」。

あはせ・びん　（……）（第三上）名。〔……鬢〕　（一）享保ノ末年アタリ流行シタ男ノ髪ノユヒカタ。名ハ鬢ノ形カラ起ル。髷ノ下ヘ鬢ヲオクリ込ミ、元結ヒノ太イノデククシツケ、マゲノ下ニ巾著皺ヲヨセタモノ。後ニアソビニンガ多ク結ブ。—小川顕道、塵塚咄、「我等若年ノ頃ハ武家ノ前髪ノモノハ掻キ鬢、年老ノ人ハあはせびんトイフニ結ヒケリ」。（二）俳優ノ着ケル カツラノ名。由良之助ニナド用ヰタモノ。—劇場新語、「あはせびん三軒、カキアケ」。

あはせ・め　（……）（全平）名。〔……目〕　モノヲ合ハセタ、ソノ部分。—「あはせめカラ切レル」。

++あはせ・もの　（……）（……）名。〔……物〕　スベテ、合ハセタ物（夫婦ナド）。—左交、三世相錦繡文章、「ソノあはせものモハナレモノ」。

●あはせル　（……）（第三上）他動、二。　あはすノ近體動詞。

あはせ・わうど　（……）（第四ヲ）（第四上）根。〔……黄土〕　色ノ名。黄土ニ似タモノ。

△あはせ・そか　（……）（第二上）根。〔淡そか〕〔そかハれろそかナドノそかカ？〕　アハアハシイ事。

△あはそ・か・に　（……）（……）副。〔……に〕　あはそかノ副詞體。

あはそ・だ　（……）（第一上）名。〔粟田〕　あはだやきノ略。

△あばた　（全平？）名。〔……〕　ノカハラ。＝アバタコ。—和名抄、「阿波太。今案髏與膚所名異實同」。

●あばた　（全平）名。〔……瘡痕〕　疱瘡ノアト。＝イモ。＝ジャンコ。

あはたけ　（第二ワ）（第二上）名。〔粟茸〕　毒ノアルキノコノ一種。秋生ヘテ、裏ニスデ無ク、色ハ黄ニ黒ミノサシタモノ。

△あはたス　（……）（第三上）他動、四段。〔淡たす〕　淡クスル義、即チオトシメ、見クダス意。—延喜、祝詞式、「ミあはたしメタマヒット」。

△あは・だッ　（……）（……）自動、四段。〔多起つ〕　オホク起ツ（雲ナドノ）。—古今集、「雲ノあはだつ山ノ麓ニ」。

あは・だッ　（……）（……）自動、四段。〔粟立つ〕　恐ロシサ、又ハ寒サノタメ身ニ粒ガ出來ル。＝身ノ毛ダツ。＝ソウケダツ。

あはだ・やき　（……）（全平）名。〔粟田焼き〕　京都粟田口デ燒ク陶器ノ總名。

●あばた・づら　（……）名。〔瘡痕面〕　アバタノ有ルカホ。＝アバタッラ。

▲あばた・つ・ら　（第四邇）（……）名。〔……〕　あばたづらノ轉訛。

○あはぢ・しま　（第二ワ）（第三上）枕。〔淡路島〕　あはトイフ語ニカサネテ係ル枕詞。

++あはぢ・むすび　（……）（第四上）名。〔淡路結び〕　絲ノ結ビカタノ名。左右ニツナヲ二ツ開カセ、中ニ右左リナナメニ絲デシメタモノ。カザリニ用ヰル。

あはッ　（……）（全平）自動、下二。　あわつ（周章）ノ轉。同義。

△あは・つか　（……）（……）根。〔淡つか〕〔つかハあはそかノそかノ轉カ？〕　あはそかトオナジコトバ。

△あは・つか・に　（……）（……）副。〔……に〕　あはつかノ副詞。—源氏、「あはつかにサシアフギ非タランニハ」。

△あは・つけシ　（……）（第四上）形。〔淡つけし〕　あはあはしト同ジ語。同義。

あは・つぶ　（……）（第三上）名。〔粟粒〕　（一）粟ノツブ。—西鶴、一代女、「あはつぶホドナル物イットナクナヤマシテ」。（二）恐ロシサ、又寒サノタメ身ニ出ル粒。

△あはあフ　（……）（……）自動、四段。〔逢はなふ〕　昔ノアヅマコトバ。逢ハヌノ義。—「あはなふ夜」。

あは・の・みづあめ　（……）（第一上、第七上）名。〔粟の水飴〕　粟カラ製シタミヅアメ。

あはひ　（……、第三イ）（全平）名。〔あひ（間）ノ延カ？〕　（一）スベテ物ト物トノアヒダ。＝マ。（二）ツキアヒノ中。—源氏、「劣ラズモテカシヅキタルハアラマホシキ御あはひドモニナン」。

◎從來ノ辭書ハ多クあはひヲ解シテ、「二ツノモノノ中」トイフノハ穩カデナイ。

三ツデモあはひトハイヘル。

あはび　（……）（第一上）名。〔鰒＝鮑＝（石決明）〕　（二）合奏。

●あはせル　（……）（第三上）他動、二。　あはすノ近體動詞。

あはせ・わうど　（……、第四ヲ）（第四上）根。〔……黄土〕　色ノ名。黄土ニ似タモノ。

△あは・そか　（……）（第二上）根。〔淡そか〕〔そかハれろそかナドノそかカ？〕　アハアハシイ事。

△あは・そか・に　（……）（……）副。〔……に〕　あはそかノ副詞體。

あは・だ　（……）（第一上）名。〔粟田〕　あはだやきノ略。

△あばた　（全平？）名。〔……〕　ノカハラ。＝アバタコ。—和名抄、「阿波太。今案髏與膚所名異實同」。

●あばた　（全平）名。〔……瘡痕〕　疱瘡ノアト。＝イモ。＝ジャンコ。

あは・たけ　（第二ワ）（第二上）名。〔粟茸〕　毒ノアルキノコノ一種。秋生ヘテ、裏ニスデ無ク、色ハ黄ニ黒ミノサシタモノ。

△あはたス　（……）（第三上）他動、四段。〔淡たす〕　淡クスル義即チオトシメ、見クダス意。—延喜、祝詞式、「ミあはたしメタマヒット」。

△あは・だッ　（……）（……）自動、四段。〔多起つ〕　オホク起ツ（雲ナドノ）。—古今集、「雲ノあはだつ山ノ麓ニ」。

あは・だッ　（……）（……）自動、四段。〔粟立つ〕　恐ロシサ、又ハ寒サノタメ身ニ粒ガ出來ル。＝身ノ毛ダツ。＝ソウケダツ。

あはだ・やき　（……）（全平）名。〔粟田焼き〕　京都粟田口デ燒ク陶器ノ總名。

●あばた・づら　（……）名。〔瘡痕面〕　アバタノ有ルカホ。＝アバタッラ。

▲あばた・つ・ら　（第四邇）（……）名。〔……〕　あばたづらノ轉訛。

○あはぢ・しま　（第二ワ）（第三上）枕。〔淡路島〕　あはトイフ語ニカサネテ係ル枕詞。

++あはぢ・むすび　（……）（第四上）名。〔淡路結び〕　絲ノ結ビカタノ名。左右ニツナヲ二ツ開カセ、中ニ右左リナナメニ絲デシメタモノ。カザリニ用ヰル。

あはッ　（……）（全平）自動、下二。　あわつ（周章）ノ轉。同義。

△あは・つか　（……）（……）根。〔淡つか〕〔つかハあはそかノそかノ轉カ？〕　あはそかトオナジコトバ。

△あは・つか・に　（……）（……）副。〔……に〕　あはつかノ副詞。—源氏、「あはつかにサシアフギ非タランニハ」。

△あは・つけシ　（……）（第四上）形。〔淡つけし〕　あはあはしト同ジ語。同義。

あは・つぶ　（……）（第三上）名。〔粟粒〕　（一）粟ノツブ。—西鶴、一代女、「あはつぶホドナル物イットナクナヤマシテ」。（二）恐ロシサ、又寒サノタメ身ニ出ル粒。

△あはあフ　（……）（……）自動、四段。〔逢はなふ〕　昔ノアヅマコトバ。逢ハヌノ義。—「あはなふ夜」。

あは・の・みづあめ　（……）（第一上、第七上）名。〔粟の水飴〕　粟カラ製シタミヅアメ。

あはひ　（……、第三イ）（全平）名。〔あひ（間）ノ延カ？〕　（一）スベテ物ト物トノアヒダ。＝マ。（二）ツキアヒノ中。—源氏、「劣ラズモテカシヅキタルハアラマホシキ御あはひドモニナン」。

◎從來ノ辭書ハ多クあはひヲ解シテ、「二ツノモノノ中」トイフノハ穩カデナイ。

三ツデモあはひトハイヘル。

あはび　（……）（第一上）名。〔鰒＝鮑＝（石決明）〕



〔いはがひ（岩貝）ノ義カ？〕　（一）海ノ底ノ石ナドニ付ク介ノ名。オホヒノ介ハ唯一片、コレニ一列ニ且順次ニ小サクナル穴ガアリ、外面ハザラザラトシ、内面ハウスイロニ殆ンド七色ノ光彩ヲ放ツ。此殼カラ螺鈿ヲツクル。雄ハ肉ノ色ガ青ク雌ハ赤ミヲ含ム。—和名抄、「阿波比」。

△あはび・しらたま　（……）（第四上）名。〔鰒白玉〕　アバビダマ。—日本紀、蜩波葉之羅陀魔。

△あはび・たま　（……）（第三上）名。〔鰒珠〕　鰒ノ中ニアル珠。＝シンジュ。＝アコヤダマ。—萬葉集、家持、「沖ツシマイユキ渡リテカヅクチフあはびたまモガツミテヤラン」。

++あはび・むすび　（……）（第四上）名。〔鰒結び〕　鰒ノ形チニ似タ結ビカタ。檜扇ノ絲ノアマリナドヲコレデ結ブ。

△あは・ふ　（……）（全平）名。〔粟生〕　粟ノ生ヘタ處。—和名抄、「玄八不」。

あは・ふ　（……）（第二上）名。〔粟麩〕　黄色ヲツケタ麩。

あばフ　（第三ウ）（……）他動、四段。　カバフ。

◎言海ニハコノ語ヲ古語又ハ多ク用ヰヌ語トシタノハ穩カデナイ。今デモ現在東京デコノ語ハツカフ。

あはぼ　（第二ワ）（……）名。〔粟穂〕　（一）粟ノ穂。（二）蓑、フル根カラ生ヘル草ノ名。葉ハ蒲ニ似テ、光リヲ持チ、秋ノ頃長イ穂ニ花ガ咲ク。根ハ鳥類ノ藥ニナルトイフ。＝トリノアシガサ。＝ウタカ草。

△あはム　（……）（……）他動、下二。〔淡む〕　淡クスル。＝ウトクスル。＝ウトム。—源氏、「式部ヲあはめ憎ミタマヒテ」。

あはめし　（……）（……）名。〔粟飯〕　あはいひト同ジ物。

あはも・めん　（……）（……）名。〔……麺〕　粟デ製シタ麺。

あは・もち　（……）（……）名。〔……餅〕　粟デ製シタ餅。市川白猿老ノ樂ミ、「正月屋六兵衛ヨリあはもち來ル」。

あは・もち・いし　（……）（第四上）名。〔……餅石〕　黄色ノ色ノ石。函館ナドニツカフ。

あは・もり　（……）（第二上）名。〔粟盛り＝誤マツテ泡盛り〕　燒酎ノ一種。モットモ猛烈ナモノ。粟ヲ用ヰテ製スル品。薩摩邊ノ産。

あは・や　（……）（第一上）感。　甚シク駭イタキニ出ル聲。—「あはやトイフ間モアラバコソ」。

あはや・き　（……）（全平）名。〔粟燒き〕　（一）菓子ノ名。粟ノオコシ、米ヲ砂糖デカタメタモノ。—蜀山人、奴師學之、「駄菓子ノ中ニモあはやきトイフモノナド」。（二）轉シテ、粟ヲフカシ、粒ヲコナシ切ラズニ餅ニシ、ソノ中ヘ小豆ノ餡ヲ入レ、ウヘヲ糎ク火ニ掛ケテ燒イタモノ。

○あはら　（全平）根。〔荒ら〕　荒レサビタ事。

あはら　（……）名。〔助〕　略。（二）ワキバラ。

△あはら　（……）名。〔荒屋〕　和名抄、「亭、阿波良」。

○あはら・に　（第四上）副。〔荒らに〕　あばら（荒）ノ副詞體。

あばら・ぼね　（全平）名。〔肋骨〕　胸カラ各弓形ニ平行シテ左右ノ脇ニツヅク骨ノ名。後ロハ脊骨ニ、前ハ多ク胸骨ニツヅク。總數二十四本。

あばらや　（第三上）名。〔荒屋〕　アレハテタ家。

あばり　（全平）名。　あみばりノ略。

△あばル　（……）自動、下二。〔荒る〕　荒レサビテ仕舞フ。

○あ・はれ　（第二ワ）（第一上）感。〔天晴れ〕〔天照皇大神宮ガ始メテ天ノ岩戸ヲ出、ソノ時空ガ晴レテ他ノ神神ガあ（天）はれ（晴）ト云ハレタ故事カラ起ル〕　空ヲ仰イデ感ズル聲。＝立派ト思フ。

あはれ　（……）（……）根。〔哀〕〔あはれ（天晴）カラ轉ジテ〕最モイタハシイ所ニ使フコトハ。＝アハレムベキコト。＝不便ナコト。＝イタハシイコト。—古今集、小町、「あはれテフコトコソウタテ世ノ中ヲ思ヒハナレヌホダシナリケレ」。

あはれ　（……）（……）名。〔……〕　あはれ（哀）ノ名詞體。

○あはれ・がル　（……、第四ガ）（第四上）他動、四段。〔……がる〕　アハレニ思フ。

++あはれ・がひ　（……、第五イ）（第三上）名。　鹿ニ餌ヲ與ヘルコト。—「ハシタカノ明日ノ心ヤカハルラン、今日獲シ鳥ノあはれがひシテ」。

あはれ・さ　（……）（第一上）名。〔（哀）さ〕　アハレデアル度合ヒ。

△あはれし　（……）（第三上）形。〔……し〕　アハレナ。

あばれ・たんぜん　（第四上）名。〔暴れ丹前〕　芝居ノ言葉、アラゴトヲスル丹前。

あはれ・に　（第二ワ）（第一上）副。〔（哀）に〕　あはれ（哀）ノ副詞體。

△あはれブ　（……）（第三上）他動、四段。〔憐ぶ〕　あはれむト同ジ語。同義。

△あはれブ　（……）（第四上）他動、中二。〔……〕　あはれむト同ジ語。同義。

あはれみ（……）（全平）名。〔……み〕　ナサケ。＝

アハレニ思フコト。「あはれみヲ掛ケル」。

あはれム（…）〈第三上〉他動四段。（…む）

（一）フビンニ思フ。＝可哀サウニ思フ。「貧民ヲあはれむ」。（二）カハユガル。＝愛スル。「禽獣ヲあはれむ」。

●あはれ・もの（全平）名（暴れ者＝（暴人））

アバレル人。＝アバレルノヲ好ム人。

●あはれル（…）自動二（暴れる）（あばる荒）

ノ轉」　アクダレル。＝アレル。＝亂暴ナ事ヲスル。＝イタヅラヲスル。＝アタケル。

◎大槻氏ノ言海、コノあばれるヲ解シテ「無法ニアレマハル」トシタ、其「無法」ハ必ラズコノあばれるノ中ニ籠モツテモ居ナイ。無法デナクトモあばれるトハ言ヘル。

▲あばれつ・こ（第四逼）〈…〉名（暴れつ子）

ヨクアバレル小兒。

▲あはれつ・ぱイ（第二ツ、第四逼）〈全平〉、又第五上）形（哀つぽい）　サモアハレニ見ヤル。

あはれつ・ぽさ（…）〈第五上〉名（…さ）

アハレッポクアル度合ヒ。

△あはせ（第三上）名（あはせ（合）を（縒）ノ義カ？）　ヨリアハセタ絲。

あひ（第二イ）〈第一上〉名（間）

ヒダ。＝アハヒ。＝マ。「谷ノあひ」。「山ノあひ」。（二）人ガ酒ヲ飲ム間ニ杯ヲ受ケタリ、又ソノ人ヘソシタリスルシワザ。「あひヲスル」。（三）ダル。アヒズリ。＝共謀。＝近松、吉野鄕女樹「サテハあひヂヤノ？」

（四）能狂言ノ一番ノ中前後ノアヒダニ出ル人。

●あひ（…）名。　鳥ノ名。あひるの略。

あひ（第二イ）〈…〉名（逼ひ）　アフコト。＝而會スルコト。「あひニクル」。

◎コノ言葉ハ「あひニクル」、「あひニ行ク」ナドノ外ニ名詞トシテ用ヰヌ。

あひ（…）〈…〉副（相）　（一）向フモコチラモ。＝彼モ此モ。「あひヨロコブ」。（二）中古カラ始マッタ一種ノコトバ。手紙ナドノ文ニ、意味ナク、又ハ僅ノ意味デ動詞ノ上ニ添ヘルコトバ。「あひ達ス」。「あひ伺フ」（ダダシ、コノ言葉ハ少シ改マル心ヲモツ）。

△あひ（…）〈…〉名。　アヒノッチ。＝カケヤ。＝和名抄「阿比」。

あひ（第二上）名（阿鼻）　阿鼻地獄ノ略。

あひ・あか（第二イ）〈全平〉名（間赤）　オモニ徳川時代ノ奥女中カ禮服ノウチカケノ下ニ着用シタ紅色ノ小袖ノ名。十月一日カラ十二月三十日マデ著ル。

あひ・あひ・がさ（第二、四イ、第五カ）〈第五上〉名（相相傘）＝相合傘）　二人シテ一ツノ傘ヲ一處ニサスコト。＝アヒガサ。

あひ・いん（…）〈第一上〉名（合ひ印）　刺符ニ押ス印。

あひ・うち（…）〈…〉名（相撃ち）　（一）戰ッテ互ヒニ打タレルコト。（二）弓ノ名ドコロ。上ノ方、弓絃ヲカケタ所カラ稍下ノ所。＝ヒメツリ。

あひ・えん・き・えん（…）〈第一上、第五上〉名（合ひ縁奇縁）　（一）エンヅク。＝自然ノ縁。（二）轉シテ、男女ノ縁、又ハ友誼ナドガヤヤ不和デアルノヲイフ語。「あひえん、きえん」ドウモ喧嘩モシカタアルマイ。

あひ・れい（…）〈全平〉名（相老ハ）（あひれひヲ誤マッテ轉ジタモノ）　夫婦ナド揃ッテナガラ（ルコト。

あひ・れひ（…）（第四イ）〈…〉名（相生ひ）　一處ニ生ヒ立ツコト。＝古今集序、「高砂住ノ江ノ松モあひれひヤウニ覺エ」。

あひ・かぎ（…）〈第四ギ〉（第二上）名（合ひ鍵）　カケガヘニスルタメ作ッテ置ク鍵。＝西鶴、若風俗「アナモンノキビシキニあひかぎヲ搭ヘ」。＝淺井了意、東海道名所記「或ハ親ノ鏡箱ニあひかぎヲ搭ヘ」。

あひ・かご（…）（第四ゴ）〈全平〉名（相駕）　一處ニ駕籠ヘ乘ルコト。＝狂女新世帶「ウキヲ乘セタルノリモノハ、サリシタノあひかごや」。

あひ・がさ（…）（第三ガ）〈第三上〉名。　あひがさノ略。

あひ・かた（…）〈第四上〉名。　（一）（相方）相手（オモニ客ニ對スル女郎ヲ云フ）。＝京傳、艶氣樺燒「浮名屋ノ浮名ト云フ女郎ヲあひかたニ」。（二）（合ひ方）芝居ニ用ヰルハヤシノ稱。本神樂、宮神樂、岩戸神樂、通リ神樂、サガリハ、大拍子ナド色色アル。

あひ・がも（第二イ）〈全平〉名（相鴨＝間鴨）（一）鴨ト鴨トノ中ニ生レタ一種ノ鳥。（二）あひるノ異名。（三）又、鳥ノ名。あきさ。

あひ・き（…）〈…〉名（間黄）　オモニ徳川時代ノ奥女中ガ禮服ノウチカケノ下ニ著タ黄色ノ小袖ノ名。正月七草ニ著ル。

あひ・ぎ（…）（第三ギ）〈第一上〉名（間着）　オモニ徳川時代ノ奥女中ガ禮服ノ綿入ノ下ニ著タモノ。

△あひ・びき（…）名（網曳き）　あみひきノ略。

あひ・ぎり（第二イ、第三ギ）〈第一上、又全平〉名（間切り）　笛ノ一種。ヒトヨギリノ類。竹ノ節ト節トノ間ノ切ッテ搭ヘタモノ。

あひ・きやく（…）（第三、四合）〈全平〉名（相客）　客ガ一組カッタ上ニ又カサナル客。＝西鶴、一代女「あひきやくノ見ル所ニ



シテソンケシ顔ヲナデッケテ」。

あひ・くぎ（…）（第四ギ）〈第二上〉名（合ひ釘）　兩ハシノ尖ッタ釘。材木ノ間ニウッテ繼ギ合ハセル時ニ用ヰルモノ。

あひ・くち（…）〈…〉名（合ひ口）　（一）口ヲ張ッテ齒ヲ出スコト。＝和名抄「齦骨、阿比久知」。（二）（匕首）鍔ヲ付ケズ、鯉口トツカノ縁トシックリ合フヤウニ作ッタ短刀。（三）心ガヨク合ッテ中ヲ善クスル人。

（四）スベテ物ト物ト合フトコロ。

●あひ・こ（…）〈全平〉名（相子）　互ニ勝負ノナイコト。

△あひ・ごと（…）（第三ゴ）〈…〉名（逢ひ事）　ヒトツ寐。＝トモチ。

あひ・ことば（第二イ）（第三上）名（合ひ言葉）　軍中ナドデ豫メキメテ置イテ相圖ニスル言葉＝暗號。

あひ・し（…）〈第一上〉名（相仕）　（一）ヒ。＝ケライ。＝近松、博多小女郎浪枕「九右衛門あひしラ招キ寄セ」。

あひ・しやう（…）（第三、四合）〈第三、四上〉名。（合ひ性＝相性）　人ノ生レ年ヲ五行ニ當テ、之ニカチマケガアル、ソレニ由テ男女ノ縁ナド合フ合ハヌト云フ一種ノ定メカタ。「あひしやうワルイデ夫婦ワカレ」。

ことぎやうノ條參考。

△あひ・しらひ（…）（第五イ）〈全平〉名。　あへしらひト同ジコトバ。同義。

あひ・しらフ（…）（第五ウ）〈第四上〉他動四段。　あへしらふト同シコトバ。同義。

あひ・じるし（第二イ）〈第三上〉名（合ひ印）　組ミノ違ハヌ爲ニ豫メ定メテ兵士ナドガ各ノ身ノマハリニ付ケルシルシ。

あひ・じろ（…）〈第一上〉名（間白）　オモニ、徳川時代ノ奥女中ガ禮服ノウチカケ



ノ下ニ著タ白ノ小袖ノ名。三月三日カラ三十日マデ著ル。

あひ・すみ（…）〈…〉根（相住み）　長屋ナド一棟ノ中ニ一處ニ住フコト。＝西鶴、一代女「トナリヲ開クニあひすみノ嘆三人」。

あひ・ずり（…）〈…〉名。　一處ニ罪ヲ行フモノ。＝近松、淀鯉出世瀧徳「科人ハ惣兵衛一味ノあひずり」。

●あひ・ぜル（全平）他動、二。　あぶすノ近體。同義。

あひだ（第二イ）〈…〉名（間）　（一）コレトンレトノ中。＝アハヒ。＝マ。

（二）物事ノ無クナッタマ。（三）程＝ウチ。

「あひだガアル」。

あひだ（…）〈…〉副（…）　オモニ、手紙ノ文ニ用ヰル語。＝故＝ママ。「差出シ申候あひだ」。

あひ・たい（…）〈…〉（第一上）根（相對）　（一）差シ向ヒデ居ルコト。（二）差シムカヒタダ二人デコトヲ行フコト。＝異本洞房語園「但シ宿賃ハあひたいシダイ」。

あひ・たい・じに（…）〈第三上〉名（相對死に）　シンデユウ。＝情死。德川時代ノ時律文ニツカッタ言葉。＝半山見タ京物語「あひたいじに多クアリ」。

あひ・たい・づく（…）〈第六上〉名（…づく）　「づくハあそびづくナドノづく」。　あひたいトオナシ意味。＝西鶴、一代女「當座ノニあひたいづくニテ」。

あひ・たがひ（…）（第四カ）〈全平〉名（相互）　タガヒニ同ジイコト。

あひだ・がら（…）〈第五上〉名（間柄）　ツヂキアヒ。＝關係。＝ヒッカカリ。

あひ・だち（…）〈第一上〉名（相大刀）　（一）互ニ打チ合ハセル大刀。（二）轉シテ、他ノ景氣ヲツケルコト。

△あひ・だちな・シ（…）〈…、第五上〉形（間斷ちなし）　分ケヘダテガ無イ。＝區別ガ無イ。＝アイダチナシ。

あひ・だな（…）（第一上）名（相店）　一處ニ住マッテ居ル家、タナ。＝異本洞房語園「ソコラ持チアルキ、あひだなノモノニ見セタリ」。

●あひだ・もの（…）〈全平〉名（間物）　三度ノ食事ノホカ、アヒダニタベル物ノ惣名。＝「あひだものノカヒグヒ」。

あひ・だ・ぐ（第四ゴ）（第三上）名（阿鼻地獄）「あひハ梵語、飜譯、名義集「阿鼻、此云無間」。即チ無間ノ義。今純粹ノさんすくりつと語（あびヒ）ニヨレバ　阿鼻　ノ義」　猛烈、異常ニフ八大地獄ノ一ッ。無間地獄トオナジモノ。

あひ・づ（第二イ）〈第一上〉名（合ひ圖）

（一）軍ナドデ豫メ極メテ置キ、何カシラセノアル時ニ行フシルシ。（二）轉シテ、スベテ何カ知ラセル時ノシルシ。

△あひ・つくり（…）〈第三上〉名（共作り）　テッダヒ。＝延喜、大嘗祭式「共作二人」。

あひ・づち（…）〈第一上〉名（相槌）　ムカヒヅチ。（一）互ヒニ打チ合ハセル槌。鍛治屋ナドノオモニ云フコトバ。（二）轉シテ、人ノ說ノヤウナ說ヲ吐イテ其人ノ景氣ヲ付ケル。「あひづちヲ打ッ」。

あひづ・らふ・そく（…）、第四ロ、第五ウ）（第四上）名（會津蠟燭）　岩代ノ會津地方カラ出ル蠟燭。花モヤウナドヲ描イタモノ。

あひ・て（…）〈第三上〉名（相手）　（一）共ニ事ヲスル人。（二）スベラムカヒ合ッテ

勝負ヲ爭フムカフノ人。|異本洞房新圓考異「尾張屋方ニテ將棋ヲ御あひてヲイダスニ」。

あひ・でし　(……)(第一上)名。(相弟子)　同ジ先生ニ就キ、トモニ學ブ人。—森山孝盛、賤ノ小手環「其時あひでしニ誘ハレテ」。

あひて・どル　(……)(第四上)名。(相手取る)　アヒテトスル。—當ノ相手ニスル。—「あひてどつて浙ヘル」。

あひて・はしや　(……)(……)句。(相手欲しや)　相手アレカシト思フコト。

あひ・でん　(……)(第一上)名。(相殿)　あひどのトオナジ語。

あひ・どの　(……)(……)名。(……)　同シ社ニ二ツ以上ノ神ヲ合セテ祭ルコト。

あひ・ともに　(……)(……)(第四上)副。(相共に)　一處ニ組ミ合ツテ。—諸共ニ。—トモドモニ。

++あひ・なげ　(……)(第四ケ)(第四上)名。(相投げ)　角力ノ語。四十八手ノ一ツ。一方ガウハテカラ投ゲヲ掛ケテ、扨キマラズ、ソコデ他ノ一方ガ摺リコンデ背負ヒ投ゲニスルコト。—ナゲノスリコシ。

△あひ・なシ　(第二イ)(第一上)形。(間無し)　ヘダテガ無イ。—區別ガナイ。

あひ・なめ　(……)(金平)名。(相番め)　アヒナメ祭ノ略。

あひ・なめ・まつり　(……)(第五上)名。(……祭り)　あひんべトオナジモノ。

あひ・の・さやう・げん　(……)(第四、五合、第七ケ)(第四、五上)名。(間の狂言)　能狂言ノ中ノ一種。一番終ッタ間ニ行ナフ滑稽ノ狂言。

あひ・の・こ　(……)(金平)名。(間の子)　スペテ、マジリガキノ子。

あひ・の・しゅく　(……)(第四、五合)(第六上)名。(間の宿)　(一)宿場ト宿場ト宿場トノ間。(二)轉ジテスベテ宿場ト宿場トノ間。

あひ・の・て　(……)(第三上)名。(相の手)　合ひの手。　音樂ニ云フ言葉。歌ノアハヒニ挿シハサム鳴リモノノ音。(二)轉ジテスベテ、モノゴトノ間ニアリ、又ハ行ナフコト。—「飯ノあひのてニ酒ヲ飲ム」。

あひ・の・やま　(……)(金平)名。(間の山)　あひのやまぶしノ略。

あひ・の・やま・ぶし　(……)(第五上)名。(間の山節)　昔行ナハレタ音曲ノ節ノ名。モト伊勢ノ内外宮ノ間デ謠ヒ出シタ處カラ山ノあひノ義デ、コノ名ガ付ク。後世ノ川崎音頭ハコレカラ出タモノナガラ、調子ハ全ク違フ。ムカシノあひのやまぶしハ物アハレナ音ニテ、後世ハ僅ニ形バカリヲ淨瑠璃ノ中ニ交ヘ、又尺八ノ曲ノ中ニアッテ殘ル。—西鶴、一代女「神風ヤ伊勢ノ古市……所ガラトテあひのやまぶしアサマシヤ」。

++あひ・のり　(……)(金平)名。(相乘り)　ノリモノ、又ハ車ナドニ一處ニ乘ルコト。

++あひ・はん　(……)(……)名。　(一)ウリフニ捺ス判。(二)相判。連帶デ捺ス判。

++あひ・ばん　(……)(第一上)名。(相番)　一處ニ番ヲ務メルコト。「又ソノ人。—西鶴、若風俗「サシキ掃ク迄モ獨リ働キ、あひばんノ人ニハヨロヅヲユルス」。

++あひ・ひき　(……)(……)名。(逢ひ引き)　男女ナドヒソカニ逢フコト。

++あひ・びき　(……)(……)名。(相引)　(一)軍ノコトバ。雙方共ニ陣ヲシリゾケルコト。(二)搗ノ名ドコロ。まちト同ジモノ。(三)互ヒニ助ケアッテ密ニコトヲタノムコト。

=アヒズリ。

あひ・びき・の・を　(……)(……)(第六上)名。(相引きの緒)　鎧ノヒキアハセノ緒。

あひ・ぶ・ぎやう　(……)(第四、五合)(第三上)名。(相奉行)　同役ノ奉行。德川時代ノ語。

●あひ・ぼう　(……)(……)(金平)名。(相棒)　(一)駕籠ノ前ニ立ッテカツグモノト又後ニナッテカツグモノトノ名。(二)(轉ジテ)クモスケ、人力車夫ナドガ互ヒニ相手ヲ呼ブコトバ。

▲あひ・ぼれ　(……)(……)名。(相惚れ)　タガヒニ深ク慕ヒアフ(主ニ男女ニイフ)。

●あひ・ま　(……)(……)名。(間間)　スキマ。=手ノアイテ居ル間。

△あひ・まク　(……)(第一上)自動、四段。(相巻く)　一ツ羅スル。=相共ニ枕スル。

●あひ・み・たがひ　(……)(第五ケ、第七イ)(第一上)名。(相身互)　互ヒニ援ケタリ、又援ケラレルコト。=オ互ヒヅク。

あひ・むこ　(第二イ)(第三上)名。(相聟=妻ノ姉及ヒ妹ノ夫。=和名抄「阿比無古」。

あひ・やけ　(……)(金平)名。　嫁婿雙方ノ舅姑同志ガ互ニ相對シテ立ッ地位ノ名=アイヤケ。

++●あひやと　(……)(……)名。(相宿)　一處ニ宿ヲトルコト。「マタソノ客。=アヒヤドリ。

++○あひ・やどり　(……)(第三上)名。(……り)　あひやどノ古言。

あひ・やり　(……)(第一上)名。(相鎗)　敵一人、味方二三人ノ鎗合ハセ。

あひ・よめ　(……)(……)名。(相嫁=姒婦)　兄又ハ弟ノ妻。—和名抄「阿比與米」。

あ・ひる　(金平)名。(鶩=家鴨)(あ(足)ひろ(廣)ノ義)。　(一)家ニ飼フ鳥。形ハ鴨ヨリ少シ大キク、雄モ雌モ毛ナミハ大抵鴨ト同ジク、雌ハヨク鳴ク。雌雄トモニ飛ブコトハ叶ハズ、自カラ孵ヲカヘサズ、カヘスニハ人ガ卵ヲ雞ニアタガッテ孵サセル。=アヒロ。　(二)ムカシ舊幕時代江戸深川八幡ノ近所、佃町、松代町邊ニアッタ一種下等ノ娼妓ノ名目。—寛天見聞記「あひるト名ヅケテ……娼家軒ヲナラベ」。

●あびル　(金平)他動、二。　あぶ(浴)ノ近体。

▲あ・ひろ　(……)名。(足廣)　鳥ノ名。あひるト同ジモノ。

△あひんべ　(第二イ)(……)名。(相番)(あひ(相)にへ(贈)ノ義)　昔十一月初メノ卯ノ日新米デ造ッタ酒ヲ天子ガ始メテ飲ミ、神神ニモ捧ゲタ祭。—アヒナメ。—延喜、神祇令、「相嘗祭」。

あフ　(第二ウ)(第一上)自動、四段。(合ふ)　(一)二ツ以上ノ物ゴトガ一處ニナル。(二)同ジクアル。=適當スル。—「算用ガあふ」。

あフ　(……)(……)自動、四段。(逢ふ=(遇)ふ=(會)ふ)　(一)面ヲ合ハセテ互ヒニ相見ル。(二)轉ジテ(イデアフ。—「災難ニあふ」。

△あフ　(……)(……)他動、四段。(嫁ふ=(娶)ふ=(契)ふ)　夫婦ニナル。=チギリヲコメル。

○あフ　(……)(……)他動、下二。(靈)ふ)　(一)△合ハセル。　(二)色色マゼル(オモニ、食ベモノナド)。—「酢ニあへテ食フ」。

△あフ　(……)(……)他動、下二。(饗)ふ)　食物ヲ取リ揃ヘテ饗應スル。—振ル舞ヒスル。=馳走スル。

あフ　(……)(……)他動、下二。(敢)ふ)　押シ切ッテ事ヲスル。=ドウシテモ遂ゲル。—「あへテ言フ」。

あぶ　(……)名。(蝨)　蟲ノ名。種類ハ甚タ多ク、スベテ花ヲ尋ネ、或ハ牛馬ニツキ夏ノ間生活スルモノ。種類ハうしあぶ、はなあぶ、あをあぶナド。=アム。

あブ　(第二上)他動、中二。(浴ぶ)　吾ト我ガ身ニ流動體ヲ注ギカケル。—枕ノ草紙、「羅起キテあぶる湯は腹ダタシクコソ覺ニレ」。

あふぎ　(第一オ、第二ウ、第三ギ)(第三上)名。(扇)　風ヲ出ス一種ノ品。竹ナドヲ骨トシ、カナメデトヂ合ハセ、末ヲ廣ゲテ紙ヲ張リ、圓扇ト違フ所ハ、一方ハ蠻メルヤウニシタカドバカリ。是ハ蠻メルヤウニシタオヤボネ、又ハヒラボネ。兩端ノ骨ヲバ、オヤボネ、又ハヒラボネナドト云フ。=カハホリ。=スエヒロ。=センス。

++あふぎ・あはせ　(……、第五ヲ)(第四上)名。(扇合はせ)　昔、オモニアッタ遊ビノ名。互ヒニ扇子ヲ出シ、ソレニ詩歌、句ナド書キ、ソレヲ合ハセテ勝負ヲスルコト。

あふぎ・あみ　(……、第三ギ)(金平)名。(扇網)　扇ノ形ニ開ク網。四手網ノ類。—西鶴、若風俗「細川ノ末ニあふぎあみ手毎ニ」。

あふぎ・かけ　(……)(第三上)名。(扇懸け)　扇ヲヒロゲテ掛ケテ置クモノ。座敷ノ飾ナドニシ、多ク柱又壁ナドニ掛ケル。

あふぎ・がひ　(……、第四ガ、第五イ)(第三上)名。(扇貝)　(一)貝ノ名。アゲマキノ一名。(二)又、貝ノ名。シャコノ一名。(三)又、貝ノ名。ホタテ貝ノ一名。

あふぎ・がみ　(……、第四ガ)(金平)名。(……紙)　扇ノ地紙。

あふぎ・だな　(……、第三ギ)(第三上)名。(……柳)　本ノ建築術ノコトバ。四十八柳ノ中ノ一ツ。床板ノ廣サ六尺トスレバ、三分シテ左リカラ二尺ノ處ニ二尺三寸ノ足ヲ立テ、此足ヲ上八寸、下一尺五寸ニ分ケ、各ノ處カラ二枚ノ柳ヲツリ、又八寸ヲ二分シタ處カラ右ニ二尺一寸ノ柳ヲ出シ、其柳ニ右ノ端カラ足ヲ立テ、上ノ方ヘ三寸五分ハナレテ又一枚ノ柳ヲツリ、此柳ノ右ノ端ヲ右ノ床柱ニハメコム。スベテ柳板ノ數ハ五枚。

あふぎ・だるき　(……)(第四上)名。(……桝)　扇ノヤウニ開イタ形ノタルキ。神社ナドニオモニツカフ。

++あふぎ・づかひ　(……、第六イ)(第四上)名。(……役ひ)　扇ヲツカフコト。「又ハ扇ノツカヒ方。—西鶴、一代女「あふぎづかひシテ袖口ヨリ風ヲ入レ」。

▲あふぎ・づら　(……、第三ギ)(……)名。(……面)　扇ノ形ヲシタ顏。スナハチ、ホホ骨ノ出テ、アゴガ並ヨリ細イカタチノ顏。—「あふぎづらノ酌女」。

▲あふぎ・なすび　(……)(第四上)名。(……茄子)　伊豫ノ松山ニ產スル茄子ノ名。形ノ扇ニ似タ處カラ云フ。

あふぎ・ばこ　(……)(第三上)名。(……函)　扇ヲ入レル細長イ箱。オモニ、贈物ナドニスルタメニツカフ。

++あふぎ・ひき　(……)(第三上)名。(……引き)　扇子ヲ引キ合フ遊ビ。—西鶴、若風俗「サテハあふぎひきスルモアリ」。

あふぎ・びやうし　(……、第五ヲ、第四、五合)(第四、五上)名。(……拍子)　扇子ヲ鳴ラシテ歌ナドノ時ニ取ル拍子。

あふぎ・や　(……、第三ギ)(金平)名。(……屋)　扇ヲ賣ル家、又ハ人。

あふぎ・やぞめ　(……)(……)名。(……染め)　染摸樣ノ名。丸、角、三角其他色色ノカタノ中ニ花鳥ヤ人物ナドヲ染メ出シタナド、一般ノ形大抵今ノ友禪ニ似タモノ。多ク

ハ絹ヲツカフ。元祿ノ頃、頗ブルハヤル。
—森山孝盛、賤ノ小手環、「貴賤トモニ子供ハ大分あふぎやうめナリ。今ノイタジメノ類ナリ」。

○あふぐ　（（第二オ、第三グ））（第二上）自動、四段。（仰ぐ）　上ヲムク。—アヲムク。—アヲヌク。—アヲノク。

あふぐ　（（……））（……）他動、四段。（……）（前ノ語カラ轉シテ）　タフトブ。—敬マフ。—讃ミカシヅク。

あふぐ　（（……））（……）他動、四段。（扇ぐ）　扇子ヤ團扇ソノ他スベテ薄ク平タイ物ヲ動カシテ風ヲ出スコト。—「ウチハデあふぐ。—「トビラデあふぐ」。

△あふぐ　（（……））（……）自動、四段。　キヨイ氣ガ何トナク立ツ。

●あぶく　（全平）名。（泡—沫）（（あわ（泡）））トオナジモノ。（浮）ノ義カ？）　あわ（泡）

あふと　（（第一オ、第二ウ））（第一上）名。（枕）

あふと　（（第一オ、第二ウ））（第一上）名。（枕）
あふとト同ジモノ。今デモ中國四國邊デハ云フ。

あふと　（（……、第三ヨ））（……）名。（……）　兩端ニモノヲ掛ケテニナフタメノ棒。—アフコ。—テンビン棒。

あふさか　（（……））（全平）名。　あふさかさうノ略。

あふさかさう　（（……、第五ソ））（全平）名。（逢坂草）　草ノ名。五六月ニ花ヲ開ク。花ハ白、淡ウス紅、莖ニ細ク黑ミノアル所カラ一名フシグロトモ云フ。逢江ノ國日坂ニ多クアル。

○あふさかの　（（……））（……）枕。（逢坂の）　せきの（関）、せく（堰）ナドニ掛カル枕詞。

あふさきさるさ　（（……））（第一上、第四上）名。（合ふさ、離るさ）　（一）一方ガヨケレバ一方ハ惡ルイナドト云フ意味ノ諺。—古今集、「ソヘニトテトスレバカカリ、カクスレバアナ言ヒシラズ、あふさきるさニ」。（二）（誤ッテ）ユキカヘリ。—ワウヘン。—ワウライ。—「あふさきるさノタヒビト」。

あふさフ　（（第四ウ））（第三上）他動、四段。（餘ふす（餘）ノ延。　甚シク騷グコト。

あふさわ　（（第三上））根。　あふさわニ。

あふさわニ　（（……））副。　あふさわノ副詞體。

あふさ　（（第一オ、第二ウ、第四ヨ、第三、四合））（第一上）名。（厭狀）　オドシテワガ心ノママニ認メサセル書狀文章。—源平盛衰記、「人ヲ威シテ思フヤウノ文ヲカカセントト仕ルヲバ乞索あふじやうト申ス」。

◎今日普通ニ多ク見ルわうじやうナドト云フ詞モモトハ此語ヲ土臺トシテ出來タコトト云フ。「往生」ノ字ヲ當テタノハ佛教ノヲ借リ用ヰタダケ。※わうじやうハ佛教ノヲ借リ用ヰタダケ。

△あぶス　（第二上）他動、四段。（餘す）　アマス。—打チ捨テル。—「あぶさずトリシタタメタマフ」。

○あぶス　（全平）他動、四段。（浴ぶす）　粉ノモノ又ハ流動體ヲ注ギカケル。—「水ヲあぶす」。

○あぶス　（……）他動、下二。（……）　あぶす（浴）トオナシ意味。

あふだ・おぐく　（（第五ゴ））（第四上）名。（頸浮）　佛教ノ語。八寒地獄ノ中ノ一ツ。翻譯名義集、「俱舍云、寒觸身分、皆悉生皰」。

あふち　（（第一オ、第二ウ））（第一上）名。（楝）
（あふち（仰ぐち）ノ義カ？）　喬木ノ名。甚タ高ク生長スルモノ。葉ハヒカリ麗シク、南天ニ似、鋸齒ガアリ、夏ノ頃淡紅ノ花カ咲ク。雌ハ秋オヨソ四五分ノ丸イ實ヲ結ブ。—センダン。—センダンノ木。—和名抄、「阿布智」

あふち　（（……））（……）名。（……）（楝ノ木ノ轉）　衣ノ重ネノ色目。淡色ノ表青ノ裏、又ハ紫ノ表淡紫ノ裏。

●あふなイ　（全平）形。（危い）　あぶなしノ近體形容詞。

●あふなさ　（……）名。（……さ）　アブナクナル度合ヒ。

○あぶなシ　（……）形。（……し）　アヤフイ。—トモスレバ害ヲ受ケサウニ見エル。

あふぬく　（（第二ウ））（……）自動、四段。（仰向く）

あふむく　（（……））（……）自動、四段。（……）　あふぬくノ轉。アフグ。

あふのク　（（……））（……）自動、四段。（……）　あふぬくノ轉。同義。

あふひ　（（第二オ、第三イ））（……）名。（葵）
（一）草ノ名。葉ノ大キサハ二三寸。細カイ鋸ノ齒ガアリ、莖ハ四五尺マデ育ツ。葉ノ間ニ五瓣ノ花ヲ開ク。春夏秋冬トモ常ニ花咲ク。實ハ藥トナル。種類ハ甚タ多ク、時ニ依ッテかんあふひ、ふゆあふひナドトモ云フ。又同ジ類ノモノ、ゼニアフヒ、タチアフヒ、カモアフヒ、ツユアソヒ、ハナアフヒ、カラアフヒナド色色。（二）かもあふひノ略。山中ニ多クハヘル。莖ノ高サハ一すバカリ。葉ハ丸ク、夏ノ初メ、紅又ハ紫ノ花ガ咲ク。山城ノ國加茂ノ神社ノ葵祭ニ之ヲ用ヰル。普通ニハ略シテタダあふひト云ヒ、葉ガ二葉互ヒニ向カヒアヘバふたばあふひトモ云フ。—カザシ草。—二葉草。—ヒカゲ草。—モロハ草。

あふひ・かづら　（（……））（第四上）名。（……蹤）



徳川時代奥女中ノ用ヰタカツラ。即チ四月一ノ酉ノ月ニ掛ケルモノ、葵ノ花ヲツカフ。

あふひ・かづら　（（……））（……）名。（……羅）　東京ノ植木屋ノ語。花ヒルガホノ一名。

あふひ・ぐさ　（（……、第四グ））（第三上）名。（……草）　加茂葵ノ一名。

あふひ・ざ　（（……））（第三上）名。（……座）　兜ノ置座ノ形ノ名。

あふひ・つば　（（……））（第五上）名。（……鍔）　葵ノ花ノ形ニナッタ刀ノ鍔。

あふひ・まつり　（（……））（第四上）名。（……祭り）
山城ノ加茂ノ社デ四月中ノ酉ノ日ニ行フ祭。此祭ハカモ葵ヲ用ヰテ祭ラシ、有名ナ加茂ノクラベ馬ノ騎リ手モ皆ニ葵ノ葉ヲツカフ。※かもまつり參考。

●あふ・へい　（（第一オ、第二ウ））（第一上）根。（押柄）　尊大デアルコト。—驕リタカブルコト。—オホフウデアルコト。—仰仰シイコト。—傲慢デアルコト。

●あふ・へい・に　（（……））（……）副。（……に）　あふへいノ副詞體。

あ・ぶみ　（全平）名。（鐙）（あ（足）ぶみ（踏）ノ義。）
馬具ノ名。鞍カラ馬ノ脇腹ニ右左トモニサゲ下シ、乘リ手ガソレニ足ヲ踏ミ掛ケルモノ。

あふみ・あおさゐ　（（第一オ、第二ウ））（第四上）名。（近江紫陽花）　紫陽花ノ一種。常ノ紫陽花ヨリ花ノ少ナイモノ。

あふみ・れもて　（（……））（第四上）名。（……表）
近江ノ國カラ出ル疊ノ表ノ名。備後表ヨリハ下等ナ品。

あふみ・がさ　（（不詳））不詳名。　實物未詳。
麁物ノ類。

△あぶみ・がしら　（（第四カ））（第四上）名。（鐙頭）
後脇ノ出タ頭。—サイヅチアタマ。

あぶみ・がばら　（（第四カ、第五ワ））（第四上）名。（……瓦）　カラクサノ模樣ノアル瓦。

古代ノ製造ハ鐙ノ形ニ似タモノニ此名ガ付ク。—カラクサガハラ。

あぶみ・がひ　（（……、第五イ））（第三上）名。（……貝）　アブミノ形ヲシタ白色ノ貝ノ名。

あぶみ・かぶら　（（第一オ、第二ウ））（第四上）名。（……蕪）　近江ノ國、大津邊カラ出モ三ツノ瘤ガ有リ、スワリノ好イ處カラル蕪ノ名。直徑七八寸モアリ、根ニイヅレ一名、スワリカブラ。

あふみ・がや　（（……、第四カ））（第三上）名。（……蚊帳）　近江ノ國カラ出ル蚊帳。

あぶみ・ぐは　（（第四グ、第五ワ））（……、又全平）
農具ノ名。鐙ノ形ニ似タ鍬。名（鐙鍬）

草ヲ刈ルトキツカフ。

あふみ・ぐらし　（（第一オ、第二ウ））（第四上）
近江ノ國カラ出ルサラシ。名（近江晒し）

あふみ・すげがさ　（（……、第五ゲ、六カ））第五上名。（……菅笠）　近江ノ國カラ出ルスゲ笠。

あぶみ・ずり　（全平）名。（鐙擦り）　馬ノ脇バラ、丁度アブミデ擦レルアタリ。

あぶみ・つり　（（第三上））名。（……釣り）　馬具ノ名。鐙ヲツルモノ。

あふみ・ぶし　（（第一オ、第二ウ））（第三上）名。（近江節）　延寶頃ヨク行ハレタ音曲ノ節ノ名。近江語齋ガ元祖デ此名ガ付ク。—異本洞房語園、「あふみぶしノ淨瑠璃ニ名ヲ取リ、語齋モ及バヌ處アリトイフ」。

あふむ　（（……））（全平）名。　鳥ノ名。あらひノムカシノ書キ方。

あふむく　（（第二ウ））（全平）自動、四段。（うは（上）むく（向）ノ義）　アフグ。

あふ・よう　（（第二上））名。（阿芙蓉）　（一）罌粟ノ一名。（二）轉シテ阿片ノ一名。

あふ・よう・ゆ　（（第三上））名。（……油）　阿芙蓉カラ取ツタ油。

あぶら　（全平）名。（脂—肪—膏）　スベテ動物ノ體ノ中ニ有ッテ、時トシテ外面ニモ浮ク一種ノ粘ツタ液。「牛ノあぶら」。—「人ノ手ノあぶら」。

◎●あぶらヲ取ル。—（イタメツケル。—其人ガ一言モ返セヌホドニ責メル）。

あぶら　（……）名。（油）　胡麻菜種ナドスベテノ植物カラ搾リ取ル、滑ラカナ一種ノ液。燈火ニ用ヰ、或ハ食用ニシ或ハ藥ニツカフ。

▲あぶら　（……）名。（……）　あぶらむし解義第三ノ畧。芝居者ノ語。

あぶら・あげ　（（第五ゲ））（第五上）名。（油揚げ）
スベテ、揚ゲタモノ。—蜀山人、奴師弊之、「文盤ヲあぶらあげニシタルガ如シ」。

△あぶら・あげ・うり　（（……））（第五上）名。（……賣り）
元文以後二十年バカリノ間、油アゲヲ賣リニ市中ヘ來タ子供。—小川顯道、塵塚談、「其頃見昔シキ童ヲ見テハ皆人あぶらあげうりノヤウダトイヒケリ」。

あぶら・あし　（第三上）名。（脂足）　底ニ脂ノ出ルタチノ足。—我衣、「小人革あぶらあしニテハ冷タク甚ニ」。

あぶら・あせ　（第四上）名。（……汗）　（一）脂ト汗ト。（二）汗ノ意味ヲ强メタコトバ。脂サヘ交シル位ノ汗トノ意味。—「あぶらあせデ溜メタ錢、ウヌラニ取ラレテナルモノカ！」

あぶら・いし　（第三上）名。（油石）　（一）色黑

ク、ヨク光リノアル石。美濃ノ國赤坂ノ産。(二)黄色クテ殆ンドトモシ油ノ色ニ似タ石。同ジク美濃ノ産。(三)油色ノ甚ダ小サナ石。ヨク米ノ中ニ混ツテ居ルモノ。(四)石炭ノ一名。

++あぶら・いため　(第四上)名。〔油痛め〕　油ディリツクルコト。—アブライリ。—〔牛蒡ノあぶらいため〕。

++あぶら・いり　(全平)名。〔…熬り〕　あぶいためト同シコトバ。　同義。

あぶら・いろ　(…)根。〔…色〕　トモシアブラノ色。黄色ニ稍赤ミガサシテ光ツテスキトホルヤウナ色。—琥珀色。

あぶら・れとし　(第四上)名。〔油落とし〕　土ノ名。ヨク油ヲ落トスモノ。—イマリツチ。

あぶら・かす　(第四上)名。〔…粕—…滓〕　スベテ、植物カラ脂ヲ搾ツタ其アトノシボリカス。作物ノコヤシニツカフ。

あぶら・かみ　(第三上)名。〔…紙〕　油ヲ引イタ紙。—トウユガミ。—アブラガミ。

あぶら・がみ　((第四ガ))(…)名。〔…〕　あぶらかみ。

あぶら・がめ　(…)(…)名。〔…瓶〕　油ヲイレル甕。—和名抄〔阿夫良加米〕。

あぶら・がや　(…)(…)名。〔…茅〕　カヤノ一種。夏、莖ノ長サ二三尺ニ至ル。穂ハモロコシ黍ニ似テ色ハ樺色、搾レバ油ノ香ガアル。—ミチクサ。—アブラシバ。

あぶら・からだ　(第四上)名。〔脂身體〕　脂ノ多イカラダ(主ニ人ニ)。

あぶら・ぎく　((第四ギ))(第三上)名。〔油菊〕　菊ノ一種。多ク山ニ生ヘル。花ハ心ガ大キク、何レモ單(ノモノ)—ノギク。—センボンギク。—イハヤギク。

あぶら・きつちよ　((第五運、第六、七合))(第四上)名。　蟲ノ名。ギツチョノ油色ヲシタモノ。

あぶら・きぬ　((第四ギ))(第四上)名。〔油絹〕　油ヲヒイタ絹。

あぶら・きり　(…)(第三上)名。〔油桐〕　桐ノ一種。水ハ桐ニ似テ、葉ニハ鋸齒ガナク、實ニ毒ヲ含ム。之ヲ搾ツテ油ヲ取レバ所謂桐油トナル。—アブラノ木。—ヤマギリ。—イヌギリ。—ダマ。—ドクエ。

あぶら・ぎる　(…)(第四上)自動、四段。　油ガ多クアル。

あぶら・げ　(第四上)名。〔油氣〕　(一)油ノ氣。(二)脂ノ氣。—〔あぶらげガ多クテ若ク見エル〕。

●あぶら・こき　(第三上)名。〔…扱き〕　絲ヲ色ニ染メ、ソレニ油ヲ引イタモノ。

●あぶら・とイ　(第四上)形。〔…濃い〕　あぶらこしノ近體。

あぶら・こ・さ　(…)名。〔…さ〕　アブラコクアル度合ヒ。

○あぶら・こシ　(…)形。〔…〕　(一)油ノ氣ガ強イ。(二)脂ノ氣ガ多イ。

あぶら・ごま　(第四ゴ)(第三上)名。〔…胡麻〕　油ノ多イ胡麻。油ノシボレル所カラ云フ名。

あぶら・さし　(…)名。〔…差し〕　(一)トモシ油ヲ貯ヘテオキ、油皿ヘ少シヅツヤグタメノ器。—アブラツギ。(二)桶樽ナドノ中ニアル油ノ嵩ヲ量ル尺度。

あぶら・ざら　(…)名。〔…皿〕　トモシ油ヲタタヘルコニアカリヲツケル爲メノ小サナ皿。陶器、又ハ金屬デツクル。—ドウガイ。—トウガイザラ。—アブラツギ。

あぶら・しば　(…)名。　アブラガヤト同シモノ。

あぶら・しめぎ　((第六、ギ))(第四上)名。〔…搾め木〕　油ヲシメル、轆轤ヅクリノ器械。多ク木デ作ル。

あぶら・しやうじ　((第四、五合、第五ヨ))(第四、五上)名。〔…障子〕　普通ノアカリ障子ノ紙ダケニ油ヲヒイタモノ。一ツハ塵埃ヲ明ルクシ、又雨ナドヲ防グ。—アマシヤウシ。

△あぶら・しり　(第三上)名。〔臀〕　スベテ鳥ノ尾ノ肉。—和名抄〔阿布良之利〕。

あぶら・だま　(…)名。〔油球—脂球〕　油ガ溶ケテ水ナドニ浮キ、玉ノカタチヲシタモノ。—〔あぶらだまノ浮ク鯨汁〕。

あぶら・だる　(…)名。〔…樽〕　油ヲ入レル樽。—アブラツタル。

あぶら・ちやせん　(第四五合)(第四、五上)名。〔…茶筅〕　芝居ニ用ヰルカツラノ名。極メテツヤヲクシタ茶センガミ。

△あぶら・つき　(第三上)名。〔…杯〕　アブラザラ。

あぶら・つぎ　((第五ギ))(…)名。〔…注ぎ〕　アブラサシ。

あぶら・づく　(第四上)自動、四段。〔脂づく〕　脂氣ガヨク充チル。—八犬傳、「肥エあぶらづきタル　ハダヘノ白キハ雪ヲモ欺クベシ」。

あぶら・つぼ　(第三上)名。〔油壺〕　油ヲ入レル壺。—アブラツボ。

あぶら・で　(…)名。〔脂手〕　脂ノ多ク出ルタチノ手。—アブラツテ。

あぶら・でり　(…)名。〔油照り〕〔あぶらいり〔油熬〕でり(照)ノ義〕　空ハ曇ツテ風モナク、シリヨリト照ルコト。

あぶら・とくり　(第四上)名。〔…德利〕　アブラガヤト同シ



ヲ入レル徳利。—アブラドックリ。

▲あぶら・とつくり　((第五運))(第四上)名。　あぶらどくりノ轉訛。

あぶら・な　(第三上)名。〔…菜〕　普通ニハ只菜トバカリ云フ。秋、種ヲ蒔キ、春花ガ咲ク、花ノ色ハ黄イロ、夏ニナツテ實ガ熟シ、菜種トナル。コレカラ菜種油ヲシボル。

あぶら・の・き　(第四上)名。〔…の木〕　アブラギリ。

あぶら・はらしや　((第四ホ、第六、七合))(…)名。〔…砌砂〕　砌砂ニ黒ミノアルモノ。ヤヤ油氣ヲ含ム。

○あぶら・び　(第三上)名。〔…火〕　トボシ油デツケルアカリ。—高葉集、「あぶらびノ光リニ見ユルワカカヅラ」。—西鶴、著風俗、「トホサト小野あぶらびカスカニ」。

▲あぶら・まじ　(第四上)名。—物類稱呼、「伊勢國鳥羽、或ハ伊豆國ノ船詞ニ二月十五日前後ニ一七日ホドイカニモ和ラカニ吹ク、是ヲあぶらまじトイフ」—又、幾内及ビ中國ノ船人ノ詞ニ四月末ノ方ヨリ吹ク風ヲあぶらませトイフ」。

あぶら・み　(第三上)名。〔脂肉〕　スベテ、脂ノ多クアル部分ノ肉。

あぶら・むし　(…)名。〔油蟲〕　(一)夏カラ秋ヘ掛ケテ多ク人ノ家ノ臺所ナドニ群ガル。長サ大キイノハ一寸餘リ、翼モアツテ飛ビ、足ハ甚ダ早ク、全身ハ油色デ稍黑ミヲモチ、小サナノハ全クノ油色デ殆ンド柿ノ種ニ似タモノ。スベテ、油氣ガ多ク、羽ナドモ極メテ滑ラカニ、體ニ油ノ臭氣ガアル。口ニハ鋭イ齒ヲ持チ、大抵ノモノハカミヤブル。—コガネムシ。—ツノムシ。—ゴキアラヒムシ。—アブロシ。(二)又蟲ノ名。アリマキノ一名。(三)スベテ、ツキ纏ツテ妨ゲトナルモノ。—〔色男トイフあぶらむし〕。

あぶら・めく　(全平)名。　(一)▲又、魚ノ名。岩手邊ノ方言。メダカ。

あぶら・もち　(第三上)名。〔油持ち〕　昔公卿ガ車デ出ルトキ其車ニサス油ヲ持タセタ人。

あぶら・もり　(…)名。〔…守り〕　ムカシ、宮中デトモシ油ヲ司ツタ女官ノ名。—延喜、中務式「あぶらもり四人」。

あぶら・わた　(…)名。〔…綿〕　昔髪ノ毛ヲ濕ホスタメニ油ヲ浸シタ綿。—和名抄、「澤、阿布良和太」。

あぶら・え　(第三上)名。〔…繪〕　エ(畫)ノ油ニ蜜陀僧トタウソツチヲ加ヘ、又喬ノ長ヲ入レ、ソレデ紙布、硝子、スリモノナドヘ描ク一種ノ畫。

▲あぶら・う・かす　(…)(第五上)名。　あぶらかすノ轉訛。

▲あぶら・う・かみ　(…)(第三上)名。　あぶらかみノ轉訛。

▲あぶら・う・からだ　(…)(第五上)名。　あぶらからだノ轉訛。

▲あぶら・う・とイ　(…)(…)名。　あぶらこいノ轉訛。

▲あぶら・う・とさ　(…)(…)名。　あぶらとさノ轉訛。

▲あぶら・う・たる　(…)(第三上)名。　あぶらだるノ轉訛。

▲あぶら・う・て　(…)(…)名。　あぶらでノ轉訛。

あぶり　((第二オ))(全平)名。〔障泥〕〔あぶり(鐥)ノ義〕　馬具ノ名、鐙ト馬ノ脇バラトノ間ニ垂レ、馬ノ両傍ヲ覆フ品。ナメシ革、布又ハ毛皮ナドデ作ル。—和名抄、「阿不利」。

あぶり　((…))(…)名。〔鐥り〕　(一)凡テアフルコト。—〔風のあぶり〕。(二)煽動。—〔あぶりニ乘ル〕。

あぶり・いか　((…))(第二上)名。〔障泥烏賊〕　烏賊ノ一種。形ハ甚ダ厚ク且ツ大キク、馬ノアフリニ似タモノ。肉ハ柔ラカデウマイ。

あぶり・こ　(全平)名。　(一)〔炙り子〕餅ナド燒クトキツカフ鐵ノ網又ハ棒(東京デハ此語ヲ用ヰヌ)。(二)〔焙り籠〕竹籠デ作ツテ中ニ火ヲ貯ヘ、衣物、シメシナド曝メルタメノ器。—フセゴ。

++あぶり・だし　(…)名。〔炙り出し〕　白紙ニ酒、又ハ明礬ナドデ畫ヲカキ、乾ケバ何モ見エズ、火ニ炙レバ其書イタモノガ現ハレルモノ。オモニ子供ナドノ玩弄物ニスルモノ。

△あぶり・とうふ　(第四上)名。〔炙り豆腐〕　ヤキドウフノ古言。

あぶり・もの　(全平)名。〔…物〕　スベテ、炙ツタ肉—ヤキモノ。—ヤキザカナ。—和名抄、「阿布利毛乃」。

あぶり・やう・し　((第一オ第二ウ))(第四ヨ、第三、四合))(第三、四上)名。〔…押領使〕　昔、諸國ノ不敵狼籍ノモノヲ押ヘル爲メニ朝廷カラ發シタ使者。

○あぶル　(第二上)自動、下二。〔浴る〕　滿チアマル。—ハチキレル。—〔桶ニあぶるる水〕。

あぶル　((第二オ))(…)他動、四段。〔翻る〕　(一)ヒラメカシ、ウゴカス。—ヒルガヘス。(二)●〔轉シテ〕ヤタラニ飲ム(オモニ酒ナ

ド」。—馬琴、二分狂言、「河原ニ一人大盃ヲ傾ケ、シタタカニあふつて」。

あふル　(……)(第二上)自動、四段。(……)　風ニ吹カレテ動ク。

あぶル　(……)他動、四段。(炙ル)　(一)○火ニカザシテウマク焼ク。—「魚ノ肉ヲあぶる」。(二)火ニカザス。—「手ヲあぶる」。

△あぶル　(金平)自動、下二。　おちぶるノ異體同種。同義。

●あぶれ　(……)名。　あぶれるノ名詞體。手ノ空シクナルコト。—「銭ノ取レルカハリ時時ハマタあぶれモアル」。

あぶれ・もの　(……)名。(暴人)(手あふれ(溢)もの)の者ノ義)　不法デ手ニノラヌモノ。—ヤクザモノ。—「あぶれものノ雲助」—狭衣物語「今ハサヤウナルあぶれものイデマシダナル世ニコソ」。

◎此語ヲ言海ニサトビコトバノ部類ニ入レタノハ穩カデナイ。

●あふれル　(第三上)自動四段。　あふる(溢)ノ近體。

あぶれル　(……)自動二。　(一)あふる(溢)ノ近體。(二)人夫ナドノ役ニ當リサウデ意外ニマタ不用ニナル。—「仕ゴトガあふれる」。

あぶちじ　(第三上)名。(あぶらむしノ轉訛)　西京ノ方言。あぶらむし。

あへ　(第二上)(第一上)名。(韲ヘ)　韲ヘルコト。—カキマハシアハセタ物。—「コンニヤクノシラあへ」。

++あへ　(……)(……)名。(饗ヘ)　饗應。—馳走。古事記「アマノミあへヲタテマツル」　美シイコト。

△あへか　(第二上)(……)副。　あへかノ副詞體。

△あへかに　(……)(……)副。　あへかノ副詞體。

++あへ・かは　(第四ワ)(金平)名。　あへかは餅ノ略。

あへかは・もち　(……)(第三上)名。(安部川餅)　東海道駿河ノ國阿部川邊カラ搾ヘ出シタソニ起ル。餅ヲ焼イテキナコト砂糖トヲツケタモノ。—キナコモチ。—マメノコモチ。—フキダフシ。

あへグ　(第二上、第三グ)(第二上)自動、四段。(喘ぐ)　呼吸ガキレル。—「あへぎあぶる」。

++あへ・しらひ　(第二ヱ、第五イ)(金平)名。　アヘシラフコト。—取リアハセ。—トリアツカヒ。—アシラヒ。

あへ・しらフ　(……、第五ウ)(第四上)他動、四段。　(一)挨拶スル。—應答スル。—應待スル。(二)ヨク相手ヲモテナス。—取扱フ。—アヒシラフ。—アヒシラフ。—接待スル。(三)ソバニツキ添ッテ風情ヲスル。—アシラフ。—「小眞ニツボミヲあしらふ」。

あへ・たちばな　(第二ヱ)(第四上)名。　九部太夠波奈」。

あへ・うぎ　(……)(金平)名。(韲坏)　アヘモノヲ入レル器。

++あへ・づくり　(……)(第三上)名。(韲ヘ作り)　野菜ト魚ナドマゼタモノ。—アヘモノ。—和名抄「阿閉豆久利」。

あへて　(……)(第一上)副。(敢て)　オシ切ッテ。—強イテ。—無理ニ。

●あへ・なイ　(……)(第二上)形。(敢無い)　あへなしノ近体。

あへ・なし　(……)(……)名。(……さ)　アヘナクアル度合ヒ。

あへなシ　(……)(……)形。(……し)　頼ミガナイ。—ハリアヒガナイ。

△あへなん　(第二上ノ)何。　クルシクナイ。—カマハナイ。

△あへ・ぬク　(第二ヱ)他動、四段(相貫く)　揃ヘてツラヌク。—萬葉集「子規イタクナ啼キソ、ナガ聲ヲサツキノタマニあへぬくマデニ」。

あへ・もの　(……)(金平)名。(韲—和物)　野菜ト魚肉トヲマゼアハセ、酢デ味ヲ付ケタモノ。—アヘヅクリ。

●あへル　(……)(第二上)他動、四段。(韲へる)　あふ(韲)ノ近體。

あへん　(第一上)名。(阿片—鴉牙)(英語、Opium)　支那デ對サセタ字、阿片。罌粟ノ實又ハ莖カラ汁ヲ取リ、ソレヲ干シテ製シタモノ。劇藥デ、ヨク人ヲ眠ラセル。—阿芙蓉。

あへんたばこ　(第四上)名。(……煙草)　阿片ヲ加ヘテ製シタ煙草。支那人ガ好ンデ吸フ。

▲あは　(第一上)名。　あはう(阿房)ノ轉。

あはぶす　(……)名。　吸ヒ出シノ膏藥。

あはひ　(第二オ、第三イ)(金平)名。　あふひ(葵)ト同シコトバ。

あま　(第一上)名。(天)　あめ(天)ノ轉訛。—「あまノ川」。

あま　(……)名。(雨)　あめ(雨)ノ轉訛。必ズ熟語トシテ他ノ語ノウヘニツク。

△あま　(第一上)名。(海)　海ノ一名。—「あまノ原」。

あま　(……)名。(海人—蜑)　海デ魚又ハ貝ナドヲ取ルモノ。—レフシ。—アマビト。

あま　(……)名。(尼)(語原ハ朝鮮トモ、印度トモイフ。但シさんすくりつ「ニハあまニヌダ「メシッカヒ」ノ義ガアルバカリ、他ニ似ヨリハナイ)　(一)ビクニ。(二)(阿魔)



▲婦人ヲノノシッテ呼ブコトバ(尼トシテイヤシメル義)

あま　(……)名。(亜麻)　草ノ名。莖ハ三四尺ニ亞ル。葉ハ柳ニ似テ夏ノ初メウスクレナ非ノ花ガ咲ク。實ノナカニ五六十ノツブガアリ、取ッテ搾ニシ、又シボッテ油ヲトル。皮ヲヨレバ絲トナル、ソノ絲ヲ亞麻布ニ織ル。—ヌメゴマ。

▲あま　(……)風。　ニクミ、ウラミナドノ時ニ發スル聲。—三世相錦繪文章、「此上ハ兄御ガあまサカサマナ事イハウト」。

▲あまあ　(第二上)名。　岩手邊ノ方言、祖父ノ義。

△あま・あかな　(第四上)名。(甘赤菜)　草ノ名。野ゼリノ一名。—和名抄「阿末阿加奈」。

あま・あがり　(第四ガ)(第三上)名。(雨上り)　雨ノアガッタアト。又ハ雨ノアガッタグアヒ。

▲あまい　(第二上)名。(甘い)　アマサケノ一名。

●あまイ　(金平)形。(……)　あまちノ近體。

あま・あし　(第四上)名。(雨足—雨脚)　雨ノサモフリサウニナルヤウス。—又ハ雨ノ降ルヤウス。—「雨あしガサガル」。—「雨あしガオソイ」。

▲あまい・たれル　(金平)自動、二。　あまえたれるノ轉訛。

あま・いぬ　(……)名。　こまいぬ參考。

△あま・いけ・ばな　(第四上)名。(雨承け鼻)　上ヲムイタ鼻。—シシッパナ。

あまえ・たル　(金平)自動、下二。(甘えたる)　アマエル。—アマエ。

●あまえ・たれル　(……)自動、二。(……)　あまえたるノ轉訛。

●あまえル　(……)自動、二。　あまあまノ轉訛。

++あま・かさへ　(第五エ)(第三上)名。(雨押へ)　板ヤイナ其ノ上ニ冠ラセテ雨ヲフセグホソ長イ板。—カザキ。

あま・かち　(金平)名。(雨落ち)　アマダレヲ落ス處。—アマダレオチ。—淺井了意、東海道名所記、「門口ニ待チテあまかちノ沙ニッエッキノ乃ノ字ヲカキテ居ルモア

++あま・かぶ　(第四オ、第五イ)(第三上)名。(雨覆ひ)　雨ヲヨケル爲メニモノヲ覆フモノ。—アマヨケ。—輕衫、用鈴箱「石像ヲ落ス處。—「

まかつハ、イクソノ人ノフボヲミル譬ナリ。
江家次第立太子ノ條ニ、阿末加津また比比奈ノ名出デタリ。ヒヒナハ雛ノ義ニテ、小キ物ヲイフ、是マタ小キ人カタナリ。あからこトハ赤裸ノ體ヲイフニヤ。
「薩州府志ニ、『天兒一尺余、竹筒上以白絹造偶人貢、建之於尺餘竹筒頭。又別以尺計竹筒横首下、是爲肩以置小兒之枕頭云云』。これ城殿ノ製造ナリ。和訓栞、城殿ニテ造ルハ老女ノ面ヲ造ル、肩ト胴トニ竹筒ヲコメテ、内ニ體身符ヲ入ルナリ。禁裏ノ御膳ニあまがつヲスウル事、日中行事ニ見エタリトイヘリ（薩州府志、「城殿其家之稱號駒井氏也、相傳元三韓之投化人而始住近江東坂本邀駒井、自茲終爲氏云云。安齋云、今モ城殿和泉トテ京ニアリ婦人假粧ノ具、屏ノ類花美ナル物ヲ作ル」。職人盡歌合壁紙寶、「ワスレメヤきどのニソムル壁紙云云」）。
「ばふこ、伽婢子トモイフ。母子ノ義ニテあまがつト同ジ類ノ物ナリ。伊勢守產所記（貞陰）あまがつ一ツははこノ事ナリ。大ツ二ツ三ツノ子ホドニアルベシ。御トギノ大箱ナルベシトミユ。コレ天兒ははこヲ一物トス。造リヤウ少シツツカハリテ、又ははこトイフ名モ出來ケル。オナジク偶人ナレド殊ニ小キヲ比比奈トイフ。今三月ニ雛祭トイフ事スルハ上巳被除ノ義ヲトレリ。文德實錄ニ、嵯峨天皇大后塩云云先是民間訛言今茲三日不可造鮓以無母子也識者聞而惡之至于三月宮車晏駕是月亦有大后山陵之事無其母子邊如訛言（三代實錄曰、田野有草俗名母子草二月始生莖葉白脆三月三日婦女採之蒸搗爲鮓偶爲歲事）コレハ漢名鼠麴トイフ草ナリ。今ハ專ラ蕗ヲ用ウレドモ、コノ日草餅作ルコトイト古リガタシトアリ。母子ノコト此日ニヨシアリ。伽婢子トイフハ彼ヲイヤシメタル名ナリ。其モトノ母子ノ義ニカナハズ。伽狗ナドヨリ移リテ、後人ノ呼訛レルニコソ。（天兒ハ尊ク、はふこハイヤシトスルモ後人ノ說ナリ）寬永發句帳野ニ「アンブ人ノォ伽カはふこ草家次」。マタ丁意ガ作ニ「伽婢子」「狗張子」トイフ冊子アリ。此作者丁意ハ洛陽本性寺ノ僧ナリ。東海道名所記ナドノ作者ノ筆ト異ナリ。淺井了意松雲トモ云ヘルハ本性寺ノ了意、如儡子、又飄水子トモ云ヒシモノトハ同名異人ナルベシ）。諸艶大鑑「ヨメ入リノ處ニ奉公雛」ト書ケリ（醒齋云、オボコトイヘルコトハはうこノ略ナリ。サレド、モトハはは

△あまかん（…）名。（全平）名。〔甘木〕　アマカワ。
あまぎ（全平）名。〔甘草〕　甘草ノ古言。—アマクサ。—和名抄「阿萬木」。
あまぎさ（第三ギ）（第二上）名。〔雨着〕　スベテ雨ヲ防グタメノ衣物。カッパノ類。—アマシヤウヅク。—アマギヌ。
あまぎぬ（…）（第二上）名。〔雨衣〕　あまぎく古言。—和名抄「阿萬岐沼」。
△あまぎらス（…）（第三上）自動、四段。　あまぎる。
あまぎらフ（…、第五ウ）（第三上）自動、四段。　アマギル。
あまぎり（…）（第二上）名。〔雨霧〕　雨ノ霧。
あまぎル（…）（第三上）自動、四段。　ソラガクモルコト。—アマギラフ。—アマギラス。—古今集「梅ノ花ソレトモ見エズ久方ノあまぎる雲ノナベテフレレバ」。
あまぎる（第三ク）（第二上）名。〔雨具〕　雨天ニ出ルトキ身ニトリ裝フカッパ、下駄、靴、傘ナド。凡ベテアマヨソホヒノ道具。
△あまくさ（全平）名。〔甘草〕　（一）草ノ名。（二）草ノ名。ツルアマチャ。
あまくさ（第四上）名。〔天草瓜〕　上品ナ瓜。肥後ノ國天草アタリカラ出ル。
△あまくだす（…）（第一上）他動、四段。〔天降す〕　天カラクダス。
あまくだル（…）又第三上）自動、四段。〔…る〕　天カラ降ル。
●あまくち（全平）名。〔甘口—甘言〕　（一）ウマイ口前。—人ノ心ニカナフヤウナコトバ。（二）カルガルシイ辯舌。—容易ナクチマヘ。
△あまくちぬすみ（第五上）名。〔甘口鼠〕〔嚙ハマクラ〕ナイ故ノ名トイフ〕



雲ニトリナシタリ。次ノ句ハ表裏ニテ、赤雲ヲ紅葉ニ見シトイヘリ。藤枝集（延寶二年刻）、阿波國興行、「紅葉トモ見ン里ノ海土天が紅……撰者、雛舟」。隱蓑集（延寶五）「あまぎが紅粉ノ末ソム花カメタナバタ……似船」。如此あま（天）アルヒハ國字ニ書キテ、昔ハ赤雲ニ尼ノ字ヲ書キタルハ見エズ。混ジ誤リシハ延寶ノ末ナルベシ。
俳諧住吉物語（寬流撰、元祿年間刻）「山フカミ尼ガ紅サス龍田雲……重仲」。昔ノ例ニナラハバ、此句天ノ字ヲカクベシ。是ノミナラズ近クハオシナベテ尼ノ字ニツクレリ。又京橋中橋おまんがべにトイフハ、江戸中橋ニお滿稻荷トテ、紅粉ヲ備ヘ願ゴメスル社今ニ在リ、享保ノ頃奇特ノ事アリテ、參詣群集シタル刻ノ童謠ナリトテ、是モ又天ノ紅ニ混シ、赤雲ヲ見ヤリテ手拍ツラウタフ童今モアリ。
あまが・がべる（…、第四エ）（第三上）名。〔雨蛙〕—〔雨蛤〕。　蟲ノ名。カヘルノ一種。色ハウスミドリ、又ハ茶色デ形ハ小ツク、指ノハシニ空氣ヲフクム黑イ玉ガアル。此玉デ體ヲササヘ、ヨク木ノ上ナドヘ登ル。雨ノフル前ニハ必ラズ鳴ク、故ニコレデ晴雨ヲ占ナフト云フ。—アマゴヒヒキ。—アマビキ。—アヲヒキ。
△あまがは（第三オ）（全平）名。〔尼顏〕〔尼ハ顏ヲヨソホハヌ故デイフカ？〕　ヨソホハヌ顏。—スガホ。
●あまがル（第三ガ）（全平）自動、四段。〔甘がる〕　アマク思フ。—アマイト思フ。
あまかわ（…）名。〔亞瑪港〕〔支那ノ澳門（今ノまかわ、即チあまかわ）カラ始メテ日本ヘ現品ヲ齎シテカラノ名〕　上等ノ珊瑚。—アマカン。—アマカヴ。

あまが・べに（第三ガ）（第一上、第四上）名。〔天紅〕　コレニ就イテハ用捨箱ノ解ガコトニクハシク、ソレ故全文ヲ次ギニ引ク、—「夕陽ノカガヤク赤雲ヲあまが・べにトイフハ天ノ紅ナリ。又一種女僧ノ尼ノ字ヲ書クベキアリ、是ハ今絕タル童話アリテ、童謠ニモウタヒシヤウニオモハル。今ココロミニ其童話ヲ作リテイハバ、昔一人ノ尼アリ、他所ニ隱シ夫ヲ持シガ、アル時頻ベニカイツケテ粧ヒ、彼隱シ夫ヲ待チシヲ、尼ノ父母ニ告ル者アリ、親オドロキテ尼ヲ叱リ懲ラシ、トイフ程ノ事ナリシナルベシ。節用集大全（延寶八年印本）阿行「紅尼粉 俗呼赤色之雲曰尼紅粉」トアリ。尼ノ字ヲ書キシハ彼童謠ニ混ジタルノ誤リナリ。—鷹筑波集（寬永十五年刻西武撰）「親ニシカラレ迷惑ヤスル、尼ガは（頬）ニツケタル、ベニヲカイヌグヒ……日能」。—崑山集（慶安四）六ノ卷「ハナ（眞花）マデモ紅粉ヲツケタカアマ（尼甘）柘榴……重吉」。同七ノ卷「尼ガ紅ツケテ稻妻待ツ夜カナ……道清」。道清ノ句ハ天ガ紅ナレドモ、彼頻ベニノ事ニトリナシタル故、尼ノ字ヲ書キシコト必セリ。慶安ノ頃マデハコノ童話ノアリシ證トスベシ。前ニイヒシ如ク、踊リ小歌ノ安宅ハ何ニヨリテ綴リタル歟「尼がべにツケテ、トトヤカカニイハウヨ。イフタラ大事カ、ソッテクリョ。坊主、坊主、大坊主」トアルベ、此事ヲイヒシ古キ童謠ナル事明ナリ。必ラズ出所アルベクレド未考。以下ハ童話ニカカハラザル赤雲ノ句ナリ。「—玉海集（明暦）」「下紅葉空ニウヅスヤ天ガ紅粉……朝慶」、「—新續犬筑波集（萬治）」「紅葉セシ尾上ガタケヤあまが・べに……重明」。紅葉ヲ赤

○あま・ぐも（第三グ）（第三上）名。〔天雲〕　天ノ雲。
あま・ぐも・の（…）（第二上）枕。〔…の〕　ゆたふ、ゆく、よど、わかるナドニ掛カル枕詞。—「あまぐものヨソニモ人ノナリユクカ」。
あま・け（第三上）名。〔雨氣〕　雨ノ降リサウナコト。—雨ヲ催フスソラ合ヒ。
あま・け（全平）名。〔甘氣〕　アマクアル樣子。—アマミ。—アマサ。—「あまけノ多イ菓子」。
あま・ご（第三ゴ）（全平）名。〔甘子〕　魚ノ名。イハナノ類。長サハ七八寸、味ヒモイハナニ似タモノ。
△あま・ことうた（第四上）名。〔餘言歌〕　和歌ノ結句ニ、又別ノ詞ヲツケタ一種ノ歌。—古事記「あまことうた」。
あま・こ・とり・の・こ（第一上、又第四上）名。〔天子鳥の子〕　鳥ノ子紙ノ一種。攝津ノ國名塩和泉ノ國湊村アタリカラ出ル。カヒガラノ粉、砂ナドガマヂルタメ目方ガ重ク、裂ケヤスイモノ。
++あま・ごひ（第三ゴ、第四イ）（第二上）名。〔雨乞ひ—（雪）〕　ヒデリノトキ、神ナドニ雨ノ降ルノヲ祈ルコト。
++あま・ごもり（第三ゴ）（第三上）名。〔雨籠もり〕雨ニ妨ゲラレテ家ニ籠モルコト。—アマヅツミ。
あま・ごもり（…）（…）枕。〔…〕〔笠ノ緣カラ〕みかさト云フ詞ニ掛カル枕詞。
△あま・ごろも（…）（…）名。〔天衣〕　天人ノキル衣。
あま・ごろも（…）（…）名。〔尼衣〕　尼ノキル衣。

△あまごろも　((……)(……)名。〔雨衣〕　雨ノ時キル着物。—アマギヌ。

△あまごろも　((……)(……)名。〔海人衣〕　海人ノキル着物。

あまごろも　((……)(……)枕〔雨ノ縁カラ〕

みのト云フ詞ニ掛カル枕詞。—古今集「難波潟潮ミチクラシあまごろも田鶴ノ島ニ田鶴ナキワタル」。

あまさ　(全平)名。〔甘さ〕　アマクアル度合ヒ。

○あまさうかく　((第三ン)(第三上)名。〔雨裝束〕アマヨケカク。

○あまざかる　(第一上)枕。〔天離る〕　ひなト云フ詞ニ掛カル枕詞。〔遠方ハ天ガサガリ。遠クナル體ニ見エル處デ、ひなハ又都カラハルカノ遠クニアル處カラ始マル〕

あまさざき　((第四キ)(全平)名。〔尼鷺〕　常ノ鷺ヨリモ小サク、頭ハ褐色デ後ニハ白クナル一種ノ鷺〔頭ノ白クナル體ガ尼ノカブリモノナドニ似タ故ノ名カ？〕

あまさけ　(全平)名。〔甘酒—醴〕　ウルチ米ノ飯ニ麹ヲ入レ、熟シテ搾ヘタ甘イ酒。—コザケ。—ヒトヨザケ。

△あまさはり　((第四ソ)(第三上)名。〔雨障り〕雨ノサマタゲ。

あまさへ　((第四エ)(第一上)副。〔剰〕　あまつさへノ略。

あまさらし　(第三上)名。〔雨曝し〕　スベテ、雨ニサラスコト。—雨ノアタルママニシテ置クコト。—〔あまざらしノ金ノシャチホコ〕。

あまし　(全平)形。〔甘し〕　(一)砂糖ヤ飴ナドノ味ヒガアル。(二)鹽ケガ薄イ。—〔あまい茶ワンモリ〕。(三)スルドクナイ(刀ナド)—〔あまいキレアヂ〕。(四)シツカリトシナイ。—〔栓ガあまい〕。(五)嚴重デナイ。—〔心ガあまい〕。(六)人ノ氣ニイリヤスイ。—〔口ガあまい〕。

△あまじし　((……)名。〔海人衣〕　海人ノキル着物。

△あまじし　((第三上)名。〔餘肉〕〔あまり(餘)しし(肉)ノ義〕　コブ、イボナド殆ンド身ノアマリノヤウニ思ハレル肉。—コクミ。—和名抄「瘤肉、阿萬之之」。

あまじたく　(第三上)名。〔雨支度〕　雨天ニ出ルトキノシタク。—アマヨソヒ。—アマヨリホヒ。

△あまじたり　((……)名。〔雨滴り〕〔あま(雨)したり(滴)ノ義カ？〕　アマダレ。—アマダリ。—和名抄「霤、阿萬之太利」。

あまじは　((第四オ)(全平)名。〔淡鹽〕　肉ナド輕ク鹽漬ニシタモノ。凡テ鹽氣ノ薄イコト。—〔あまじはノサンマ〕。

あまじめり　(第三上)名。〔雨濕り〕　雨ニカカツテ物ガシメルコト。—ナガ雨ノ頃物ニ濕氣ガ來ルコト。

△あまじゃう・じ　((第三四合、第四ヨ)(第三上)名。〔障子〕　アブラシヤウジ。四上名。(……障子)(……)(……裝束)

あまじゃうぞく　アマサウゾク。

○あまス　(第二上)他動、四段。〔餘す〕　アマルヤウニスル。—殘ス。

△あまさせ　(第二上)名。〔尼前〕〔尼御前ノ略〕尼ヲウヤマツテ呼ブ詞。

△あまそぎ　(全平)名。〔尼薙ぎ〕　(第四ギ)(全平)名。〔尼薙ぎ〕女ガ佛門ニ入ツテ髮ヲオロスコト。

△あまそそぎ　((……)(第三上)名。〔雨注ぎ〕雨ノシヅク。—俊成「アヅマヤノマヤノアマソデカナ」。

△あまそそぎ　アマリナルマデヌルル

△あまそそル　(第一上)自動、四段。〔あま(天)ス(摩)ノ義カ？〕　空ヘトドク(山ナド)

○あまた　(第一上)副。〔許多—數多〕　數多ク。—澤山ニ。—タント。—ドッサリ。—少ナクナク。

△あまたかへり　((第五エ)(第一上)副。〔……返り〕　幾度モ。—幾遍モ。

○あまたたび　(第一上)副。〔……度〕　タビタビ。—幾タビモ。—アマタカヘリ。—シバシバ。—イクドモ。

○あまたどころ　(第一上)名。〔……處〕　澤山ノ所。

あまたひ　((第四イ)(全平)名。〔甘鯛〕〔味カラックタ名カ？〕　鯛ノ類。イトヨリ鯛ニ似、頭ハ四角ニホンク、目ノ上ガ高ク、身ハ淺赤ク。大キサハ五六寸カラ一尺計リ。肉ハ白ク柔ラカク、テリ燒ナドニシテウマイモノ。—クツナ。

△あまたむ　(第一上)自動、四段〔あま(天)とぶ(飛)ノ義〕　空飛ブ。

あまたらス　(第一上)他動、四段。〔餘足らす〕　タクサンニアル。

△あまたり　(全平)名。〔雨滴り〕　アマジタリ。—アマダレ。

●あまたるイ　(全平)形。　あまたるしノ近體。

あまたるさ　(……)名　アマタルクアル度合ヒ。

○あまたるシ　(……)形。〔甘弛し〕　アマイ。—アマミガ舌ニナヅムヤウデアル。—〔あまたるキ栗ノキントン〕。

◎言海ナドニハ之ヲ解シテ「アマキ味ヒ程ニ過グ」トシテアルモノノ、實際今日ノ意味デハ必ズシモ程過ギズトモあまたるるし」ト云フ詞ヲツカフ。

あまたれ　(……)名。〔雨滴れ〕　軒ナドカラシタタルアマ水。—アマダリ。—アマシタリ。—ノキノ玉水。



あまだれたち　(……)名。〔……落ち〕　アマダレヲ落トストコロ。—アマオチ。

あまぢ　(第二上)名。〔天路—ぢハやまぢ(山路)ナドノぢ〕　オホソラ。

あまちや　((第三四合)(全平)名。〔甘茶〕(一)木ノ名、即チきのあまちや。(二)木あまちやノ葉ヤ葉ヲモンデ、アクヲ取リ、其アトヲ煎ジタモノ。此茶ニ入レテカンザウヲ煎ジタノヲ四月八日ノ釋迦ノ誕生日ニツカフ。(三)草ノ名、ツルアマチャノ一名。

あまちやづる　(……)(第五上)名。〔……蔓〕　ツルアマ茶。

あまつ・かぜ　(第三上)名。〔天津風〕　ソラノ風。

○あまつ・かみ　(全平)名。〔……神〕　天ニ居ルトイフ神。

あまつ・きつね　(第四上)名。〔……狗—天狗〕　昔現ハレタト云フ怪ヤシイ星ノ名。—日本紀「大星從東流西便有音似雷……是天狗也」。

○あまつ・くに　(第一上)名。〔……國〕　日ノ神ノ居ラレルトイフ國。

あまつづけ　(全平)名。〔甘漬け〕　(一)アマク漬ケタモノ。—アマイ汁ニ漬ケタ食物。(二)シホケヲウスク漬ケタモノ。

あまつ・さへ　(第一上)副。〔剰〕〔あまりて(餘)さへノ義〕　必用ヨリ餘分ニ。—其上ニ。—アマサヘ。—アマリサヘ。

○あまつ・しるし　(……)名。〔天津證〕　天上界ノモノトイフ確カナ證據。

○あまつ・そら　(……)名。〔……空〕　(一)天。—ソラ。(二)轉シテ「朝廷」。—禁裏。

△あまつづたフ　((第五ウ))(第三上)他動、四段。〔天傳ふ〕　空ヲツタフ(雪ナド)—〔あまづたひフルシラユキ〕。

○あまつづたフ　(第三上)枕。〔前條ノ義カラ轉シテ〕　日ト云フ詞ニカカル枕詞。—萬葉集「印南野ハ行キスギヌラシ、あまづたふ日ガサノウラニ浪タテル見ユ」。

○あまつ・つみ　(第一上)名。〔天津罪〕　天上デ犯シタ罪。—延喜、祝詞式「天津罪止法別氣氏」。

○あまつ・づつみ　(第三上)名。〔雨包み〕　アマゴモリ。—雨ニササヘラレル事。

あまつ・つばめ　(第三上)名。〔雨燕〕　(一)鳥ノ名。形ハアマドリヨリ大キク、翼ハ赤ク、足ハ小サク、體ハ黑ク、雨ノ降ルトキ空ニ飛ンデ虫ヲトル所カラ名ガ付ク。(二)又、鳥ノ名。アマドリ。

○あまつ・ひつぎ　(第六ギ)第一上)名。〔天津日嗣〕　天皇ノ御位。—古事記「あまつひつぎしロシメサム」。

○あまつ・びと　(第三上)名。〔……人〕　アメビト。

○あまつ・ひもろぎ　((第七ギ)(第一上)名。〔……神籬〕　ダダノひもろぎト同ジ語。

○あまつ・ひれ　(……)名。〔……頸巾〕　天津乙女ガ着ルヒレ。—万葉集「秋風ノフキタダヨハス白雲ハタナバタツメノあまつひれカモ」。

△あまつ・ほし　(……)名。〔……星〕　空ノ星。

△あまつ・みづ　(……)名。〔……水〕　雨。

○あまつ・みづ　(……)枕。〔……〕　あふぐまつナドニ掛カル枕詞。

△あまつ・みやごと　(……)名。〔……宮事〕　スベテ、天上ノ宮デ行フコト。

△あまつ・め　(……)名。〔……女〕　アマツヲトメ。

△あまつ・やしろ　(……)(第四上)名。〔……社〕　天津神ヲ祭ルヤシロ。

あまづら　(第二上)名。〔甘葛—千歳藥〕〔あま(甘)つづら(蔓)ノ義〕　(一)ツル草ノ名。多ク深山ニ生ヘル。ヨク他ノ木ニマトヒツク。葉ハイビツデ鋸齒ガアリ、花ハ細カクテ白ク、昔ハ此蔓カラ汁ヲ取ツテ砂糖ノ無イ時代ハ食物ニ砂糖ノ代用トシテアマミヲ付ケタモノ。葉ヲ煎ジ出セバアマ茶トナル。—ツルアマチャ。—アマヅケカヅラ。—アマチャヅル。—アマチャ。—和名抄「阿末都良」。(二)あまづらヲ煎ジタ汁。—延喜主計式「甘葛煎訓アマヅラ」。

○あまつ・をとめ　(第一上)名。〔天津乙女〕(一)天人。—テンニョ。—センニョ。—アマツメ。—アマヲトメ。(二)五節ノ舞ヒヲ舞フ女。

あまでら　(第二上)名。〔尼寺〕　尼バカリ住ム寺。

○あまてらス　(第一上)自動、四段。〔天照らす〕(一)ソラニ照リワタル。—〔あまてらすヒルメノミコト〕。(二)天下ヲテラサメル。—〔あまてらしヲサメ、キコシメス〕。

○あまてル　(第一上)自動、四段。〔……る〕　前ト同ジ義ノ語。—新古今集「ヌレテホス玉グシノ葉ノ露霜ニあまてる光リイクヨ經ヌラン」。

あまと　(第二上)名。〔雨戸〕　家家ノグルリ又ハ出入リノ口ニ雨又ハ風ヲ防グ爲メ或ハ夜ノイマシメニシメル戸。—〔あまどモ早クアクル日ノ」。

△あまどうふく　(第三上)名。〔雨胴服〕　ムカシ雨ノ時著タ羽織。—アマバオリ。

○あまとぶ・や　(第一上)枕。〔天飛ぶや〕〔あまとぶ(天飛)かり(雁)ノ縁カラ〕　かるニ掛カル枕詞。

あまところ　(第三上)名。〔甘野老〕　多ク

山ニ生ヘル草ノ名。莖ニミツカドガアリ、節ハ鐵色、根ハ紫色、葉ノ形ハ長キノアルイヒツ、細イタラスヂヲ有チ、質ハ丈夫デ、幾分カナギノ葉ニ似タモノ。花ヤ實ハ鴨子百合ニ似、根ハ横カラ横ト次第ニ這フ。味ハ甚ダ甘ク食用ニモナル。═ヱミクサ。═アマナ。

あまどり　(第二上)名。〔雨鳥〕　燕ニ似テ粕ヤ大キク、腹ハ黄イロデ、雨ノ降ルトキ群ツテ飛ブ。═オホツバメ。═アマツバメ。

あまな　(全平)名。〔甘菜〕　(一)△味ノ辛クナイ菜ノ物名。〔芹ナドニ對シテあまなト云フ〕　(二)草ノ名。葉ノ形ハ水仙ト同ジク高サ四五寸ヨリ大キクハ育タズ、花ハ六瓣デ白ク、ママウス紅黄ナドモアリ、根モ殆ンド水仙ニ似タモノ。═トウロウバナ。═マツバユリ。═ナンキンズ井セン。

(三)アマドコロ。

▲あまな　(全平)名。　あまなつとうノ略。

△あまなフ　((第四ウ))(第三上)自動、四段。〔甘なふ〕〔あまな〔甘〕ヲハタラカセタコトバ〕承知スル。═アマンズル。═心ニカナツイイト思フ。

△あまなフ　((…))(第三上)他動、下二。〔…〕交際ヲヨクサセル。═和睦サセル。═雙方ノ心ニ叶ハサセル。

あまなつとう　((第四遍))(第三上)名。〔…納豆〕　ユデアツキヲ砂糖デ煮ツメ、白砂糖ヲマブシタモノ。茶菓子ノ一種。

○あまね・き　(第二上)名。〔遍き〕　アマネクアル度合ヒ。

○あまねシ　(第三上)形。〔…し〕　イタリ屆ク。═行キワタル。

△あまね・はス　((第四ウ))(第三上)他動、四段。〔…はす〕〔あまねしヲ働カセタモノ〕　アマネクスル。═行キワタラセル。

あまの・いはと　((第五ウ))(第一上)名。〔天の岩戸〕　あめのいはやどト同ジモノ。

あまの・うきはし　(…)名。〔…浮橋〕　古傳ノ語。神代ニ天地ニ掛カツテ日本ノ古傳ノ語。神代ニ天地ニ掛カツテ居タト云フ橋。═アマハシ。

あまの・れもて　(…)名。　樂曲ノ案摩ノ面ノヤウナ。═班ノアル矢羽。

あまの・さかで　(…)名。〔…逆手〕　土古物ヲマジナフ時ニ打ツタ拍手ノ名。═古事記「天逆手矣於青柴垣打成而」═定案オノレノミあまのさかでヲウツダヘニ降リ布ク木ノ葉アトダニモ無シ」

あまの・さかほこ　(…)名。〔…逆鉾〕　神代ノ鉾。

あまの・ざけ　(第三上)名。〔天野酒〕　河内ノ國、天野邊カラ造リ出ス酒。

あまの・ざこ　(第三上)名。〔天邪鬼〕〔天探女(アマノサグメ)ノ轉訛〕　(一)ワザワザ人ノ云フコトヲ聞カズ、カタイヂヲ張ルモノ。═アマノジャク。═イヂワル。　(二)(轉ジテ)。═(釣鬼)。

あまの・さよはし　古傳ニイフ橋ノ名。あまのがは ニ掛ケテアリ、七夕ニ二星ガワタルトシ絶エバコソワタリモスラメ七夕ツメハ」

あまの・じやく　((第四五合))(第三上)名。〔天の邪鬼〕　あまのぢこト同ジモノ。

あまの・じやこ　(…)名。(…)。═(釣鬼)。蟲ノ名。地ノ表面ニ身ノ入ルダケ位ノ穴ヲ掘ツテ其處ニ住ム。トボシ油ヲ燈心ニ付ケテ押シ込メバ其性質ガ油ヲ好ム爲メニソレニ喰ヒ付キ、ソレト共ニツリ出サレル。長サハ一寸バカリ。色ハ玉子色デ首ノ邊ハ稍ヤ鳶色ヲ帶ビ、形ハ百足ノ類ヒニ似テ、脊中ハ少シ高イモノ。═ヂムシ。═ニフダフムシ。

△あまの・すてぐさ　((第六ク))(第一上)名。〔海人の捨て草〕　海人ガ藻ヲ燒イタ後ノ灰、又ハゴミアクタ。(ステ草ト云フ所カラテハテルト云フ意味デ主ニ歌ナドニツカフ)。

△あまの・ちだり　(第一及第四上)名。〔天の血垂り〕　神代ニ云フ屋根ノ上ノケムダシ。═アマノミス。

あまの・はごろも　(第一上)名。〔…羽衣〕　(一)神ノ服。═アマノハモ。　(二)天人ノ服。　(三)天皇ガ祭ゴトノ前ニ湯デ御身ヲキヨメラレル時ニ召ス御服。

△あまの・はぶき　(第四上)名。〔…羽鞴〕　神代ノフイゴ。

△あまの・はも　(…)名。〔…羽裳〕　アマノハゴロモ。

△あまの・はら　(全平)名。〔…原〕〔廣イ所カラ原ニ見タテテ〕　ソラ。

○あまの・はら　(…)名。〔…〕　富士ニカカル枕詞。

△あまの・まなこ　(第一及第四上)名。〔…眼〕　天ノ照覽。

△あまの・みす　(第一上)名。〔…御巢〕　あまのちだりトオナジモノ。

△あまの・ひらぎみ　((第六キ))(第一及第五上)名。〔…村君〕　神代デ、百性ノヲサ(長)ノトナヘ。

△あまの・よさづら　(…)名。〔天の吉葛〕〔よし〔吉〕つづら(葛)ノ義〕　神代ノヒサゴ。═アマノヨツヅラ。



△あまの・よそづら　(…)名。〔…〕　アマノヨツヅラ。

あまの・のり　(第二上)名。〔甘海苔〕〔苦味ノ無イ海苔ノ義〕　海苔ノ一種。アサクサノリトモ云フ。冬ノ頃近海ノ石、ソダナドニ附ク。生ナノハ黑ズンダ綠色デ、乾セバ紫色ニ近ヅク。全ク綠色ナノハ青海苔ト云ツテ味モヨクナイ。═ムラサキノリ。═アサクサノリ。

あまの・ばれり　(第三上)名。〔雨羽織〕　タシカナ拵ヘ方ハ知レヌ。昔シ雨ノ時上着ノ上ニ着タ胴服。═アマドウフク。

あまの・ばかま　(…)名。〔…袴〕　アブラヲ引イタハカマ。雨中ニ用ヰルモノ。

あまの・はし　(第二上)名。〔天橋〕　アメノウキハシ。

△あまの・はせ・づかひ　((第七イ))(第五上)名。〔天馳せ使ひ〕　早ク行クツカヒ。═ハヤビキヤク。

あまの・はだ　(全平)名。〔甘肌〕〔あまかははだ〔甘皮肌〕ノ義〕　檜ノ木ノ薄イ皮。船井戸ガハ、ヨケ杯ニツカヒ、水ノモレルノヲ防グモノ。═マイハダ。

あまの・ばたい・し　(第四上)名。〔雨畑石〕　石ノ名。アメバタイシ。

△あまの・はり　(…)名。〔雨晴り〕　あまはれトオナジ語。

△あまの・はれ　(全平)名。〔…れ〕　空ノ晴レルコト。

あまの・びこ　(第二上)名。〔天彦〕　物音ナドガ空ニ響イテ、反響ニナツテ來ルモノ(山彦ノ對)。

△あまの・びこ　(…)名。〔雨彦〕〔雨ヲ好ム所カラ云フ名〕　蟲ノ名。やすでノ一名。

○あまびと・の　(…)枕。〔天彦の〕　れと(音)ト云フ語ニ掛カル枕詞。

△あまの・びたひ　((第五イ))(第三上)名。〔尼額〕　切リ下ゲタ尼ノ額。

△あまの・びと　(第二上)名。〔海人人〕　タダノあま(海人)ト同ジ語。

△あまの・びと　(…)名。〔天人〕　天人。═天女。═天津乙女。═源氏、「イニシヘあまびとノカケリテ」。

△あまフ　((第三ウ))(…)他動、下二。〔あがなふ〔贖〕ノ轉トイフ。或ハあまふ(甘)カ?〕　ワビル。═アヤマル。═謝罪スル。

あまの・ぶね　(…)名。〔海人船〕　魚ヲトル船。═イサリ船。═アマブネ。

あまの・ぼうし　(第三上)名。　あまはふしノ轉訛。同義。

あまの・ぼし　(全平)名。〔甘干し〕　(一)スベテ輕ク干シタモノ(コロガキナド)。(二)(轉シテ)スコシ干シタ柿ノ實。═コロガキ。

あまの・ま　(第二上)名。〔雨間〕　(一)雨ノ降ツテ居ル時。═萬葉集「卯ノ花ノスギバ惜シムカ、ホトトギス、あまのまもオカズコヱナキワタル」。　(二)雨ノヤンダ間。═新古今集、「櫻チル春ノ末ニハナリニケリあまのまもの知ラヌナガメセシマニ」。

あまの・み　(全平)名。〔甘味〕　甘イアヂハヒ。

あまの・みづ　(第二上)名。〔雨水〕　降リクダツテ、ソコラヘ溜マツタ雨ノ量。

あまの・も　(全平)名。〔甘藻〕　蒿蒲ニ似タ葉ノ海草ノ名。生ナノハ幹ヲコヤシニツカヒ、乾シテ草履ヲ編ム。═モシホグサ。═スゲモ。═ハマユフ。═モハ。═リユウグウノヨトヒメノモトユヒノキリハヅシ。

あまもの　(…)名。〔…物〕　スベテ甘イ味ノアル物。═西鶴、若風俗スリ殺、あまものニラ人間ソダチタルタメシアマタアリ」。

++あまの・もり　(第二上)名。〔雨漏り〕　屋根ナドカラ雨ノ漏ルコト。

△あまの・や　(全平)名。〔尼屋〕　尼ノ井ルトコロ。

++あまの・やかし　(…)名。〔甘やかし〕〔あまゆヲ働カセタモノ〕　アマヤカスコト。═近松、釋迦如來誕生會「ソノあまやかしガ毒ニナル」。

あまの・やかス　(…)他動、四段。〔…〕　アマエタレルヤウニスル。

++あまの・やどり　(第三上)名。〔雨宿り〕　雨ノハレルマデ、暫時宿ヲ取ツテ休ムコト。═カサヤドリ。═西鶴、若風俗「若衆ノヒゲ拔ク手元ト。シラヌアゲヤノカドデあまやどりヲスルト」。

あまの・やみ　(全平)名。〔雨欲み〕　雨ノ降リヤムコト。

あまユ　(…)自動、下二。〔甘える〕〔あまユ〔甘〕ヲ働カセタモノ〕　圖ニ乘ツテキマヲヌル。═ソバエル。═アマエタレル。═アイダル。

あまの・よ　(第二上)名。〔雨夜〕　雨ノ降ル晩。

あまの・よけ　(第四上)名。〔…避け〕　アマオホヒ。═雨ニヌレルノヲ避ケル爲メニ物ニカブセルモノ。

○あまの・よそひ　((第五イ))(第三上)名。〔…裝ひ〕　アマヲタク。

あまり　(第三上)根。〔餘り〕　程ヲ過ギルコト。═アンマリ。═新古今集「五月雨ハマヤノノキバノ雨ソソギ、あまりナル迄ヌルル袖カナ」。

あまり　(…)名。〔…〕　スベテ、餘ルコト。═アマリモノ。═ノコリモノ。═「あまりハモハヤ九ツ足ラズ」。

あまり（第一上）接尾。〔……〕數ノ詞ノ下ニ屬クコトバ。其外ニナホ數ノアルコトヲ示ス語＝マリ。「ミンヂあまり」「ヨソヂあまり」。

あまり（第三上）副。〔……〕程ヲ過ギテ。＝アンマリ。＝アマリニ。＝枕ノ草紙「サルマシキ人ノモトニあまりカシコマリタルモ」。

△あまりさへ（……）副。〔……さへ〕アマツサヘ。

あまりに（……）副。〔……に〕あまり（副）ト同ジ意味。

あまりもの（全平）名。〔……物〕殘リモノ。＝程ヨリハ多スギタモノ。

あまりより（（第三、四合））（第二上）名。〔雨龍＝（蟠龍）〕龍ノ類。角ハ無ク、尾ハ細ク赤ク、大抵トカゲノ大キイノヤウナ形ヲシタモノト云フ。

あまル（……）自動、四段。〔餘る〕（一）程ヨリハ多イ。＝程度ヨリハ過ギル。＝殘ル。（二）其分ニ相應セヌ。＝分外ニ多イ。＝源氏「身ニあまるマデノオンココロザシノコロヅニ忝キニ」。

○あまをとめ（第三上）名。〔海乙女〕乙女ノ海人。

○あまををとめ（……）名。〔天乙女〕天津乙女。

あまをぶね（……）名。〔海人小舟〕（一）○イサリブネ。（二）貝ノ名。アサリヨリ些シ厚ク、横筋ガアリ、色ハ内モ外モ白ク、緑ハ唐紅色ヲ含ム。紀州ナドニ多クアル。＝ヤサラ貝。＝サザラ貝。

○あまをぶね（……）枕。〔……〕湊ニはつ（泊）ルモノ故、スベテはつニカカル枕コトバ。

あまん（全平）名。〔餘ん〕あまりノ音便。＝河東節、神樂獅子「女ニあまんノ布アリ、男ニあまんノ栗アリ」。

あまんノ栗アリ」。

あまかは（（第三通、第五ヲ））（……）名。ノ轉訛。

●あまつ・かは（（……））（第一上）名。井ナカモソ。

▲あまつ・こ（（……））（全平）形。あまたるノ語。小サナ女ノ子。＝アマッチョ。

▲あまつ・たるイ（（……））（……）自動、二。あまたるいノ轉訛。

▲あまつ・ちよ（（……、第四、五合））第一上）名。女ノ子、或ハ女ヲヤヤ卑シメテ呼ブ俚語。

あまんズ（第二上）自動、さ變。〔（甘）んず〕マンヅクスル。

あみ（……）名。〔網〕絲又ハハリガネヲ斜ニアミ合セタモノ。魚ヤ鳥ヲ取リ、其他物ヲ包ムナド、色色ノ用ニナル。

◎天のあみ。＝〔天罟〕。◎あみノ目カラ手。＝〔凡テ物ノ澤山出ルコト〕。

あみ（……）名。（醬蝦）。鰕ノ類デ極メテ小サナモノ。食用ニナル。あみえびノ略。＝アミザコ。＝アミジャコ。

あみ・いた（第三上）名。〔編み板〕アンダ。＝和名抄「漁具、和名阿美以太」。

++あみ・うち（第四上）名。〔網打ち〕トアミ（投網）ヲウツ魚ヲ取ルコト、又ソノ人。

あみ・えび（第二上）名。〔醬蝦〕アミ。

あみ・がさ（（第三ガ））（第三上）名。〔編み笠〕（一）物ヲ編ンデ作ッタ笠。色色ノ材料カラ作ル。（二）闇草デアラク編ンダカブリ笠。形ハ丸ク平タク、柏餅ノヤウナ有リ様デ、昔多ク冠ッテ人目ナド忍ブ。

あみ・がさ・がひ（（……、第五ガ））（第四上）名。〔……貝〕アミガサニ似タ貝ノ名。色ハ黑イモノ。＝桔梗貝。

あみ・がさ・ぎさう（（第三ガ、第五ソ））（全平）名。〔……草〕草ノ名。野ニ生ヘルモノ。高サオホカタ一尺ヲ超エズ、アミガサノ様ナ穂ニ小サナ黄ナ花ガ咲ク。＝エノキサウ。

あみ・がさ・もち（（第三ガ））（第四上）名。〔……餅〕シンコヲ丸ク薄ク延バシ、中ニ餡ヲ入レ、二ツニ折ッタモノ。柏餅ト同ジスガタ。

あみ・がさ・ゆり（（……））（……）名。〔……百合〕草ノ名。春、早ク開ク百合。花ハアミガサニ似タ故ニ此名モ付ク。＝ハハクリ。＝ハツユリ。＝バイモ。

あみ・がひ（（……））（第二上）名。〔網貝〕紫色ノ貝ノ名。網ノヤウナ模様ガアル。稀レニハ白イノモアルト云フ。

あみ・ざこ（第三上）名。〔醬蝦雜魚〕あみえび同ジモノ。

●あみ・じやこ（第三、四上）名。〔……〕あみざこノ轉訛。

△あみス（全平）他動、下二。〔（浴）す〕あぶすト同ジコトバ。

++あみ・すき（……）名。〔網結き〕網ヲ作ルコト、又ソノ人。

あみ・すき・ばり（第五上）名。〔網結き針〕網ヲ作ルトキ用ヰル針。子供ガ行フ毛絲細工ノ針ノヤウナモノ。竹、木又ハ鯨デ作ル。＝アミバリ。＝アバリ。

あみ・そ（第二上）名。〔網苧〕網ヲ作ル材料ニスル麻ノ絲。

あみだ（全平）名。〔阿彌陀〕〔梵語、無量壽ノ義〕佛教ノ語、如來ノ名。（二）▲籤引キデ鑑ヲ出ス人ヲ定メルコト（オモニ、買ヒグヒナドニ）。

▲あみだ（……）名。〔……〕播磨國姫路邊ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

あみだ・がさ（（第四カ））（第四上）名。〔……笠〕貝ノ名。形ハヨメガサラニ似テ大キク、笠ノ形チニ似タモノ。



あみだ・だら（（第四ド））（第三上）名。〔……堂〕茶ノ湯ノトキニ用ヰル鑑ノ名。大閤秀吉ガ有馬ノ湯ニ浴シタ時、千ノ利休ガ隨ヒ、阿彌陀ノ前デ茶ヲ立テタ、ソノ時用ヰタ鑑ノカタチヲ後世デモ模造シテ此名ヲ付ケタモノ。

あみ・づな（全平）名。〔網綱〕網ノ縄。網ヲ引ク時ノ用ニ立ッモノ。＝アミナハ。

あみど（第二上）名。〔編み戸〕（一）竹又ハ木ヲ編ンデ作ッタ戸。＝貫之「イロキラス廻モハダレニ降リニケル、柴ノあみどヲアケテ見タレバ」。（二）かなあみどノ略。

あみ・なは（（第四ソ））（……）名。〔……縄〕アミツナ。

△あみ・どり（第二上）名。〔網鳥〕ホトトギスノ異名。＝呉竹集「トホヤマノ雲ニあみどりサマザマニ隱レ顯レ降レル五月雨」。

++△あみ・どり（……）名。〔網捕り〕鳥ナド網デ取ルコト。＝萬葉集「ホトトギス聞ケドモ啼カズあみどりニ取リテナヅケナ、カレズナクガモ」。

あみ・の・め（全平）名。〔網の目〕（一）網ノオノオノノ絲ト絲トノスキマ。（二）凡テ斜ニ打チ違ヘタ網ノ目ノヤウナ模様。

あみ・の・め（……）名。〔……〕小サナ草ノ名。蓑、小サナ白イ花ガ咲ク。

あみ・のりもの（……）名。〔網乘り物〕徳川時代ニ身分ノ重イ輩人ヲ送ルトキ用ヰタ乘リ物ノ一種。乘リ物ノマハリニ青網ヲ掛ケタモノ。

あみ・ばり（第三上）名。〔……針〕アミスキバリ。

あみ・め（……）名。〔……目〕スベテ物ト物ト編ミ合ハセタトコロ。＝〔垣根ノあみめ〕。＝〔筵ノあみめ〕。

あみめ（第一上）名。〔……蟲〕蟲ノ名。あぶノ古言。

あむ（……）他動、四段。〔編む〕（一）ブツチガヒニ組ム。絲、竹、藤ナドヲ。（二）漢文カラ來テ）スベテ、編纂スル。＝カキ集メテ一ツニマトメル。＝書物ヲあむ。

△あム（第二上）他動、上二。〔（浴）む〕あぶ（浴）ト同ジ語。

△あむ・しろ（……）名。〔編む代〕アジロ（網代）ノ古言。

△あむス（……）他動、四段。〔（浴）むす〕あぶす（浴）ト同ジ語。

△あむス（全平）他動、下二。あぶす（浴）ト同ジ語。

△あむ・づち（……）名。〔編む土〕あづちト同ジモノ。

○あめ（第一上）名。（天）〔うは（上）みえ（見）ノ義カ？一說、あを（蒼）みえ（見）〕。（一）空。＝虛空。＝アヲゾラ。（二）日ノ神ノ非ラセラレル所。

あめ（……）名。（雨）〔あめ（天）み（水）ノ義〕（一）雲ガ冷氣ニ遇ッテ凝ッテ水トナッテ地上ニ降ルモノ。（二）〔轉シテ）凡テ雨ノヤウニシタルモノ。＝〔涙ノあめ〕。

あめ（全平）名。〔飴〕餅米ヲ蒸シテ、大麥ノモヤシヲ入レ、熟湯ヲ加ヘテ搾リ、鑑ヘ入レテ練ッタモノ。種類ハ色色アリ。ミヅアメ、シルアメ、カタアメ、テウセンアメ、ブッキリ飴。＝カキ。

◎あめヲナメサセル。＝あめヲシャブラセル。＝（オダテテ騙イテ陷レル。）「あめヲシャブラセテ足ガラヲスクハウト思ッテ」。

あめ（第一上）名。〔（錠）〕あめのうをノ略。

▲あめ（全平）名。尼張ノ國ノ方言。絲車デ絲ヲ引キ出ス爲メニッカフモノ。木綿ニシテ（筵）ヲ入レテ長ク作ッタモノ。

あめ（……）名。貝ノ名。肉色ハウス赤ク、ヨメガサラニ似タモノ。

▲あめ（第二上）名。〔あめ（飴）ニ似テ甘イ香ノアル處カライフカ？〕山城邊ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

あめ・いし（全平）名。〔飴石〕石ノ一種。外ハザラザラシ、割レバ中ノ石ハ水飴ノヤウデアルモノ。＝石ノ飴。

あめ・いろ（……）枕。〔飴色〕水飴ノヤウナ色。＝〔あめいろノ絃響〕。

あめ・うし（……）名。〔貢牛〕アメイロノ牛。

あめ・うり（第四上）名。〔飴賣り〕飴ヲ賣ッテ歩ク人。

○あめ・が・ふた（（第三ガ））（第一上）名。〔天が下〕天下。＝世界。＝アメノシタ。

あめ・かす（第三上）名。〔飴滓〕飴ヲ搾ッタアトノカス。オモニ、鳥又ハ獸ノ餌ニスルモノ。

▲あめ・かす（全平）名。遠江邊ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

▲あめ・かた（……）名。關西ノ一般ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

▲あめ・きり（第四上）名。讃岐邊ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

あめク（第二上）自動、四段。〔（叫）く〕〔わかつヲあがつトイフ類ノあ〕わめくト同ジ語。＝枕ノ草紙、サケノミテあめキ、口ヲサグリ」。

++あめ・ぞいく（第三上）名。〔飴細工〕カタ飴デ鳥ヤ獸、人間ナド色色ナ細工ヲシタモノ。＝妙妙奇談「水鳥ヲ畵ケバ、頸、足長

短捕ハズ……水ニ集マル鳥ハあめぶいくノ如ク草ガナハ花ト葉トツリ合ハズ。

○あめ・しづく　(第一上)名。〔雨雫〕　雨ノシヅク。

▲あめ・しは・はい　((第四オ))(第五上)名。　信濃ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。＝アメシホッパイ。＝アメショッパイ。

▲あめ・しは・つ・ばい　(…、第五上)(第六上)名。　信濃ノ方言。あめしははい ト同ジモノ。

▲あめ・しよ・つ・ばい　((第三、四合))第六上)名。　信濃ノ方言。あめしははいトオナジモノ。

あめ・しらス　(第一上)他動、四段。〔天知らす〕　天上ニ在ッテ天上ヲ治メ賜フ。(皇太子ナドガ薨セラレタ所ニオモニ云フ)。＝萬葉集「久方ノあめしらしスル君ユエニ月日モ空ニコヒワタルカモ」。

▲あめ・ぞ　(金平)名。　薩摩ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

▲あめ・だか　(第二上)名〔あめ、めだか(飴目高)ノ義〕　關西ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

++あめ・たから・びき　(金平)名。(飴賣引き)　延享ノ頃、江戸ニ行ハレタ一種ノタハムレ。今ノ玉コロガシノヤウナモノ。＝森山孝盛、賤ノ苧環「マタあめたからびきトテ辻辻、橋ギハナドニ初春アメヤドモガ……縄ヲ幾筋モ出シテ橙ヲフンドシニシテ飴ヲメカラヒキニシタリ」。

あめ・ちまき　(第三上)名。　飴ヲナスツタ粽。

○あめ・つち　(第一上)名。(天地)　天ト地ト。＝天地。

○あめつちの　(…)枕。(…の)　いやとはながくニ掛カル枕詞。

あめつち・の・ふくろ　(第一上、第八上)名。(…袋)　貴、初春天地ヲ縫ト合ハセル題キデ縫ッタ袋ノ名。其中ニアラユル福ヲ入レル心。

○あめ・なる　(第一上)枕。(天在る)〔あめ(天)ニ、ある(在)ノ約〕　日又ハささらの小野ナドニ掛カル枕詞。＝アメナルヤ。

○あめ・なる・や　(…)枕。(…や)　あめなるト同ジ枕詞。

△あめ・の・いはと　((第五ワ))(…)名。(天の岩戸)　アメ(天)ノイハヤド。

△あめ・の・いはや　((…))(…)名。(…岩屋)　石デ作ッタ屋。

△あめ・の・いは・やど　((…))(…)名。(…岩宿)　天上界ノ岩屋ノ戸口。＝アメ(天)ノイハト。＝アマノイハト。

あめ・の・うを　(第三上)名。((鮧の魚))　(一)魚ノ名。形ハ鮭ニ似、脊ノ上カラ尾マデ黑イモノガアル。肉ハ白ク、又ヤウヤウ赤イノモアル。＝アメ。＝ユザケ。＝アメマス。(二)又、魚ノ名。きすごノ一名。

△あめ・の・かみ　((第六ガ))(第一上)名。(天の慮し神)〔御威カニイヅレモれされる神武天皇ヲ稱ヘ奉ルコト(慮)慮カラ〕

△あめ・の・かし・で　(…)名。(…印)　「天印」ヲ訓ム所ヲ誤ッテ、其印ノアマツシルシト讀ム所ヲ誤ッテ、萬葉集アタリカラれしで字義ニ抗抵シ、萬葉集アタリカラれしでト讀ミナシタモノ。

△あめ・の・しした　(…)名。(…下)　(一)天下(空ニ對シテ云フ)。＝古事記「イヅレノ地ニマサバカタヒラケクあめのしたノ政ゴトヲキコシメサン」。(二)日本全國。＝源氏「世モ亂レアシカリケレトヤウヤウあめのしたニモアヂキナウ人ノモチナヤミグサニナリテ」。

△あめ・の・たりよ　(…)名。(…足り夜)　長イ夜。

あめ・の・とり　(第三上)名。(飴の鳥)　貴天保ノ頃マデ江戸ニ在ッタアメザイクノ名。飴デ拵ヘタ鳥。＝種彦、用捨箱「昔ハシンコ馬、あめのとり、一對ノモノナリシガ、今あめのとりハアリテ、シンコ馬ハ絶エタリト」。

△あめ・の・とり・ふね　(第一、及第六上)名。(…鳥船)　神代ノハヤフネ。鳥ノヤウニ早ク行クト云フ所カラ付ケタ名。＝アメノハトフネ。＝日本紀「あめのとりふね」。

△あめ・の・ぬ・ごと　((第五コ))(第四上)名。(…瓊琴)　神代ノ琴ノ名。ぬごと參考。

△あめ・の・ぬな・ゐ　(第一上)名。(…淳名井)　天上界ニアル井戸。＝アメノマナ井。＝イサノマナ井。ぬなゐ參考。＝日本紀「素盞鳥尊ソノ頸ニツナゲルイホツミスマルノニヲモテあめのぬなゐ、又ノ名ハイサノマナ井ニフリソソギ」。

△あめ・の・はと・ふね　(…)名。(…鳩舟)　神代ノ舟。＝アメノトリブネ。＝續日本紀「はとふねハハヤトリ(速鳥)ノ義」。

△あめ・の・まな・びと　(第一上)名。(…益人)　人。＝人間。＝タミクサ。＝蒼生。

△あめ・の・まなゐ　(…)名。(…真名井)　アメノヌナ井。まなゐ參考。

△あめ・の・み・かげ　((第六ゲ))(…)名。(…御蔭)　主上ノ在ラセラレル御殿。＝延喜、祝詞式「スメミマノミコトノミヅノミアラカヲ仕ヘマツリてあめのみかげ、日ノミカゲトカクリマシテ」。

△あめ・の・みかど　(…)名。(…御門)　(一)朝廷。(二)轉ジテ天皇。＝主上。＝子孫。



あめ・の・むらくも・の・つるぎ　(第一上、第十一上)　素盞鳥尊ガヤチマタノ大蛇ヲ切ッテ、其尾カラ出シタ劍。＝クサナギノツルギ。

あめ・の・もち　(第三上)名。(飴の餅)　水飴ヲ塗ッタ餅。＝チカラ餅。

△あめ・の・をはばり　(第一上)名。(天の尾羽張)〔をはばり(尾羽張)即チ、キツツキノ張リタ義〕　伊弉諾尊ガカグツチノ神ヲ切ッタ劍ノ名。

△あめ・びと　(第二上)名。(天人)　(一)天上界ノ人。(二)轉ジテ都ノ人。

あめ・ふらし　(金平)名。　(一)(雨虎)薩摩ノ山ノ中ニ居テ、雨ノ中ニ出ル一種ノ動物。形ハ鮑ニ似テ殼ガナイモノト云フ。(二)又、海產動物ノ名。ナメクヂニ似タモノ。ナメクヂヨリ大キク、頭ニ同ジヤウナ二ツノ肉角ガアル。物ガ之レニ觸レルト、脊中カラウルハシイ唐紅色ノ液ヲ噴キ出シ、其液ニマギレテ身ヲカクス。＝ウミウサギ。＝ウミウヂ。＝アカベカ。

あめ・ふり　(第二上)名。(雨降り)　雨ノ降ル日。＝近松、釋迦如來誕生會「是非カリタクバあめふりカ雪降リ、暇ナトキ貸シテヤラウ」。

○あめ・ふれば　(第一上)枕。(…れば)　かさト云フ語ニ掛カル枕詞。＝古今集、「あめふればカサトリ山ノモミヂ葉ハ行キカウ人ノ袖サヘゾ照ル」。

あめ・や　(金平)名。(飴屋)　飴ヲ賣ル人、又ハ家。

あめ・ます　(第二上)名。(鮧鱒)〔形チノます(鱒)ニ似タ處カラ〕　アメノ魚。

あめ・もやう　((第四ヨ))(第三上)枕。(雨摸樣)　雨ノ降リサウナケシキ。

▲あめや・の・れかつ　(金平)名。(飴屋の阿勝)　備前小倉邊ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

△あめ・りきや　((第四、五合))第四、五上)名。(亞米利加)　昔誤ッテ亞米利加ヲイッタ語。＝和漢三才圖會「あめりきや」。

あめんどう　(第四上)名。(…)　(一)天下(空ニ對シテ云フ)。＝古事記「イヅレノ地ニマサバカタヒラケクあめのしたノ政ゴトヲキコシメサン」。(二)日本全國。＝源氏「世モ亂レアシカリケレトヤウヤウあめのしたニモアヂキナウ人ノモチナヤミグサニ

やわナドカラ舶來スル一種ノ桃ノ核。藥用ニナル。＝アメンドウス。(二)桃ノ一種。高サ丈ダ大キク無ク、一尺バカリデ、ハヤ澤山實ガナル。＝カラモモ。＝エドモモ。＝西王母。

▲あめんどう　(…)名。　薩摩ノ方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。

あめんどうす　(…)名。　アメンドウ。菓物ノ名。

▲あめんばう　((第四ボ))(金平)名。(飴ん坊)　東京方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。＝アメンボ。

あめんぼ　(…)名。(…)　東京方言。蟲ノ名。ミヅスマシ。あめんばうノ轉。

▲あめんばう　(…)名。(…)　飴デ拵ヘタ棒。＝あめんぼう。

あめんぼう　(第三上)名。　オットセイ(脳脾膀ノ子。＝和漢三才圖會「其小ナルモノヲあめしつぺいト名ヅク」。

▲あも　(第二上)名。　西京ノ方言。モチ＝アンモ。

△あも　(…)名。(阿母)　昔ノアヅマコトバ。＝母親。

△あも・ぢも　(第三上)名。((父母))(あも(母)ぢも(父))　父母。昔ノアヅマコトバ。

○あもり・つく　(第一上)枕。(天降り付く)〔あめれり(天降)ノ約〕　アマクダル義。あまのかぐ山、かせやまナドニ掛カル枕詞。

あもる　(第二上)自動、四段。(…る)　アマクダリスル。

△あや　(…)名。(文)　(一)物ノ表面ニ顯ハルル色色ノ模樣。(二)シクミ。＝「手クダノあや」。

あや　(…)名。(綾)　アヤ(文)ヲ織リ出シテアル所カラ云フ名。＝ヌメノ織リ物。＝和名抄「阿夜、似綺而細者也」。

△あや　(第一上)感。(嗚嗟)　アナ。＝アナヤ。＝古事記「あやカシコキノ神」。

△あや・かき　(第二上)名。(文垣)〔あや(文)かき(垣)ノ義〕　トバリノタグヒ。

○あや・かし　(第三上)名〔あや(怪)けし(怪)ノ義カ?〕　(一)海ニ出ルト云フ化物ノ名。(二)魚ノ名。ゴバンザメ。

●あや・かしイ　(第四上)形。(危かしい)〔あやふ(危)け(氣)しノ義カ?〕　其任ニ堪ヘラレヌラシイ。

●あや・かし・さ　(第三上)名。(…さ)　アヤカシクアル度合ヒ。

●あやかり・もの　(金平)名。(肖やかり者)　似タモノ。＝感シテ似タモノ。＝運命ノ同シクアルモノ。＝近松、吉野都女楠「コンドノ譽ハ盛長一人。弓矢ノ冥加ニ叶ヒシサムラヒ。御手柄、御手柄、あやかりものトヅ義マル」。＝谷峨、二筋道「何カラ何マデヌケメナキ此方、ヒトヘハホンニあやかりもの。アダニ思フト罰ガアタル」。

●あやかル　(第二上)自動、四段。((肖)やかる)〔あゆ(肖)ヲ働カセタモノ〕　似ル。＝感シテ似ル。＝運命ガ同ジクアル。＝近松、博多小女郎浪枕「亭主横手ヲハタト打チ、サテアリガタイ御經。吾等モチットあやかるヤウニ、其御經授ケ下サレ」。＝西鶴若風俗、「サテサテ其ワカシユノ身ニシテハ、喜ヒ限リアルマジ。吾モ其ノ方ニあやかる祝義ゾト、ワキアケノ羽織ヲ脫ギタタマハ

リケレバ。

あや・きり　(全平)名。〔綾切り〕　樂曲ノ名。四人ガチデ舞フモノ。

あや・ぎり　(〈第三ギ〉)(……)名。〔文桐〕　木ノ名。アヲギリ。

++△あや・きれ　(……)(……)名。〔間切れ〕〔あひ(間)ぎれ(切)ノ轉〕　間ニ切ルコト。—トギレルコト。—トギレ。—西鶴一代女、「九十五六程モ打チ並ビ、群ノあやきれモナク」。

○あやシ　(……)形。〔怪〕し。〔あや(文)ヲ働カセ、ソノ混雜スルトイフ處カラ、サトリカチル義ニシタカ?〕　(一)弱ヘガ付カヌ。—フシギデアル。—〔あやしき神ノイサヲ〕。(二)非常デアル。—普通デナイ。—珍ラシイ。—滅多ニナイ。—源氏、「折折ハウチハシ、ワタドノ、ココカシコノミチニあやしき業ヲシツツ、御送リ迎ヘノ人ノ衣ノスソダヘガタウマツナキコトドモアリ」。(三)イブカシイ。—不審デアル。—疑ハシイ。—分ガワカラヌ。—枕ノ草紙、「例ナラズ御几帳ヲヒキタラサセ玉ヒケレバ、女御あやしトオボシケルニ」。(四)イヤシイ。—見苦シイ。—樣ガワルイ。—ヤツヤツシイ。—今昔物語「カカルあやしノモノノ娘ナリトイヘドモ」。

●あやしイ　(……)形。〔……い〕　あやしノ近體。

あやしさ　(……)名。〔……さ〕　アヤシクアル度合ヒ。

△あやし・ばフ　(〈第四ガ〉)(第四上)他動、四段。〔……ばふ〕〔ばふハ黃ばむナドノばむト同ジモノ〕　アヤシ。—アヤシバム。—段段アヤシクナル。—アヤシイ樣子ガ顯ハレル。

△あやし・ばム　(……)自動、四段。〔……ばむ〕　アヤシバフ。

++あやしび　(第三上)名。〔……び〕　フシギナコト。—分ノワカラヌコト。—アヤシミ。—『國亂レテあやしび起ル』。

あやしび　(全平)名。〔……火〕　起ルトコロノ怪シイ火。〔轉シテ〕ツケ火。—放火。

●あやし・び　(第三上)他動、四段。〔……ぶ〕　あやしブ。

○あやしブ　(全平)名。〔……み〕　アヤシビ。—やしむノ轉。同巻。—源氏、「相人驚キテアマタタビ傾キあやしぶ」。

++あやし・み　(全平)名。〔……み〕　アヤシビ。—不思議。

あやしム　(第三上)他動、四段。〔……む〕　アヤシク思フ。—不思議ニ見エル。—疑フ。—アヤシブ。

△あやス　(第二上)他動、四段。〔……ぶ〕　あやス。—出ス。—ホドバシラセル(血又汗ニスル)。—頭ノ血ヲサシあやしテ。—ナドニ云フ。—他動、四段。〔慰ス〕〔あいす(愛)ノ轉カ?或ハ又、あやなすノ義カ?〕

●あやス　(……)他動、四段。〔文規〕　水目ガ奇麗ニ見エル。—タノシマセル(赤子ヲ)。

++あや・つり　(……)名。〔操り〕　(一)アヤツルコト。又スベテアヤツル仕掛ケ。(二)あやつりにんぎやうノ略。—淺井了意、東海道名所記、「近キ頃、江戸ヨリ宮内ト云フモノ登リテ、左内トセリ合ヒ、色色珍ラシキあやつりヲ出シケル」。

あやつり・にんぎやう　(〈第七ギ〉、第八ヨ)、第七、八合)(第五上)名。〔……人形〕　人形ニ絲ヲ仕掛ケ、蔭カラアヤツツテ、其人形ヲ舞ハセルモノ。—寛天見聞記、「住太夫ト左太夫、イヅレモ名聲ノ太夫ニテ、互ヒニ張リ合ツテ、あやつりにんぎやう、淨瑠璃デガタリ」。

あやつル　(第三上)他動、四段。〔……る〕　(一)絲ヲ仕掛ケテ釣ツテ働ラカセル。—人形ヲあやつる。(二)アヤナス。—「智者ハ愚者ヲあやつる」。

++あや・とり　(全平)名。〔綾取り〕　絲ヲ綾ニ組ミアハセルコト。子供ノ遊ビ。

あや・どり・の・し　(第六上)名。〔文取りの師〕　昔ノ官名。中務省ノ中ニ在ツタモノ。織リ物ノカカリ。—延喜、中務式、「織部司四十八人、正一人、佑一人、令史一人あやどりのし二人」。

あや・とル　(第三上)他動、四段。〔操る〕　(一)アヤツル。(二)アヤナス。(三)アヤヲトル。—「サグ繰ヲハヅシテ雜ニあやどり」。

△あや・な　(第二上)副〔あやなくノ略〕　譯ノワカラナイコト。

○あや・なシ　(……)形。〔文無し〕　筋道ガ立タヌ。—理屈ガ分ラヌ。—ハツキリト分ラヌ。—甲斐ガナイ。—拾遺集、長能、「身ニ代ヘテあやなく花ヲ惜シムカナ、イケラバノチノ春モコソアレ」。

あやなス　(第三上)他動、四段。〔文なす〕　ウマクアシラフ。—アヤツル。

○あや・に　(第二上)副。〔奇に〕　(一)不思議ニ。—奇妙ニ。—アヤシク。—「大君ノミイヅ



あやにカシコシ」。(二)ムチヤクチヤニ。—滅多ヤタラニ。—「あやにナツカシ」。

あや・にく　(全平)副。〔生憎〕　(一)アア憎ク。(二)〔轉ジテ〕心ニ望マシクナク。—アイニク。源氏、「カレハ人モエルシ聞コエザリシニ、御志シノあやにくナリシヅカシ」。

あや・にく・に　(……)副。〔……に〕　アヤニク。

あや・にく・ごころ　(〈第五コ〉)(第六上)名。〔……心〕　意地ノ惡イ心。—源氏、「ナドカサシモ有ラント、ヤスラハルル。イトケシカラヌ御あやにくごころナリカシ」。

あや・にく・だツ　(第五上)自動、四段。〔……立つ〕　アヤニクデアル。

〔だつハ毛ばだつナドノだつ〕

あや・ぬ・の　(全平)名。〔文帛—綾布〕　(一)シツ(倭文布)。(二)後世一般ノアヤオリノ布。

あや・の・し　(……)名。〔挑文の師〕　織部ノ官名。貴ハタオリノ綾ヲ司ツタモノ。

あや・は・がき　(〈第四ガ〉)(第三上)名。〔文羽笠〕　ヤマブシノ冠ル笠。檜笠ノ類。

△あや・ひ・がき　(……)(……)名。〔文檜垣〕　檜ノヘギデ編ンダ垣。

あやふ　(〈第三ウ〉)(全平)名。〔危〕　コヨミ(暦)ノ中段ノ中ノ一ツ。　ちゆうだん參考。

○あやふシ　(〈第三ウ〉)(第二上)又(第三上)形。〔危し〕　危難ガ近ヅク。—アブナシ。—身ノ不利益ニナリサウニナル。—古今集、「中タエテクル人モナキ、カツラギヤ、象潟ノ橋ハ今モあやうし」。

○あやふイ　(……)(第三上)形。〔……い〕　あやふシノ近體。

△あやふ・ぐさ　(……)。第四グ)(第三上)名。〔……草〕　スベテ危イ所ニ生ヘタ草。—枕ノ草紙、「あやふぐさハキシノヒタヒニ生フラン、ゲニタノモシゲナク哀ナリ」。

あやふ・さ　(……)(第二上)又(第三上)名。〔……さ〕　アヤフクアル度合ヒ。

++あやふ・み　(全平)名。〔……み〕　アヤブムコト。

あやふム　(第三上)他動、四段。〔……む〕　アヤフイト思フ。

○あやふム　(全平)他動、下二。〔……〕　危クスル。—アブナクスル。—危難ニオトシ入レル。

●あや・ふや　(全平)根。　曖昧。—茫漠。—物ノタシカニ分ラヌコト。

++あやまち　(……)名。〔過ち〕　アヤマツコト。—ヤリソコナヒ。—出來ソコナヒ。—手アヤマチ。—間違ヒ。—アヤマリ。

あやまツ　(第三上)他動、四段。〔……つ〕　ヤリソコナフ。—仕損ジル。源氏、「故大納言ノ遺言あやまたず」。

++あやまり　(全平)名。〔誤り〕　(一)アヤマルコト。—ヤリソコナヒ。—アヤマチ。(二)罪ヲ詫ビルコト。—ワビ。

あやまり・じようもん　(〈第五、六合〉)(第五、六上)名。〔……證文〕　謝罪ノ證文。

あやまル　(第三上)他動、四段。〔……る〕　(一)ヤリソコナフ。—ソノ筋道デナイ所ヲスル。(二)〔轉ジテ〕罪ヲ謝ス。—「ソ詫ビ入ル」。(三)…又、轉ジテ)コノマヌ。

○あやまム　(第二上)他動、下二。　(一)アヤシ。—夕惑フ。—不思議ガル。—イブカル。(二)●ソコナフ。—殺ス。—害ヲ加ヘル。

あや・むしろ　(第二上)名。〔綾筵〕　織物ノムシロ(莚)。

あやめ　(第一上)名。〔文目〕　ワカチ。—黑白。—摸樣。—差別。—筋。—理アヒ。—アイロ。—「あやめモ分カヌ眞ノ闇」。

△あやめ　(全平)名。〔文女〕　綾織リノ女、昔、雄略天皇ノ時、始メテ吳ノ國カラアヤドリノ女ヲ奉ツタ、夫カラシテ凡テ衣ヲ縫フ女ヲあやめト云フ。—萬葉集、「住ノ江ノナミヅマギミガ馬乘リゴロモサニツラフあやめヲスエテ縫ヘル衣ヲ」。

あやめ　(……)名。〔菖蒲〕　(一)草ノ名。あやめぐさノ略。(二)〔轉ジテ〕後世、ハナあやめ。

△あやめ　(……)名。　蛇ノ異名(八雲御抄ノ說)。

あやめ　(……)名。〔菖蒲〕　重子ノ色目ノ名。表ガ青ク裏ガ白イモノ、又ハ表ガ青ク裏ガ紅梅ノモノ、又ハ表ガ青ク裏ガ濃イ梅紅ノモノ、又ハ表ガ淺紅デ裏ガ青イモノ。—サウブ。—シャウブ。

あやめ・がたな　(〈第四ガ〉)(第四上)名。〔……刀〕　子供ノモテ遊ビニスル刀。アヤメヲ束子、劍ノヤウニシテ腰ニ帶ビタモノ。後世木刀ニ作リ、男ノ子ノ初ノ節句ノアル家ニ贈ル。—シャウブガタナ。

あやめ・がひ　(……、第五イ)(第三上)名。〔……貝〕　貝ノ名。蛤ノ類、紫色デ、三ツ寄セルトアヤメノ花ニ似タ所カラ名ガ付ク。

あやめ・かぶと　(第四上)名。〔……兜〕　アヤメデ搖ヘタ兜ノ形。ムカシ、五月ノ節句ナド之レニアヤメ刀ナド伴ナハセテ一ツノ儀式トシタモノ。

○あやめ・ぐさ　(第三上)名。〔……草〕　草ノ名。今云フしやうぶト同ジモノ。畧シテあやめ。花アヤメトハ全ク別モノ。香ガ强ク、昔カラ端午ノ節句ニ用ヰル。—アヤメ。—サウブ。—シャウブ。

あやめ・たむ　(……)名。〔地楡〕　草ノ名。わ

れもかうト同ジモノ。

あやめ・だんご　(第六ゴ)(第四上)名。〔菖蒲團子〕　(一)竹ヲ四ツマタニ渡シ、其マタニ各小サナ圓子(オモニ絲キリ)ヲ四ツ宛ツケタモノ。(二)蹈ヲヌツタ絲キリ圓子。

△あやめ・とり　(第三上)名。〔……鳥〕〔あやめ(菖蒲)ノ時主ニ鳴クユヱ〕　杜鵑ノ異名ト云フ。

あやめ・かづら　(第四上)名。〔……鬘〕　昔五月五日ノ節句ニ、公家達ガイヅレモ菖蒲ヲ冠ヘ掛ケタ、ソノコト。

あやめ・の・くらうど　(第六ヤ)(第六上)名。〔……の・蔵人〕　昔、五月五日ノ節句ニ、公家達ニ菖蒲ヲ取ッテ渡ス女ノ蔵人ノ名。—枕ノ草紙「五月ノセチノあやめのくらうど」。

あやめ・はちぢやう　(第七ヨ)(第六、七合)(第四上)名。〔……八丈〕　元祿ノ頃、オモニ行ハレタ八丈絹ノ一種ノ名。或ハアヤメナドノ色目ノヤウニ織ッタ模様ノモノカ?

●あやめル　(第三上)他動二。　あやむ第二ノ解義ノ語ノ近體。

あやぬ・がさ　(第四ガ)(第四上)名。〔綾蘭笠〕　蘭草デ編ンダ一種ノカブリ笠。昔ヨク行ハレタモノ。

▲あや・つ・かしイ　(第三逆)(第五上)形。　あやかしノ近體。

▲あや・つ・かし・さ　(……)(第四上)名。　アヤツカシクアル度合ヒ。

あゆ　(第一上)名。〔鮎—年魚〕　魚ノ名。春ノ初メカラ河ト海トノ間ニ生シテ上ヘ遡ル。大キイノハ一尺ニ近ク、腹ハ白ク、鱗ハ極メテ細ク、味ヒハ淡泊デ最モ賞美サレル。一年毎ニ子ヲ産ンデ死ヌ故ニ年魚ト云フ。

あゆ　(……)名。〔阿鯛〕　ヘッラフコト。—コビルコト。—オモ子リ。

○あユ　(第一上)自動、下二。〔肖ゆ〕　似ル。—ヂヤカル。

△あユ　(第一上)自動、下二。　ボタボタト流レル。—シタタル。—ダラダラト出ル(オモニ血水ナドニ云フ)。

○あユ　(第一上)自動、下二。〔熟ゆ〕　熟ス(クダモノニ云フ)。

△あゆ・がス　(第三ガ)(第三上)他動、四段。〔搖がす〕　動カス。—ブルブルフルヘサセル。

△あゆグ　(第二……)(第二上)自動、四段。〔……動ク。—ブルブルウゴク。〔あゆぐ草葉〕。

△あ・ゆグ　(……)(……)自動四段。〔歩ぐ〕　異體動詞。同義。

ゆむノ異體動詞。同義。

あゆ・なめ　(全平)名。〔鮎並〕　小サナ海魚ノ名。身ハ狭ク、コケ細カク、全身ハ茶色デ所所ニ黒イ斑ガアリ。尾ハヤヤ赤ク、頬ハ黄バミ、味ハ甚ダウマイモノ。—アイナメ。—ネウヲ。—ベロ。—アブラコ。

△あゆ・の・かせ　(第一上)名。〔東の風〕　東風。昔ノ越後ノ方言。

△あゆひ　(第三イ)(第二上)名。〔足結ひ〕　キャハン。—古事記「阿由比」。

○あゆび　(全平)名。〔歩び〕　歩クコト。—アユミ。

●あゆび・あひ　(第五イ)(……)名。〔歩び合ひ〕　アユビアフコト。

●あゆび・あフ　(第五ウ)(……)自動、一。〔……ふ〕　雙方デ勘辨スル。

○あゆブ　(第二上)自動、四段。〔……ぶ〕　あゆむト同ジ語。同義。

△あ・ゆフ　(……)自動、四段。〔足結ふ〕　キャハンヲハク。

△あゆまひ　(第四イ)(第三上)名。〔(歩)まひ〕　〔あゆみノ延〕　アルキカタ。—足ツキ。

○あゆみ　(全平)名。〔(歩)み〕　あゆむカラ來タ名詞體。—歩ムコト。—〔あゆみ早シ〕。

あゆみ・いた　(第四上)名。〔……板〕　物ノ上ニワタシテ、其上ヲ渡ル爲メノ板。—棧橋カラあゆみいた。

○あゆム　(第二上)自動、四段。〔……む〕　カハルガハル足ヲ運ンデ進ム。—アルク。—アリク。—〔アフ事ハ刀ノ刃ヲモあゆむカナ〕。

あゆ・もどき　(第三上)名。〔鮎擬き〕　山城ノ桂川ニ産スル一種ノ魚ノ名。味ヒモ形モ鮎ニ似テ相違シタ所ハ口ニ鬚ガアル一點。大キイノハ一尺計リ。

△あ・よグ　(第二上)自動、四段。〔搖ぐ〕　あゆぐ(搖)ト同ジ語。

あら　(全平)名。〔阿羅〕　魚ノ名。鱸ニ似テ頭ハ赤ク、コケハ細カク、黄色ニ黑ミヲ帶ビテ、所所ニ斑ガアル。大キイノハ三尺位、左程ニ旨クモナイモノ。オモニ北ノ海ニ居ル。

あら　(……)名。〔(粗)〕　(一)△骨。(二)魚ナド料理シタアトノ骨ニ、少シヅツ肉ノ付イテ居ルモノ。(三)凡テイイノヲ取ッタアトノ屑。(四)アヤマチ。—ヤリソコナヒ。—出來ソコナヒ。—キズ。—〔人ノあらヲ見付ケル〕。

あら　(……)名。あらぬかノ略。

あら　(第一上)名。　新ラシイモノ。

あら　(第二上)接頭。　(一)〔(粗)〕柔カクナイ。—ザラザラシタ。—〔あらムシロ〕。—〔あらゴモ〕。(二)〔(疎)〕目ノツンデ井ヌ。

あら　(全平)接頭。〔(新)〕　アタラシイ。—



〔あら身ノ刀〕。

あら　(……)接頭。〔荒〕　荒イ。—〔あら法師〕。—〔あらウミ〕。

あら　(第一上)感。　アナ。—〔あらアッヤ〕。

あら・あら　(全平、又第三上)副。〔粗粗〕　大凡。—大略。—ザット。—〔あらあら目出度カシク〕。

○あらあらし　(第四上)形。〔……し〕　サモサモ粗イ。—甚ダ粗末デアル。

あらあらし　(……)形。〔荒荒し〕　サモサモ荒イ。—タケダケシイ。

●あらあらしイ　(第五上)形。〔粗粗しい〕　あらあらしイ(粗粗し)ノ近體。

●あらあらしイ　(……)形。〔荒荒しい〕　あらあらし(荒荒し)ノ近體。

あらあらし・さ　(第四上)名。　(一)粗粗シクアル度合ヒ。(二)荒荒シクアル度合ヒ。

●あらイ　(全平)形。　あらし(粗荒)ノ近體。

あら・いそ　(……)名。〔荒磯〕　荒浪ガ打ッ磯。—アリソ。

△あらいそ・なみ　(第四上)名。〔……波〕　荒磯ニ打ッ浪。

あら・いみ　(全平)名。〔荒忌み〕　神事ヲ行フ人ガ前カラスル精進潔齋。—サンサイ(致齋ノ對)。

あらう　(第三上)名。〔……鵜〕　人ニ馴レヌ鵜ノ鳥。

あらうま　(全平)名。〔……馬〕　荒イ馬。—悍馬。

あらうし　(……)名。〔……牛〕　荒イ牛。

あらうみ　(第三上)名。〔……海〕　荒イ海。

あらうみ・さうじ　(第五ソ)(第五上)名。〔……障子〕　昔、清涼殿ノヒロビサシノ北ニアッタ布障子。ソレニ荒海ノ畫ヲ書イテアル所カラ云フ。—枕ノ草紙「清涼殿ノウシトラノ北ノヘダテナル御ザウジニハアラ海ソカタ書イタルモノドモノ恐ロシゲナル」。

あらかた　(全平)副。〔粗方〕　大抵。—オホカタ。—十ガ九ッマデ。—大概。

あらが・ね　(第三ガ)(……)名。〔粗金—(鑛)〕　(一)山カラ堀リ出シタママノカネ。(二)△鐵。—クロガネ。

あらが・ねどうふ　(……)(第五上)名。〔……豆腐〕　イリ豆腐ノ類。油ヲツカハズサカ塊ト醤油デイリツケ、粉山椒ヲ加ヘタモノ。

○あらが・ねの　(……)(全平)枕。〔……の〕　つちニ掛カル枕詞。

あらが・は　(第四ワ)(……)名。〔新皮〕　(一)毛皮。(二)モミガラ。

あらが・ひ　(第三ガ)(第四イ)(第三上)名。〔あら(荒)ヲ働カセタモノ〕　アラガフコト。—爭フコト。—喧嘩。

あら・かべ　(第四上)名。〔粗壁〕　中塗リヲカケヌ壁。

◎語彙ニ之ヲ解シテ、上塗リヲセヌ壁トシテアルノハ悪イ。今ノ普通語ノ意味デ、上塗リヲセヌ壁ニハアラ壁ト中塗リトノ二種類ガアル。ソシテあらかべハ未ダ中塗リヲカケヌ所ヲ指シタノミノ語デ、單ニ上塗リヲセヌト計リ云ッテハ純粹ノあらかべヤラ中塗リヤラ更ニ分カラヌ。

○あらがフ　(第三ゴ)(第四ウ)(第三上)他動、四段。〔(傘)ふ〕　アラソフ。

あら・がみ　(第三ガ)(全平)名。〔現神〕　(一)△天皇ヲ指シテ申ス語。マコトハあきつかみト云フノヲ其字ガ現神トナッタ爲メ、ソレヲ讀ミ誤ッタモノ。(二)アラアラシイ神。—將ナド烈シクアテル神。

あらかん　(……)名。〔(阿羅漢)〕〔梵語、あハ「非」、らかんハ「生」ノ義〕　ホトケノトナヘ。更ニ再ビハ生レヌトノ義。略シテらかん。—〔十六らかん〕。—〔五百らかん〕。

△あら・き(……)名。〔荒城—(殯宮)〕　カリウメノ塲所。

あら・き　(……)名。〔粗木〕　伐リ出シタママノ材木。

あらき　(……)名。〔阿刺吉〕　昔、和闐陀カラ持チ來タシタ飲ミ物ノ名。アルコオルニ香ヒヲ付ケタモノ。

あらき・た　(……)名。〔荒木田〕　土ノ名。武藏ノ國豊島郡荒川沿岸ノ荒木田原カラ出ル土。チバリゲガアッテ、オモニ壁ニ塗ル。マ、瀬戸物ニモツカフ。

あらき・はり　(……)名。〔荒(墓)〕〔はりハ「墾」ノ義〕　新タニ田ヲ開墾スルコト。

あら・きやう　(第三キ、第四ヨ、第三、四合)(……)名。〔荒行〕　修行者ナドガ苦ダシイ苦ミデ行ナフギャウ。—〔文覺ノあらぎやう〕。

△あらク　(……)自動、下二。　(一)〔(粗)く〕マバラニナル。—離レバナレニナル。(二)〔荒

く〕荒クナル。—土佐日記「今日海あらけ」。

○あらぐし　(第三ク)(……)名。〔粗櫛〕　齒ノアライ櫛。—トキグシ。

△あらくま　(……)名。〔荒熊〕　アライ熊。

△あらくまし　(第四上)形。　アラアラシイ。

△あらくル　(第三上)自動〔下二〕。(一)疎クナル。(二)荒クナル。

あらくれ(全平)名。〔荒くれ〕　アラグレルコト。

あらくれ・もの　(……)名。〔……者〕　亂暴人。—アクタレモノ。

●あらくれル　(……)自動二。　あらくるノ近體。

○あらけ・なシ　(第三上)形。　タケダケシイ。—アライ。

○あらけ・なさ　(第四上)名。　アラケナクアル度合ヒ。

△あらこ　(全平)名。〔疎篩〕　編ミ目ノアライ篩。

あらこ　(……)名。〔……粉〕　アライミヂン粉

(菓子ニオモニツカフ)。—〔あらこノ落鴈〕。　芝居デ爲朝、清正ナド、スベテ剛ノモノノ仕業ヲスルコト。

あらこ・ども　(……)(全平)名。(……仕)　アラゴトヲスル役者。

あらこ・ども　(……)(全平)名。　(一)(粗薦)アラ編ミノ莚。(二)新薦)新ラシイ莚。

あらこ・らくがん　(第六カ)(第五上)名。〔疎粉落鴈〕　菓子ノ名。アラ粉デ拵ヘタラクガシ。

あらさ　(全平)名。　あらく(荒)又ハあらく(粗)ナル度合ヒ。

あらし　(第一上)名。〔嵐〕(暴風雨)〔あらし(暴ノ義)〕　凡ベテ荒イ風。—暴風雨。—和名抄「阿良之」。(第三上)形。(粗)し)　細カク無イ。—ザラツク。—粗末デアル。

○あらシ　(全平)形。〔荒し〕　タケダケシイ。

あらし　(……)名。〔粗板〕　大工ノ語。アラ削リニツカフカンナ。

あらしこ　(……)名。〔荒し子〕　(一)百姓家ナラ。(二)軍勢。—雜兵。—セコ。

○あらしこど　(第四ゴ)(……)名。〔……仕事〕　(一)骨ノ折レル仕事。—力業ノ仕事。(二)ヤマダチ、强盜ノシワザ。

△あらし・まかぜ　(第四上)名。〔嵐眞風〕　アラシ。—俄カニ吹キタツ風。

△あらしめ　(全平)名。(新)　モノノカコヒノ新規ニ作ツタモノ。

あらじよたい　(第三、四合)(第三、四上)名。〔……世帶〕　新タニ設ケタシヨタイ(世帶)。

あらしを　(全平)名。〔荒し男〕　荒イ男。—マスラヲ。—タケヲ。—アラチヲ。—アラトコ。

あらス　(……)他動〔四段〕。(……す)　(一)アレサセル。—害スル。(二)荒レルママニスル。—住みあらす。

△あらず　(第一上)感。(否—非)　イヤ。—イヤイヤ。—サウデナイ。

△あらすみ　(全平)名。〔荒炭〕　カタ炭ノ古言。にぎすみノ對。

あらそひ　(第四イ)(第三上)名。〔爭ひ〕　爭フコト。—イサカヒ。—喧嘩。—ハリアヒ。

あらそフ　(第四ウ)(……)他動〔四段〕。(……ふ)　抵抗スル。—人ト競ツテ自分ガ勝タウトスル。—アラガフ。—閑院ノ宮、冬見レバ四方ノ梢ニ葉オツレド霜ニあらそふトキハイラモギ。

△あらぞめ　(全平)名。〔薄染め〕　薄紅ニ染メタ麻ノ布。—日本紀「以錦桃染布五十端賜播磨寺桃染訓アラゾメ」。

あらた　(第一上)根。(新)　新ラシイコト。

△あらた　(全平)名。〔荒田〕　耕作ヲセヌ田。

△あらた　(第一上)根。(灼然)　あらたかノ略。

あらたか　(第二上)根。(……)　神靈ガイヤチコデアルコト。—靈現ノアルコト。

あらたか・に　(……)副。(……に)　あらたかノ副詞體。

△あらたし　(第三上)形。(新たし)　新規デアル。—アタラシイ。

あらだツ　(……)自動〔四段〕。(荒だつ)　アラクナル。

○あらだツ　(……)他動〔下二〕。(……)　アラ立テル。—荒クスル。—激動スル。—煽動スル。

あらだてル　(第四上)他動二。　あらだつ(他動〔下二〕)ノ近體動詞。

あらた・に　(第一上)副。　あらたノ副詞。

△あらたへ　(第二上)名。〔荒妙—粗栲〕　アラク織ツタタヘノ布。

○あらたへ・の　(……)枕。(……の)　ころも、ぬの、きぬナドニ掛カル枕詞。

あらた・ま　(全平)名。(璞)　山カラ堀ツタママノ玉。—和名抄「阿良太萬」。

○あらたま・の　(……)枕。(新玉の)　年、月、日、夜、春、ナドニ掛カル枕詞。

あらたまル　(第四上)自動〔四段〕。(改まる)　アタラシクナル。—新規ニナル。—ヨクナル。—ナホル。

○あらたム　(第三上)他動〔下二〕。(……む)(あらた(新)ヲ働カセタモノ)　(一)アラタニスル。—新規ニスル。—源氏「タクミヅカサニ宣旨ドリテ二無ウあらためツクラセタ



マフ」。(二)シラベル。—ギンミスル。—アラタメル。—〔切手ヲあらたむ〕。

++あらため　(全平)名。(改め)　(一)改メルコト。—直スコト。—糾檢。—試驗。—檢査。(二)ダダスコト。—ギンミ。—シラベ。—取リ調ベ。

●あらためル　(第四上)他動二。(……る)　あらたむノ近體。

△あらたま・ノ　(全平)名。〔新世〕　アラタマツタ世ノ中。

△あらち・を　(……)名。　アラシヲ。

++△あら・つくり　(第四上)名。〔粗造り〕　シタ拵ヘ。

++あら・づもり　(第三上)名。〔粗積もり—概算〕　概算。—大抵ノ見當ヲ見計ラフコト。

あらて　(全平)名。〔新手〕　(一)マダ戰ハヌ達者ノ兵隊。(二)シンラ。—アタラシイ手段。

あらで　(……)名。(……)　クミガキ。—〔あらでクム服カカキネノ時鳥〕。

あらと　(……)名。〔粗砥〕　目ノアライ砥。

あらど　(……)名。〔新床〕　新ラシイ壁ノ床。

△あらどこ　(……)名。〔荒床〕　死人ヲザンジ慣クトコロ。—萬葉集「あらどこニコロブス君」。

あらなは　(第四ヲ)(……)名。(……繩)　オモニ、鹿デ絢ツタ繩。

あらなみ　(……)名。(……波)　荒レ立ツ波。

あらぬか　(……)名。(粗糠)　モミヌカ。—アラ。

++あらぬり　(……)名。(……塗り)　壁ナドニ云フ語。—シタヌリ。(中塗、上塗ノ對)。

○あらぬ・よし　(第一上)枕。(荒根良し)　つしまと云フ詞ニ掛カル枕詞。

△あら・の　(第三上)名。(荒野)　荒レハタタ野。—アレノ。—アラノラ。

△あら・のら　(全平)名。　あらのト同ジ語。

あらは　(第三ワ)(第一上)根。(陽—露)　凡ベテ物ノ現レルコト。—〔あらはノ罪〕。

あらは　(全平)名。(阿羅波)　梵字ノイロハ。

あらはが　(第四ガ)(全平)名。　日光ニ產スルカヘデ(楓)ノ一種。葉ハ七ツニ劃レ、上ニ白イ毛ガ生ヘ、枝ニ穗ガアツテソコニ花ガ咲ク。—アラハナ。

あらはかス　(第三ワ)(第四上)他動、四段。(かすはあそばかすナドノかす)。　あらはすト同ジ語。同義。

あらはス　(……)(第三上)他動、四段。　(一)(顯す)秘密ヲ明カニスル。—隱レテ居タモノヲ明カニスル。—公ニスル。(二)(著す)書物ヲ世ニ出ス。—チヨジユツスル。

あらはに・に　(第三ワ)(第一上)副。(陽に)　(一)少シモ隱レズニ—充分ムキダシニナツテ。—枕ノ草紙「几帳ノウシロニ立テタル燈臺ノ光リモあらはナリ」。(二)隱サズニ。—人目ニ觸レヌヤウニ。

あらはな　(全平)名。　あらはがト同ジモノ。

△あらはに・ごと　(第三ワ「第五ゴ)(全平)名。〔顯露事〕　幽冥界ニ對シテ、此ノ現在ノ世ヲ指ス語。—日本紀、「顯露事(訓、アラハニゴト)」。

△あらはひ　(……)(第四イ)(全平)名。(洗)はひ)　荒レ立ツ波。

++あらはひ　(……)名。(……)　物ヲ洗フコト。—洗濯。

(あらひノ延)　(第四エ)(全平)名。　物類稱呼ヲあらばへ　(第四上)根。(……)　白アツキヲ細カクシ、物ヲ洗フモノ。

あらひ・ごひ　(……)名。(……)　鯉ノアラヒ。

○あらはル　(第三ワ)(第三上)自動、下二。(顯ル)　アキラカニナル。—秘密ガラ出ル。千載集、俊頼ナニハエノ藻ニウヅモルル玉ガシハ、あらはれテダニ人戀ヒメヤモ」。(二)秘密ガ人ニ知ラレル。—ロケンスル。—發覺スル。

●あらはれル　(……)(第四上)自動、二。(……れる)　あらはるノ近體動詞。

あらひ　(第三イ)(全平)名。(洗ひ)　(一)洗フコト。—アラハヒ。—〔あらひガカヒナイ〕。(二)魚ノ生身ヲキザミ、冷水デアラヒ、肉ニチリメンジワヲ寄セタモノ。日本料理ノ中ノ一ツデ、生デ醬油ヲツケテ食フ。

●あらひ・かた　(……)(……)名。(……方)　證據ダテ。凡テ無實ノ罪ナドヲ云ヒカケラレ、ソノ無實デアルト云フ證據ヲ立テルコト。—三世相錦繡文章「此奉公人ノあらひかたハオヌシガシタト云ヤツタガ」。

あらひ・がは　(……)名。(洗ひ革)　薄紅ニ染メタ皮。

あらひ・がみ　(……)(全平)名。(……髮)　洗ツタ髮。

○あらひ・きぬ　(第三イ、第四キ)(第四上)名。(……衣)　洗ツタ着物。

○あらひ・きぬ　(……)(……)枕。(……)　とりかへニ掛カル枕詞。

あらひ・ぐつわ　(第三イ、第四グ)(第四上)名。(……轡)　馬ヲ洗フトキ掛ケル轡。

あらひ・ぐま　(……)(全平)名。(……熊)　熊ノ一種。凡テ何ニ限ラズ、食物ヲ必ラズ水ニ入レテ洗ツテタベル性質ノ熊。

あらひ・と　(第三イ)(……)名。(……粉)　白アツキヲ細カクシ、物ヲ洗フモノ。

あらひ・ごひ　(……)名。(第四ゴ、第五イ)(……)名。(……鯉)　鯉ノアラヒ。

△あらひ・ざら　(…第三イ)(…)名。〔…皿〕　物ヲ洗フ皿。延喜、主計式「洗盤(訓アラヒザラ)」。

●あらひ・ざらひ　(…、第六イ)(…)副〔…淺ひ〕　何カラ何マデモ。＝殘ラズ。＝クマナク。＝悉ク。

△あら・ひし・は　(第五オ)(第三上)名。〔粗醬〕　下等ナヒシホ。

++あらひ・だて　(第三イ)(全平)名。〔洗ひ立て〕　洗フコト。

△あら・ひと・かみ　(第四上)名。〔現人神〕　現世ニアッテ人ノ形ヲ成シテ居ルト云フ神。＝日本紀「タケタカキ人答ヘテ曰クあらひとのかみゾ」。

あらひ・のり　(第三イ)(全平)名。〔洗ひ海苔〕　アマ海苔ノ一種。出雲ノ産。

++あらひ・はり　(…)(第二上)名。〔…張り〕　古イ着物ヲ洗濯シテ張ッテ新ラシクスルコト。

あらひ・はり・や　(…)(全平)名。〔…屋〕　洗ヒ張リヲスル職人、マタハ家。

△あらひ・よね　(…)(第四上)名。〔…米〕　神ナドニ捧ゲル爲メ清ク洗ヒヨイタ白米。＝センマイ。

あらフ　(第三ウ)(全平)他動、四段。〔…ふ〕　(一)清イ水ニススイデキヨメル。(二)ギンミシテ隱シタコトヲアナグリ出ス。「罪ヲあらふ」。

△あらブ　(…)自動、上二。〔荒ぶ〕　(一)アレル。＝アバレル。(二)開墾ガマダスマス。＝荒レサビル。＝日本紀「葦原ノ中ッ國……あらびタル」。(三)常ニ音ヅレタモノガ無沙汰ニナル。＝足ガトホヌク。＝親シミガウトクナル。

あらぼね　(…)名。〔骸〕　枯レタ骨。

++あらぼねをり　(…)名。〔荒骨折り〕　荒イ骨折リ。＝アラカセギ。

++あら・まき　(…)名。〔(縮)〕〔あら(荒)まき(蒔)ノ義〕　耕ヤサズニ種ヲ蒔クコト。

++あら・まき　(第二上)名。〔(苞苴)〕　葦ヤ竹デ魚ヲ外カラ包ムコト。＝「側ノあらまき」。

△あらまし(全平)名。　アラマスコト。＝心アテ。＝心ダノミ。＝豫算。＝「思ヒヤルタカネノオクノ山櫻吾ガあらましニ春ヤ待ツラン」。

あらまし(全平)名。〔荒增し〕　前ノ語ノ轉。＝大概。＝大抵。＝オホヨソ。＝大概。＝アラカタ。

△あらまし(第三上)形。〔荒まし〕　アライ有様デアル。＝源氏「あらましキ山道」。

あらまし・ごと　(第五ゴ)(全平)名。〔荒增し事〕　心ダノミニスルコト。＝續古今集「心ヲバ我ガ心コソナグサムレあらましごとノ間ハズガタリニ」。

△あらまス　(第二上)他動、四段。　前カラ心アテニスル。＝豫期スル。

○あらまはし　(第四上)形。　サウナツテクレレバイイト思フ。＝源氏「オトラズモテカシヅキタルハあらまはしキ御アハヒドモニナン」。

あら・み　(全平)名。〔新身＝(新刀)〕　新規ニキタエタ刀。＝シンタウ。

△あらみ・かけ　(第三上)名。　あらみさきト同ジモノ。

△らみ・さき　(…)名。〔新身裂き〕　人ノ中ヲ裂ク神。

△あら・み・たま　(…)名。〔荒御魂〕　ニギミタマノ對。アライ神靈。＝日本紀「あらみたまサキトナツテ」。

あら・むしや　(第四、五合)(全平)名。〔荒武者〕　(一)荒イ武士。(二)轉シテ乱暴スルヤツ。荒イ所業。＝亂暴。＝「あらむしやヲヤツツケル」。

あら・むしろ　(第三上)名。〔粗筵〕　凡テアライ莚。

あらめ　(第二上)名。〔荒布〕　海ノソコノ岩ニ着ク海草ノ名。色ハ黑ク、葉ニチリメンシワガ寄リ、食用トナル。＝マナカシ。＝和名抄「阿良女」。

あらめ・れどし　(第四上)名。〔荒目威し〕　三色ノ鎧ノオドシノ一ツ。俗ニスガケトモ云フ。下地ハケビキオドシノ下地ト變ハラズ、絲目ヲアラクトホス。故ニあらめおどしト云フ。絲目ノ荒イ故ニカラミノ穴ハ小サクナル。中昔シハ下地ヲ皮ヤ鐵カニシタモノデ、多クスガケオドシニスル。大荒目ト云フハ絲目ノ間ノ廣ク疎ク編ンダノヲ云フ。＝「あらめおどしノ鎧着テ南蠻鐵ノ褌オッ取リ」。

△あらもと　(全平)名。〔(糠)〕　搗クトキ碎ケタ米。＝コメサキ。＝コザキ。＝和名抄「阿良毛止」。

あら・もの　(…)名。〔新物〕　新規ノモノ。

あら・もの　(第二上)名。〔荒物〕　臺所道具。ワラヂ、其他ミノマハリ、又ハ家具ノコダコダシタモノヲ物テイフコトバ。

あらもの・や　(第四上)名。〔…屋〕　アラ物ヲ賣ル店。又ハ其人。

あら・やすり　(第三上)名。〔…鑢〕　アラク使フヤスリ。又ヤスリヲ荒ク用ヰルコト。

あら・ゆみ　(全平)名。〔…弓〕　新ラシイ弓。

あらゆる　(第三上)形。　有ル限リノ。＝アルタケノ。

△あら・よ　(全平)名。〔荒世〕　六月三十日ノ祓ヘノ時奉ツル二種ノ御衣ノ中ノ一ツ。(にとよノ對)。



△あらら　(…)根。〔(粗)ら〕　アラアラ。＝大カタ。

△あらら　(…)根。〔粗ら〕　あららかノ略。

あらら・か　(第二上)根。〔…か〕　アラッポイコト。

あらら・ぎ　(第四上)(第三上)名。〔蓍草〕　(一)深山ニ生ヘル草ノ名。春モトノ根カラ生ヘ、葉ニ縱ノ筋ハ無ク、莖ノ高サハ八九寸、葉ハ下ヲ向イテ生ヘ、頂上ニ六瓣ノ薄紫ノ花ガ咲ク。花モママ白イノモアル。根ハ水仙ニ似テ臭クハナイモノ。＝ギヤウシャニンニク。＝ニックワウビル。＝エイザンニンニク。＝ヤマビル。＝ウフニヒトヘ。(二)又木ノ名。イチヰノ一名。

▲あらら・ぎ　(…)(…)名。　塔ノ一名。齋宮ノイミコトバ。

あられ　(全平)名。〔(霰)〕　(一)凍ッタ雨ノツブ。(二)サイノメニ刻ンデ燒イタ細カイ餅。(三)ホシヒヲイッテ細カクシ、湯ニ浮カベテ飲ムモノ。＝カウセン。(四)ミヂン粉ニ砂糖ヲ混ゼ、固メテ四角ニシタモノ。(五)サイノメニ固メタ砂糖。(六)織リ摸樣、又ハ染メ摸樣ノ名。小紋ノ一種。石疊ミノ麻メテ細カナモノ。(七)蕎麥ノ一種。あられそばノ略。(八)バカ貝カラ取ッタハシラノ一名。

あられ・いし　(第三上)名。〔…石〕　(一)炭酸石灰ノ一名。(二)ハウゲジャクノ一名。

○あられ・うつ　(第四上)枕。〔…打つ〕　あられニ掛カル枕詞。

あら・れうお　(第二)リョ合)(全平)名。〔荒療治〕　(一)外科ナドノ類、凡テアラク行フ療治。(二)轉シテ人ナド殺シテ仕舞ヲコト。

あられ・がひ　(第四ガ、第五イ)(第三上)名。〔…貝〕　貝ノ名。アラレノヤウナボッポッガ貝ノ外ニ幷ランデ非ルモノ。

あられ・がま　(第四カ)(…)名。〔…釜〕　茶ノ湯ニ使フ釜ノ一種。アラレノ形ヲ上ニ出シタモノ。

あられ・ともん　(第四ゴ)(第四上)名。〔…小紋〕　摸樣ノ名。アラレノツブガ細カク顯ハシタレモ。

◎必ズシモコレハ染メ摸樣ニ限ラズ、織リ小紋ニモアラレ小紋ハイクラモアル。

あられ・ざけ　(第三上)名。〔…酒〕　麹ガマダトケズザラザラ舌ニサハル位ノニゴリ酒。

あられ・そば　(第四上)名。〔…蕎麥〕　ツユノバノ一種。バカ貝カラ取ッタハシラヲ上ニフリ掛ケタ蕎麥。

あられ・ぢ　(全平)名。〔…地〕　摸樣ノ名。凡テアラレノヤウニ細クナッタ小紋ノガラ。

++あられ・ばしり　(第四上)名。〔…走り〕　ムカシ、正月十六日ニ行ナッタ踏歌。　ふか參考。

○あられ・ふり　(第五上)枕。〔…降り〕　かしまぢ、きしみ、とはつナドニ掛カル枕コトバ。

○あられ・もなし　(第三上)(第五上)形。〔ありえられもなしノ義〕　有リサウモ無イ。

○あら・を・だを　(…)枕。〔荒小田を〕　かへすノ一種。(第三遥)(全平)形。　(一)〔粗〕ニ掛カル枕詞。

▲あら・つ・ぽい　(…)(…)名。　あらつぽい〔荒つぽい〕ザラザラスル。＝細カク無イ。(二)〔荒つぽい〕アラアジイ。＝タケダケシイ。

▲あら・つ・ぽさ　(…)(…)名。　アラッポクアル度合ヒ。

あり　(…)名。〔(蟻)〕　小サナ蟲ノ名。春ノ末カラ秋ニカケテ食物ヲ取リ、ソレヲ貯ヘテ冬ハ地面ノ中ニ潛ム。六本ノ足、クビレタ腰、種類ニ依ッテハ、大キイノハ一寸足ラズアル。小サイノハ一分二分位。種類ハ甚ダ多ク、イヅレモ皆力ガ强ク、ヨク稼グ。

あり　(…)名。　ヒラタイ板ヲ反ラセヌ爲メモクメデブッ違ヒノ溝ヲ堀リ、細イ木ヲ筱メタモノ。

あり　(第一上)名。〔(有)り〕　有ルコト。＝其儘デアルコト。＝「ありノママ」。

あり　(…)自動、ら變。　(一)無クナイ。＝存在スル。＝現在スル。　(一)非ル。＝「東ニあり」。(二)心ヨクアル。＝夫木集「聞ケバあり聞カネバワビシ杜鵑」。

あり・あけ　(全平)名。〔有り明け〕　(一)空ニ月ガ殘リナガラ早ク夜ガ明ケルコト。オモニ十六日以後。　(二)ありあけあんどんノ略。

ありあけ・あんどん　(第五上)名。〔…行燈〕　夜アカシニッケテ置ク行燈。

ありあけ・がた　(第五カ)(全平)名。〔…方〕　明ケ方。＝夜明ケ。

あり・あはス　(第四ワ)(…)自動、下二。〔有り合はす〕　(…)(…)名。　ありあふト同ジ語。

ありあはせ　(…)(…)(…)　アリアヒ。

●ありあはせル　近體動詞。

あり・あひ　(第四イ)(全平)名。〔…ひ〕　アリアフコト。＝アリアハセ。

あり・あフ　(全平)自動、四段。〔…ふ〕　丁度其場ニアル。＝工合ヒョク手元ニアリ合ハセル。

ありあまる　(第一上)又(第四上)自動、四段。〔有り餘る〕　必要ヨリハ多イ。

ありあり　(第三上)根。〔在り在り―分明〕　マザマザ。―鮮明ニ其處ニアル。

△ありあらて　(第一上)副。〔……て〕　其儘ニアッテ。―源氏〔ありありてヲコガマシキ名ヲ取ルベキナメリ〕。

ありあり と　(第三上)副。〔……と〕　ハッキリト。―マザマザト。―分明ニ。

ありうら　(全平)名。(亜洲)　第二ノ位ニ立ツ人。又ハ物。―跡ニ續ク可キモノ。

ありゃウ　(第三上)自動、下二。〔在り得〕　永ク世ニ殘ル。―世ニ在ルコトガ出來ル。

ありか　(第二上)名。〔在り處〕。〔かハすみか ナドノか〕　物ノ在ル處。―源氏〔尋ネユク幻モガナ、ツラニラモ魂ノありかヲ其處ト知ルベク〕。

ありうらさん　(第二上)(全平)名。〔亜硫酸〕　硫黄ヲ燃スキオコル一種ノ瓦斯。呼吸ヲツメル性質ノアルモノ。

△ありか　(第二上?)名。　今イフヲキガ。―ワキクソ。

△ありかず　(第三上)名。〔在り數〕　世ニアツタ經タ年ノカズ。―古今集〔ワダツミノ濱ノ眞砂ヲカゾヘツツ君ガ千年ノありかずニセン〕。

●ありがたイ　(第三ガ)(第四上)形。〔有り難い〕　ありがたしノ近體形容詞。―ありがたしノ第三ノ解ト同ジ意味。

ありがたさ　(……)(第三上)名。〔……さ〕　アリガタクアル度合ヒ。

○ありがたシ　(……)(……)形。〔……し〕　(一)世ニ在ルコトガ難イ。(二)無イ。―ダグヒガ少ナイ。―減多ニナイ。―源氏〔御カタチ、心バヘありがたく珍ラシキ迄見エタマフ。(三)轉ジテ〕カタヲケナイ。―感謝ニ堪ヘヌ。

ありがたなみだ　(……)(第五上)名。〔……涙〕　タフトク、又ハ嬉シク思ッテ出ル涙。―感涙。

++ありがためいわく　(……)(……)名。〔……迷惑〕　カタジケナイヤウデ却テ不利益ナコト。

△ありがて　(……)(全平)自動、下二? 世ニアリカネル。―萬葉集〔アスカガハ水ユキマサリイヤヒケニコヒノマサラバありがてマシモ〕。

△ありがほシ　(……)(第四上)形。〔在りが欲し〕　存在シテアリタクオモフ。

ありがも　(全平)名。〔毦毳〕　毛織ノ毛氈ノタグヒト云フ。―日本紀〔ありかも一領〕。

ありがね　((第二ガ)(第二上)名。〔在り金〕　手許ニ在ル金錢。―現在ノカネ。

++○ありき　(第二上)名。〔非り き〕　アリクコト。―アルキ。―アコヒ。

++○ありきそめ　(……)名。〔……初め〕　小兒ノアルキハジメ。

ありきたり　(……)根。〔在り來り〕　元ノママ。―ザイライ。

○ありぎぬ。の　((第三上)枕。〔鮮衣の〕　みへ、たかちさえ杯ニカカル枕詞。

●ありきり　(全平)副。〔在り切り〕　アルダケ。―アル限リ。―アリキリ。

●ありぎり　((第三ギ)(……)副。　ありきりト同ジ語。

○ありク　(第二上)自動、四段。〔歩く〕　あるくノ古體。―枕ノ草紙〔雪フリ氷リナドシタルニマウシブミナド持テありく〕。

○ありぐるし　((第三グ)(第四上)形。〔在り苦し〕　此世ニアルコトノ苦シイ。

ありさき　(全平)名。　殆ノ名ドコロ。兩脇ノサガリ

ありさま　(第二上)名。〔有り樣〕　アルサマ。―ヤウス。―スガタ。―景氣。―グアヒ。―體裁。―アリヤウ。―カタチ。

△ありす　(第一上)名。〔在り巣〕　只ノ巣ト同ジ義。―躬恒集〔ウメガエニ來住ムありすノ鶯ハナキマニ花ヲヲラセツルカナ〕。

ありすずび　((第四イ)(全平)名。〔蟻吸ひ〕　小鳥ノ名。キツツキノ小サイタグヒ。目白ノ樣ナ輪ガ目ノマハリニアリ、咽カラ腹ハ玉子色デ、尾モ同ジ色デ長ク、頭ト脊トハ茶色デ、全身ニ何レモ黑イマダラヲ有ツ。性質能ク小虫ヲ取ッテ食フ。

○ありそ　(全平)名。〔有り磯〕　あらいそノ約。

○ありそうみ　(第三上)名。〔……海〕　あらいそうみノ約。

○ありそべ　(全平)名。〔……邊〕　アラインノ邊。

○ありそまつ　(第三上)名。〔……松〕　アライソニ生ヘタ松。

○ありそまつ　(第三上)枕。〔……〕　あをまつ(吾待―青松)ニカカル枕詞。

ありたか　(……)名。〔有り高〕　現在アルタケノ高。

ありたけ　(全平)副。〔有り丈〕　其處ニアル限リノ數ヲ盡シテ。―近松、吉野都女楠〔酒モ酢モありたけハタケ！買フテヤル〕。

△ありたたス　(第四上)自動、四段。〔有り立たす〕　ありたつノ敬語。

△ありたツ　(第三上)自動、四段。〔有り立つ〕　タダノたつ(立)ト同ジモノ。(ありハ別ニ深イ意味ナク、只續イタダケ)。

△ありたもとほル　(第五上)自動、四段。　此



世ニアッタ經メグル。

ありぢごく　(第二上)名。〔蟻地獄〕　すりばち蟲ヲ一名。あとびさり參考。

ありづか　(全平)名。〔……塚〕　蟻ガ泥ヲ集メテ作ッタ巣。―アリノダフ。

△ありつかはし　((第五ワ)(第五上)形。　似合ハシイ。―フニアヒデナイ。

●ありつき　(全平)名。〔有り付き〕　スベテアリツクコト。―方向。―オチツキ。―フリカタ。―「身ノありつきが定マル」。

ありつク　(……)自動、四段。〔……く〕　(一)○似合フ。―ニツカハシクナル。(二)住ミサダマル。―エンヅク。(三)●蝟ム所ガ出來ル「秦公口ニありつく」。

○ありつク　(……)他動、下二。〔……〕　住ミ付カセル。

●ありづら　(第四上)名。〔……面〕　スベテ、自分ガ物ヲ所有スルト見セル顏ツキ。―「ありづらヲスルモノニ金ノアツタタメシガナイ」。

●ありてい　(第三上)根。〔……體〕　アリノママ。―ウレイッハリノ無イトコロ。

ありどころ　(第三上)名。〔在り處〕　在ルトコロ。―アリカ。

●ありどほし　(全平)根。〔在り通し〕　常ニ在ルコト。―間斷ナク存在スルコト。

ありどほし　(全平)名。　小サナ水ノ名。山中ニ生ヘル。葉ハ枸杞ニ似テ圓クテ尖リ、葉ノモトニ必ズトゲガアリ、春白イ花ヲ着ケ、ノチ實ヲ結ブ常ニアルト云フ所カラ此名モッタ。―コトリトマラズ。―ヲランダグコ。―キズミツバナ。―キズミノハナトホシ。

ありなし　(第一上)根。〔有り無し〕　アルカナイカデアルコト。―極メテ微カデアルコト。―目ニ立タヌコト。―千載集〔小山田ノ庵ニタク火ノありあしニ立ツ煙モヤ雲ト見ニラン〕。―西鶴、一代女〔ソレヨ、ソレヨ、此人形ニコソ仔細アレ、殿サマソレヲありなしニ遊バシ御國元ヨリ美女取リ寄セタマヒ〕。

△ありなしのくも　((第五グ)(第五上)名。〔……雲〕　有ルカ無イカ定マラヌ雲。

ありなしのひ　(第二及第六上)名。〔……の日〕　五月廿五日、村上天皇崩御ノ日。此日ハ政治ヲ休ミ、マツリ緊急ノ事ガアレバ休マヌ、其レデ政治ガありなしのひト云フ義。

△ありなム　(第二上)他動、四段。〔あり(有り)いなむ(辭退)ノ義〕　只ノいなみ、即チ辭退ト同ジ語。同ジ義。

△ありナらひ　((第五イ)(全平)名。〔有り習ひ〕　アリナラフコト。―常ノ癖。―習慣。

△ありならフ　(……)自動、四段。〔……ふ〕　慣レル。―習慣トナル。―クセトナル。

▲ありねず　(……)名。　丹波ノ方言。くろありすきノ一名。

▲ありの。き　(第三上)名。〔蟻の水〕　梨ノ一名。〔緣喜ヲ祝ッテ、あり(有り)ニ通ハセ、又一方ニハあり(蟻)ガ好ムトイフ處ニヨセタモノ〕。

△ありの。すさび　(全平)名。〔すさびハすさみノスサミ。―アリノママニ進ムコト。―アリカタラハデ繼ヒシキモノトワカレテ知ル〕。

ありの。たふ　((第四ト、第五ウ)(第三上)名。〔蟻の塔〕　(一)アリヅカ。(二)原ニ生ヘル小草ノ名。―ノミトリグサ。

ありの。ぢごく　((第五ゴ)(第六上)名。〔……地獄〕　蟲ノ名。あとびさりノ一名。

ありの。とわたり　(第七上)名。〔……門渡り〕　(一)一列ニ列ッテ行ク蟻ノアルキカタ。(二)轉ジテ細イ道。(三)又轉ジテ〕ヱイン。

△ありの。ひふき　(第四上)名。　桔梗ノ古言

ノ一ッ。―和名抄〔阿里乃比布岐〕。

ありの。まがひ　((第五ガ、第六イ)(第一及第五上)名。　マガヒ易イホド物ガ多クアル。―日本紀〔莫莫紛紛(訓、アリノマガヒ)〕。

ありの。まま　(第一及第五上)根。〔在の儘〕　ソノママデアルコト。―ツクロハヌコト。

ありの。まま。に　(第一及第五上)副。〔……に〕　アリノママノ副詞體。

ありの。み　(第三上)名。〔有りの實―蟻の實〕　(一)梨ノ異名。ありのき參考。(二)山梨ノ一名。

ありはつ　(第四上)自動、下二。〔有り果つ〕　ヲハリマデ存在スル。

ありふ　(第三上)自動、下二。〔有り經〕　世ニアッテ年月ガ立ツ。―源氏〔モノウゲナル御ケシキナガラありへタマフナメリカシ〕。

○ありふル　(全平)自動、下二。〔……觸る〕　ドコニモアル。―世ノ中ニ多クアル。―アリフレル。

●ありふれル　(……)自動、二。〔……れる〕　ありふるノ近體。

ありへい　(……)名。　あるへいト同ジモノ。

ありべかかり　(……)根。　手アタリ次第。―ヤタラ。―ムシャウ。―近松、曾根崎心中〔ソレ煙草盆、御盃ト、ありべかかりニ立チ騷グ〕。

ありまい　(第二上)名。〔在り米―(現米)〕　有リ合ハセノ米。

ありまき　(……)名。〔蟻卷き〕　小サナ蟲ノ

名。竹ヤ又ハ草木ノ若葉ノ上ニ付ク。身ハマルク、頭ハ光リ、鬚ガアル。足ガ六本、緑色ノモアリ、薄紅ノモアル。後ニ羽化シテ飛ブ。コノ蟲ハ味ガ甘イ故ニ、蟻ガ好ンデ此跡ヲ追ッテ常メル。ソノ黒イノハ黒蟻ニ常メラレタ故。赤イノハ赤蟻ニ常メラレタ故。＝アブロシ。＝アブラムシ。

ありまさう　((第四ッ))(全平)名。〔有馬草〕　闌ノ類ノ小ツナ草。黄又ハ白ノ花ガ咲ク。

○ありまつ・すび　(第三上)枕。〔…菅〕　ありニ掛カル枕詞。

ありまつ・しぼり　(第五上)名。〔有松絞り〕　尾張ノ國有松カラ出ルシボリヅメノ名。＝ナルミシボリ。

△ありもどり　(第四上)他動、四段。〔有戻ク〕　世ニアッテ人ニ遊ラフ。

ありや　((第二三合))(第一上)感。　あれト同シ意味ノ感動詞。掛ケ聲ナドノ時ニオモニ言フ。

ありやう　((第三ョ))(第三上)名。〔有り樣〕　(一)アリサマ。＝樣子。(二)實ノ所。＝イッハリノ無イ形。＝「ありやうハカウカウノ始末」＝大平記「マゴビッシノ蔭ニ立チ隱レテ此鳥ノありやうヲ覗ヒ見ルニ」。

●ありやこりや　((第二三合、第五六合))(全平)感。「あれや(彼)これや(是)ノ義」此ト彼レト。＝轉ジテ此處ニアル可キモノガ其處ニアリ、其處ニアル可キモノガ此處ニアルコト。

ありやこりやに　((…))(…)副。〔…ニ〕　ありやこりやノ副詞體。

△ありわたル　(第一上)自動、四段。〔在り渡る〕　存在シテ年月ヲ經ル。

△ありわブ　(第二上)自動、下二。〔…餓ム〕　居兼ネル。＝居ルニ忍ビヌ。

▲ありつたヲ　((第三逼))(全平)名。　ありたけノ轉訛。

▲ありんばう　((第四ボ))(全平)名。　越後アタリデオモニイフ方言。＝アリ。

▲ありんばう　(…)名。　ありんばうト同ジコトバ。同シ邊デ云フ。

△あル　(第一上)自動、下二。〔生る〕　うまるノ約。

○あル　(全平)自動、下二。〔荒る〕＝荒レ驕グ。(二)コハレルママニシテ儘ク(建物ナド)。(三)アブラガナクナル(手足ノ)。

あル　(第一上)　あり(有)ノ分詞法。確カニ分ラヌ物體ヲ指シテ云フ語。＝「ある人」＝「ある日」＝「ある所」。

▲ある　(第二上)名。　越後ノ方言。蟻。

あるかきり　((第四キ))(第一上)副。〔有る限り〕　アルダケ。

あるかり　(全平)名。〔亞爾加里〕〔英語、Alkali〕　化學ニイフ語。ポッタアス、ソオダノ類ノ總名。

△あるき　(第三上)名。〔歩き〕　アルクコト。＝アユミ。＝アリキ。

あるく　(第二上)自動、四段。〔…く〕　あゆむト同ジ語。＝アリク。

あるこれる　(全平)名。〔亞爾格爾〕〔英語、Alcohol〕　酒ヲ蒸溜シタ物。＝燒酎＝酒精。

あるじ　(第一上)名。(一)〔主＝主人〕家ノヌシ。＝主人。＝アロジ。＝亭主。(二)〔主〕主人トナッテ人ヲモテナスコト。＝フルマヒ。＝馳走。

△あるじまうけ　((第三モ))(第四上)名。〔接待〕　馳走ノ仕度。

△あるは　((第三ッ))(第一上)接。〔或は〕　あるひはノ略。

あるはべつと　((第五逼))(第四上)名。〔英語、Alphabet〕　歐米ノエ(a)ビ(b)シ(c)。

あるひ・は　((第三イ、第四ワ))(第二上)接。〔或ひは〕　コレデナケレバ彼レトスベテ一ツ以上ノモノゴトヲ取リ合セテイフ語。

あるひは　(…)名。　「山あるひは川」。

あるへい　(全平)名。〔有平〕　うノ翠。

△あるへい・ざいく　(第五上)名。〔…細工〕　アルヘイデ色色ノ形ヲ拵ヘタモノ。

あるへい・たう　((第五ト))(全平)名。〔…糖〕　あるへいるト同シモノ。

あるへいる　(…)名。〔語原不詳〕　砂糖ヲ煎シツメ練ッテ飴ノヤウニ固メタモノ。色色ノ細工ニ作ル。

△ある・べ・かし　(第四上)形。〔ある(有)べか(可)しノ義〕　ソウアッタライイト思フ。＝ソウ有リタイ。＝源氏「モノマメヤカニあるべかしう書キ賜ヒテ」。

△あるみ　(第一上)名。〔荒海〕　アラ海ノ約。

あるみ　(全平)名。〔亞爾美〕〔英語、Aluminium〕　金屬ノ名。眞鍮ニ似テ光リノ强ヨイモノ。

あるめにあん・しう　(第五上)名。〔あるめにあん宗〕〔英語、Armenian〕　あるめにあ國ニ起ッタ宗教ノ名。

△あるめんさい　(…)名。　織物ノ名。トロメンノ類。昔、オモニ此語ハ用ヰタ。をらんだカラ渡ッタキレノ一種。

△あり・もの・がは　((第五カ、第六オ))(第四上)名。〔有り物顔〕　我ガモノ顔。

あれ　(第二上)名。〔阿禮〕　四月ノ賀茂ノ祭ニ、色色ノ切レヲ柳ニ垂レ飾ッタモノ。＝延喜内藏式「阿禮料五色」。

あれ(全平)名。〔荒れ〕　アラシ。＝暴風雨＝シケ。



あれ　(…)代。〔彼〕〔かれ(彼)ノ轉〕　かれト同ジコトバ。

あれ　(第一上)感。　驚イテ發スル聲。

あれこれ　(第二上)代。〔彼是〕　かれこれ。

△あれた　(全平)名。〔荒れ田〕　荒レタ居ル田。

あれ・ち　(…)名。〔…地〕　荒レタママニナッタ土地。

△あれ・うぐ　((第四グ))(第三上)他動、四段。〔生れ繼ぐ〕　ウマレタワザヲ受ケ繼グ。

あれ・の　(…)名。〔荒れ野〕　荒レタ野。＝アラノ。

あれ・のみ　(全平)名。〔…飲み〕　荒レテ酒ヲ飲ムコト。＝鄙墨ニ飲ムコト。

あれば　(…)名。〔…場〕　芝居デ云フ詞。タテノアル場所。＝修羅場。＝盛場新語「あれば」。

△あれ・は・たれ・どき　((第三ワ))(第四上)名。〔かはたれどきト同ジ類ノ語。明方、夕暮ナドヲ云フ。ホノ暗クテ人顔モ確カニ見ニズ、アレハ誰カト思フ時刻ノ故ノ名。＝源氏、「あれはたれどきナルニモノノ調ベドモ而白ク」。

○あれ・はつ　(第三上)自動、下二。〔荒れ果つ〕　殘ラズ荒レル。＝充分アレル。

●あれ・はてル　(第四上)自動、二。〔…てる〕　あれはつノ近體。

△あれ・まス　(第三上)自動、四段。〔うまれ(生)ます(座)ノ義〕　うまるノ敬語。

あれ・ひき　(全平)名。〔阿禮引き〕　賀茂ノ祭リノ日。阿禮ノ柳ノ繩ヲ引クコト。

○あれ・ゆク　(第三上)自動、四段。〔荒れ行く〕　荒レテ年月ヲ經ル。＝ダンダン荒レル。

●あれル　(全平)自動、二。〔…る〕　あれる(荒)ノ近體。

あれ・をもと　(第三上)名。〔阿禮男〕　あれをとめノ對。神主ノ中デ巫主トナッタ男。

あれ・をとめ　(…)名。〔乙女〕　賀茂ノ齋主。あれノ祭リニ仕ヘルヲトメ。＝類聚國史「阿禮平止賣」。

△あろじ　(第一上)名。〔主〕　あるじノ古體。

あわ　(第二上)名。〔泡＝沫〕　(一)水ノ中ニ空氣ヲ含ミ、表面ガ丸クフクレタモノ。＝アブク。＝ハウマッ。(二)硝子ノ中ニ吹キカケタノ魔末カラ顯ハレル空虛。(三)口ノ端ナドニ出スツバキノ粒。＝「聲ガあわヲ吹ク」。

◎あわヲクフ。＝(アワテル)。◎あわヲフク。＝(不意ヲ打タレル)。◎あわヲフカセル。＝不意ヲ打ッ。

あわをノ翠。＝枕ノ草

あわ・ぶき・むし　(第四上)名。〔泡噴き蟲〕　オモニ、椿、山茶花、カクレミノナドノ枝葉ノ間デ甚シク泡ヲ吹キ出シ、ソノ泡ノ中ニ住ム小ツナ蟲。後ニ化シテ、クッセミトナル。＝ツバキ蟲。

あわ・もり　(第二上)名。〔…盛り〕　燒酎ノ一種。甚ダ上品ノモノ。オモニ、琉球カラ出、正白米デ造リ、瓶ニ密封シ、度度採ンデ五六年ヲ經テ始メテ賣ル。

あわ・もり・さう　((第五ッ))(全平)名。〔…草〕　草ノ名。升麻ノ類。葉ハ濃綠デ光リヲ持ッ。春夏ノ間、白イ花ガ咲ク。＝アワモリ升麻。

あわ・もり・しようま　((第五、六合))(第五、六上)名。〔…升麻〕　アワモリサウ。

あわ・もり・だひ　((第六イ))(第四上)名。〔…鯛〕　卵ノ白ミヲ鯛ノ身ニ塗ッテ、殘ラズヲ蒸シタモノ。料理ノ名。

あわ・ゆき　(第二上)名。〔泡雪〕　(一)春ナドノ雪。殆ンド泡ノヤウニ溶ケ易イ故ノ名。(二)梨ノ實ノ一種。梨ノ中デハ味ヒガ最モウマク、水氣ガ多ク、サナガラ泡雪ヲ噛ムト同ジイト云フ所カラ付ケタ名。

あわ・ゆき・どうふ　(第五上)名。〔…豆腐〕　搗ヘハ並ノ豆腐ト同ジク、只終リニ布ニ包ンデ押サズ、ソノママ柔ラカクシテ置イタモノ。

○あわゆき・の　(第二上)枕。〔…の〕　ゆナドニ掛カル枕詞。

あわわ　(全平)名。　子供ノ遊ビ。口ヲ開キ、掌ヲアテテ叩キナガラ聲ヲ出スコト。

△あわ・を　(…)名。〔沫緒〕　紐ノ結ビカタノ人。又深ク驚ク人。

●あわてル　(…)自動、二。〔…てる〕　あわつノ近體。

あわ・ふき・むし　(第四上)名。〔泡噴き蟲〕　オモニ、椿、山茶花、カクレミノナドノ枝葉ノ間デ甚シク泡ヲ吹キ出シ、ソノ泡ノ中ニ住ム小ツナ蟲。後ニ化シテ、クッセミトナル。＝ツバキ蟲。

あわ・もり　(第二上)名。〔…盛り〕　燒酎ノ一種。甚ダ上品ノモノ。オモニ、琉球カラ出、正白米デ造リ、瓶ニ密封シ、度度採ンデ五六年ヲ經テ始メテ賣ル。

あわ・もり・さう　((第五ッ))(全平)名。〔…草〕　草ノ名。升麻ノ類。葉ハ濃綠デ光リヲ持ッ。春夏ノ間、白イ花ガ咲ク。＝アワモリ升麻。

あわ・もり・しようま　((第五、六合))(第五、六上)名。〔…升麻〕　アワモリサウ。

あわ・もり・だひ　((第六イ))(第四上)名。〔…鯛〕　卵ノ白ミヲ鯛ノ身ニ塗ッテ、殘ラズヲ蒸シタモノ。料理ノ名。

あわ・ゆき　(第二上)名。〔泡雪〕　(一)春ナドノ雪。殆ンド泡ノヤウニ溶ケ易イ故ノ名。(二)梨ノ實ノ一種。梨ノ中デハ味ヒガ最モウマク、水氣ガ多ク、サナガラ泡雪ヲ噛ムト同ジイト云フ所カラ付ケタ名。

あわ・ゆき・どうふ　(第五上)名。〔…豆腐〕　搗ヘハ並ノ豆腐ト同ジク、只終リニ布ニ包ンデ押サズ、ソノママ柔ラカクシテ置イタモノ。

○あわゆき・の　(第二上)枕。〔…の〕　ゆナドニ掛カル枕詞。

あわわ　(全平)名。　子供ノ遊ビ。口ヲ開キ、掌ヲアテテ叩キナガラ聲ヲ出スコト。

△あわ・を　(…)名。〔沫緒〕　紐ノ結ビカタノ

名ト云フ。其マコトノ結ビ方確カナデイ。
＝アヲ。―萬葉集「玉ノ緒ヲあをにヨリテ結べレバ」。

あを（第一上）根。（藍）　染メ草ノ藍デ染メタ色。青ヨリハ濃ク、紺ヨリハ薄イモノ。

あを（…）名。（…）　（一）草ノ名。春、種ヲ蒔ク。葉ノ色ハ濃ク、蓼ニ似テ大キク、夏、枝ノ梢ニ穂デノ花ノヤウナ花ガ咲ク。＝タデア非＝アヲタデ。（二）染メ草ノ名。草ノアヲノ葉ヲ夏刈ッテ粉ニシ、黒クナルマデ乾シ、日陰デ水ヲ灌ギ、ソノ汁ヲ絞ッタノヲ固メテアヲダマトナル。藍ノ具、染料ナドニツカフ。

あをかは（第四ワ）（全平）名。（…草）　アヲ非デ染メタ草。昔ノ奴束ニ使ッタモノ。

あをがへし（第四ヱ）（第三上）名。（…返し）　模様ノアル上ヲ又藍デ染メタモノ。

あをがみ（第三カ）（第二上）名。（…紙）　染メ草又ハ藍ノ具ノ名。ウツシバナノ類。其花カラ採ッタ汁デ染メタ紙。＝ウツシバナ。＝コンガミ。＝アヲガミ。

あをがめ（…）（第一上）名。（…瓶）　藍ヲトカシタ水ヲ貯ヘテ置ク甕。＝アヲツボ。

あをげ・ねずみ（第四上）根。（…氣風）　染メ色ノ名。鼠色ニ藍ガ掛カッタモノ。＝アヲ非ネズミ。＝アヲ非ネズ。

あをけ（全平）名。（…）　藍ノ色ノ様子。

あを・とびちゃ（第五、六合）（第四上）根。（…雀）　染メ色ノ名。コビチャ色ニ藍ノカカッタモノ。

あを・さめ（第一上）名。（…鮫）　鮫ノ類。ソノ皮ヲ刀ノ鞘ナドニ使フ。

あを・すみ（第二上）名。（…墨）　藍デ造ッタ墨。＝アヲズミ。

あを・まり（…）名。（…溜り）　藍デ摺ッタ布。

あを・そめ（…）名。（…染め）　スベテ、藍デ染メルコト。又染メタモノ。

あを・たけ（第二上）名。（…竹）　菌ノ一種。上野ノ山ニアル。茎、マッサヲナモノ。

あを・たで（…）名。（…蓼）　（一）あをノ同シモノ。（二）タデノ一種。葉ハ丸クテ藍ニ似テ居ル。

あを・だま（全平）名。（…玉）　藍ノ薬カラ取ッタ汁ヲ丸ク固メタモノ。

あを・つぼ（第二上）名。（…壺）　アヲ非ガメ。

あを・なめし（第三上）名。（…革）　藍色ノナメシガハ。

あを・ねず（…）根。（…鼠）　あをねずみノ略。

あを・ねずみ（…）根。（…）　染メ色ノ名。紺青色ノ濃イモノ。

あを・ばな（全平）名。（…花）　ツユクサ。

あを・みるちゃ（第五、六合）（第三上）根。（…海松茶）　染メ色ノ名。センザイ茶ノ稍濃イモノ。

あを・ちふ（第三ロ、第四ウ）（第一上）名。（…蟹）　藍ガメノ上ニ浮ク泡ヲ取ッテ乾シタモノ。

あを（…）根。（一）七色ノ一ツ。晴レタ日ノ空ノヤウナ色。（二）兼チテ緑色。―「あを」を葉。（三）馬ノ毛色。クロ（四）モノノ熟セヌコト。―「あをクチバシ」。―「あをザムライ」。―「あをニサイ」。

あを（第一上）名。（襖）　裏ヲ付ケタカリギヌ。＝カリアヲ。―源氏「イロイロノあを」ノッギッギシキ縫ヒ物ノ。（二）袍ノ両ワキノ明イタモノ。＝非ヲヲ。（三）アヲシ。―著明集「あをトイフモノヲ借リテ」。

あを・あかざ（第三上）名。（青藜）　草ノ名。赤クナイアカザ。＝シロアカザ。＝シロサ。

あを・あづき（…）名。（…小豆）　豆ノ名。

やへなり＝同ジモノ。

あを・あは（第四ワ）（…）名。（…粟）　白色ノ粟。

あを・あふ（第三上）名。（…蝿）　蟲ノ名。コアブ。

あを・あらし（…）名。（…嵐）　青葉ニ吹キ渡ル風。―「尾上ニワタルあをあらし」。

あを・あを（…）副。（青青）　サモサモ青イコト。＝コトゴトク緑デアルコト。

あを・あを・と（…）副。（…と）　前ノ副詞體。

▲あをい（第二上）名。　落葵ノ異名。ゴテンコトバ。

●あをイ（…）形。（青）い）　あをし（青）ノ近體形容詞。

あを・いろ（全平）名。（…色）　ムカシノウハギノ名。＝キクヂン。―枕ノ草紙「青シノ瓜八夜ナド八ノ節ナドニ只あをいろヲ着テ」。

あを・うきくさ（第四上）名。（…萍）　草ノ名。浮ノ一種。小サナ隋圓形ノ葉、水ノ上ノ浮ク。

○あをうなばら（…）名。（…海原）　アヲアヲト見エル海面。―日本紀、「滄溟訓アヲウナバラ」。

あを・うま（全平）名。（…馬）　（一）白イ馬。―枕ノ草紙「あをうまを見ントテ里人ハ車清ゲニ仕立テテ見ニ行ク」。（二）あをうまノ節會ノ略。（三）普通ニハ黒色ノ馬。

あを・うまのせちゑ（…）名。（…節會）　ムカシ陰暦正月七日左右ノ馬寮カラ廿一匹ノあをうまヲ庭ニ牽キ、天皇ガ御覽ジテ其後ニ行ハレタ節會。―文德實錄、「仁壽二



年正月甲戌幸馬寮院以觀青馬助陽氣也」。―土佐日記、「クヲハあをうまナド思ヘド甲斐ナシ」。

あを・うまのせちゑ（第六上）名。（…の節）　京都禁裏ノ春華門ノ内ノトナヘ。正月七日あをうまノ節會ノ時馬寮ノ人人ガ並ブ所。―拾芥抄「春華門謂之白馬陣」。

あを・うみ（第三上）名。（蒼海）　アヲウナバラ。

あを・うめ（全平）名。（青梅）　ナマデマダ青イ梅ノ實。―西鶴、若風俗「アケノ日ヨリあをうめヲクヒカガリテ月日ヲ重ネ、此若衆ワウミイガス」。

あを・うり（第三上）名。（…瓜）　（一）光リノアル白瓜。並ノ白瓜ヨリアヲミノッヨイモノ。＝モミ瓜。＝クロウリ。＝和名抄「青瓜一名青發、和名阿乎宇利」。（二）マルヅケ瓜ノ一名。

あを・えしもさか（全平）名。（…江下坂）　備中ノ國カラ銀ヱテ出ス刀劍ノ總名。鳥羽帝ノ頃安次ト云フ人ガ始メテ銀ヱ出ス。―「ズントキレマスあをえしもさか」。

△あをがき・やま（第三カ）（第四上）名。（青垣山）　青青ト茂ッタ木ガ垣根ノ様ニ取リ巻イテ居ル山。

あを・がさ（第三上）名。（…傘）　青イ紙デ張ッタサシガサ。＝ヒガサ。＝紙傘。「あをがさサシセテアメウリニ小唄ヲドリデ出シタレバ」。

あを・がしは（…）（第五ウ）名。（…柏）　ナマデ青イ柏ノ葉。

あを・かすげ（第五ケ）（…）根。（…粕毛）　馬ノ毛色。青ミヲ帶ビタカスゲ。

△あを・かち（全平）根。（…褐）　青ミノアルカチイロ。―延喜彈正式「踏鞴染青褐」。

あを・かづら（第三上）名。（…葛）　山ヤ野ニ生ヘル草、蔓ハ亞ッテ長ク、葉ハ圓ク尖ッタノモ、隋圓ノモ、三角ノモ、色色アル。三四月頃花ガ咲キ、ノチ圓イ實ガナル。＝アヲツヅラ。＝ツヅラフヂ。＝ツヅラカヅラ。＝チンカヅラ。＝ピンピンカヅラ。＝ヤブカラシ。

あを・がは（第三カ、第四ワ）（全平）名。（…草）　アヲク染メタナメシガハ。

あを・かはづ（第四ワ）（第三上）名。（…蛙）　蟲ノ名。アヲガヘルト同ジモノ。

あを・がひ（第三カ、第四イ）（全平）名。（…貝）　（一）ラタン。（二）近世多ク晒ノ殼ヲ巧ミニ摺リ、ラタンノマガヒニシタモノ。

あを・がへる（第三カ、第四ヱ）（第三上）名。（…蛙）　蟲ノ名。カヘルノ一種。草色デ水ニ住ミ、能ク鳴ク。＝アシナガガヘル。＝アヲカハヅ。＝コトコトガヘル。＝ケタケタガヘル。＝和名抄「阿平加閑洗」。

あを・がみ（第三カ）（全平）名。（…紙）　コンガミ。

あを・かもかみ（第四上）名。（…唐紙）　カサチノ色目ノ名。表ノ堅ハ薄青横ハ萌黄ノ一種。枝ヲ多ク打ッ。皮ハ緑色デ、葉ハ三ッニ尖リ、夏五瓣デ玉子色ノ花ヲ著ケ、ノチ實ヲ結ブ。即チ梧桐子。＝キリ。＝アヲギリ。＝梧桐。

あを・かも・ぐ（…）名。（…ぎ）　青ク光ク目ノ名。表ノ堅ハ薄青横ハ萌黄レバ赤ク熟ス。あはきトハ別物。

あを・きた（第三ギ）（第三上）名。　物類稱呼「八月ノ風ヲあをきたト云フ」。

あを・きなこ（…）（第四上）名。（…黄粉）　青粉ヲマゼタ豆ノ粉。

△あをきなづな（…）名。　八雲御抄、「葉…あをきなづな云ヘリ」。

あを・きなづな（第三ギ）（全平）名。（…駒）　青ノ毛色ノ駒。

あを・さ（第一上）名。（…さ）　青クアル度合ヒ。

あを・さぎり（第三ギ）（全平）名。（…桐）　桐ノ一種。枝ヲ多ク打ッ。皮ハ緑色デ、葉ハ三ッニ尖リ、夏五瓣デ玉子色ノ花ヲ著ケ、ノチ實ヲ結ブ。即チ梧桐子。＝キリ。＝アヲギリ。＝梧桐。

あを・さぎる（…）名。（…草）　アヲアヲト生ヘタ草。

●あを・くさイ（第四上）形。（…臭い）　あをくさしノ近體形容詞。

あを・くさ・ま（…）名。（…さ）　青クサクアル度合ヒ。

あを・くさシ（…）形。（…し）　青草ナドノ様ナ臭氣ガアル。

△あを・くさ・すり（…）名。（…草摺り）　アヲズリ。

あを・くちば（…）名。（…朽ち葉）　カサヲノイロノノ名。表ガ青ク、裏ガ朽葉ノモノ。

あを・くび（全平）名。（…首）　首筋ニ青イ毛ノアルコト（鬼アヒルナドニアル）。

あを・ぐも（第三グ）（第三上）名。（…雲）　青ク見エル空。―延喜祝詞式「青雲能靈極白雲能靈坐向伏限」。

○あを・ぐも・の（…）（…）枕。　白ナドニカカル枕詞。―古事記「青雲之白肩津」。

あを・けら（全平）名。　鳥ノ名。キツツキ（啄木鳥）ノ一種。ヒヨドリ（鵯）位ノ大キサ、頭、頬、尾何レモ赤ク、體ハ薄萌黄デ、雌ヤ足ハ黑イモノ。

あを・こ（…）名。（青粉）　（一）青海苔ノ粉。（二）後世オホバカラシノ葉ヲ粉ニシテ料理ナドニ緑色ヲ付ケタモノ。

あを・こげ（第三コ）（…）名。（…苔）　木ヤ石ナドニ付ク青色ノ苔ノ總名。

あを・こま（…）（第三上）名。（…駒）　青ノ毛色ノ駒。

あを・さ（第一上）名。（…さ）　青クアル度

合ヒ。

あを・さ (…)名。〔海藻〕 (一)海苔ノ一種。水中ノ石ノ上ヘ生ヘル。毛ノヤウニ細ク極メテ綠色ノモノ。食用ニナル。＝カハアヲノリ。(二)チサ海苔ノ一名。海ノ石ニ付ク。色ハ綠デ全體ニ粘リ氣ガアル。食用ニナル。(三)ニガアヲサノ一名。海中ノ石ニ生ヘル。色ハ極メテ綠デ、味ヒハ餘リヨクナイモノ。

あを・さぎ ((第四ギ))(全平)名。〔…鷺〕 鷺ノ一種。常ノ鷺ヨリモ大キク、脊中ハ薄青ク、頭カラ頸マデ白ク長イ毛ガ生ヘ、所所ニ薄黑イ斑ガアル。＝ミトサギ。

あを・さぎ ((…))(…)根。〔…鞠〕 馬ノ毛色。青ミノアルツキゲ。

あを・さし (…)名。〔…繩し〕 (一)アヲソデ作ッタサシ。錢ヲ貫ヌクタメノ品。(二)〔轉シテ〕凡テサシニ貫ヌイタ錢。＝〔あをざし一貫文〕。

あを・ざし (…)名。 青麥ヲ熬ッテ臼デスリ、絲ノヤウニシタモノ。食用ニナル。＝枕ノ草紙、〔あをざしトイフモノヲ人ノモテキタルヲ〕。

あを・さしば (第四上)名。〔青刺し羽〕 鳥ノ名。形ハハヤブサニ似テヤヤ小サク、色ノ青イモノ。

△あを・さば (全平)名。〔…鯖〕 魚ノ名。さばノ古言。＝和名抄「鯖、阿乎佐波」。

○あを・さむ (第三上)自動下二。〔著冷む〕 青ク變ハル。＝青ミガカカル。＝西鶴、若風俗「俄カニマナコサシ變ハリ、……手足あをざめテ」。

△あを・ざむらひ ((第六イ))(…)名。〔青侍ひ〕 若イサムラヒ。オモニ、五六百年前ノ時代ニ云ッタ語。＝大平記「あをざむらひノ女性ヲ具シタル體ニ見セテ」。

あを・ざめ (全平)名。〔…鮫〕 青ミヲ帶ヒタサメ馬。

●あを・ざめル (第四上)自動二。 あをざめルノ近體。

あを・さんごじゅ ((第五ゴ、第六、七合))(第五上)名。〔青珊瑚〕 綠色ノ珊瑚。＝ラウカン。

△あを・し (第一上)名。〔襖子〕 昔ノ袷ノ名。綿ヲ入レタノモアル。寒サヲ防グ爲メニ着ル。〔略シテ〕アヲ。＝延喜、彈正式「凡庶人以上不得襖子重着」。

○あをシ (第一上)形。〔青し〕 あをいトオナジ語。

△あを・じ (第二上)名。〔青磁〕 今云フ青磁。＝枕ノ草紙、あをじノカメ。

あをじ (…)名。〔(蒿雀)〕〔あをしとどノ略〕 鳥ノ名。頭ト脊ハ黑ク、羽ハ茶ガカッタ綠デ腹ハ玉子色、翼ハ茶ガカッタ綠ニ黑ヲ帶ビル。秋、群ガッテ來テ、能ク囀ル。食用ニモナル。

あを・じし (第二上)名。〔青鹿〕 カモシカノ一名。

あを・しとど (第四上)名。〔…鴫〕 鳥ノ名。アヲジノ一名。

△あを・しら・つるばみ (第五上)根。〔…白橡〕 白ッルバミニ青色ノ掛カッタ色。＝山鳩色。

△あを・すそこ (第四上)根。〔…裾濃〕 アケ ボノニ染メタ青色。☞すそこ參考。

あを・すみ (全平)名。〔…墨〕 畫ノ具ノ名。墨ノ形ニ作ッタ青ノカタマリ。＝アヰズミ。

あを・すもも (第三上)名。〔…李〕 (一)未熟ノ李。(二)李ノ一種。熟シテモ色ノ青イモノ。＝シロスモモ。

あを・ずり (全平)名。〔…摺り〕 神樹ヤ祭リニ用ヰル服ノ名。白布ニ粉ヲヒキ、山アヰデ草ヤ鳥ノ摸樣ヲ押シ、摺リ出シタモノ。＝スリゴロモ。＝ヲミ。

あを・せきれい (第三上)名。〔…鶺鴒〕 鳥ノ名。鶺鴒ノ一種。極メテ形ノ小サイモノ。

あを・そ (全平)名。〔…麻〕 麻ノアライ所ノ皮。細ナドニスルモノ。

▲あを・そ (…)名。〔青麻(あをそ)ニ似タ故カ?〕 近江邊ノ方言。アヲダイシヤウ。

あを・そら (第三上)名。〔…空〕 空。

あを・ぞら (…)名。〔…〕 あをそらト同シ語。

あを・た (第一上、第二上)名。〔田〕 青青トシタ田。

△あを・た (全平)名。〔(便興)〕 アンダ。

あを・た (…)又第一上)名。 魚ノ名。色色ナ色ガアル。コセウダイニ似タモノ。鱗ハ細カク、皮ニ青色ノ筋ガアル。＝キンチヤクダイ。＝キンチャクウヲ。

あを・だいしゃう ((第六ヨ、第五、六合))(第五、六上)名。〔青大將〕 青クテ大キク育ッタダヒノ蛇。人ノ害トハナラズ鼠ナドヲ食物トスルモノ。

あを・たけ (全平)根。〔…竹〕 竹色ノ一名。

あを・だけ (第四上)名。〔…〕 ナマ竹(オモニ切リ取ッタママノモノニ就イテ云フ)。

あを・だま(全平)名。〔…玉〕 (一)青色ノ玉。(二)人造ノ玉。＝青色ノモノ。

あを・ぢ (…)名。〔…地〕 織リ物ナド地ノ青イモノ。＝〔あをぢノ錦〕。

あを・ぢく (…)名。〔…軸〕 梅ノ一種。臺モ若枝モ綠色ノモノ。＝綠萼梅。



あを・ちや ((第三四合))(第二上)根。〔…茶〕 青ミノアル茶色。

△あを・つか (全平)名。〔…塚〕 草ナドガオニ茂ッタ塚。

あを・つづら (第三上)名。〔…葛〕 草ノ名。アヲカヅラノ一名。

○あを・つづら (…)枕。〔…〕 くるト云フ語ニ掛カル枕詞。

あを・つばき (…)名。〔…椿〕 葉ノコトニ綠デアル椿。＝新撰六帖「イヤマシノヤツヲニシゲルあをつばき」。

あを・と (全平)名。〔…砥〕 色ノ青イ砥石。＝和名抄「阿乎度」。

あを・とかげ ((第五ゲ))(第三上)名。〔…石龍子〕 トカゲ(蜥蜴)ノ一種。尾ガ麗シク青イモノ。

あを・どさ (…)名。〔…土佐〕 土佐カラ出ル紙ノ名。＝コンドサ。

あを・とんぼ(…)名。〔…蜻蛉〕 蜻蛉ノ一種。色ノ青イモノ。

あを・な (第二上)名。〔…菜〕 (一)スベテ野菜ノ總名。(二)スズナ。

あを・なし (全平)名。〔…梨〕 梨ノ一種。稍赤ミガアリ、皮ハ青ク、早ク熟スルモノ。

あを・なみ (…)名。〔…波〕 青青ト見エル波。

あを・なめし (第三上)名。〔…革〕 青色ノナメシ革。＝アヰナメシ。

あを・に (第一上)名。〔青丹〕 重チノ色目ノ名。＝ナラカウ。

あを・に (…)名。 イハロクシャウノ一名。

あを・にさい (第四上)名。〔青二才〕 年若ノ男。多ク臭シメテ用ヰル。にさいハ小魚ノトナヘ。

あを・にび (全平)名。〔…鈍〕 重チノ色目ノ名。表モ裏モ濃イ青イロノモノ。＝アヲニブ。

あを・にび (…)根。〔…〕 青ミノ掛カッタハナダ色。

あを・にぶ (…)名。〔…〕 あをにびトオナヲ語。＝枕ノ草紙「あをにぶノサシスキナド踏ミ散ラシテ」。

△あを・によ・むう ((第三ウ、四合))(第六ボ))(第三、四上)名。〔青女房〕 あをざむらひノ對。＝若イ女房。

○あを・によし (第一上)枕。〔青丹吉〕 ならノ名。表モ裏モ濃イ青イロノモノ。＝アヲニブ。

あを・のき (全平)名。〔(仰)のき〕 アヲノクコト。

あを・のク (…)自動四段。〔…く〕 アヲムク。

○あを・のク (…)他動下二。〔…〕 あをにびトオナル。＝アヲノケル。

あを・のけ (…)根。〔…け〕 アヲムケ。

●あを・のけル (…)自動二。 あをのく(他動)ノ近體。

あを・のり (第二上)名。〔青海苔〕 海中ニ生ズル海苔ノ一種。毛ノヤウニ細クテ綠色ノモノ。食用ニナル。

あを・ば (…)名。〔…葉〕 (一)スベテ、水ナドノ青葉。(二)スベテ、若葉。(三)青葉ノ出ル頃。

あを・ば (…)名。〔…羽〕 鳥ナドノ青イ羽。

あを・はだ (第三上)名。〔…肌〕 (一)スベテ毛ノ剃リアトナド、青青トシタノヲ云フ語。(二)青豆ノ一名。＝アヲバタ。

あを・ばた (全平)名。〔…畑〕 青豆ノ一名。＝アヲハダ。

あを・ばち (…)名。〔…蜂〕 蜂ノ名。ジガ蜂ノ一種。青黑クテ腰ノ細イモノ。

あを・ば・づく (第四上)名。〔…羽木菟〕 鳥ノ名。青黑イ色ノミミヅク。此ミミヅクニ限ッテ晝間目ガ見エル。

あを・ばと (第三上)名。〔…鳩〕 鳩ノ一種。山ニ棲ムモノ。どばとヨリ大キク、全身ガ綠デ薄黑ク、胸ハ玉子色デ腹ハ白ク、足ハ赤イモノ。＝山鳩。＝シマ鳩。

あを・ばな (全平)名。〔…花〕 (一)ツユクサノ一名。(二)畫ノ具ノ名。ウッシバナノ一名。

あを・ばな (全平)名。〔…鼻〕 子供ナドカ垂レル青イ鼻シル。

あを・ばないんこ (第五上)名。〔…鸚哥〕 鳥ノ名。インコノ一種。全身綠デ翼ノ裏ハ赤イモノ。

あを・ばへ ((第四ヱ))(全平)名。〔…蠅〕 青黑イ、大キサ四分バカリノ蠅。甚ダヤカマシイモノ。＝クロバヘ。

あを・はんめう ((第五ミョウ合))(第三上)名。〔…斑猫〕 蟲ノ名。ハンメウヨリヤヤ小サク、綠色デ金ピカリノスルモノ。＝マダラムシ。＝芫菁。

あを・ひえ (全平)名。〔竹刀〕 子供ノ產マレタ時、臍ノ緒ヲ切ル道具。竹デ造ッタ刀。＝和名抄「阿乎比衣」。

○あを・ひと・ぐさ ((第五ク))(第四上)名。〔青人草＝蒼生〕 人ヲ形容シタ詞。タミクサ。＝人民。＝サウセイ。

△あを・びル (全平)自動下二。〔青びる〕 青クシナヒル。

△あを・びれ (…)名。〔…れ〕 アヲクシナヒタモノ、マタハシナヒル事。

△あを・ふし・がき ((第五カ))(第四上)名。〔…柴垣〕 青葉ノ柴デ編ンダ垣根。

△あを・ぶち (全平)名。〔…淵＝碧淵〕 水色

ノ青青トシタ淵。萬葉集。[あをぶちニミヅチ捕リコン]。

△あをへど　(……)名。(……反吐)　へド。―竹取物語。[あをへどヲツキテノタマフ]。

あをまめ　(……)名。(……豆)　大豆ノ一種。粒大キク、色ハ薄綠デ、大抵キナコトスルモノ。―アヲハダ。―アヲバタ。

あをみ　(第一上)名。(……味)　(一)吸ト物、サシミナドノアシラヒニ用ヰル野菜モノ。(二)青イロノカカツテ居ルアリサマ。

○あをみいヅ　(第二上)自動、下二。(……み出グ)　青クナツテ出ル(草ナドニ云フ)。

あをみかん　(第三上)名。(……蜜柑)　橘ノ一種。青クテモ喰ベラレルモノ。モト朝鮮種ト云フ。

○あをみづら　(……)枕。(……角髮)[あをみ(青味)つづら(葛)即チひるどノ義]。　よさみニ掛カル枕詞。

あをみどり　(……)根。(……綠)　綠色ノ濃イモノ。

あをみどり　(……)名。(……)　溜マリ水ナドニ出ル一種ノ苔。―アヲミドロ。

あをみどろ　(第三上)名。　苔ノ名。　アヲミドリ。

△あをみなづき　(……)名。(青水無月)　六月ノ異名。草ナドノ青青トシタ所カラ云フ。

あをみやうばん　(第四ヨ、第三、四合)(第三、四上)名。(……明礬)　ロウバ(綠礬)ト同ジモノ。

○あをみわたル　(第二上)自動、四段。(……み亘る)　一般ニ青クナル(草木ナドニ云フ)。

○あをム　(……)自動、四段。(……む)　青クナル。

あをむき　(全平)名。(仰むき)[うは(上)むき(向)ノ義]　アヲムクコト。

あをむク　(……)自動、四段。(……く)　上ヘ向ク。―アフムク。―アヲノク。

○あをむク　(……)他動、下二。(……)　上ヘムカセル。

あをむけ　(……)名。(……け)　アヲムケルコト。―アヲムクコト。

あをむけル　(……)他動、二。(……ける)　あをト。―上ヘムカセルコト。

●あをむけル　(……)他動、二。(……ける)　あをむく(他動)ノ近體。

あをむし　(……)名。(青蟲)　菜ノ葉ニ居ル小サナ芋蟲ノ類。

あをむらさき　(第四上)根。(……紫)　青ミノカカツタ紫色。

あをめじま　(第一オ)(第三上)名。(……梅綿)　武藏ノ國、多麻郡、青梅ニ產スル織リ物ノ名。下等ノ絹ヲ經ニシ、木綿ヲ緯ニシタ物。

あをめわた　(……)名。(……綿)　武州ノ青梅ニ產スルモメンワタ。

あをもち　(第二上)名。(青餅)　クサモチ。

あをもの　(……)名。(……物)　八百屋モノ。野菜ノ總名。

あをものうり　(第四上)名。(……賣り)　青物ヲ賣ツテ歩ク人。―八百屋。―センザイウリ。

◎コノ語今日ハヤヤ癈語トナル。

あをもみぢ　(第三上)名。(……紅葉)　(一)重ネノ色目ノ名。表ハ萌黃、裏ガ黃、或ハ表ガ青ク、裏ガ赤イモノ。(二)マダ霜ニ染マラヌ紅葉。

○あをやか　(第二上根)(青やか)(やかハたをやかナドノやか)　アヲアヲ。―青青トシタコト。―桃ノ草紙「雪間ノ若菜あをやかニ」。

○あをやかニ　(全平)副。(……に)　あをやかノ副詞體。

○あをやぎ　(第四ギ)(……)名。(……柳)　青青トシタ柳。―アヲヤナギ。―「ミダレテカヘスあをやぎノイト」。

○あをやぎの　(……)枕。(……の)　絲ナドニ掛カル枕詞。

あをやなぎ　(第五ギ)(第三上)名。(……)　重ネノ色目ノ名。表モ裏モ青ノ濃イモノ。

あをやなぎ　(……)名。(……)　水ノ名。

あをやま　(第二上)名。(……山)　青青ト見ヘル山。―セイザン。

あをやまぶき　(第四上)名。(……山吹)　重ネノ色目ノ名。表モ裏モ共ニ黃色ノモノ。又一說、表ハ青ク、裏ハ紫ノモノトモ云フ。

あをゐ　(全平)名。(……藍)　草ノ名。フトヰ(太藍)ト同ジモノ。

あをゑ　(……)名。　ゴスヤキノ陶器ニアル畫。

▲あをつ・くさイ　(第三逼)(第五上)形。　あをくさしノ轉訛。

▲あをつ・くさ・さ　(……)(……)名。　あをくさゐノ轉訛。

▲あをつ・くび　(……)(全平)名。　あをくびノ轉訛。

▲あをつ・ばな　(……)(……)名。　あをばな青鼻ノ轉訛。

▲あをんぞ　(……)名。　スベテ青青トシタモノ。オモニ、顏色ナドニ云フ。

あつ・き　(第二逼)(第一上)名。　あくき(惡鬼)ノ轉訛。

あつ・きん　(……)(全平)名。　あくきん(惡金)ノ轉訛。

●あつ・け　(……)(第三上)名。(呆氣)(あきれけ(呆氣)ノ轉)　アキレケ。―「あつけに取ラレル」。

●あつ・けなイ　(……)(第四上)形。　あくけなしノ轉訛。



●あつ・け・なさ　(……)(第三上)名。　あくけなさノ轉訛。

▲あつ・けらかん　(……)(……)褒。　あんけらかんノ轉訛。

++あつ・とう　(……)(全平)名。　あくこう(惡口)ノ轉訛。

++●あつ・さり　(……)(第三上)副。　淡泊ニ。―シツコクナク。―アッサリト。

●あつ・さり・と　(……)(……)副。　あつさりト同ジ語。

○あつス　(……)(全平)他動、さ變。(壓す)　オス。―オシツケル。

●あつ・すル　(……)(第三上)他動、四。(……)　前トオナジコトバ。前ノ近體。

++あつ・せい　(……)(全平)名。(壓制)　ムリニオシツケルコト。―虐ゲルコト。―「あつせい政府」。

△あつ・そん　(……)(第一上)名。　あそんノ轉訛。

++あつ・たう　(……)(全平)名。(……倒)　オシタフスコト。

●あつたか　(第三上)名。　あたたかノ轉訛。

●あつたかイ　(……)(第四上)形。　あたたかいノ轉訛。

●あつたか・さ　(……)(第三上)名。　あたたかさノ轉訛。

●あつたかみ　(……)(第五上)名。　あたたまりノ轉訛。

●あつたまり　(……)(……)名。　あたたまりノ轉訛。

●あつたまル　(……)(第四上)自動、一。　あたたまるノ轉訛。

●あつためル　(……)(……)他動、二。　あたためるノ轉訛。

●あつたら　(……)(……)樓頭。　あたらノ轉訛。

●あつち　(……)(第三上)代。　あちノ轉訛。

●あつち・こつち　(……、第五逼)(第四上)名。　あちこちノ轉訛。

●あつちら・こつちら　(……、第六逼)(第五上)名。　あちらこちらノ轉訛。

●あつ・つイ　(……)(第三上)形。　あついノ轉訛。

●あつ・とり　(……)(全平)名。　鳥ノ名。あとりノ轉訛。

▲あつぱ　(……)(第一上)名。(阿母)(はハノ轉)　青森邊ノ方言。ハハ(母)。

●あつぱ・さつぱ　(……、第五逼)(第一上)副。(一)アタフタ。―ヤタラ。―「あつぱさつぱ金ヲツヒヤス」。(二)バサバサシテ。―「あつぱさつぱ」。

●あつぱ・さつぱ・と　(……)(……)副。　前ノト同ジ語。

++あつ・ぶく　(……)(全平)名。(壓服)　オシツケテ、從ハセル。

あん　(第一上)名。(樂)　(一)ツクエ。(二)スヰリヤウ。―シユカウ。(三)シタガキ。―ゲシヨ。―サウカウ。―サウアン。

あん　(……)名。(餡)　(一)小豆ヲ煮テ團子ニ練リ、考ヘ。―スヰリヤウ。―シユカウ。(三)シタテ粉トシ、砂糖ニ混ゼテ煮テ摺ツ餅ニ包ミ、汁粉ナドニスルモノ。(二)[轉ジテ]葛ノ粉ナドノ類ニ酒、醬油ナドヲ加ヘ、煮テ汁粉トシタモノ。―クズダマリ。―「あん掛ケ豆腐、あん掛ケウドン」。(三)又、轉ジテ[アヅキノ餡ノ形チヲシタスベテノモノ。―「キントンノあん」。(四)又、轉ジテ]スベテ上部ハ善クテ中ニ有ルワルイモノ、又ハスベテ中ニクルマッチ井ルモノ。―「上部ハ唐墨デ中ノあんハ灰墨」。

あん　(……)名。(庵)　(一)イホ。―イホリ。(二)住宅ノ名ニ付ケルモノ(堂、亭、樓ナドノ類)。―「一一筆庵」。「樂善庵」。

○あん・ず　(……)名。(安意)　安心。

++あん・ぜつ　(全平)名。(安佚)　骨ヲ折ラズ樂ニシテ居ルコト。(多ク惡ルイ方ニ使フ)。

あん・か　(……)名。(行火)　あんくわノ轉。同義。

++あん・ぎ　(第三ガ)(第一上)名。(晏駕)　天子ノ御カクレ。

あん・かう　(第三コ)(全平)根。(安康)　安ラカナコト。―穩ヤカナコト。―アンネイ。―「國家安康」。

あん・かう　(……)(第三上)名。(鮟鱇)　魚ノ名。形ハ平タク丸ク、尾ハ長ク、腹ハ大キク、鱗ハナク、脊ハ黑ク、腹ハ白ク、口ノ上ニ二本長イヒゲガアリ。口ハ極メテ大キク、オモニ海ノ底ニ居テ魚ヲ呑ム。骨ト共ニ煮テ食用ニナル。

あん・がう　(全平)名。(暗號)　フテフ。―ムカフトコチラトダケニ定メテ置ク合ヒ圖。―「あんがう電信」。

●あん・かけ　(第四上)名。(餡掛け)　クズダマリノカカツタモノ。

●あん・かけ・うどん　(第五上)名。(……饂飩)　クズダマリヲ掛ケタウドン。

●あん・かけ・とうふ　(……)名。(……豆腐)　クズダマリヲ掛ケタ豆腐。

++あん・がふ　(全平)名。(暗合)　知ラズ知ラズ彼レト此レト物ゴトガ自然ニ同ジクナルコト。

あん・かん　(……)根。(安閑)　(一)凡テヤスラカニ閑デアルコト。(二)[轉ジテ]只、空ニ茫然トシテ居ルコト。

あん・かん・と　(……)副。(……と)　前ノ副詞體。

あん・き　(第一上)名。(安危)　危イコト。―「國家ノ安危」。

++あんき　(全平)名。(諧記)　ソラデ覺エルコト。

++あんきや　((第三キ、第三、四合))(第一上)名。(行脚)(行脚ノ朱音)　諸國ヲ巡ッテ行ク僧。—抖擻—ヅダ。

あんぐ　((第三ク))(第一上)根。(暗愚)　甚シイ馬鹿。

あんぐう　((……))(全平)名。(又第三上)名。(行宮)(行宮ノ朱音)　天子ノカリミヤ。—アンザイ。

●あんぐり　((……))(第三上)副。　バックリト開クコト(口ナドニ云フ)。—アングリ。—アングリト。—「茫然トシテ口あんぐり」。

●あんぐりと　((……))(……)副。　あんぐりト同ジ語。

あんくわ　((第三、四合))(全平)名。(行火)　火ヲ入レテ手足ナド暖メルヤウニ使フ道具。—足アブリ。

あんぐわい　((……))(第一上)根。(案外)　思ヒノ外。—ブングワイ。—意外。

あんぐわい　((……))(……)副。(……)　前ノ副詞體。—「あんぐわい美シカリキ」。

あんぐわいに　((……))(……)副。(……に)　あんぐわいノ副詞體。

▲あんけら　(全平)根。　馬鹿。

++あんご　((第三ゴ))(第一上)名。(安居)(「ごハ居ノ呉音ヨミ」)　僧ナド家ニ靜カニ籠モッテ居ルコト。—クッグ。

▲あんごう　((……))(全平)根。　馬鹿。伊勢ノ方言。

▲あんごり　((……))(第三上)副。　アングリ。

あんごりと　((……))(……)副。　アングリト。

あんころ　(第四上)名。　あんころもちノ略。

△あんころばし・もち　(第六上)名。(餡轉ばし餅)　餡ニ轉ガシテ餡ヲマブリ付ケタ餅。—アンコロ。—アヅキモチ。—アンコロモチ。—アンモチ。

あんころ・もち　(第四上)名。(餡轉餅)　あんころばしもちノ略。

++あんざ　(第一上)名。(安坐)　(一)落チ付イテ坐ッテ居ルコト。(二)アグラヲ掻イテ居ルコト。

あんざい　(全平)名。(行在)(行在ノ朱音)　皇居ノ外ノ皇居。—カリミヤ。—アングウ。—アンザイショ。

あんざいしよ　(……)名。(……所)　あんざいト同シ語。

++あんさつ　(……)名。(暗殺)　ヤミウチ。

++あんさつ　(……)名。(按察)　吟味。—取リ調ベ。

あんさつ・し　(第三上)名。(……使)　アゼチ。

++あんざん　(全平)名。(暗算)　ソラデ物ヲ數ヘルコト。—ムナザン。

++あんざん　(第一上)名。(安產)　安クシテ產ヲ產ムコト。—イサン。

あんざんじゆ　((第五、六合))(第三上)名。(……樹)　熱帶ノ植物ノ名。枝多ク分カレテ中ヘ曲ル。葉ノ形ハ嫁菜ニ似テアッポッタク、產婦ニ持タセレバ安產ガアルト云フ。

あんし　(第一上)名。(案紙)　下書キヲスル紙。—草稿用紙。

あんじ　(全平)名。(案じ)　考ヘルコト。—「あんじが付イタ」。

あんじち　(……)名。(庵室)　あんじつノ轉。同義。

あんしつ　(……)名。(……)　イホリノ部屋。—世ステビトノ家。—嵯峨ノ奥ノあんしつ。

あんしつ　(……)名。(暗室)　スベテ化學試驗、寫眞事業ナドニ用ヰル部屋。光線ヲ防イデ暗クシタモノ。—ドンクラ。

あんじつ　(……)名。(庵室)　イホリ。—アンシツ(庵室)。

++あんしん　(……)根。(安心)　心ヤスメルコト。—アンド。—キウシン。—アンイ。

あんしん　(……)名。(安身)　考。

++あんめい參

あんじやくる　((第三、四合))(第三、四上)名。　草ノ名。石竹ノ一種。葉ハ長ク、紅白八重ノ花ノサクモノ。

あんしゆ　(第一上)名。(庵主)　あんじゆ。

あんじゆ　(……)名。(……)　イホリノヌシ。—アンシユ。

++あんじゆ　(全平)名。(暗誦)　あんしようノ呉音讀ミ。同義。

++あんしよう　((第三、四合))(……)名。(……)　ソラデモノヲ讀ムコト。—アンジユ。

●あんじル　(第三上)他動、二。(案じる)　あんずノ近體。

あんず　(全平)名。(杏子)(あんず(杏子)ノ宋音)　(一)木ノ名。枝モ幹モ葉モ能ク梅ニ似テ、花ハ紅梅ノ次ニ咲ク。實ハ梅ヨリモ大キク、甘ク、酸ク、熟スレハ黃イロクナル。—白アンズ。—花アンズ。(二)アンズノ木ノ實。

あんず　(第一上)名。(按司)　琉球國ノ官名。王子ノ次。

○あんズ　(第一及第三上)他動、さ變。　(一)カンガヘル。—工風ヲ付ケル。(二)苦ニ病ム。—苦勞スル。—アンジル。

あんず・うめ　(第三上)名。(杏子梅)　梅ノ一種。一重ノ花デヨクあんずニ似タモノ。



實モ酸味ガ少ナイ。—モチウメ。

あんぜん　(全平)根。(安全)　ヤスラカデ惡ノナイコト。—「家内あんぜん」。

あんぜん・とう　(……)名。(燈)　鐵山ナドデ、工夫ガ穴ノ中ヲ照スタメニ用ヰル提灯。カナ網デ密封シテアルメタ、穴ノ中ノ瓦斯ニ火ガ移ラズ、最モ安心ナモノ。—英語セエフティ、ランプ(Safety-lamp)ノ直譯。

++あんそく　(……)名。(安息)　ヤスラカニ休ム事。

あんそく・かう　((第五コ))名。(……香)　舶來ノ藥ノ名。松ヤニニ似テ茶色ナモノ。甚ダ香ガッヨイ。化粧藥又ハ線香ナドニスル。—近松、釋迦如來誕生會丁子香、あんそくかう」。

あんそく・じつ　(……)名。(……日)　耶蘇教デ日曜日ヲ言フ語。此日丈ケ安ラカニ休ムトイフ義。

あんだ　(……)名。((簡興))(あみいたノ轉)　板ヲアンデ蠶トシ、竹デ釣ッテ擔グモノ。オモニ罪人ヤ手負ヒナドヲ乘セル。—アヴタ。—アミイタ。—アヲタ。

あんたい　(……)根。(安泰)　ヤスラカ。—アンゼン。—アンヤイ。

あんだう　(……)名。(又第三上)名。(行堂)(行堂ノ宋音)　寺ノ建テ物ノ內ノ一ッ。本堂ノ次ギノ家。—下學集、行堂(訓アンダウ)。

▲あんだら　(全平)根。　バカ。—アンケラ。—ウンデレ。(東京デハ言ハヌ語)。

▲あんだら・くさい　(第六上)形。　バカナ。—バカバカシイ。(同上)。

あんだ・ゑ　(全平)名。(安陀會)　僧ノキル三衣ノ一ッ。五條ノケサ。—和名抄「安陀會爲下衣」。

++あんち　(第一上)名。(安置)　(一)安ラカニスエテオクコト。(二)アガメマツルコト(佛像ナド)。

あんちもにい　(第四上)名。(安質母尼)(英語Antimony)　鑛物ノ名。即チ硫化アンチモン。色ハ錫ニ似テ筋ハナク、質ハ碎ケ易イホドニ堅ク、藥用ニモシ、又活版、半鐘ナドヲ造ル。—イヨジロメ。

++あんぢゆう　((第三、四合))(全平)根。(安住)　安ラカニ住フコト。

あんぢゆう　((……))(第一上)名。　庵ニ住マフ人。—西鶴若風俗「コレハトあんぢゆうニスエテオクコト」。

++あんど　(全平)名。(安堵)　(一)其トコロヲ得テ安心シテ居ルコト。—源平盛衰記、「隨分ノシアンヲ旋ラシ、向後ノあんどヲ存ズベシ」。(二)安堵スベキト言フ義カラ轉ジテ、チギヤウヲタマハルコト。(三)(又轉シテ)心ガ落チ着クコト。

あんどう　(……)名。(行燈)　あんどんト同ジモノ。—寬天見聞記、「今ハ一丁ノ內ニ二三ケ所ヅツヨセト號シ看板ニあんどうヲカケ、話シニ音曲ヲ入レ」。

あんどん　(……)名。(……)(行燈ノ宋音)　カリヲツケテ据エテ置クタメノ道具。四方ニワクヲ置キ、紙ヲ貼リ、トウガイ皿ヲ中ニオキ、アブラビヲ燈スモノ。—アンドウ。

▲あんどんばち　(……)名。(……蜂)　越前ノ方言。蟲ノ名。クマバチノ一名。

あのやうな　(……)形。(如此—如斯)　「あんなモノ」。「あんな人」。

●あんな　(……)形。　(一)程能ク味ヲ拵ヘルコト。—味ヒ。(二)加減。—工合ヒ。—程度。(四)●(轉ジテ)病氣。—病氣ノ工合ヒ。—「あんばいガイケナイ」。

△あんばい・す　(第三上)名。(……酢)　アンバイシテ拵ヘタ酢。—サンバイズノ一名。—蜀山人、俗耳鼓吹「あんばいす」。

あんび　(第一上)名。(安否)　安ラカナノトサウデナイノト。—アンピ。—「あんびヲ問フ」。

++あんない　(第三上)名。(案內)　(一)文案ノ中ニアル意味、事實。(二)スベテ物ゴトノ內情。(三)スベテ、手ビキ、又ハ吹聲。—枕ノ草紙、「老イテ頭白キナドガ人ニ兒角あんない言ヒ」。(四)土地ノ道シルベ。—導キ。(五)知ラセルコト。—通知。(六)(轉ジテ)招待。

あんないしや　((第五、六合))(第五、六上)名。

あんないじや　(……者)　案內ヲスル人。—道シルベスル人。

あんないじやう　((第六ヨ、……))(第三上)名。(……狀)　知ラセノ手紙。—招待ノ手紙。

△あんなか　(全平)名。(足半)　草履ノ名。

あんなし・まんぢゆう　((第七、八合))(第五上)名。(餡無し饅頭)　パン(但シ今ハ稍ヤ癖語トナッタスガタ)。

あんにん　(第一上)名。(杏仁)(杏仁ノ宋音)　アンズ(杏)ノ仁。藥ニツカフ。

▲あんにや　(……)名。(はんにやノ轉カ?)　伊勢ノ方言。遊女。

あんねい　(全平)名。(安寧)　穩カニ靜カナコト。—安泰。—安穩。—安全。—平和。

++あんばい　(第三上)名。(盤梅)　(一)程能ク味ヲ拵ヘルコト。(二)程能ク調和スルコト。—味ヒ。(三)加減。—工合ヒ。—程度。(四)●(轉ジテ)病氣。—病氣ノ工合ヒ。—「あんばいガイケナイ」。

△あんばい・す　(第三上)名。(……酢)　アンバイシテ拵ヘタ酢。—サンバイズノ一名。—蜀山人、俗耳鼓吹「あんばいす」。

あんび　(第一上)名。(安否)　安ラカナノトサウデナイノト。—アンピ。—「あんびヲ問フ」。

あんぷ　(…)名。(…)　あんびノ轉。同義。

++あんぷく　(全平)名。(按腹)　按摩。—腹ヲ揉ミサスルコト。

▲あんぺい　(第一上)名。　大坂ノ方言。ハンペンニ似タモノ。鯛ナドノ魚肉ヲハンペンノヤウニ搗ヘ、ハンペンヨリハ甚ダ柔ラカク、ソレ故豆腐ノヤウニ常ニ水ニ入レテ取リ扱フ。

あんぺら　(全平)名。　(一)語原不詳。舶來ノ一種ノ麻。南洋諸國ノ產。バイタラエフ(貝多羅葉)ヲ縱ニ裂イテ編ンダモノ。(二)又、水草ノ名。ヒラスゲ。

あんぼつ　(…)名。　ノリモノ籠ノ一種。タレカゴヨリヤヤ小サナモノ。

▲あんぽんたん　(第三上)名。(案本丹)　(一)魚ノ名。カサゴノ一名。(二)馬鹿ヲ罵シル詞。—馬鹿、二分狂言。金トオモフハオマヘノあんぽんたんダ。

あんま　(全平)名。((按摩))　(一)一種ノ醫術。手ヲ體ヲ揉ンデ惡血ナドヲ散ラス業。今ハ多ク盲人ノ仕業トナル。—モミレウヂ。(二)按摩ヲ行フ人。—アンマトリ。(三)(盲人ガオモニスル所カラ轉ジテ)—メクラ。

△あんまとり　(第三上)名。(…取り)　按摩ノ業ヲ行フ人。—西鶴、若風俗「宵ノ約束邊ヘズ、森ト云フ男、あんまとりノ休古ヲ運レテ來タルニヅ、ヒトシホヲカシサ增サル」。

●あんまり　(全平)根。　あまり(根)ノ轉訛。同義。—「ザリトハあんまりナ御心」。

●あんまり　(…)副。　あまり(副)ノ轉訛。同義。

△あんまりしい　(第五上)形。(餘りしい)　サモサモアンマリデアル。—極メテアンマリデアル。—聞上手。「武士ト武士ノ御立合ナラバマダシモ。ダイクワラニトハあんまりしいト云ヘバ」。

++あんみん　(全平)名。((安眠))　心安ク眠ルコト。—ヤスイ。

あんめい　(第一上)名。((安命))　曆ノウラナヒノ法ノ一ツ。子カラ正月ヲ起コシ、遊ニ數ヘテ生マレ年ニ至リ、又ウマレ月カラウマレドキヲ起コシ、順ニ數ヘテソコガ卯ノ日ニナレバあんめいトシ、酉ノ日ニナレバあんしんトスルコト。ソノ二ツノ日ハソノ人ノ一代ニ取ツテ吉日デアルトイフ。

▲あんも　(全平)名。　(一)東京ナドデ子供ガ云フ詞。あんもちノ略。(二)轉ジテ—アモ。—カチン。

あんもち　(第一上)名。(餡餅)　(一)アンヲ包ンダ餅。(二)アンコロモチ。

あんもにや　(全平)名。(安母尼亞)(英語Ammonia)　揮發性ノ亞爾加里。ハゲシイ匂ヒヲ持ツモノ。藥用ニモシ、又イロイロノ細工ニツカフ。

あんもん　(第一上)名。(案文)　下書キノ文書。—「あんもんヲ付ケル」。

あんや　(全平)名。((暗夜))　闇ノ夜。—マックラノ夜。

▲あんよ　(第一上)名。(あよみ(歩ノ轉カ?))　(一)子供ナドノ語。—アユミ。—アルクコト。—「あんよハ上手、轉ブハオヘタ」。(二)「轉ジテ」足。

あんらく　(第一上)根。((安樂))　安ラカニ樂シイコト。

あんらくわ　(第四、五合)(第三上)名。(安蘭花)　カリンニ似タ木ノ名。春ノ末ニ桃色ノ花ガ咲ク。實モカリンヨリ小サク、味ヒモ、香ヒモ、稍ヤ遜フモノ。

あんを　(全平)根。((安穩))　安ク穩カナコト。—無事ナコト。—近松、釋迦如來誕生會「子ハあんをんニ抱キトメテ、十九年育ラシガ」。

明治二十五年七月三日印刷
同　年七月六日出版

〔上製第壹卷〕
〔定價金五拾錢〕

編纂兼發行者　東京府士族　山田武太郎　府下神田區平永町九番地
印刷者　同　同柳原河岸第十四號地　田中正造
印刷所　同　同志社活版所
發行所　東京市神田區平永町九番地山田美妙方　日本大辭書發行所
特約發賣所　同　神田區裏神保町七番地　書肆明法堂
同　日本橋區大傳馬町二丁目二十二番地　書肆文昌堂

版權所有
●内に發行者●
●のはは偽版●

813.1
Y157n

078058-001-5

813.1-Y157n

日本大辞書

山田　美妙／著

M25-26

DAC-1556

トIVG-13